

**頸髄損傷者の自立生活と  
社会参加に関する実態調査**

**－ 中間報告書 －**

**平成 21 年 3 月**

## 調査にあたり

全国頸髄損傷者連絡会  
会長 三戸呂 克美

時下、皆さまにおかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃は会活動にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、この度の調査にあたり会員の皆さま、関係者の皆さまのお陰をもちまして、調査対象者 3,790 名に調査票を配布し、736 名の方から回答をいただくに至りました。ありがとうございました。

さて、私たち頸髄損傷者（以下、頸損者と略します。）の実態はいまだにわかりにくい障害であります。身体に重度の障害があり重ねて四肢麻痺を併せ持つといった複雑な状態の中で日常生活を営んでおります。最近、医療技術と機械工学の技術の進歩により人工呼吸器を使用する頸損者も在宅生活ができるまでになってまいりました。

ところで、私たちは今から 17 年前の 1991 年にこの度と同じテーマで調査を致しました。その時の報告書は唯一頸損者に特化した情報提供書として「頸損解体新書」の名で発行し、現在も関係各方面で重宝されています。

しかし、時代の変遷に伴い制度、医療現場など取り巻く環境も変わり、17 年前に得た生活実態の内容も現在の生活には合わず対処することもなく通り過ぎる人も出てきました。その背景には、頸損者をはじめ多くの支援者、協力者による社会生活への参加運動、当事者の生活向上に向けた活動も見逃すことはできません。そのような環境下、時代の変化が頸損者に普遍的に取り入れられていったのかは甚だ疑問でもあります。言い換えれば、頸損者の数だけ生活スタイルがあり、個々によってはどこからも入らない情報や誰に相談すればいいのか悩み苦しむ日々からの解放を求めている人もいます。

この度の様な調査を行うのは、調査を通じて把握できた情報を広く頸損者や関係機関に提供し、問題点を提起する。そして、同じ障害を持つ者が全国どの地域に暮らそうとも同じ生活が保障される。また、得られた情報を共有しセルフヘルプ活動に活用して問題点の解決に役立てる。以上のことを目的にしています。もちろん個人情報の保護には万全の注意を払うのは言うまでもありません。

私たちにとって情報は命を救う藁でもあります。ここに報告書を添えて皆様への感謝のご挨拶とさせていただきます。

# 頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査

## －中間報告書－

### 目次

	頁
調査にあたり .....	2
第1章 調査の目的と概要.....	4
1-1. 調査目的.....	4
1-2. 調査概要.....	4
1-3. 調査票.....	5
第2章 調査結果.....	23
2-1. 個人属性.....	23
2-2. 身体状況・健康状態.....	24
2-3. 障害発生時の状況.....	34
2-4. 経済状況.....	38
2-5. 住居環境.....	41
2-6. 福祉機器.....	48
2-7. 介 助.....	61
2-8. 外出・移動.....	65
2-9. 就 労.....	72
2-10. 自由記述.....	74
第3章 まとめと今後の課題.....	94
付録1. 実行委員会名簿.....	95
付録2. 調査票作成WG名簿.....	96
付録3. 調査報告書作成WG名簿.....	96

## 第1章 調査の目的と概要

### 1-1. 調査目的

頸髄損傷者の生活実態の把握を目的とした包括的な調査は 1991 年度に全国頸髄損傷者連絡会により行われて以降、実施されていない。10 数年間に、新規福祉機器の開発と普及が進み、また介助制度を中心とした福祉施策も変化している。加えて、国連において「障害者の権利条約」が採択されるなど、障害者をめぐる社会動向も変化している。こうした中、今後の福祉機器開発、障害者医療、障害者福祉施策のあり方を検討する上で現在の頸髄損傷者の自立生活と社会参加の実情とその障壁の把握の必要性が高まっている。

本調査の目的は、現在の頸髄損傷者の自立生活と社会参加の実情とその障壁を明らかにし、頸髄損傷者の自立生活と社会参加を促進する上で必要な社会的支援のあり方を検討することにある。またこれを通じて、頸髄損傷者を対象とした福祉機器開発者、医療・福祉関係者の業務に質する基礎的資料の提出と、頸髄損傷者への情報提供を行う。

### 1-2. 調査概要

調査は、調査票を対象者に郵送し、記入後返送してもらう郵送調査法と、自筆記入が困難な対象者を考慮し、全国頸髄損傷者連絡会のホームページ上に調査票を公開して電子メールで回答してもらうインターネット調査法により行った。調査期間は平成 20 年 11 月 28 日から平成 21 年 1 月 10 日である。調査票は 3,790 通発送したが、宛先不明による返信及び受け取り拒否等が 61 件あった。発送内訳を下表に示す。

調査票の発送対象と発送数

区分	発送対象	発送数
直接発送数 3,396 通	全国頸髄損傷者連絡会	673
	(社)全国脊髄損傷者連合会	4
	その他紹介者	7
	日本せきずい基金登録者 (※全国頸損連絡会には所属していない者)	2,712
間接発送* 依頼数 394 通	(社)全国脊髄損傷者連合会 16 支部	124
	旧北海道頸髄損傷者連絡会関係者	80
	高知頸髄損傷者連絡会	15
	国立身体障害者リハビリテーションセンター病院	25
	総合せき損センター（福岡県飯塚市）	120
	潮平病院リハビリテーション科（沖縄県沖縄市）	30

\*各団体及び施設の窓口に調査票一式を郵送、そこから対象者に発送

インターネット調査については、日本リハビリテーション工学協会誌及び四肢まひ者の情報交換誌「はがき通信」にて、回答募集の告知を行った。また、全国頸髄損傷者連絡会各支部及び会員から、関係機関、友好団体等に協力を依頼した。

回答者数は736名で、調査票による回答が666名、電子メールによる回答が70名であった。有効回答率は、間接発送を依頼した団体及び施設から配布された調査票実数不明等の理由により算出できなかった。

### 1-3. 調査票

本調査を実施するにあたり、全国頸髄損傷者連絡会の内部に頸髄損傷当事者とリハビリテーション工学研究者、福祉機器会社社員、看護師などの専門家からなる「頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査」実行委員会を組織し、調査票の内容について議論を行った。また、実行委員会の傘下に調査票作成WGを設置し、調査票作成業務を行った。調査票完成までの経緯は以下の通りである。

**ステップ1**：1991年度の調査で使用した調査票との比較要否について協議を行った。

⇒現在調査したい内容を重視すべきという実行委員会の判断から不要と決定した。

**ステップ2**：設問の目的を明確にするため、設問設計理由書を作成した。

⇒各設問の目的を実行委員会にて共有した。

**ステップ3**：設問を絞るため、項目の優先順位付けを行った。

⇒当事者の考えを優先し、設問項目の絞り込みを行った。

**ステップ4**：調査票作成WGを設置し、調査票を作成した。

⇒表現、体裁は実行委員会メンバーから適宜指摘をもらい、調査票に反映させた。

**ステップ5**：調査票完成（P6～P22参照）

## 【Q1. 個人属性について】

Q1-1. 年齢はおいくつですか。

( ) 歳

Q1-2. 性別はどちらですか。

1. 男                      2. 女

Q1-3. あなたと、同居している方は(あなたも含めて)何人ですか。

( ) 人

Q1-4. 同居者はどのような方ですか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 一人暮らし    2. 祖父                      3. 祖母                      4. 父                      5. 母  
6. 配偶者        7. 子供                      8. 兄弟姉妹              9. その他( )

Q1-5. あなたのお住まいの地域を都道府県、区市町村までお書き下さい。

( ) 都・道・府・県    ( ) 区・市・町・村

## 【Q2. 身体状況・健康状態について】

Q2-1. 損傷レベルについて、該当する番号1つに○をつけて下さい。

1. 頸髄1～3番    2. 頸髄4番                  3. 頸髄5番                  4. 頸髄6番                  5. 頸髄7・8番

Q2-2. 麻痺の分類について、該当する番号1つに○をつけて下さい。

1. 完全麻痺        2. 不全麻痺                  3. わからない

Q2-3. 身体機能について、おたずねします。

Q2-3-1. 肘を曲げることができますか。

1. はい                  2. いいえ

Q2-3-2. 手の平を下に向け手首を反らす(背屈させる)ことができますか。(右図 A 参照)

1. はい                  2. いいえ

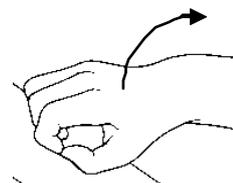


図 A. 手首を反らす

Q2-3-3. 指を伸ばすことができますか。(右図 B 参照)

1. はい                  2. いいえ

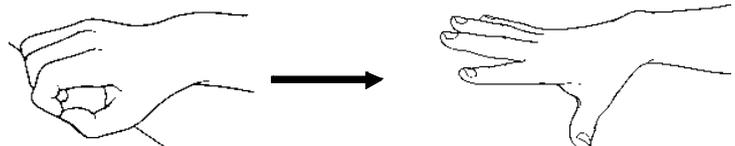


図 B. 指を伸ばす

Q2-4. 呼吸管理について、該当する番号1つに○をつけて下さい。

1. 人工呼吸器を常に使用                      2. 人工呼吸器を夜間など必要時に使用  
3. 電気式たん吸引器を使用                      4. 使用していない

Q2-5. 食事について、該当する番号1つに○をつけて下さい。

1. 胃ろうから注入      2. 介助を受ける      3. 一部介助を受ける      4. 自分で食べる

Q2-6. 入浴について、おたずねします。

Q2-6-1. 入浴の頻度はどのくらいですか。

1. 毎日      2. 週に2～3回      3. 週に1回      4. 月に1～2回  
5. 清拭のみ

Q2-6-2. 入浴方法はどのような方法でしていますか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 家族の介助(1人による介助)      2. 家族の介助(複数人による介助)  
3. 自宅でサービスを受ける(1人での介助)      4. 自宅でサービスを受ける(複数人での介助)  
5. 施設でサービスを受ける      6. 自分で入浴      7. 座位シャワー

Q2-7. 排尿はどのような方法でしていますか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 自然排尿      2. 膀胱ろう      3. 尿道カテーテル      4. 腹圧をかけた排尿  
5. 自己導尿      6. 介助で導尿      7. 収尿器を使用      8. 紙おむつで対応  
9. 夜間尿道カテーテル(ナイトバルン)

Q2-8. 排便について、おたずねします。

Q2-8-1. 排便の頻度はどのくらいですか。最も該当する番号1つに○をつけて下さい。

1. 毎日      2. 週に2～3回      3. 週に1回      4. 不定期

Q2-8-2. 排便はどのような方法でしていますか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 自然排便      2. 人工肛門      3. 盲腸ポート      4. 腹圧をかけた排便  
5. 自力排便      6. 介助で排便      7. 紙おむつ対応      8. 洗腸  
9. ベッド上で排便      10. トイレで排便      11. ポータブル(携帯)トイレ

Q2-8-3. 排便に要する平均時間はどのくらいですか。最も該当する番号1つに○をつけて下さい。

1. 30分      2. 60分      3. 90分      4. 120分以上

Q2-8-4. 排便を促す方法について、該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 下剤      2. 浣腸      3. 座薬      4. 摘便      5. 洗浄便座      6. 何もしない

Q2-8-5. 便失禁はどのくらいありますか。最も該当する番号1つに○をつけて下さい。

1. 毎日      2. 週に2～3回      3. 週に1回      4. 月に1～2回      5. 年に数回      6. ない

Q2-8-6. 排便で困っていることがあれば次に具体的にお聞かせ下さい。

( )

Q2-9. 過去一年間に何日間入院しましたか。(なければ0として下さい。)

( )日間

Q2-10. 過去一年間に健康診断や人間ドッグを受けたことはありますか。

1. ある      2. ない



### 【Q3. 障害発生時の状況について】

Q3-1. 障害が発生したのはいつですか。

昭和・平成 ( )年 ( )月

Q3-2. 発生の原因は何ですか。該当する番号1つに○をつけて下さい。

1. 交通事故 (1. 自動車 2. バイク 3. 自転車 4. 歩行中 5. その他( ) )
2. 就労作業中の事故(交通事故は除く)(作業状況: )
3. スポーツ事故(種目: )
4. レクリエーション中の事故(レクリエーションの種類: )
5. 病 気(病名: )
6. 医療事故
7. その他( )

Q3-3. 障害発生時の状態として該当する番号1つに○をつけて下さい。

- (就学) 1. 小学生・中学生・高校生 2. 専門学校生・短大生・大学生・大学院生  
(就労) 3. 経営者・役員 4. 自営業主(SOHOを含む)  
5. 自営業の家族従業員・内職・請負 6. 公務員・団体職員 7. 一般企業社員  
(その他) 8. 乳幼児(就学前) 9. 家事専業(専業主婦) 10. 無職  
11. その他( )

(この設問で1～7と答えた方は Q3-3-1 へ、それ以外の方は Q4 へ)

Q3-3-1. 障害発生時に就学、もしくは就労されていた方におたずねします。障害発生前の職場あるいは学校へ、復職・復学しましたか。その期間もあわせお聞かせ下さい。

1. 職場あるいは学校へ復職・復学した (復職・復学まで 年 ヲ月 要した)
  2. 障害発生前の職場あるいは学校を休職・休学している
  3. 職場あるいは学校を変えた(転職・転学した)
  4. 職場あるいは学校を退職・退学した
  5. その他( )
- } (Q4 へ)

Q3-4. 障害発生前の職場あるいは学校へ、復職・復学した方におたずねします。復職・復学後、就労や就学の形態は変わりましたか。該当する番号1つに○をつけて下さい。

1. 就労や就学の形態に変化はない
2. 配置転換や転部・転科・通信教育への移行があった
3. 雇用条件や履修条件の変更があった
4. その他( )

### 【Q4. 経済状況について】

Q4-1. 年金、手当で、生活保護による所得は月あたりどれくらいですか。

1. なし
2. 5万円以下
3. 5万～10万円
4. 10万～15万円
5. 15万～20万円
6. 20～25万円
7. 25万～30万円
8. 30万円以上

Q4-2. 年金・手当の種類について、該当する番号すべてに○をつけて下さい。

- |                     |                   |                   |         |
|---------------------|-------------------|-------------------|---------|
| 1. 厚生障害年金           | 2. 障害基礎年金         | 3. 共済年金(各種・教員・船員) | 4. 老齢年金 |
| 5. 労災年金             | 6. 各自治体手当         | 7. 特別障害者手当(国のもの)  | 8. 生活保護 |
| 9. 特別障害者給付金(無年金救済策) | 10. 自動車事故対策機構の介護料 |                   |         |
| 11. 無年金             | 12. その他( )        |                   |         |

Q4-3. 年金、手当以外での主な収入は何ですか。

1. 賃金    2. 家賃    3. 仕送り    4. その他( )    5. なし

Q4-4. あなたの年金、手当以外での収入(税込み)は1か月平均でいくらぐらいですか。

- |             |            |             |             |
|-------------|------------|-------------|-------------|
| 1. なし       | 2. 5万円以下   | 3. 5万～10万円  | 4. 10万～15万円 |
| 5. 15万～20万円 | 6. 20～25万円 | 7. 25万～30万円 | 8. 30万円以上   |

Q4-5. 主な支出項目3つに○をつけて下さい。

- |          |         |         |            |
|----------|---------|---------|------------|
| 1. 食費    | 2. 住居費  | 3. 光熱費  | 4. 被服費     |
| 5. 保健医療費 | 6. 交通費  | 7. 通信費  | 8. 教育費     |
| 9. 教養娯楽費 | 10. 交際費 | 11. 介助費 | 12. その他( ) |

Q4-6. 医療費は1か月平均でどれぐらいですか。

- |             |            |             |             |
|-------------|------------|-------------|-------------|
| 1. なし       | 2. 5万円以下   | 3. 5万～10万円  | 4. 10万～15万円 |
| 5. 15万～20万円 | 6. 20～25万円 | 7. 25万～30万円 | 8. 30万円以上   |

Q4-7. 介助にかかわる費用は1か月平均でどれぐらいですか。

- |             |            |             |             |
|-------------|------------|-------------|-------------|
| 1. なし       | 2. 5万円以下   | 3. 5万～10万円  | 4. 10万～15万円 |
| 5. 15万～20万円 | 6. 20～25万円 | 7. 25万～30万円 | 8. 30万円以上   |

Q4-8. 移動にかかわる費用は1か月平均でどれぐらいですか。

- |             |            |             |             |
|-------------|------------|-------------|-------------|
| 1. なし       | 2. 5万円以下   | 3. 5万～10万円  | 4. 10万～15万円 |
| 5. 15万～20万円 | 6. 20～25万円 | 7. 25万～30万円 | 8. 30万円以上   |

Q4-9. 月々の支出平均はどれぐらいですか。

- |             |            |             |             |
|-------------|------------|-------------|-------------|
| 1. なし       | 2. 5万円以下   | 3. 5万～10万円  | 4. 10万～15万円 |
| 5. 15万～20万円 | 6. 20～25万円 | 7. 25万～30万円 | 8. 30万円以上   |

#### 【Q5. 住居環境について】

Q5-1. あなたは現在、どこで生活していますか。

1. 戸建ての住宅
2. アパートやマンションなどの集合住宅
3. 病院・福祉施設等 (Q5-4 へお進みください)



Q5-3-3. 「2. 改造・改築した」と答えた方におたずねします。どの部分を改造・改築しましたか。下の表の中で改造・改築した場所と内容について該当する個所すべてに○をつけて下さい。また、その他に改造・改築した場所や内容がありましたら具体的にお書き下さい。

改造の内容 改造箇所	A 広くした	B 段差を解消した	C 扉や戸を広くしたり開けやすいものに変更したりした	D 手すりを取り付けた	E.床面を使いやすく安全な仕上げとした	F.便器などの備品を使いやすいものに変えた
(例) 便所	○			○		
	その他( )					
1. 道路から玄関までのアプローチ						
	その他( )					
2. 玄関部分						
	その他( )					
3. 玄関以外の家への出入口						
	その他( )					
4. 室内の通路や廊下						
	その他( )					
5. 階段やスロープなどの昇降路						
	その他( )					
6. 居間						
	その他( )					
7. 居室(ご自分の部屋)						
	その他( )					
8. 便所						
	その他( )					
9. 浴室						
	その他( )					
10. 台所						
	その他( )					
その他( )						

Q5-3-4. 「1. 新築した」と答えた方、「2. 改造・改築した」と答えた方におたずねします。改造・改築・新築の際に大変だったことは何ですか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 費用がかかった      2. 制度が不十分だった      3. 情報が不足していた  
4. 実際の施工のやり方が分からなかった      5. その他( )

Q5-3-5. 「1. 新築した」と答えた方、「2. 改造・改築した」と答えた方におたずねします。改造・改築・新築に関する情報をどのような方法で入手しましたか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 医療専門職(OT・PT など)
2. 福祉専門職(社会福祉士, ケースワーカーなど)
3. 建築・施工会社
4. インターネット(メーカー, 医療機関, 公的機関など)
5. 口コミ(個人のブログやホームページ, 電子メールを含む)
6. 同じ障害のある人
7. 特になし
8. その他( )

Q5-3-6. 「3. 新築も改造・改築もしていない」と答えた方におたずねします。その理由として該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 必要ない
2. 家屋が古く、改造困難
3. 経済的に困難
4. 家族の了解が得られない
5. 近いうちに建替え予定がある
6. 構造的に改造困難
7. 所有者や家主の了解が得られない
8. その他( )

Q5-4. 現在、病院・福祉施設等にて生活していると答えた方におたずねします。

Q5-4-1. 現在、次のうちどちらで生活していますか。

1. 病院
2. 福祉施設等

Q5-4-2. 現在の居室・同室は(あなたを含めて)何人ですか。

1. 個室
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人～6人
6. 7人以上

Q5-4-3. 現在の居室・病室には、パソコンなどを置ける個人用のスペースがありますか。

1. ある
2. ない

Q5-5. 現在の住居や居室についてどの程度満足していますか。

1. たいへん満足している
2. 満足している
3. どちらともいえない
4. 不満
5. たいへん不満

Q5-6. 現在の住居や居室について、不満があれば該当する理由すべてに○をつけて下さい。

1. 不満はない
2. 生活スペースが狭い
3. 車いす等で移動がしにくい
4. プライバシーが保てない
5. 建築物自体が老朽化している
6. 設備が老朽化している
7. 地震のときに倒壊する不安
8. 災害時の避難経路に不安
9. 外部からの騒音
10. 自分の部屋からの騒音が外部に漏れる
11. 日当たりがわるい
12. 雰囲気がわるい
13. 交通が不便
14. 周辺に、段差坂道が多い
15. 駐車スペースがない
16. 入院費・利用料が高い
17. 近いうちに退院、退所しなくてはならない
18. その他( )

**【Q6. 福祉機器について】**

Q6-1. 現在使用している福祉用具や機器と入手方法について、各項目に該当する用具・機器を下欄から選び枠内の番号に○をつけて下さい。また、その他に使用しているものがありましたら具体的にお書き下さい。

A. 自費で購入	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13	その他
B. 自費でレンタル	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13	その他
C. 制度助成で購入	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13	その他
D. 制度助成でレンタル	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13	その他

1. ベッド・特殊ベッド    2. 車いす    3. 移乗用リフト    4. 移乗用具(トランスファーボードなど)  
 5. 環境制御装置    6. 特殊マットレス    7. クッション    8. 昇降装置    9. 電話機・通信機器  
 10. パソコン    11. 排泄補助用具[座薬挿入器]    12. 入浴補助具    13. 座位保持装置

Q6-2. 就寝のための福祉用具や福祉機器について、利用しているものの番号すべてに○をつけて下さい。

1. 布団(床の上に敷いたもの)  
 2. 一般のベッド(寝ている姿勢を変えられないタイプ)  
 3. 特殊寝台(上半身を起こせる機能や高さを調整できる機能のあるタイプ:電動ベッドなど)  
 4. 褥瘡予防マットレス(エアマットレスなど)  
 5. その他( )

Q6-3. 日常的に車いすを使用していますか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。また、分かりましたら機種名もあわせてお聞かせ下さい。

1. 使用していない    2. 電動車いすを使用している (機種名: ) (Q6-3-1 へ)  
 3. 手動車いすを使用している (機種名: ) (Q6-3-2 へ)

Q6-3-1. 「2. 電動車いす」と答えた方におたずねします。どのようなタイプの電動車いすをご使用ですか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 普通型    2. 簡易電動    3. リクライニング機能付    4. チルト機能付    5. チンコントロール  
 6. ハンドル型電動車いす    7. その他( )

Q6-3-2. 「3. 手動車いす」と答えた方におたずねします。どのようなタイプの手動車いすをご使用ですか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 普通型    2. チルト又はリクライニング機能付    3. 電動アシスト型  
 4. 介助用車いす    5. その他( )

Q6-4. 移乗のために利用している福祉用具や福祉機器は何ですか。該当する番号1つに○をつけて下さい。

1. 自力で可能なので機器は不要    2. 自力で可能だがスライディングボードや用具を併用  
 3. 天井走行電動リフト    4. 天井走行手動リフト    5. 床走行電動リフト    6. 床走行手動リフト  
 7. 据え置き式リフト    8. 用具や機器を使わず、介助者のサポートを受けて移乗している  
 9. 移乗用の可動式手すり    10. その他( )

Q6-5. 入浴に用いる用具や機器は何ですか。該当する番号**すべて**に○をつけて下さい。

1. 使用していない。                      2. 機械浴                      3. 移乗用リフト  
 4. シャワーチェア(車輪のないもの)   5. シャワーキャリー(車輪のあるもの)  
 6. バスボード      7. バスグリップ      8. その他(                      )

Q6-6. 次の福祉用具や機器を利用する際に問題を感じていますか。各項目に該当する問題を**すべて**下欄から  
 選び枠内の番号に○をつけて下さい。また、その他の問題がありましたら具体的にお書き下さい。

A. 就寝のために利用している福祉用具や福祉機器	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
その他(                      )	
B. 移動のために利用している福祉用具や福祉機器(車いすなど)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
その他(                      )	
C. 移乗のために利用している福祉用具や福祉機器	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
その他(                      )	
D. 入浴のために利用している福祉用具や福祉機器	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
その他(                      )	

1. 特に問題はない                      2. 体に合っていない                      3. 大きい、重い、扱いにくい  
 4. 使い方がよく分からない      5. 用具や機器の種類の情報が少ない      6. 相談できる専門家がない  
 7. メンテナンスや調整をする人がいない      8. 介助者が使い方を理解していない

Q6-7. 普段の生活で通信や連絡手段として何を利用していますか。該当する番号**すべて**に○をつけて下さい。

1. 固定電話(福祉電話を含む)                      2. 携帯電話や PHS(音声による会話、電子メールを含む)  
 3. パソコン(音声による会話, 電子メールを含む)      4. その他(                      )

Q6-8. 通信の機器について、問題があれば該当する番号**すべて**に○をつけて下さい。

1. 問題はない                      2. 操作方法が面倒、または使い方が良くわからない                      3. 使いにくい  
 4. どのような種類があるか情報が乏しい                      5. 購入や利用のための費用負担が大きい  
 6. その他(                      )

Q6-9. これまでの生活の中で、他の人に連絡を必要とするような緊急事態としてどのような事がありましたか。  
 該当する番号**すべて**に○をつけて下さい。

1. 特になし                      2. 病気                      3. けが                      4. 地震や火災などの災害  
 5. 家族の人の病気やけが                      6. ヘルパー(有料介助者)の突然のキャンセル  
 7. 福祉用具や機器の故障                      8. 停電  
 9. その他(                      )

Q6-10. 緊急時の連絡手段として該当する番号**すべて**に○をつけて下さい。

1. 電話、携帯 PHS      2. パソコン      3. 環境制御装置      4. ナースコール      5. 特になし  
 6. その他(                      )





Q7-6. あなたは公的なヘルパー派遣制度を利用していますか。

1. 利用していない (Q7-6-1 へ)                      2. 利用している (Q7-6-2 へ)

Q7-6-1. 公的なヘルパー派遣制度を利用していない方におたずねします。利用されていない理由は次のうちどれに該当しますか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 公的なヘルパー派遣制度をしなくても特に困っていない
2. 公的なヘルパー派遣制度を利用したいが利用の仕方がわからない
3. 公的なヘルパー派遣制度の利用を希望しているが行政が認めない
4. ヘルパー派遣制度の時間帯や仕事内容が希望と異なる
5. 他人を家に入れたくない、プライバシーを侵害されたくない
6. 公的なヘルパー派遣制度の利用に伴う費用を支払うのが難しい
7. その他(具体的に \_\_\_\_\_ )

Q7-6-2. 公的なヘルパー派遣制度を利用している方に制度の利用状況についておたずねします。

Q7-6-2-1. どのような制度を利用されていますか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 障害者自立支援法                      2. 介護保険                      3. 生活保護介護料
4. 労災保険介護給付                      5. その他( \_\_\_\_\_ )

Q7-6-2-2. 公的なヘルパー派遣制度について合計何時間派遣認定されていますか。

( \_\_\_\_\_ )時間/月

Q7-6-2-3. 希望通りに公的なヘルパー派遣制度を利用できるとしたら、何時間の利用を希望しますか。

( \_\_\_\_\_ )時間/月

Q7-7. 介助を必要とされている方すべてにおたずねします。あなたが充実・拡充してほしいと考える介助に関わる政策は何ですか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 介助サービスの時間数の拡大                      2. 資格を問わずヘルパーを選べるシステム
3. ヘルパーの仕事内容の制約の緩和(痰の吸引などを可能にする)
4. 自己負担額の軽減                      5. 緊急時のヘルパー派遣システム                      6. 夜間の介助派遣
7. 入浴サービス                      8. 給食サービス                      9. ショート・ステイ体制
10. その他( \_\_\_\_\_ )

## 【Q8. 外出・移動】

Q8-1. あなたの月の平均外出回数は何回ですか。

月平均 ( \_\_\_\_\_ )回

Q8-2. あなたが主に外出した先はどこですか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 学校                      2. 職場                      3. 通所施設・作業所
4. 公共施設(スポーツセンターなど)                      5. 映画等・娯楽                      6. 公園
7. 講演会・シンポジウム                      8. 病院                      9. ショッピングセンター・デパート
10. コンビニエンスストア・スーパーマーケット                      11. 市役所・役場                      12. 銀行・郵便局
13. その他( \_\_\_\_\_ )

Q8-3. 外出時の主な介助者はどなたですか。該当する番号1つに○をつけて下さい。

1. 家族
2. ボランティア
3. 友人
4. ヘルパー(有償介助者)
5. 施設職員
6. 介助は必要としない
7. その他( )

Q8-4. 日常生活で外出時の主な移動手段とは何ですか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 自家用車(運転)
2. 自家用車(他者運転)
3. 一般タクシー
4. 車いすのまま乗れるタクシー
5. NPO 団体サービス等の一般車両
6. NPO 団体サービス等の車いすのまま乗れる車両
7. 鉄道
8. 路線バス
9. 特になし(車いすによる移動がほとんど)
10. その他( )

Q8-4-1. 「自家用車(運転)」と答えた方におたずねします。運転免許はいつ取得しましたか。

1. 受傷前
2. 受傷後

Q8-5. 自動車(福祉タクシー、NPO 団体サービス)の利用しにくい点は何ですか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 運転手の態度が良くない
2. 車いすでも乗れるタクシーやNPO 団体等のサービスの数が少ない
3. 利用したい時にすぐ利用できない
4. 提供時間に制限がある
5. 利用方法がわからない
6. 天候次第で移動時間が読めない
7. 費用がかかる
8. 特に理由はなし
9. その他(具体的に )

Q8-6. 鉄道を利用しにくい点は何ですか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 階段が多くて困難
2. 鉄道車両に車いすスペースが無い(または広さが不十分)
3. 車いす用エスカレーターや階段昇降装置を利用するのに駅員を呼び出さなくてはならない
4. 使えるトイレが無い
5. 駅員や乗務員の態度が良くない
6. 混雑していて怖い
7. ホームから落ちそうで怖い
8. 自動改札でICカードが使えない
9. 駅まで車いすで行けない
10. 利用方法がわからない
11. はずかしい、見られるのがいや
12. 近くに駅がない
13. 他人に迷惑をかける
14. 費用がかかる
15. 特に理由はなし
16. その他( )

Q8-7 路線バスを利用しにくい点は何ですか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 低床バスが通っていない
2. バス停まで遠い
3. 低床バスの運行が不定期
4. 運転手が不親切
5. 乗降に時間がかかり乗客に遠慮
6. 時刻表どおりにバスが来ない
7. 複数の車いすが一度に乗れない
8. 車内の車いすスペースの広さが不十分
9. 特にない
10. その他( )

Q8-8. 移動で一番困っている点は何ですか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 移動手段の確保が困難
2. 介助者の確保が困難
3. 移動手段に関連する情報入手が困難
4. 移動にかかる経費がかさむ
5. 天候に対応できない(雨/雪)
6. 体温調節ができない
7. 排便・失禁が心配
8. その他( )

Q8-9. 過去1年の間で、片道約200km以上の長距離移動はありましたか。

( )回/年

Q8-10. 長距離移動の目的は何ですか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 旅行
2. 帰省
3. 講演会・シンポジウム等のイベント参加
4. 医療機関への入院(通院)
5. その他( )

Q8-11. 長距離移動時の移動手段は何ですか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 自家用車(運転)
2. 自家用車(他者運転)
3. NPO 団体サービス等の一般車両
4. NPO 団体サービス等の車いすのまま乗れる車両
5. 新幹線
6. 在来線特急
7. 寝台列車
8. 航空機
9. フェリー
10. 高速バス
11. その他( )

Q8-12. 長距離移動時の主な同行介助者はどなたですか。該当する番号1つに○をつけて下さい。

1. 家族
2. ボランティア
3. 友人
4. ヘルパー(有償介助者)
5. 施設職員
6. 同行介助者はいなかった
7. その他( )

Q8-13. 長距離移動の際、どのようなトラブルがありましたか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 新幹線や特急の指定券(車いす席)を購入するのにとても時間がかかる
2. 鉄道車両内で車いすスペースが狭く、車内販売等が通れなくなってしまう
3. 航空機搭乗時に車いすを手荷物で預けるため、搭乗ゲートまで行けない
4. 航空機に搭乗した際に預けた車いすに破損など取り扱いの不備があった
5. 航空機の出発時と到着時それぞれで身体状況を説明するのが面倒
6. 高速バス車内の車いすスペースが狭い(または無かった)
7. ホテル宿泊で、当事者用ルームがなかった
8. ホテル宿泊で、車いすからベッドへの移乗をホテルスタッフが対応してくれない
9. 人工呼吸器の電源(バッテリー)を維持するのに苦労した
10. 電動車いすの電源(バッテリー)を維持するのに苦労した
11. トラブルはなかった
12. その他( )

Q8-14. 公共交通機関(電車・バスなど)を利用するときに差別的な扱いを受けたことがありますか(構造的・人的対応)。該当する番号1つに○をつけて下さい。

1. 少ないが経験したことがある
2. たまにある
3. 時々ある
4. 経験がない

Q8-15. 公共交通機関利用時に差別的な扱いを受けたとき、どのように感じましたか。該当する番号1つに○をつけて下さい。

1. あまり気にならなかった
2. 傷ついた、腹が立った
3. しょうがないとあきらめた
4. 相手に抗議した
5. このようなことがなくなるよう、自分(たち)が行動しなければと思った
6. その他( )

## 【Q9. 就労】

Q9-1. 現在の状態として最も該当する番号1つに○をつけて下さい。

- (一般的な就労) 1. 経営者・役員 2. 自営業主(SOHOを含む) 3. 自営業の家族従業員  
4. 企業や団体の常勤従業員  
5. 企業や団体の臨時的雇用(パート・アルバイト・派遣社員など)  
6. 特例子会社の常勤従業員 7. 特例子会社の臨時的雇用  
8. NPO等当事者団体の常勤従業員 9. NPO等当事者団体の臨時的雇用  
10. 内職・請負
- (福祉的な就労) 11. 授産施設・福祉工場 12. 作業所
- (就労していない) 13. 家事専業(専業主婦) 14. 学生・生徒  
15. 無職で求職中 16. 無職で求職中でない
- (それ以外) 17. 他の形態 (具体的に )

(就労している方は Q9-2 へ、そうでない方は Q9-3 へ)

Q9-2. 就労されている方に就労の状況についておたずねします。

Q9-2-1. 平均して1週間に何時間ぐらい働いていますか。

( )時間/週

Q9-2-2. 就労するにあたり次のような勤務形態を利用していますか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. フレックスタイム等変形労働時間制 2. 在宅勤務 3. 短時間労働  
4. その他( )

Q9-2-3. 現在、就労について最も苦勞していることは何ですか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 特にない 2. 通勤 3. 健康上の問題(排泄などを含む)  
4. 職業的能力 5. 職場物理的環境(施設・設備) 6. 給与などの待遇  
7. 職場の人間関係 8. その他( )

Q9-3. あなたは「ハローワーク」を利用して、求職活動をしたことがありますか。

1. ある 2. ない

Q9-4. すべての方にお聞きします。あなたが就労を続けたり、新たに就労したりする上で労働環境や労働条件について改善を希望する点はありますか。該当する番号すべてに○をつけて下さい。

1. 特にない 2. 労働時間の短縮 3. フレックスタイム等変形労働時間制の導入  
4. 通勤条件の改善 5. 介助つきの就労の受け入れ 6. 在宅勤務などの勤務形態の導入  
7. 職域の拡大 8. 職業的な教育・研修の拡充 9. 就職情報の十分な提供  
10. 職場物理的環境の改善 11. 賃金の向上 12. 障害に対する偏見や無理解の解消  
13. その他( )

◆医療、福祉など、あなたが生活していく上で困っている問題がありましたら自由にお書き下さい。

本調査の報告書をご希望の方は送付先をご記入下さい。

発行は平成21年度末の予定です。当会HPにも公開予定です。  
個人情報 は 目的外使用をせず、厳重に管理致します。

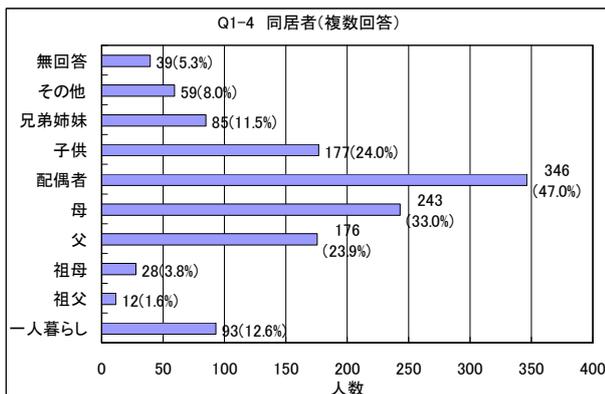
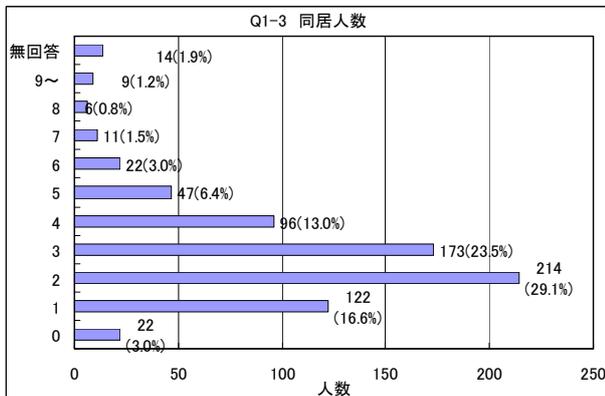
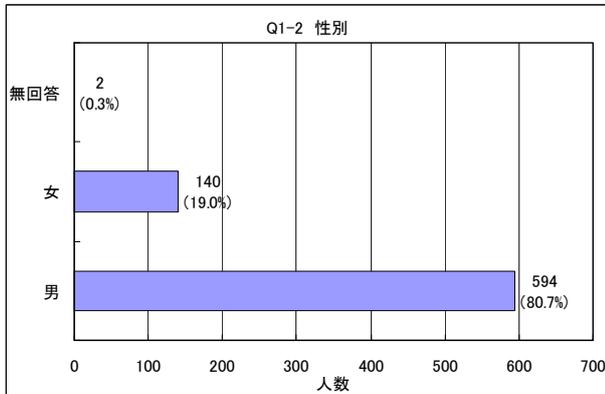
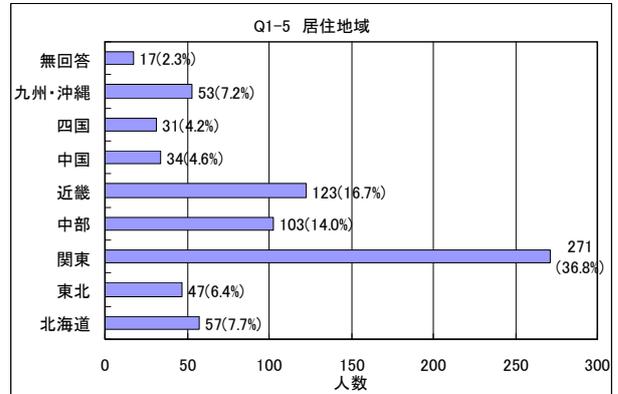
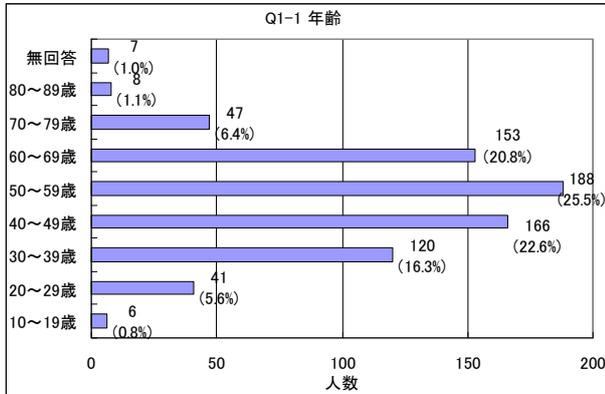
お名前

送付先住所 〒

アンケートにご協力頂きありがとうございました。

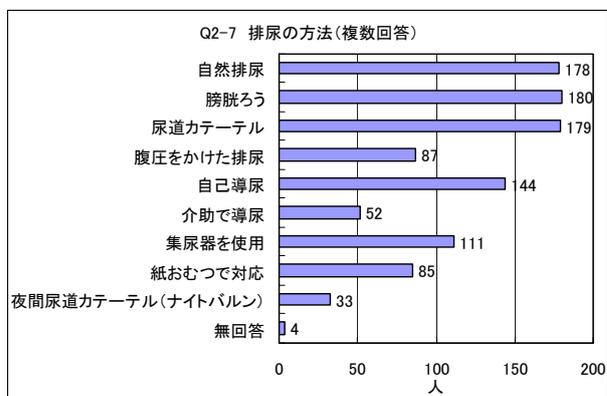
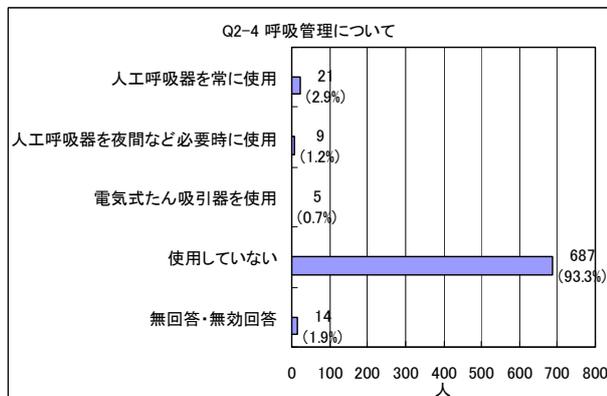
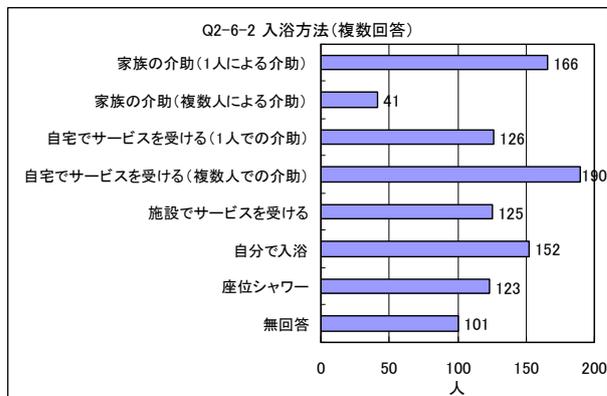
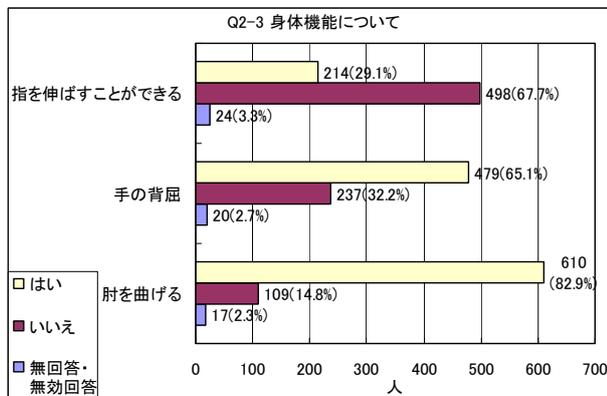
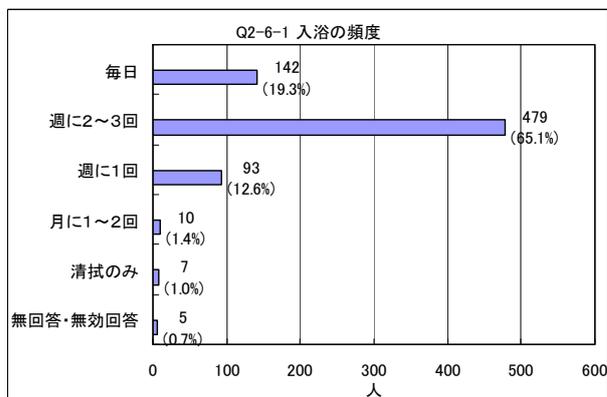
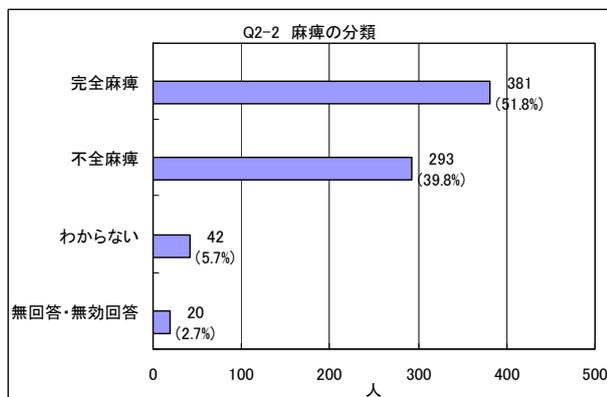
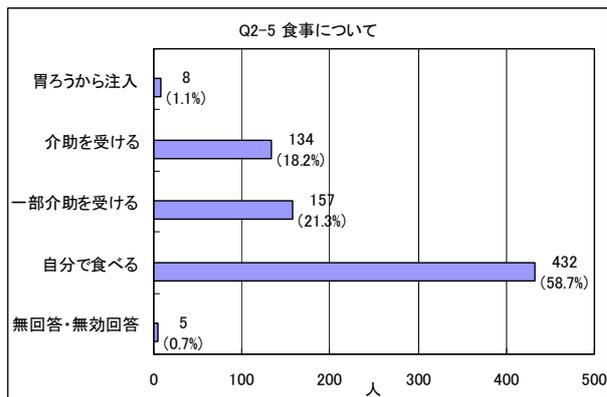
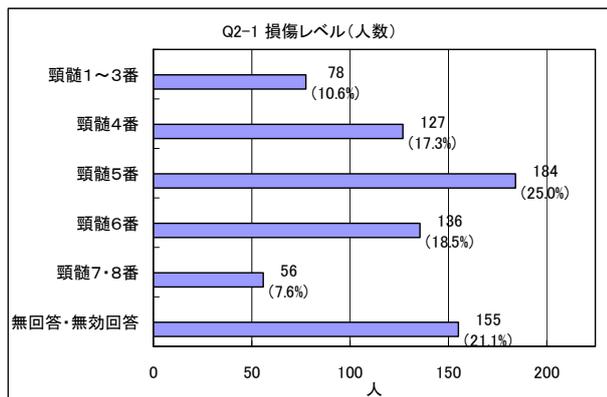
## 第2章 調査結果

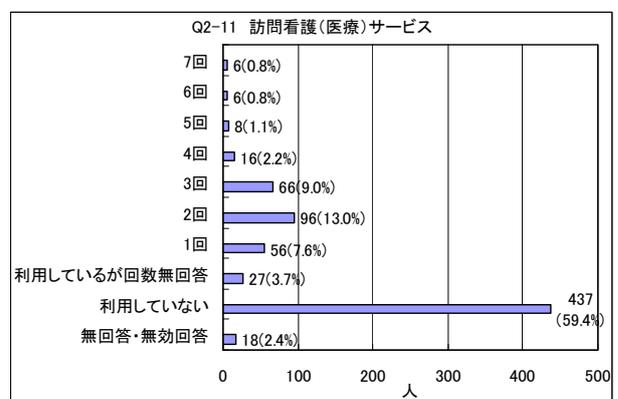
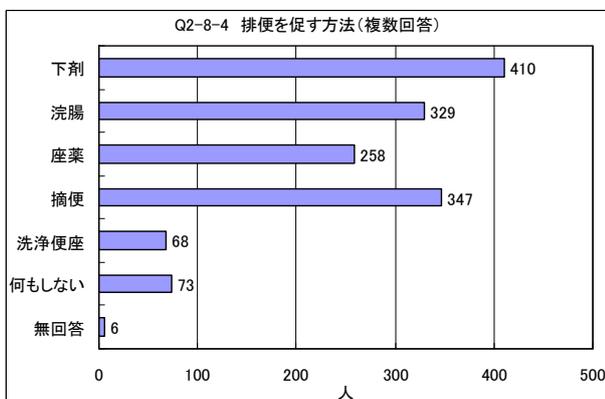
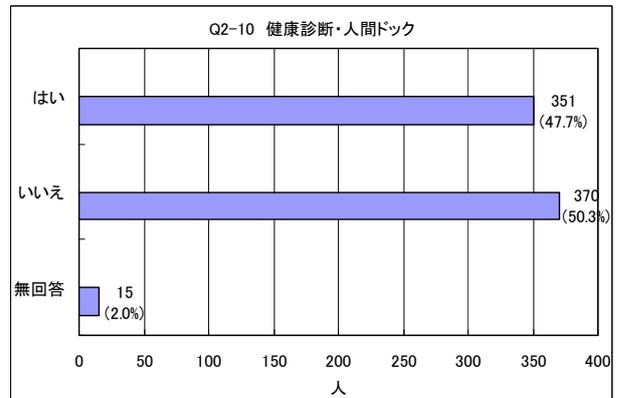
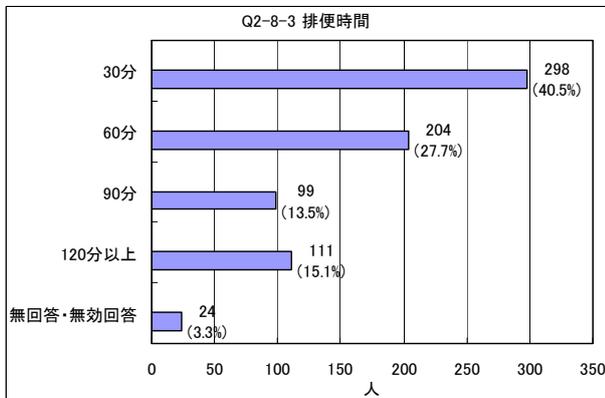
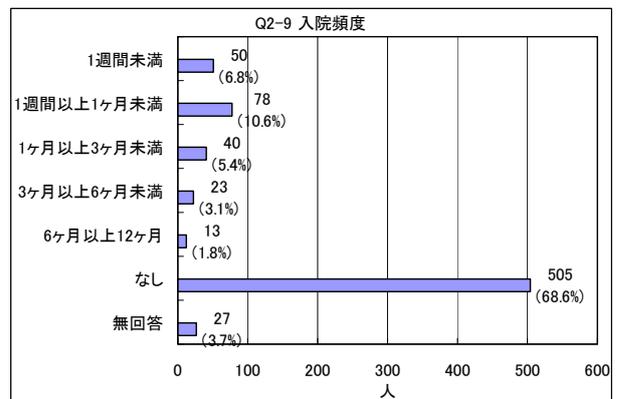
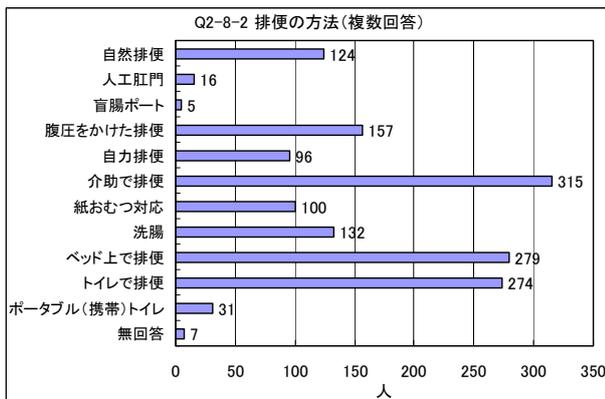
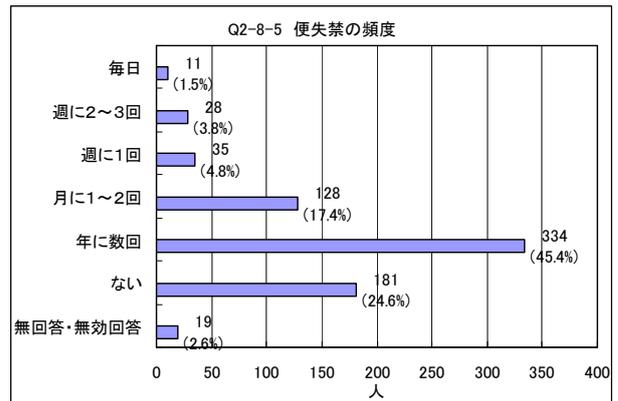
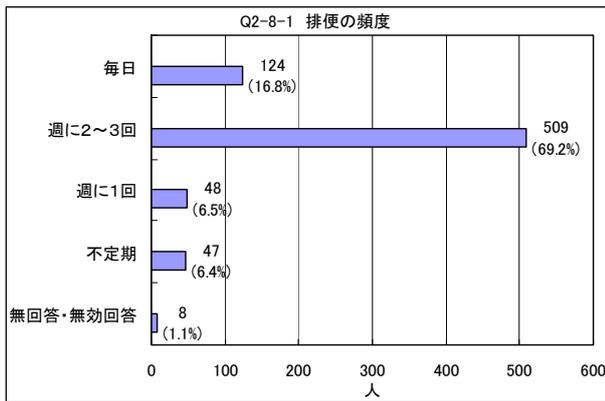
### 2-1. 個人属性

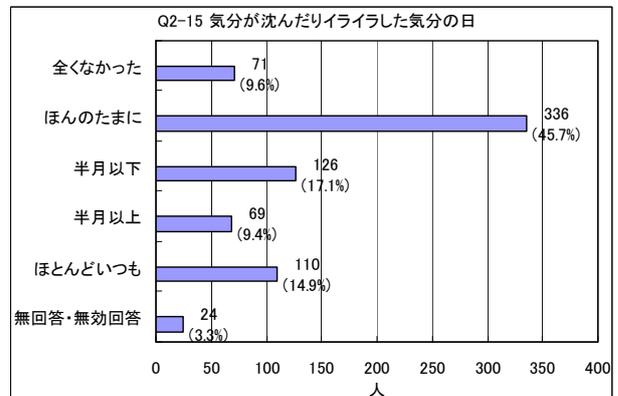
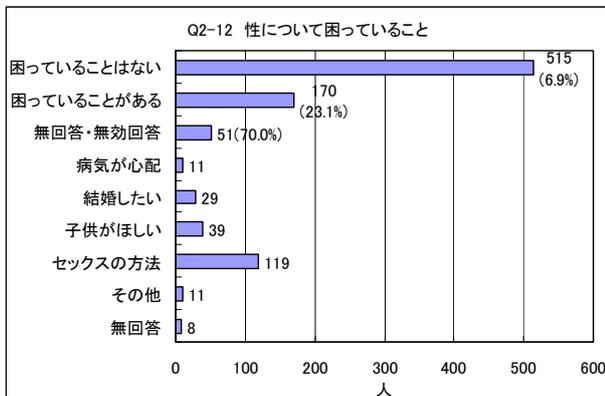
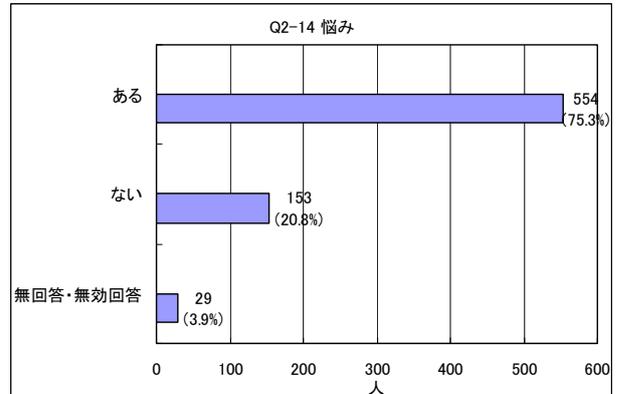
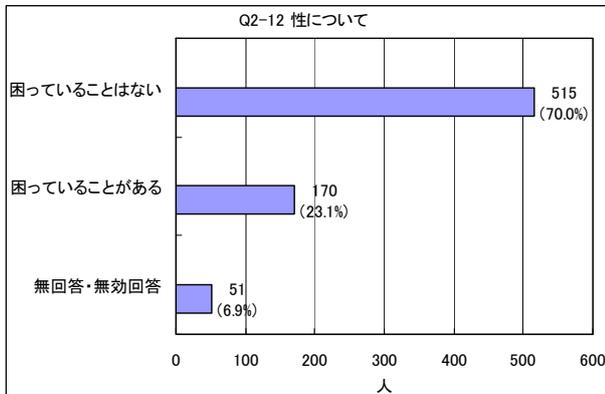
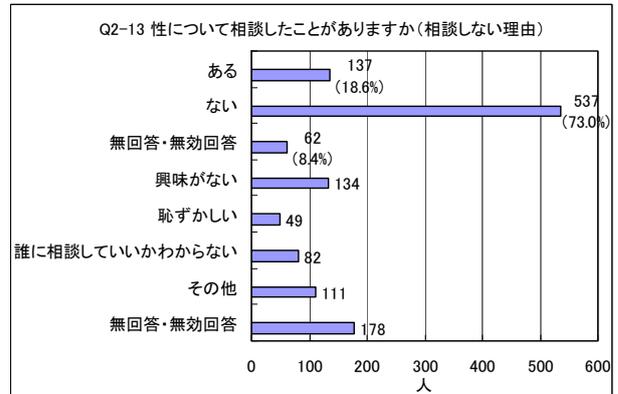
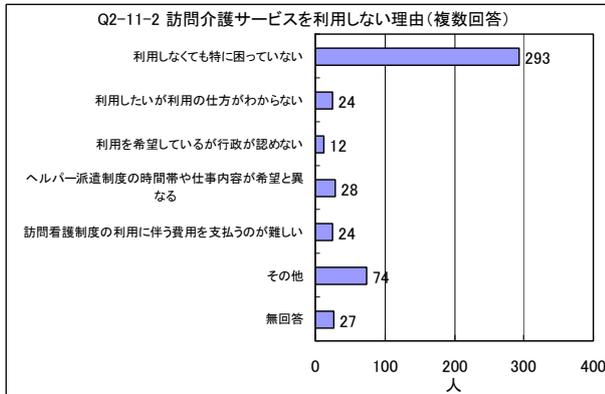
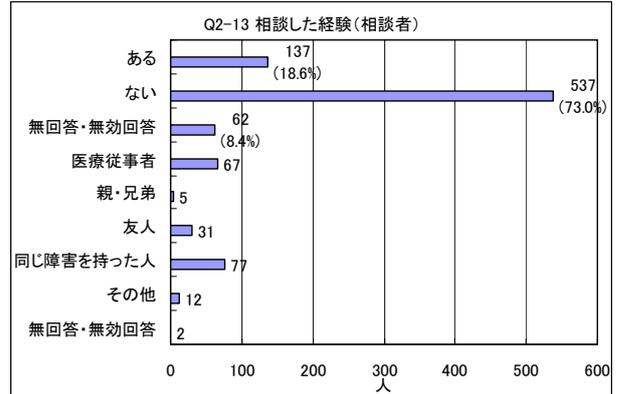
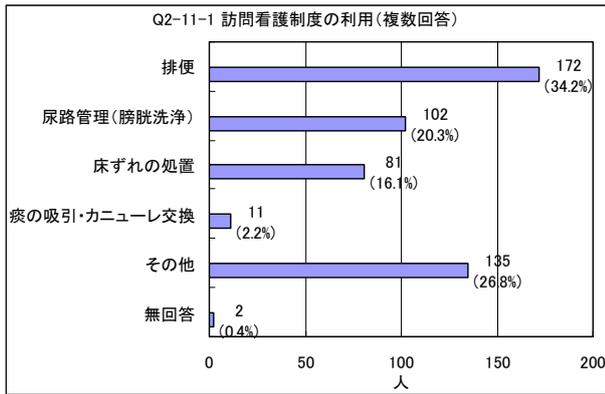


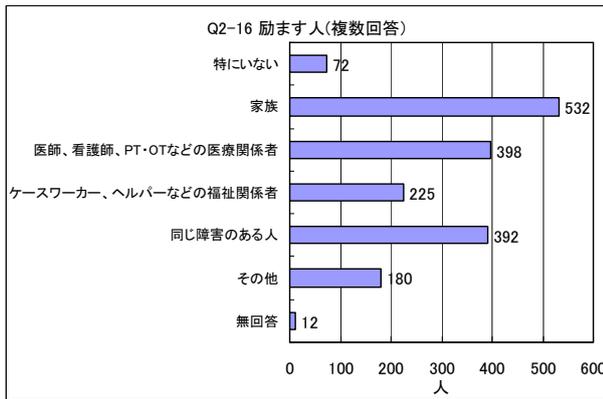
設問番号	記述内容
Q1-4	施設入所
Q1-4	孫
Q1-4	施設入居
Q1-4	姪
Q1-4	夫
Q1-4	病院に入院中
Q1-4	近所に兄弟がいる
Q1-4	めい
Q1-4	施設入居者
Q1-4	弟家族
Q1-4	妻の両親
Q1-4	施設入所
Q1-4	夫
Q1-4	叔母
Q1-4	施設
Q1-4	施設入所
Q1-4	孫3名
Q1-4	孫2人
Q1-4	孫3人
Q1-4	施設
Q1-4	施設
Q1-4	子供の夫、孫2人
Q1-4	孫2人
Q1-4	施設入所中
Q1-4	8の子供2人
Q1-4	施設に居る
Q1-4	甥
Q1-4	施設入所
Q1-4	孫
Q1-4	ヘルパー
Q1-4	子供の妻、孫3人
Q1-4	妹の家族夫と子
Q1-4	義母
Q1-4	施設入居中
Q1-4	甥
Q1-4	介助者
Q1-4	嫁孫2人
Q1-4	孫
Q1-4	兄嫁
Q1-4	孫
Q1-4	孫2人
Q1-4	友達
Q1-4	子供の嫁と孫2人
Q1-4	姪
Q1-4	施設利用者
Q1-4	義父母
Q1-4	身体障害者療護施設
Q1-4	授産施設利用者
Q1-4	姉の子
Q1-4	施設生活
Q1-4	おい
Q1-4	娘婿、孫
Q1-4	姪
Q1-4	息子家族

## 2-2. 身体状況・健康状態









設問番号	記述内容
Q2-8-6	排便による肛門の変調
Q2-8-6	出来ず半日以上かかる
Q2-8-6	仕事をしていて、アローゼット座薬を使い排便しているが、調整がむずかしい。
Q2-8-6	時間が長い
Q2-8-6	自力排便ができない。下剤がきかない。
Q2-8-6	残便感がある
Q2-8-6	酸化マグを1日5錠使用していますが昨日のニュースで副作用が報じられていたがどうなのか心配。
Q2-8-6	時間がかかりすぎる、スムーズに出ない。
Q2-8-6	便意はあるが自分で排便出来ない
Q2-8-6	痔がどうしてもできる
Q2-8-6	年に1~2回冬場に便秘になり、3時間位かけて2日間トイレに費やし、体力を消耗すること
Q2-8-6	緩下剤ですと安定していたのが2~3ヶ月前から不安定、頻便(3~5回/日)であったり便秘(1回/3~4日)となったり、薬の量をコントロールしている昨今。洗浄便座の度々使用で肛門部がピラン出血したり、悩んでいます。
Q2-8-6	ガスが溜り易くなっているし、洗腸を2本目まで出る事も多い
Q2-8-6	下剤の効き方が毎回違う
Q2-8-6	時間がかかる
Q2-8-6	生きていく上で最も大変な現象で悩んでいる
Q2-8-6	長い時間かかるのでスッキリ感がない
Q2-8-6	◎排便のあとガスがたまりやすい◎時間がかかる。◎排便の日失禁する。
Q2-8-6	薬の副作用もありお腹の張りや、痛みがある。時間がかかる
Q2-8-6	長時間腹を押す必要がある
Q2-8-6	腹圧がなく力を入れないとでなく脱こうする
Q2-8-6	看護師さんが日曜祭日が休みの時には、家族がする事になるので大変です。
Q2-8-6	時間がかかるので短縮したい。
Q2-8-6	何時出るかと心配で外出不安
Q2-8-6	突然下痢する時あり、失禁してしまうこと。
Q2-8-6	薬の量と効き目がその日によって違い、効かず、不発に終わったり効き過ぎて下痢になってしまうことがある
Q2-8-6	拭けない、残便のもれ
Q2-8-6	失禁時の対応
Q2-8-6	時間がかかる
Q2-8-6	時間が長い
Q2-8-6	がまんができないので予定しない時に便意があると失禁することがある
Q2-8-6	かんかくが無いこと。
Q2-8-6	外出した時に失便があると困る
Q2-8-6	下痢気味になるとトイレまで間に合わない。
Q2-8-6	下剤だんだん多くなる
Q2-8-6	どうしても便秘ぎみになり、便がかたくなる。
Q2-8-6	下剤量が増えてきている
Q2-8-6	両腕で体重を支えないと、便座に座わってられない。
Q2-8-6	長い間トイレに入っている8:30~12:00頃まで
Q2-8-6	時間がかかる。出血
Q2-8-6	べんひをしったりやわらかすぎたり一定していない。(乳酸菌など色々なのんで)下剤をふつうの人の3倍ののんでいるので少し下痢した時
Q2-8-6	一度コントロールが崩れると●●してしまうこと。
Q2-8-6	いつ排便があるかわからないから毎日洗腸、1人では出来ない、車椅子が入らないから。
Q2-8-6	不規則
Q2-8-6	天気の影響の動向により左右される(例えば、雨天)
Q2-8-6	時間がかかり過ぎて困っています。
Q2-8-6	介護福祉士、ヘルパーに排便がしてもらえない
Q2-8-6	時間がかかりすぎる
Q2-8-6	痔を持っているので、冬場排便と共に汗が出て、後で寒くなってしま
Q2-8-6	排便のあとから少しづつ出てくる

Q2-8-6	時間がかかりすぎる
Q2-8-6	ガスと同時に少量もれる時があるが感覚がない
Q2-8-6	下剤でうまくコントロールできない。飲まないで排便できない
Q2-8-6	下剤を飲んででもよおしてから2~3時間かかって排便がある。時間通りにでない(下剤を飲んで)
Q2-8-6	残便の失禁
Q2-8-6	固いとき
Q2-8-6	下剤を使い洗腸を使い排便しても出ない時がある
Q2-8-6	排便なので時々切れて出血する(少し)
Q2-8-6	ゲリの時(季節の変わり目)
Q2-8-6	宿便多し、ガス溜り
Q2-8-6	排便時間がながい、3H30Mくらい
Q2-8-6	外出した際に洋式トイレがないと困ります。(長時間しゃがんでられないため)
Q2-8-6	時間がかかりすぎる
Q2-8-6	排便後の便失禁が困ります
Q2-8-6	よく便秘になり、洗腸液を2本しても出ない時がある。
Q2-8-6	時間がかかる、自律神経遅延反射
Q2-8-6	残便
Q2-8-6	排便で10年以上たっているのにそれなりに慣れてるのでそれなりに困っていることはないです
Q2-8-6	下剤の調整が難しい、失禁をしよう、残便がないか不安
Q2-8-6	不定時
Q2-8-6	便がなかなか思うように出ない。
Q2-8-6	痔がひどく困っている
Q2-8-6	その時の状況では薬で調整してます
Q2-8-6	ストマが外れて困るときがある
Q2-8-6	自力では出ないためアローゼン、レシカルボン、洗腸、排便といろいろな方法で排便させています
Q2-8-6	腹痛があり一日中しんどい
Q2-8-6	洗浄便座に座ってしたいが、体を安定させる補助器がわから
Q2-8-6	自分で出すことができない
Q2-8-6	便秘で漢方薬常用、それでもすんなり出ない、残便感あり。
Q2-8-6	失禁、介助の必要性
Q2-8-6	時間がかかりすぎる
Q2-8-6	特にない、コントロールがうまくいっているの。
Q2-8-6	時間がかかりすぎ。かんたんに出ない。
Q2-8-6	完全排便が不可、残りあり。
Q2-8-6	下剤の効きが悪い、腸内に便があるのに座薬が効かない
Q2-8-6	旅に出かけられない
Q2-8-6	時間がかかる
Q2-8-6	ガスが多い。下剤(ラクソベロン)のコントロールが難しい。
Q2-8-6	おむね便秘。但し気にせず排便を促す方法をとっている。
Q2-8-6	座薬をいれる人が現在娘だけなので、他の人にもいれてもらえれば助かる
Q2-8-6	時間がかかりすぎる
Q2-8-6	洗腸の道具が生産中止になった。
Q2-8-6	下剤を飲んででも排便できない。
Q2-8-6	今年初めて便失禁あり、普段は便が柔らかいのに、排便しめく
Q2-8-6	しゅく便
Q2-8-6	一定の排便方法、回数が決まらない。その時にうまく出しきらないと後で便失禁してしまうこと。
Q2-8-6	不定期に失禁してしまう
Q2-8-6	痔で脱肛になり、一回の手術あり。
Q2-8-6	時間と回数が一定していないので外出が不安
Q2-8-6	家族に臭いがかさいと言われる
Q2-8-6	時間がかかる
Q2-8-6	時々失敗する
Q2-8-6	トイレに座って血圧が下がり気分が悪くなる事が、2~3ヶ月に一度位有。
Q2-8-6	排便の正しいやり方(終わりにするタイミング)
Q2-8-6	3日から4日位出ない時に下剤を貰い飲む
Q2-8-6	便失禁、介助者の確保
Q2-8-6	失敗することが多くて、外出時に困る
Q2-8-6	体調により排便に要する時間が異なり、日によっては、グリセリン洗腸を4~5本使用する事がある。腹圧がかかけられない為排便が完全ではなく、排便後の入浴時に残便を失禁すること
Q2-8-6	スムーズに出ない
Q2-8-6	時間が必要
Q2-8-6	下剤を飲むとはきけがするので食欲なくなる
Q2-8-6	訪問看護による排便のため、時間で、終わってしまい(1時間)せわしない。
Q2-8-6	便か尿かわからず便失禁してしまう時がある
Q2-8-6	排便時間が不定期で便意があっても時間が掛る
Q2-8-6	調整が難しくなった。
Q2-8-6	下剤をのんで出る時間が一定していないので冬場は特に寒
Q2-8-6	だっこうになりやすい。
Q2-8-6	外出中の失便
Q2-8-6	毎日出るので外出に不安(出きれない)
Q2-8-6	出るのに時間がかかり、体に負担がかかる
Q2-8-6	下剤P.O.しているため泥状便にて頻回、きれいにした後又排便
Q2-8-6	イキンでも肛門に力が入らない
Q2-8-6	所要時間
Q2-8-6	たまに出先で便失禁することがある

Q2-8-6	出にくい
Q2-8-6	事後の処理、時間を要す、不定期、空振り多し
Q2-8-6	かたんどでない
Q2-8-6	毎日同じ時間に排便が出来るよう食生活等を一定に保つ事が
Q2-8-6	時間がかかり過ぎる。
Q2-8-6	もよおすがトイレに行ってもでない。これを何回も繰り返す。トイレのある所しか出掛けられない。
Q2-8-6	ないです。いつも順調
Q2-8-6	残便がでるまで4時間かかる
Q2-8-6	時間がかかる
Q2-8-6	自由に出来ないこと。気を遣うこと。
Q2-8-6	脱肛気味
Q2-8-6	時間がかかりすぎる。訪看利用料が高つく
Q2-8-6	めまい、血圧が上がる。疲れる
Q2-8-6	腹圧をかけすぎ体調が悪くなる。排便のしすぎで肛門が痛くな
Q2-8-6	間
Q2-8-6	洗腸した時にガスが出ないので後でガスといっしょに残便が出てしまふ。
Q2-8-6	腹圧がかかる時と、かからない時がある
Q2-8-6	長い時間便に座ってられない
Q2-8-6	短時間にしてほしいので椅子に座ってほしいがいつけいせいが起
Q2-8-6	かわからないのでベッドで排便になる
Q2-8-6	できれば、トイレで排便をと思うが、タイミングや方法を思考錯
Q2-8-6	出始めてから12時間かかる
Q2-8-6	失敗した時の処理
Q2-8-6	時間がかかる。
Q2-8-6	外出時での急な排便とトイレの確保。
Q2-8-6	脊髄損傷のため自然排便はあり得ず、全く困っている。
Q2-8-6	通院、ショート、デイサービスに通っているので、入浴や介助者(施設)に負担をかけないように極力、自宅で済ませるよう又は食糧を制限する等本人はかなり気を配っていましたが、思うようにいきませんでした。(又、慣れない人に排便や介助してもらおうとすっきりしなかつたり紙おむつの当て方で不快、痛み
Q2-8-6	便失禁、肛門からの出血、ち
Q2-8-6	出血がある
Q2-8-6	洗腸液がすぐ出てしまい効果があまりない排便後スッキリしないためまだ出るのはないかという不安感がある
Q2-8-6	毎日、座薬を使用していますが排便までの時間が不規則で困っている。
Q2-8-6	脱肛・出血
Q2-8-6	長年、排便なので痔が出る。
Q2-8-6	5年前に盲腸ポートにして今の所なし。以前は2日毎に洗腸
Q2-8-6	低血圧、低血糖
Q2-8-6	時間がかかり過ぎ
Q2-8-6	いつも便意がある感覚(たまっていない)
Q2-8-6	急に行きたくなった時、出先に車いす対応トイレがない時困るがまんがでない。(1~3分くらい)
Q2-8-6	毎日弱い漢方下剤を服用しないと便が出なくなりす
Q2-8-6	下痢の時にもらす
Q2-8-6	自宅のトイレでは排便できるが外出先のトイレは乗り降りや排便がやりにくい
Q2-8-6	たえず便が出そうな感じなので出ても出なくても洗腸をしている。
Q2-8-6	コントロールが難しい
Q2-8-6	便が下がって来てない為座薬、洗腸を使用しても出せない時1日中心配で外出が出来ない事。
Q2-8-6	ペンビ、フタになってしまう4cm位のボール状
Q2-8-6	自分で座薬や洗腸が出来ない
Q2-8-6	排便の量が少々不足
Q2-8-6	自動具を使用しているのに持たない
Q2-8-6	呼吸器を使用しているので排便時は2人以上の介助が必要
Q2-8-6	方法論の確立…?(個人に任ねて…?)
Q2-8-6	2時間かけて排便をしています、全て出きったかどうかかわか
Q2-8-6	排便は固くてもやわらかくても困る、丁度いい日は少ない
Q2-8-6	宿泊時の排便
Q2-8-6	人工肛門なので、離・脱着、後しまつなどが出来ないことで
Q2-8-6	時間がかかること、便が出きった感がわからない。
Q2-8-6	自己コントロールが難しい
Q2-8-6	旅行に行くことでなくなる
Q2-8-6	下剤の調節が難しい。時間も不規則で不安がある。
Q2-8-6	洗腸を自分で出来ない。排便後の痛み(腸)
Q2-8-6	人工肛門などで装置が高い
Q2-8-6	もよおしてから時間が少ない
Q2-8-6	ヘルパーが排便できない(医療行為のため)ため、排便日以外に失便した時
Q2-8-6	時間がかかる
Q2-8-6	便がかたい
Q2-8-6	介助がなければ排便ができないので、その介護者の母が倒
Q2-8-6	排便のとき血がでるときがある
Q2-8-6	便が出にくく、腸がふくれたまま(おならがたまつて)
Q2-8-6	時間がかかる。
Q2-8-6	便いを感じないので、よく失敗します。確実に排便時期を知る方法があればおしえて下さい。
Q2-8-6	時々硬くなって出にくくなる
Q2-8-6	肛門がスギンタックになっている。看護師が下手なのでお尻が

Q2-8-6	下剤を使用するので、突然くる
Q2-8-6	手、指のしびれによる不便
Q2-8-6	何時排便するか、訳らない
Q2-8-6	時間が長すぎる。
Q2-8-6	自分で薬を入れられない。洗腸
Q2-8-6	S61からH18まで母に排便をしてもらっていた。H17にセキ損センターに入院したが、排便は自立しなかった。座薬挿入器を使って、座薬は入れることができるようになった。後のチェックは看護師さんにしてもらっていた。退院して半年たったとき、自分で指が入れられない(指の力が弱い)ので、何か良い方法とを考え、ゼブラハイブリッドボールペンの反対側を肛門に入れて指のかわりをして今は99%うまくいっています。ちょうど1年になりました。それまでは、母が死んだ後は訪問看護ですのかな、と心配していました。しかし、握力0の私でもできるようにになりました。みんなにこの事例がお役に立てばと思います
Q2-8-6	排便予定日は、行動が制約される。外出時心配
Q2-8-6	トイレ便座で介助で排便したいが介助者の腰に負担がかからない構造の便座があるかどうか分からない。便座での排便方法の例を知って、実践したい。
Q2-8-6	自分でトイレに行きたいですでもむりです
Q2-8-6	ちが悪く、出血する。
Q2-8-6	ケイセイが強く肛門が開まる
Q2-8-6	一度で出す必ず2度になる
Q2-8-6	不定期でコントロールできない
Q2-8-6	受傷後、便秘で悩んでいます。現在は定期的に通院している病院より、薬を頂いているので一週間に一回程下剤を使用して排便しています。
Q2-8-6	洗腸を何本も使用して排便しているのですが終わったと思って風呂に入った時(排便の後に入浴)に洗腸液の残りのようなやわらかい便が出ることでときどきある。
Q2-8-6	排便の日は2~3回出るのでも出かけられないし友達の訪問も控えてもらっている。
Q2-8-6	下剤を飲むと気分が最悪胸間が痛い吐気がしてくる。食事によっても違いがあり
Q2-8-6	なかなか出ない。
Q2-8-6	排便
Q2-8-6	週2回の便出日に全く出なかったり、思いがけない時(一人にいる時)に下痢便になり失便したりでコントロールがうまくいか
Q2-8-6	時間がかかる
Q2-8-6	排便コントロールが難しい。便秘になりやすい
Q2-8-6	予定していた日に出ないことがある。
Q2-8-6	時間がかかるので朝など家族で1つしかないトイレなので迷惑をかける。排便に疲れる。排尿も導尿回数が8~10日/1日と多く疲れる(精神的に)24時間尿もれパットをしているのでわず
Q2-8-6	外出時に洋式便座が無い時困る。
Q2-8-6	体調不良時には出ず、食事に常に気を配っている。
Q2-8-6	洗腸を何本も使わなければ全部出しきれず困っています。(前日に下剤を飲み排便の2時間前に座薬を挿入します)
Q2-8-6	年々困難になって来ている
Q2-8-6	年に2~3回腸へいそくにかかります。
Q2-8-6	洗腸と排便を必ずするので、肛門の管理が大変です、すぐ「ジ」になりやすい。又前日には下剤を少し多量に飲むのも大
Q2-8-6	量が減ってきた(便の)
Q2-8-6	時間がかかる。出が悪いときがある。
Q2-8-6	便の前夜に下剤を飲んで当日洗腸と排便で出す。受傷してずっとこの方法でやっていたのがここ一年程前から下剤を飲んで居ないのに便が出る場合が時々ある。こうなれば外出もフロも出来ないのもストレスがいつぱいたまる
Q2-8-6	自動具が壊れると替えがないので困る。
Q2-8-6	排便をしてくれる人に対する研修(なれるのに時間がかかるコトがある)
Q2-8-6	自分でダッコウひっこめることができない
Q2-8-6	おしめよりもれる事がありシーツなどを汚す
Q2-8-6	下剤がきいていない事がある。
Q2-8-6	排便のやり過ぎで脱肛。
Q2-8-6	下腹に力が入らないため排便は大変
Q2-8-6	時間がかかる、疲れる。汗が大量に出るときは寒くて困る
Q2-8-6	腸の機能が低下しているため便がでにくい。
Q2-8-6	時間(出る)が決まっていなくて困る。たまに何度も便失禁が
Q2-8-6	今は平気
Q2-8-6	洗腸が2本以上は使う、3回位に排便があるため。
Q2-8-6	排便が出る時と出ない時があること
Q2-8-6	気温季節によって下剤のコントロールが必要
Q2-8-6	排便はしたくないが、座薬、腹圧、マッサージで、でなければ、排便になってしまうこと。
Q2-8-6	腹圧をかけるため、身体を受け止める器具が必要となる。※ちなみに自身は四肢不全麻痺である。
Q2-8-6	でない
Q2-8-6	出血することが多い。けいせいによって出にくいことが多い。排便終了後、半日位、でたい感覚が残るので半日位は食事や飲水ができない。
Q2-8-6	人工肛門にしたのですが便の処理、パウチの交換がなかなかできない
Q2-8-6	排便後の残便があるような違和感

Q2-8-6	便意を催しても我慢できず、自分でズボン・パンツの脱着ができないため失禁に到る
Q2-8-6	時間がかかること、便失禁の不安
Q2-8-6	時間がかかること
Q2-8-6	痔
Q2-8-6	就業したくても突然の失便が不安でどうしても外に働きに出るのが怖い。
Q2-8-6	必ず介助の手が必要なこと
Q2-8-6	他の疾病にて入院した際、頸髄損傷者等の排便に精通していない病棟であり、排便が不適切にて着しい便秘、腹部暴満感
Q2-8-6	2泊以上の旅行などの対応
Q2-8-6	旅先でまだ排便法が確立できていないため3泊以上の旅行ができない
Q2-8-6	失禁が恐いので念入りに排便するが、時間が掛かりすぎる。
Q2-8-6	利用しやすい便座が限られているため、外出時に困る。
Q2-8-6	血圧変動
Q2-8-6	少ないといえ、失便があるので良い対処法が無いからかして
Q2-8-6	失禁があること、軟便になると対応が難しいこと、自律神経過
Q2-8-6	時間がかかる
Q2-8-6	便失禁時にすぐ清拭できるとは限らない。排便をできる人が少
Q2-8-6	便失禁があること
Q2-8-6	排便に時間がかかり、排便などで肛門に刺激を与えるため、痔に悩んでいます。
Q2-8-6	排便できない時は気持ちが悪い、排便できてもすっきりしない
Q2-8-6	便器はウォッシュレットの付いたものでなければ介助が必要
Q2-8-6	排便の後にシャワー浴がしたいが現状ではそこまで介護事業所の余裕が無い
Q2-8-6	私はかなり過神経反射・内臓反射がひどく、常時、痛みも苦しみも感じるので、どうしても時間がかかってしまう排便時が一番辛いです。介助スタッフも足りませんが、排便が医療行為とされていることもあり、老母が通いで担当してくれています。いろんな意味で、排泄が一番、理解しては貰えない苦痛があるよう
Q2-8-6	外出時の失便
Q2-8-6	祝祭休日に排便日が重なること休日加算で割高になる。3割負担はきつい。体調により、かなり差がある。大変疲れる。冬は
Q2-8-6	ストマの為ガスなどがたまること、たまに家族から臭いとクレー
Q2-8-6	下剤を飲んで出ても全部でないで、残りが夜か明日なのかいつ出るかわからない。便意があると発汗があり、体が寒くなり、動くのがいやになる。
Q2-8-6	時間がかかる。出にくい場合がある。長時間の側臥位は疲れ
Q2-8-6	臭気が気になる一週間に一回苦情が来る。排便の手技が未熟、乱暴な場合に腸を傷つけて出血することがある。著しい体力の消耗で排便日は座車が困難
Q2-8-6	時間が掛かる
Q2-8-6	体温調整が聞かない季節、食べ物によって出禁、排便が多い、痔に成り易い為出血する
Q2-8-6	下剤と洗腸を使用すると出る時がわからない。
Q2-8-6	水状の時
Q2-8-6	下痢をした時の処理がやりにくい。
Q2-8-6	急げないので急にもおおよした時間に合わなかったことがあって、外出時だったらと思うとこわいです
Q2-8-6	便がかた
Q2-8-6	便が肛門まで降りる場合と、そうでない場合がある。排便中、腸の奥にある便が出しづらい。
Q2-8-6	長時間かかる。出ない。
Q2-8-6	便失禁が心配で、週2日の排便後(午前中)は、予定を入れられない。
Q2-8-6	冷や汗が出る。便が下りにくい日がある(薬服用時など)
Q2-8-6	洋式で洗浄付きでなければ小、大便ができない。
Q2-8-6	便器にのるのが大変である。
Q2-8-6	年に1回程度の便失禁ですが、外出時に便失禁をするかもしれないという恐怖感が時々ある。
Q2-8-6	一人でできない
Q2-8-6	時間が長い、下剤の効き方が遅い、残便感が多々あり、早く終了する事が出来ない、ガスがたまると、盲腸ポートの事で悩んでいる。
Q2-8-6	失禁が分からない(本人に)。毎日排便していても失禁がある
Q2-8-6	急に便意がくることある。外出先では困る
Q2-8-6	学校などで便を我慢するので(時間がかかる為)便秘が慢性化している事。
Q2-8-6	時間がかかる
Q2-8-6	便が固くなった時、出にくい。腹をたたくので疲れる
Q2-8-6	座薬を入れてガマンできないと出てしまう。
Q2-8-6	しくべんがある
Q2-8-6	残便感がある
Q2-8-6	どのくらい排便(量)すればいいのかわからない
Q2-8-6	自力で出来ないで洗腸で引っぱり出す、多いときは10本位
Q2-8-6	肛門からの出血。医療行為(排便)のためヘルパーができて
Q2-8-6	昔訪問看護に下剤をかけてくれるといわれてかかると下痢になり、その後の処理に来不及で苦しい事がある。又、下痢は水や食事を取ると止まらなくなり大分たつて早めのセイロガンを飲んでその日、水分食事をひかえると治る事を知る。
Q2-8-6	時間がかかる。失禁が不安。
Q2-8-6	ウォッシュレットのトイレがあれば自分にあうトイレ
Q2-8-6	たまに失禁する

Q2-8-6	天井走行リフトに吊り下がらないと出来ません
Q2-8-6	出にくく時間がかかる。下剤の効果があまりない。
Q2-8-6	機械ではないので定期的になかなか出にくい。軟便、硬い便、残便で調節しにくい
Q2-8-6	時間がかかる
Q2-8-6	慢性の便秘
Q2-8-6	排便時、ベッド上で向き姿勢で行います。腰の下に褥そう予防のクッションを当ててビニールシートと新聞などを敷いて行いますが、母が高齢なのでその支度が難しい。
Q2-8-6	時間がかかる。
Q2-8-6	外出時の便失禁、排便前後の過反射
Q2-8-6	時間がかかるので起立性低血圧がひどくなる
Q2-8-6	時間がかかりすぎる4~5時間
Q2-8-6	1回の排便に時間がかかり、夫婦とも身体的な負担が大きい。括約筋の緊張が強くなる。ゆるむまで20分以上かかること
Q2-8-6	痔ろうがで排便時出血ある。
Q2-8-6	ベッドからポータブルにうつるのに大変です
Q2-8-6	便秘で出にくい
Q2-8-6	日によって出方が違うので?
Q2-8-6	便秘、腹部ぼう満
Q2-8-6	時間がかかりすぎる。
Q2-8-6	いつ便意をもよおすか判らないこと
Q2-8-6	自分で排便、かんかかかない。
Q2-8-6	排便をすませてから数時間以内に粘液の混った追加便が出る
Q2-8-6	ことがある。…月に1~2回程度
Q2-8-6	便秘(出ない)
Q2-8-6	お腹ははてるのになかなか出ない時あり
Q2-8-6	コントロール不可
Q2-8-6	トイレまで車椅子、介助が必要
Q2-8-6	胆のう摘出(昨11月)後、数ヶ月軟便でよかったが、その後1日おきになりガスも出がわるく、腸の動きが悪く、大変だったので先生に相談、胃も調子悪くてマックメット1日3回のむようになり、排便が大分改善(軟便に近い)
Q2-8-6	排便に要する時間がバラバラで、時間が気になり焦る(訪看
Q2-8-6	ナースに在宅訪問してもらい、家族がお腹をマッサージや、体を横に向けて押すのですが、それが力が入り、大変です。
Q2-8-6	今現在は特に無いです。
Q2-8-6	げりなどで急に出ることがあり、自分では処理できないので常にそうした状況がおこらないか不安な気持ちがある
Q2-8-6	座薬してから時間がかかる
Q2-8-6	ヘルパーでは介助できないことが大変
Q2-8-6	長時間息んでいる為、性器脱になりつつあるように思われる
Q2-8-6	座薬があげづらい
Q2-8-6	洗腸を週5~6回、1本~2本使用していますが副作用はありませんか
Q2-8-6	座薬で、定期的に出ているので、今のところ困っていない。
Q2-8-6	信号がない
Q2-8-6	時間がかかる。時々失禁がある。
Q2-8-6	発汗が止まらず、すぐにとれない。
Q2-8-6	ガスが出にくくこれが原因でか、時折腸が痛くなる。
Q2-8-6	腹圧がうまくかけられない。
Q2-8-6	いろいろな薬を使っても時間がかかる
Q2-8-6	月水金で排便する事にしているがなかなかきまらずほとんど毎日見えています
Q2-8-6	下剤、排便、腹圧、洗腸後出ていない時、水様便になり、失禁しやすくなり、失禁してしまうと、ヘルパーさんを呼ばなければならず、すぐに後始末ができない。外出時に失禁すると、家まで帰ってヘルパーさんを呼ぶことになります。
Q2-8-6	便が出にくく時間がかかる。てき洗腸で出血。
Q2-8-6	痔、排泄に携われる介護人の不足
Q2-8-6	ベッド上で排便により行っているが、時間が掛かるのが困る。
Q2-8-6	痔が出る。(排便痔)
Q2-8-6	先日入院してから常に(日に3~4回)失禁(少量)するようになった
Q2-8-6	便秘したり下痢したりする
Q2-8-6	時間がかかる
Q2-8-6	排便時間が長い
Q2-8-6	時間がかかる。下剤(酸化マグネシウム)や整腸剤(パントミン)が手離せないこと
Q2-8-6	毎回の排便で痔が悪化した。
Q2-8-6	便の出るのが不定期であること
Q2-8-6	便失禁が夜中や早朝になる事がある。
Q2-8-6	便終了に、2-3時間を要し、介護者(9:00-12:00頃にかけて週3回実施しているが、出ない場合には再度、夕方家族で実施!)も何より本人が疲れてしまう(途中での痙攣発生貧血したいのに、出せない。いつも常に便意があつて困る。
Q2-8-6	不定期に出る場合、訪問看護が対応できていない
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	つめ
Q2-11-1	入浴、血圧、ヒフ処置
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	血糖値等の管理
Q2-11-1	血圧、入浴

Q2-11-1	リハビリ
Q2-11-1	家事援助
Q2-11-1	お風呂、全身管理
Q2-11-1	入浴介助
Q2-11-1	相談
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	脱肛処置
Q2-11-1	洗髪、入浴介助ジョイト(呼吸器管理)歯磨き、食事介助、内服介助、更衣
Q2-11-1	リハビリ
Q2-11-1	バイタルチェック、移動介助マッサージ
Q2-11-1	薬、リハビリ
Q2-11-1	入浴介助
Q2-11-1	洗髪洗顔
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	点滴
Q2-11-1	ガス出しの時の流湯
Q2-11-1	入浴サービス
Q2-11-1	入浴、相談したり
Q2-11-1	風呂
Q2-11-1	入浴介助
Q2-11-1	ストマ管理
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	ヒフ管理など
Q2-11-1	ストレッチ、etc
Q2-11-1	お風呂
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	カテーテルが抜けた場合、対処してもらう。
Q2-11-1	身体に関するもの
Q2-11-1	シーツ交換、皮膚炎の処置
Q2-11-1	呼吸器の洗浄セット
Q2-11-1	リハビリ
Q2-11-1	体の拭取り外
Q2-11-1	相談相手
Q2-11-1	リハビリ
Q2-11-1	リハビリ、入浴
Q2-11-1	関節リハビリ
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	導尿
Q2-11-1	健康管理について指導を受ける
Q2-11-1	入浴介助
Q2-11-1	入浴介助
Q2-11-1	リハビリ
Q2-11-1	お風呂介助、導尿
Q2-11-1	足浴
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	皮膚管理、つめ切り
Q2-11-1	入浴介助、全身観察
Q2-11-1	健康チェック、清拭等、マッサージ
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	ストマー
Q2-11-1	ガーゼ交換、入浴介助
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	リハビリ
Q2-11-1	施設入所中
Q2-11-1	リハビリ毎日
Q2-11-1	掃除
Q2-11-1	健康管理
Q2-11-1	体調管理
Q2-11-1	胃ろうの管理、入浴の手伝い
Q2-11-1	カテーテル交換
Q2-11-1	定期的体調管理、内、外薬処方等訪問医療制度の利用の
Q2-11-1	バイタルチェックのみ
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	朝起こしてもらう夕方ねかせてもらう
Q2-11-1	バルーン交換
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	アロママッサージ
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	入浴、薬剤管理
Q2-11-1	通院、車イス、ヘルパー
Q2-11-1	PTIによる訪問リハビリ
Q2-11-1	カテーテル
Q2-11-1	リハビリ
Q2-11-1	シャワー浴、OTリハビリ
Q2-11-1	リハビリ、車いす乗車
Q2-11-1	皮フトラブルの処置
Q2-11-1	フロ
Q2-11-1	入浴介助
Q2-11-1	バイタルチェック
Q2-11-1	健康管理
Q2-11-1	内科
Q2-11-1	風呂
Q2-11-1	風呂、健康管理

Q2-11-1	導尿
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	内科医、診察(月1回)
Q2-11-1	リハビリ
Q2-11-1	カテーテル交換、リハ
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	検温、血圧チェック
Q2-11-1	拘縮予防とリハビリ、移乗などの動作の確認
Q2-11-1	入浴・リハビリ⇄車椅子移乗
Q2-11-1	マッサージ
Q2-11-1	カテーテルの交換
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	入浴介助
Q2-11-1	リハビリテーション
Q2-11-1	健康管理と入浴
Q2-11-1	膀胱ろうのカテーテル交換、手足マッサージ
Q2-11-1	清拭
Q2-11-1	カテーテル交換
Q2-11-1	リハビリ、入浴
Q2-11-1	身体状況のかんさつ
Q2-11-1	導尿
Q2-11-1	血圧、ガーゼ交換
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	家での入浴の際のカテーテルの管理(体調の有無(お風呂可能か?))
Q2-11-1	入浴介助
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	リハビリ
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	リハビリ
Q2-11-1	リハビリ
Q2-11-1	爪切り、皮膚病などの処置
Q2-11-1	ストレッチ及び診断
Q2-11-1	爪切り
Q2-11-1	入浴介助
Q2-11-1	清拭、get up、go to bed
Q2-11-1	入浴
Q2-11-1	体調管理
Q2-11-1	リハビリ、入浴介助
Q2-11-1	シャワー入浴
Q2-11-1	リハビリ
Q2-11-1	カテーテルの導尿
Q2-11-2	最近利用した方が良かった考慮中
Q2-11-2	施設入所しているため
Q2-11-2	同居している家族の反対
Q2-11-2	施設に入っているため
Q2-11-2	配偶者がいるため
Q2-11-2	入院中
Q2-11-2	家事援助で週2回(月・木)ヘルパーは利用している。19時間
Q2-11-2	施設入所
Q2-11-2	両親がいるから
Q2-11-2	移動支援を使って病院へ行っている。
Q2-11-2	入院中
Q2-11-2	施設入所しておりクリニックがある。
Q2-11-2	施設利用しているから
Q2-11-2	家族が反対
Q2-11-2	家族の協力を得ている
Q2-11-2	自己で色々注意したり、訓練を行っている。
Q2-11-2	施設に入っている為
Q2-11-2	家内(妻)
Q2-11-2	施設に入所しているため
Q2-11-2	施設入所なので必要なし
Q2-11-2	今は先がどうなるかわからないので使っていない
Q2-11-2	妻が面倒をしてくれる
Q2-11-2	必要としていない
Q2-11-2	週2回病院へ送迎してもらい、リハを兼ねて
Q2-11-2	施設入所しているから
Q2-11-2	希望に合う訪問看護を探している。
Q2-11-2	必要な時は家族にやってもらう。
Q2-11-2	施設入所
Q2-11-2	妻の介助
Q2-11-2	施設入所
Q2-11-2	家族が介護してくれる
Q2-11-2	利用したいが書類の診査がめんどうだ。
Q2-11-2	母ががんばってくれている
Q2-11-2	利用の出きる障害がどのてい度から利用できるかわからない
Q2-11-2	本人がいやがる
Q2-11-2	施設入所中
Q2-11-2	家族だより
Q2-11-2	入所中のため
Q2-11-2	親に介護等を頼んでいるので
Q2-11-2	もう少し体が弱ったら、利用したいと思っています。
Q2-11-2	施設入居中です

Q2-11-2	流腸家族がしている
Q2-11-2	可能な限り頑張りたい
Q2-11-2	プライバシーを守りたい
Q2-11-2	母が看護師で、訪問看護をしていた。
Q2-11-2	デイサービスで対応
Q2-11-2	訪問看護制度自体が使いにくい。(時間であったり、縛りで
Q2-11-2	デイサービスでの利用
Q2-11-2	施設入所にて、完全介護を受けている為。
Q2-11-2	着衣、寝具等を汚される、作業が雑
Q2-11-2	自分は医師だから
Q2-11-2	家庭の都合により(一年半位前までは週一回で利用していた)
Q2-11-2	いまの所家族の介護で間に合っている。
Q2-11-2	生活の時間が一般的な人と違う
Q2-11-2	施設在住のため
Q2-11-2	訪問看護の派遣時間や曜日が限定されていて使えない。
Q2-11-2	以前排便での利用を希望したが、看護師が少ないため摘便が すぐにできる状態で待機して居るとのこと。すぐに出るとも限ら ないし、摘便だけでなく車いす～車いす移乗まで見て貰えない のなら…とあってその後とも依頼はしていない。
Q2-11-2	将来、利用しなければならなくなる可能性は十分にあります。
Q2-11-2	訪看さんが足りない。地域に頼損者自体が殆どいないので、 どこまで頼めるのかわからない。費用も含めて時間等の調整 ができない。まずは介助スタッフ確保、安定した介助体制づく りが急務の現状である。
Q2-11-2	施設併設の診療部を利用している
Q2-11-2	施設に入所しているため
Q2-11-2	施設内ですべてしてくれる。
Q2-11-2	施設に入所しているため
Q2-11-2	人の出入りが多く、精神的に疲れたため(断った)
Q2-11-2	とりあえず現状は家族で対応できる。
Q2-11-2	医療介護が時々必要なので心配で施設生活から抜け出せら 利用したいが、定員がいっぱい
Q2-11-2	今後の利用について、今考えているところ。利用する予定。
Q2-11-2	施設に看こ師が居る。
Q2-11-2	週に1度、病院へ娘が連れていく
Q2-11-2	利用したいが、両親が自分達でいけると、聞かない。
Q2-11-2	ある程度自分でできる。困った時は妻に手を貸してもらって 妻が看護師のため、その処置で間に合っている。
Q2-11-2	施設
Q2-11-2	施設利用
Q2-12	スキンシップもたまには欲求があるが難かしい
Q2-12	ED
Q2-12	気持ちよくなれない
Q2-12	したい
Q2-12	友達に異性がいれればいいと思う
Q2-12	痛いのでしたくない
Q2-12	感覚が鈍くなったため、あまり感じない
Q2-12	子供がほしいと思うけどどこか、何かが、心配になる。
Q2-12	年齢が上だから
Q2-12	まだ若い方が射精が出来ず、ほつきも厳しく性がうまくいかない。 今は子供作りの為手術したり電気パイプを行ったりしている。
Q2-12	ED
Q2-12	現在の体力の維持
Q2-12	インポ
Q2-12	手段が機会がない
Q2-12	適当に女性がしてくれる
Q2-12	常時一日に尿とリパッド5まいの尿もれがある。股間のマヒが 少しある。
Q2-12	困ってはいるが、この先を考えるとさびしい
Q2-12	相手が応じない
Q2-12	言えない
Q2-12	相手がなかなかいません。
Q2-12	方向性が定まらない
Q2-12	機能が果たせない
Q2-12	オナニーできない
Q2-12	E/D
Q2-12	妻が相手をしてくれないので他の人が欲しい。
Q2-12	マヒの為感じない。
Q2-12	老人
Q2-12	妻がいないので性的には大変淋しい
Q2-12	女性の膣内でほつきしない、感覚がない
Q2-12	ED
Q2-12	足の感覚が鈍く、うまくできない。
Q2-12	セックスレスです、主人は求めますが私は嫌です
Q2-12	不能
Q2-12	小生はあきらめている
Q2-12	妻を十分に満足させてあげることができない
Q2-12	勃起はするけど、持続力がなくて、お互いに満足できない
Q2-12	疲れる
Q2-12	困っているというより、皆さんのような異性との関わり方 (セックスまでいかなくても)しているのか知りたい。
Q2-12	自分はいいが妻が…
Q2-12	異性の体は知れた
Q2-12	排泄、生理時の異性介助＝理解不足で配慮に欠ける
Q2-12	配偶者が応じない

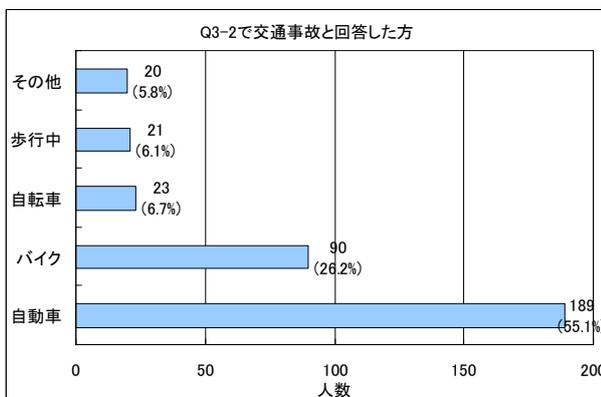
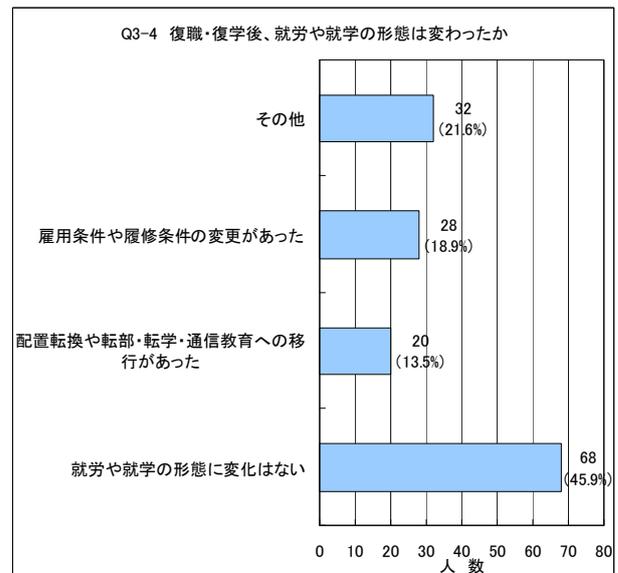
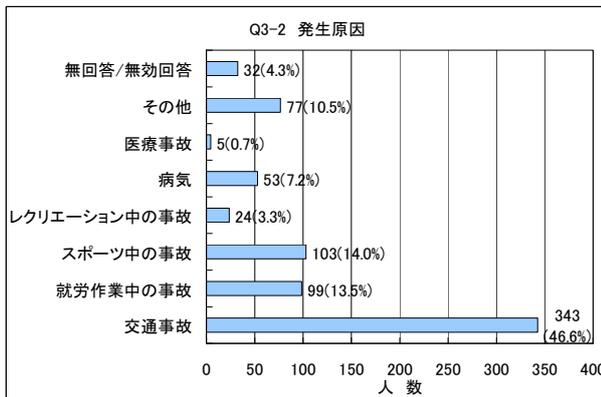
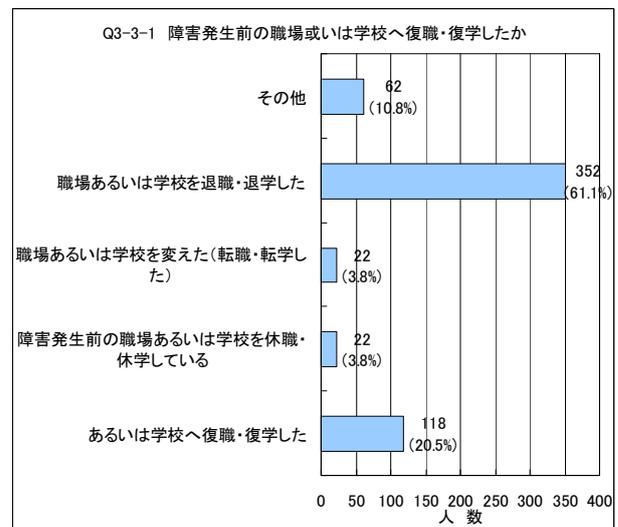
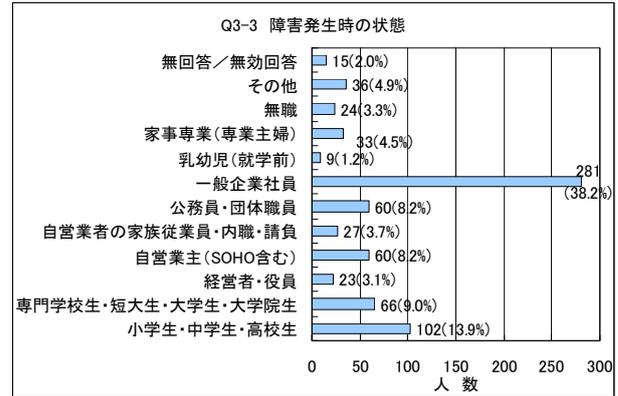
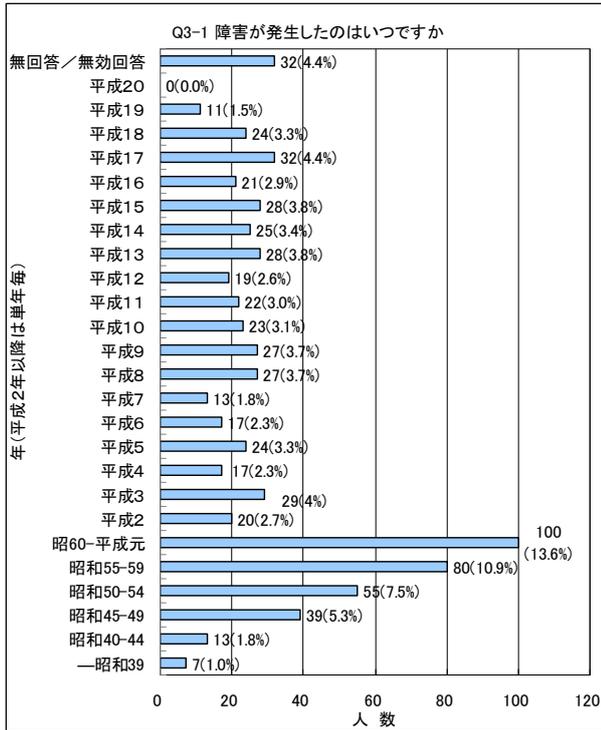
Q2-12	挿入はできるが、感じない。セックス前に腹圧をかけて十分排 尿しなければならぬ。
Q2-12	異性と出会う機会がほしい。
Q2-12	障害を含め付き合ってくれる方を信じられず、付き合うことをあ きらめている
Q2-12	気持ちが向かない。
Q2-12	受傷後激痛が続きその気になれなかった、それが続いている
Q2-12	機会がない
Q2-12	75才の父なので、そういった話は一度も出ていない
Q2-12	介護は両親に頼っているが高齢で今後不安。
Q2-12	能力が残っているのかが不明。
Q2-12	夫がセックスを希望する。
Q2-12	全身痺れ、硬直が強く夫に要求されると拒絶、嫌悪な状態に
Q2-13-1	妻(看護師)
Q2-13-1	因リハ中山先生
Q2-13-1	親族
Q2-13-1	デイサービスの当事者職員
Q2-13-1	相談された事がある
Q2-13-1	配偶者
Q2-13-1	彼女
Q2-13-1	性欲はあるが不能になった
Q2-13-1	施設職員
Q2-13-1	彼女
Q2-13-1	ネット(インターネット)
Q2-13-1	テレビで、胸からのマヒした人をぐうぜん見て
Q2-13-2	相談相手がない
Q2-13-2	特に相談するような事がない。
Q2-13-2	夫自身に興味が無いと身受けられ、不自由を感じない。
Q2-13-2	インターネット等の情報を参考にする
Q2-13-2	年令的に
Q2-13-2	下半身麻痺
Q2-13-2	どう痛がひどくその気にならない
Q2-13-2	仕方がないと思うから
Q2-13-2	困っていない
Q2-13-2	もう年で興味ない
Q2-13-2	お付き合いしている女性に相談しているので
Q2-13-2	必要性がない
Q2-13-2	今は問題がない
Q2-13-2	覚えていない
Q2-13-2	毎日が痛みの連続でそれにたえるのが精いっぱい
Q2-13-2	相談する所や場所がない。
Q2-13-2	子供がいる
Q2-13-2	相手がいない
Q2-13-2	排尿の筋を手術する時説明を受けた
Q2-13-2	年令的に(65)もう興味がない
Q2-13-2	実践あるのみ
Q2-13-2	この病気になる前に6年前43才の時子宮でき出さうけこの病 気になってから主人もあきらめているし私も別にきょうみがな いから。
Q2-13-2	同じようきょうの人がいないから。
Q2-13-2	高齢である
Q2-13-2	全部知っている。
Q2-13-2	必要性を感じない
Q2-13-2	自己解決
Q2-13-2	自力解決
Q2-13-2	今すぐとは考えていない。
Q2-13-2	現在の状況がある程度把握しているから。
Q2-13-2	誰かに言わなくても自分で解決している。
Q2-13-2	年令
Q2-13-2	必要なし
Q2-13-2	健常者と同じに興味はありますがあきらめの気持もあり、深く 悩んだ事はありません
Q2-13-2	若い時であれば、結婚、子供、セックス
Q2-13-2	特に困ったことはない
Q2-13-2	困っていない
Q2-13-2	身体状況・健康状態の不安の方が強い
Q2-13-2	今のところ元気です。
Q2-13-2	興味が無いとするが楽
Q2-13-2	自分で工夫している
Q2-13-2	夫婦おたがい高齢だし
Q2-13-2	特に相談したいと思わない
Q2-13-2	誰か紹介して下さい。
Q2-13-2	自分で情報を得ている。
Q2-13-2	しても、しかたが無い
Q2-13-2	あきらめている
Q2-13-2	相談するまでの事ではない。
Q2-13-2	人間性欲が無いのは不自然である
Q2-13-2	必要がない
Q2-13-2	年令的にそろそろ卒業か
Q2-13-2	困っていない
Q2-13-2	必要がない。
Q2-13-2	聞く事がない。
Q2-13-2	インターネットで知らべる
Q2-13-2	相談する事由がない
Q2-13-2	今のところ、結婚の予定もないので解決も急いでいない

Q2-13-2	年齢が年齢だから
Q2-13-2	人に相談することではないと思う。
Q2-13-2	その気なし
Q2-13-2	忙しいから
Q2-13-2	相談する必要がない
Q2-13-2	具体的な疑問があるわけではないから。
Q2-13-2	必要ない
Q2-13-2	必要だと思っていない
Q2-13-2	特に理由はない
Q2-13-2	若い頃は、上記「2」「3」が該当していました。
Q2-13-2	やむをえないと思っている
Q2-13-2	年だから
Q2-13-2	現在困っている事が無い
Q2-13-2	たぶん、四肢麻痺という重度の障害を持った時点で無関係なものになったのかと思う。男も女もなく、ただ人間らしく生きたい、それが難しく、それだけで精一杯である。
Q2-13-2	相談してもしようがない
Q2-13-2	SEXはOK
Q2-13-2	普通にセックスができる
Q2-13-2	興味がないわけではないが、困っているとも言えない。
Q2-13-2	年をとっているから必要とはしない
Q2-13-2	相談して解決する問題とは思わないので。
Q2-13-2	年令的な問題
Q2-13-2	気管切開のため発語困難
Q2-13-2	相談しても仕方がない。
Q2-13-2	今はないけど泌尿器の女医さんがいると良い
Q2-13-2	興味がない訳ではないが相談するほどでもない
Q2-13-2	特に困っていない
Q2-13-2	言語障害のため
Q2-13-2	何もできないから
Q2-13-2	心配することがない。
Q2-13-2	老年だから
Q2-13-2	アダルトビデオなど観ている
Q2-13-2	年
Q2-13-2	本などで読んだことがある。
Q2-13-2	それどころではない
Q2-13-2	最初のリハ病院に入院中に大体の情報は得ていた。
Q2-13-2	インターネットで自分で調べる
Q2-13-2	まだ子どもなので
Q2-13-2	自分で解決
Q2-13-2	必要がない
Q2-13-2	夫婦間の事で、高令でもあり、己の胸に治める
Q2-13-2	今のところ必要がない
Q2-16	同じハンディをもつ友人
Q2-16	友人、知人
Q2-16	友人
Q2-16	皇野富弘さんの本と聖書
Q2-16	友人
Q2-16	恋人
Q2-16	健常者の友人
Q2-16	友・知人、仕事仲間、ボランティア仲間、他多くの方々
Q2-16	施設の職員、ボラ等
Q2-16	友達
Q2-16	友人
Q2-16	友人
Q2-16	趣味の仲間(絵画教室、民謡仲間)
Q2-16	友人
Q2-16	恋人、友人、幼なじみ、恩師、子供
Q2-16	同級生
Q2-16	友人
Q2-16	友人
Q2-16	友人
Q2-16	健常者の友人、学校の恩師
Q2-16	体內的病状の悪化は理解してもらえない。サボリととらえられ
Q2-16	ボランティア、友達
Q2-16	先生(学校)
Q2-16	兄弟
Q2-16	励まされたことはないが、励ましたことはある！
Q2-16	友人
Q2-16	友達
Q2-16	友人
Q2-16	しゆみの仲間
Q2-16	友達
Q2-16	友人
Q2-16	友達
Q2-16	会社の友人
Q2-16	友人、知人
Q2-16	妻のみ
Q2-16	友人
Q2-16	友達
Q2-16	友人
Q2-16	友人
Q2-16	脊損リーダーの皆さん
Q2-16	患者会の方々
Q2-16	友人
Q2-16	友人

Q2-16	友人
Q2-16	友人
Q2-16	友人
Q2-16	・気持ちを理解することはできない。・皆さん、それなりに励ましてはくれる
Q2-16	同じ障害ではないが障害者
Q2-16	孫2名、長女、長女の夫
Q2-16	カウンセラー
Q2-16	同僚
Q2-16	友人
Q2-16	友人
Q2-16	友人
Q2-16	リハビリ施設の方
Q2-16	友人
Q2-16	友人、知人、恩師、親戚
Q2-16	友人達
Q2-16	友人知人、恩師
Q2-16	介護士、など
Q2-16	友人
Q2-16	親戚
Q2-16	会社の同僚や友人
Q2-16	友人
Q2-16	友人、知人
Q2-16	友人
Q2-16	友人
Q2-16	知人
Q2-16	友人
Q2-16	友人、知人
Q2-16	恋人
Q2-16	親類の人
Q2-16	妻、家族、友人、etc
Q2-16	友人(健常者)
Q2-16	親せき(兄弟姉妹)
Q2-16	スポーツ仲間(健常者)
Q2-16	友人
Q2-16	近所の方々
Q2-16	友人
Q2-16	友人
Q2-16	夫、友人
Q2-16	友人
Q2-16	受傷前からの友人、恋人(現在の夫)
Q2-16	友達
Q2-16	友人
Q2-16	近所の人
Q2-16	けがをする前の友人
Q2-16	介護福祉士
Q2-16	友人
Q2-16	知人
Q2-16	知人、友人、教師
Q2-16	ボランティアの方々
Q2-16	受傷後満1年で離婚したため両親と兄弟
Q2-16	友人、知人、各仲間、近所他
Q2-16	友人、同級生
Q2-16	友人
Q2-16	4年前までは家族と同居でした。今は毎日妻が来てくれていま
Q2-16	友人
Q2-16	親友
Q2-16	友人
Q2-16	ボランティアの人達
Q2-16	友人
Q2-16	友人知人など
Q2-16	友人
Q2-16	友人
Q2-16	友人、彼女
Q2-16	友人、男友達、女友達、サッカー仲間
Q2-16	友人
Q2-16	友人、知人
Q2-16	友達、職場の同僚
Q2-16	友人
Q2-16	自選の専任介助者
Q2-16	友人
Q2-16	友人
Q2-16	高校、職場の友達、今も年に四回交流
Q2-16	会社の人
Q2-16	友達
Q2-16	自分に言いにかけている今も車イスで外に出て運動をして居る30~40分
Q2-16	友人
Q2-16	友人
Q2-16	同僚
Q2-16	親せき
Q2-16	友人

Q2-16	友人(昔からの)
Q2-16	友人
Q2-16	友人／知人／同僚
Q2-16	NPOの仲間
Q2-16	友人
Q2-16	友人
Q2-16	友人等、身近な人たち
Q2-16	友人
Q2-16	友人、ピアカウンセラー
Q2-16	特別な相談はしないが、日常生活の中で自然に理解を示してくれている。友人も。
Q2-16	友人
Q2-16	回答の3、4については人権侵害を受けた人も多数いた
Q2-16	友人
Q2-16	同級生、地域の人
Q2-16	友人
Q2-16	友人(健常者)
Q2-16	友達
Q2-16	友人、恋人(夫)
Q2-16	友人健常者
Q2-16	友人、彼女
Q2-16	友人
Q2-16	障害者の生活を改善維持していく中には行政と交渉していかなくてはならない事が多く疲れた。会の維持も疲れるね(ってゆうほど何かしていないけれど。)一緒に住んでいないけれど
Q2-16	友人
Q2-16	友人
Q2-16	持つべき友は同じ障害者仲間だと思います
Q2-16	友人
Q2-16	会社の上司仲間
Q2-16	入院先での友人、別の障害がある方
Q2-16	友人
Q2-16	友人がガンで手術した、健康体の人にはわかりづらいこともその人とかリハビリの人(以前)は同志みたいな感じで、ガンバした。現在は何もやってもらえない
Q2-16	友人
Q2-16	友人
Q2-16	友人
Q2-16	友だち
Q2-16	友人、知人
Q2-16	友人、同じ団体の人
Q2-16	いろいろ
Q2-16	友人
Q2-16	友人
Q2-16	友人
Q2-16	学生時代からの友人
Q2-16	友人、知人
Q2-16	近所のお友達

## 2-3. 障害発生時の状況



設問番号	記述内容
Q3-2	海での飛び込み
Q3-2	てんらく事故
Q3-2	農作業中
Q3-2	窓から落ちる
Q3-2	労働災害
Q3-2	家庭での事故
Q3-2	転落
Q3-2	子供を肩車していてころんだ(子供をかばおうとして)
Q3-2	外出先での階段よりの転落
Q3-2	転落事故
Q3-2	露天風呂での飛び込み
Q3-2	登山中の転落事故
Q3-2	少量のアルコールを飲んだ後、ホテルの男子用トイレで排便後少しいきおいよくチャックを上げた拍子に気が遠くなり足元にへたり込んでいた。他に人はいなかった。
Q3-2	わからない
Q3-2	3年間で少しずつ悪くなった。
Q3-2	過労
Q3-2	自宅
Q3-2	消防活動中の転落
Q3-2	入院中貧血で転倒
Q3-2	転倒
Q3-2	階段より落ちた為
Q3-2	屋根からの転落
Q3-2	20才位の時腰痛せつ
Q3-2	1旅行中に宿泊先の階段から転落
Q3-2	自殺未遂・5階からの転落事故
Q3-2	歩行中
Q3-2	窓から転落
Q3-2	転落(3Fより)
Q3-2	階段からの転落
Q3-2	転倒
Q3-2	自損事故
Q3-2	自殺
Q3-2	腰痛で注射過度に行った
Q3-2	路上凍結による、歩行中の転倒事故
Q3-2	自宅の階段から転落
Q3-2	自損事故
Q3-2	友人を送った帰り道
Q3-2	自宅の階段から転落
Q3-2	屋根からの落下
Q3-2	てんかんと知的障害があり、通所の施設にあずけている時間中に介護人の判断みす
Q3-2	原因がわからない急になった検査したがわからず
Q3-2	三階から落下
Q3-2	自転車からおちる(飲酒)公務外です
Q3-2	学校での事故、バックドロップをくらった。
Q3-2	農業(畜産)畜舎の屋根より転落
Q3-2	階段から転落
Q3-2	室内で転倒
Q3-2	車の運転席から落下
Q3-2	自宅階段から転とう
Q3-2	頸髄損傷、自損事故です
Q3-2	転落
Q3-2	転落
Q3-2	飛び込み
Q3-2	酔っ払って実家の2階から階段で転倒
Q3-2	中学の大掃除で3階から転落
Q3-2	遊んでいて
Q3-2	遊びでやっていた空中前転、学校災害
Q3-2	自宅風呂場内の転倒
Q3-2	自宅2階階段から落下
Q3-2	災害
Q3-2	階段落下
Q3-2	5階から落下
Q3-2	海水浴での飛び込み事故
Q3-2	屋内階段からの転落
Q3-2	転落
Q3-2	相手は自動車で追突される。
Q3-2	自宅の窓をそうじていて転落
Q3-2	空洞症による頸損
Q3-2	五月ドンドやき
Q3-2	落下
Q3-2	なん骨が弱いといわれた
Q3-2	転落(4Fからコンクリートの地面へ)
Q3-2	ドライブ中
Q3-2	自宅2階からの転落
Q3-2-1	屋根から落下
Q3-2-1	2Fよりてんらく
Q3-2-1	自宅、作業中
Q3-2-1	階段をふみはずす
Q3-2-1	自分がバイクに乗っていて車に跳ねられた。
Q3-2-1	家の中

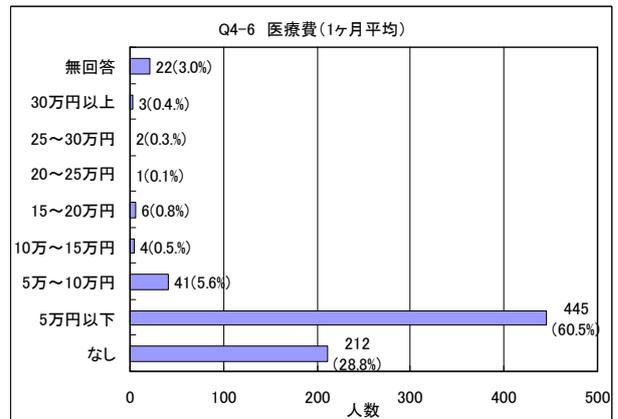
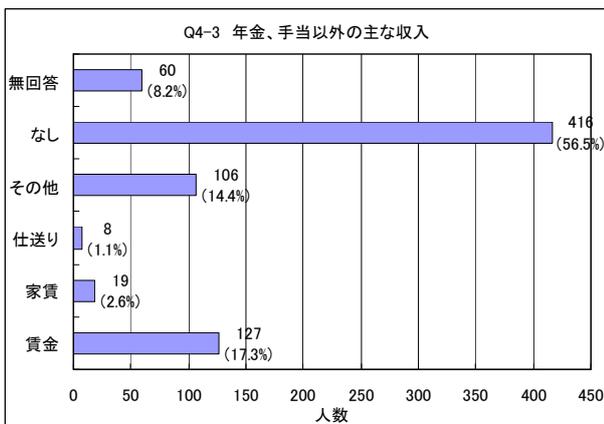
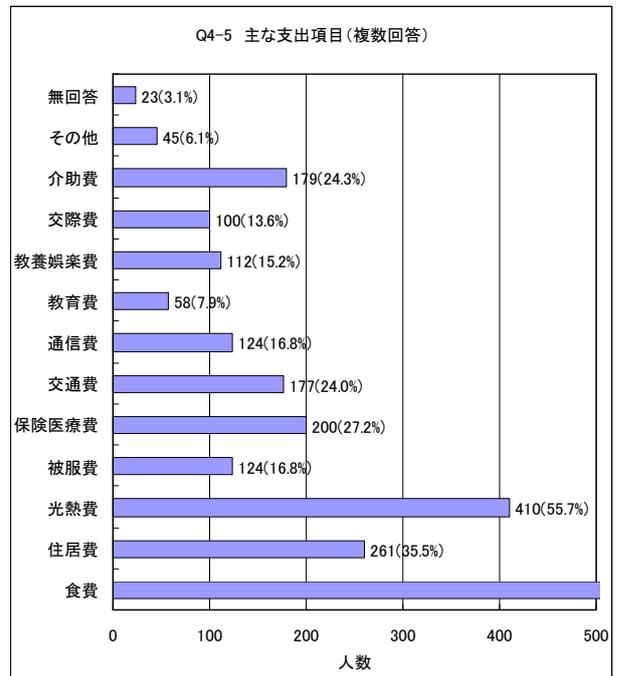
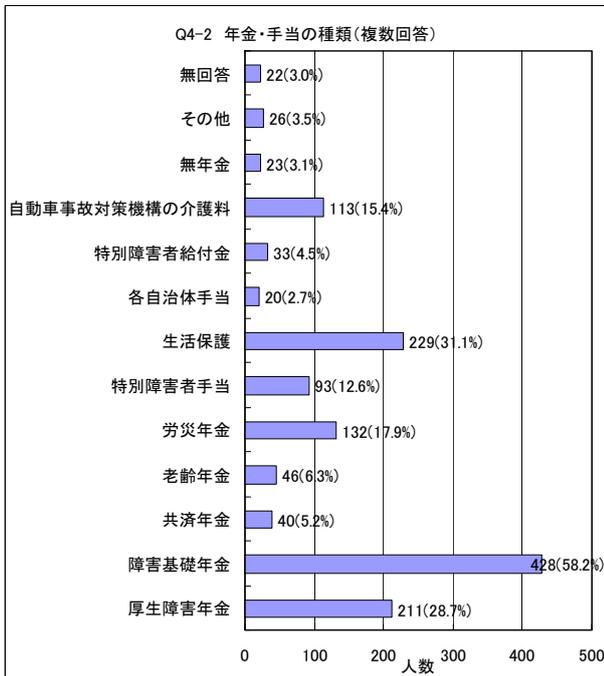
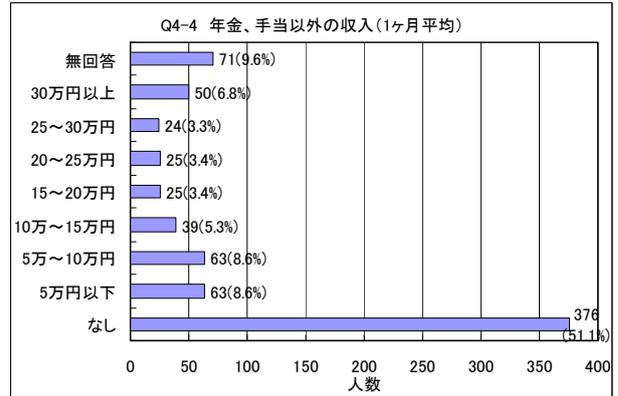
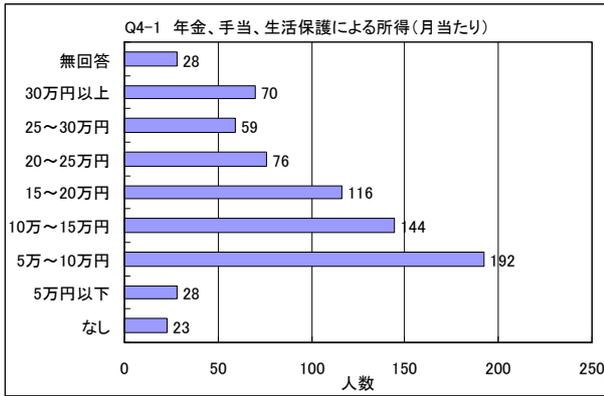
Q3-2-1	てんとう
Q3-2-1	原因不明
Q3-2-1	スキー
Q3-2-1	自宅
Q3-2-1	今年で受傷後35年目(自損)高所転落
Q3-2-1	酔って転ぶ
Q3-2-1	帰宅中、転落
Q3-2-1	トラック
Q3-2-1	バス
Q3-2-1	過労
Q3-2-1	電車
Q3-2-1	転倒
Q3-2-1	プール
Q3-2-1	転落事故
Q3-2-1	他者運転の車に乗っていた
Q3-2-1	自損
Q3-2-2	転落
Q3-2-2	鉄骨組立中9M~12Mより転落
Q3-2-2	パワーショベルのグラブプルに頭(ヘルメット)がぶつかる。
Q3-2-2	通勤途上、バイクで信号待ちしていた際解体工事中のビルから防護柵落下し受傷。
Q3-2-2	屋根から落下
Q3-2-2	トンネルの落ばん事故
Q3-2-2	重いドアを人に当てられて
Q3-2-2	木から落下
Q3-2-2	高所作業中に転落
Q3-2-2	ヤケド
Q3-2-2	荷物が落ちてきた
Q3-2-2	消防訓練中
Q3-2-2	作業休けい中転らく(高所)
Q3-2-2	立木より落下
Q3-2-2	大きな荷物が頸部に当たった。
Q3-2-2	転落事故
Q3-2-2	クレーン作業中
Q3-2-2	足場からてんらく。
Q3-2-2	荷物運搬用エレベーターに挟まれた。
Q3-2-2	高所作業中
Q3-2-2	立ちくらみ後壁面にぶつかった
Q3-2-2	工事現場内3階床上の脚立から1階まで落下
Q3-2-2	土木作業
Q3-2-2	斜面より転落
Q3-2-2	荷積み中の転落事故
Q3-2-2	高所より転落
Q3-2-2	機械に首をはさまれた。
Q3-2-2	屋根から転落
Q3-2-2	屋根から転落
Q3-2-2	大工のため屋根から落ちて
Q3-2-2	高所作業中転落
Q3-2-2	はしごに見る途中
Q3-2-2	荷物の積込中
Q3-2-2	建設現場
Q3-2-2	木から落下
Q3-2-2	荷台からの転とう
Q3-2-2	高所からの転落
Q3-2-2	山林作業中に
Q3-2-2	丸太の下じき
Q3-2-2	荷おろし
Q3-2-2	家屋解体
Q3-2-2	建前中の落下
Q3-2-2	木造住宅建前で落下
Q3-2-2	(自営)転落屋根より
Q3-2-2	材料置場2m高さより後ろ向きに落ちた
Q3-2-2	転落
Q3-2-2	テナックさるも木からおつる
Q3-2-2	建築中の建物からの転落
Q3-2-2	転落
Q3-2-2	高所からの転落約12m
Q3-2-2	体育の授業中マット運動
Q3-2-2	2階屋根より転落
Q3-2-2	相手のフォークリフとの操作ミス
Q3-2-2	転落事故
Q3-2-2	らっか
Q3-2-2	てんらく
Q3-2-2	午後からのそうじ中
Q3-2-2	ハンゴから転落
Q3-2-2	足場より転落
Q3-2-2	てんらく
Q3-2-2	高所作業
Q3-2-3	トランポリン
Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	スキー
Q3-2-3	ハングライダー
Q3-2-3	スノボ
Q3-2-3	飛び込み
Q3-2-3	スキー
Q3-2-3	水泳

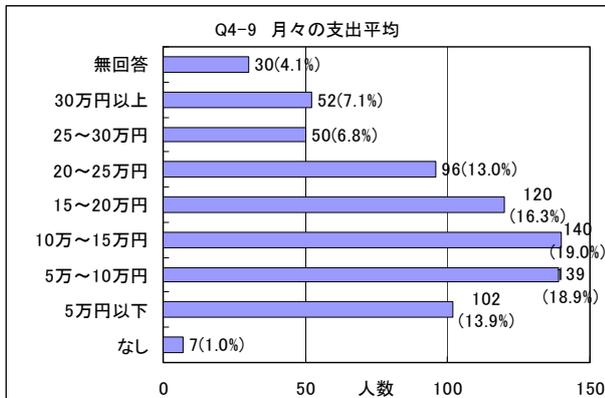
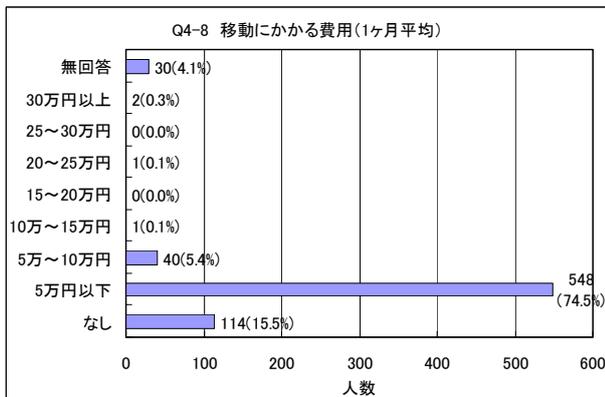
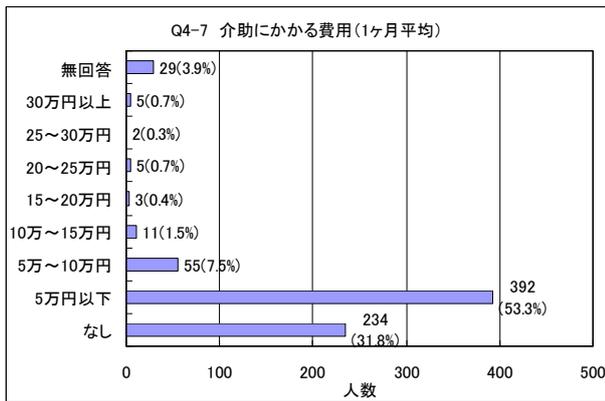
Q3-2-3	パラグライダー
Q3-2-3	オートバイレース
Q3-2-3	とびこみ水泳
Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	水泳飛び込み
Q3-2-3	トランポリン
Q3-2-3	水泳
Q3-2-3	プール
Q3-2-3	飛び込み
Q3-2-3	スキー
Q3-2-3	乗馬
Q3-2-3	スキー
Q3-2-3	柔道
Q3-2-3	アメリカンフットボール
Q3-2-3	水泳
Q3-2-3	水泳
Q3-2-3	登山中のかつ落
Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	プール飛び込み
Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	スキー
Q3-2-3	プールへ飛び込み。
Q3-2-3	運動中転倒
Q3-2-3	飛び込み(プール)
Q3-2-3	スキー:ジャンプ
Q3-2-3	バイクレース中
Q3-2-3	水泳
Q3-2-3	水泳
Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	レスリング
Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	ハングライダーの衝突事故
Q3-2-3	レスリング
Q3-2-3	水泳
Q3-2-3	モトクロス
Q3-2-3	スノーボード
Q3-2-3	水泳
Q3-2-3	バスケットボール
Q3-2-3	水泳
Q3-2-3	部活柔道
Q3-2-3	水泳のとびこみ
Q3-2-3	プール飛び込み
Q3-2-3	トランポリン
Q3-2-3	水泳飛び込み
Q3-2-3	スキー
Q3-2-3	体操
Q3-2-3	組体操
Q3-2-3	体操
Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	BMX
Q3-2-3	ハングライダー
Q3-2-3	体操
Q3-2-3	飛び込み(プール)
Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	海水浴とびこみ
Q3-2-3	体操
Q3-2-3	体操
Q3-2-3	器械体操
Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	器械体操
Q3-2-3	プール飛び込み
Q3-2-3	サンボ
Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	水泳の飛び込み
Q3-2-3	野球
Q3-2-3	器械体操
Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	スキー
Q3-2-3	水泳
Q3-2-3	水泳、飛び込み
Q3-2-3	トランポリン
Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	水泳
Q3-2-3	新体操
Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	ハングライダー
Q3-2-3	体操競技
Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	プール
Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	体操競技
Q3-2-3	トランポリン

Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	モトクロス
Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	アムチュアレスリング
Q3-2-3	柔道
Q3-2-3	器械体操(吊り輪)
Q3-2-3	体育祭騎馬戦で転倒
Q3-2-3	ラグビー
Q3-2-3	水泳
Q3-2-3	体操競技
Q3-2-3	水泳
Q3-2-4	不意にプールへ飛び込んだ
Q3-2-4	旅行中、崖よりのダイビング
Q3-2-4	水泳
Q3-2-4	屋外食事の後の帰途の事故
Q3-2-4	海の飛びこみ
Q3-2-4	パラグライダー
Q3-2-4	海水浴
Q3-2-4	海水浴
Q3-2-4	海水浴中
Q3-2-4	マウンテンバイク
Q3-2-4	とびこみ
Q3-2-4	海水浴
Q3-2-4	熱気球
Q3-2-4	水泳のとびこみ
Q3-2-4	トランポリン
Q3-2-4	山
Q3-2-4	プール飛び込み
Q3-2-4	写生終了後
Q3-2-4	ロードレーサー(自転車)によるロングライド練習にて
Q3-2-4	懇親会
Q3-2-4	スノーボード
Q3-2-4	水泳
Q3-2-4	飛び込み
Q3-2-4	木のぼり
Q3-2-4	海水浴
Q3-2-4	スキー
Q3-2-4	海水浴の飛び込み
Q3-2-4	サーフィン
Q3-2-5	頸動脈奇形
Q3-2-5	広範脊柱管狭窄症、両下肢マヒ
Q3-2-5	不明熱
Q3-2-5	脊髄腫瘍
Q3-2-5	頸髄症、基礎疾病頸髄狭窄症
Q3-2-5	脊髄梗塞
Q3-2-5	頸髄腫瘍
Q3-2-5	あかちゃんの時の病気によるもの
Q3-2-5	ギラン・バレー
Q3-2-5	横断性脊髄炎
Q3-2-5	前せきすい動脈しょうこうぐん
Q3-2-5	多発性クモ膜のうしゅ、平成八年の2回目の手術では医師のミスと思われる
Q3-2-5	脊髄梗塞
Q3-2-5	硬膜外血腫
Q3-2-5	頸椎後縦靱帯骨化症
Q3-2-5	脊髄しゅよう
Q3-2-5	?
Q3-2-5	脊髄梗塞
Q3-2-5	後縦靱帯骨化症(上肢のしびれの為、X線・CT・MRIで確認)可成り高度と思われます
Q3-2-5	脊髄
Q3-2-5	頸椎狭窄症
Q3-2-5	ずいまく炎
Q3-2-5	急性横断性脊髄損傷
Q3-2-5	頸椎後縦靱帯骨化症
Q3-2-5	黄色じんたい骨化症にてすべての骨を取る手術の為になる、今は後じゅうじんたい骨化症があり進行中先はわからない。
Q3-2-5	頸髄損傷
Q3-2-5	脊髄炎
Q3-2-5	高熱による意識麻痺
Q3-2-5	急性こう膜外血腫
Q3-2-5	延髄空洞症
Q3-2-5	セキズイ内シヨウ
Q3-2-5	脊髄動脈奇形
Q3-2-5	横断性せきすい炎動脈こうか?
Q3-2-5	脊髄こうそく
Q3-2-5	椎間板ヘルニア
Q3-2-5	前脊髄動脈症候群
Q3-2-5	セキズイ腫瘍
Q3-2-5	小児マヒ下肢マヒ60才過ぎてポストポリオ、71才でけいついを
Q3-2-5	洞不全症候群完全房室ブロック…心臓機能障害1級
Q3-2-5	脊椎症性脊髄炎
Q3-2-5	脊髄内腫瘍
Q3-2-5	頸髄損傷
Q3-2-5	膠原病

Q3-2-5	頸髄髄内腫瘍
Q3-2-5	多発性硬化症
Q3-2-5	コウオジソタイ骨化症
Q3-2-5	頸椎後縦靱帯骨化症
Q3-2-5	頸椎静脈出血
Q3-2-5	脊髄梗塞
Q3-2-5	受傷後の空洞症
Q3-2-5	けいついしゅよう
Q3-2-5	不明
Q3-2-5	脊柱靱帯骨化症(頸椎後縦靱帯胸柱黄色靱帯)
Q3-2-5	骨折している脊柱といわれたがつづことはしなかった※※やりようがないのだろうと思う
Q3-2-5	頸髄腫瘍
Q3-2-5	頸髄
Q3-2-5	脊髄炎疑いによる四肢マヒ
Q3-2-5	頸髄腫瘍C1-C2、硬膜内髄外腫瘍、ダンベル腫、神経鞘腫
Q3-2-5	横断性脊髄炎
Q3-2-5	変形性頸椎症・環軸亜脱臼
Q3-2-5	OPLL
Q3-3	大工
Q3-3	留学生
Q3-3	農業
Q3-3	パート
Q3-3	会社員
Q3-3	パート労働
Q3-3	病院清掃(パート)
Q3-3	左官職
Q3-3	アルバイト
Q3-3	定年退職直後
Q3-3	家で小さな教室けん販売をして主婦
Q3-3	パート社員
Q3-3	医師
Q3-3	アルバイト
Q3-3	けいやく社員
Q3-3	土木
Q3-3	はけん社員
Q3-3	理容業の試験を受けるため
Q3-3	パート契約社員
Q3-3	アルバイト
Q3-3	農業
Q3-3	通所の更生施設
Q3-3	山林労働者として作業中
Q3-3	トラックのうんでんしゅ
Q3-3	職人(石工)
Q3-3	ヘルパー(在宅)
Q3-3	日やとい労働
Q3-3	私学共済教師
Q3-3	個人商店勤務
Q3-3	農業
Q3-3	フリーター
Q3-3	美容師
Q3-3	年金生活者
Q3-3	契約社員
Q3-3	予備校生
Q3-3	アルバイト
Q3-3	アルバイト
Q3-4	養護学校へ行った
Q3-4	全てを失なったひがいの者なのに
Q3-4	特別カリキュラム
Q3-4	自営業だから身守もる
Q3-4	形態は変わらないが、残業や徹夜の多い仕事だったため、続けられなくなり退社した。
Q3-4	1週間に3日通勤・車イス仕様、出退社時間調整
Q3-4	特になし(私の好きな様にしています)
Q3-4	就職が内定していたが、就職を辞退した。
Q3-4	聴講形態をとり、思うような勉強をすることができなかった。又、卒業もムリと言われた。
Q3-4	個人授業
Q3-4	レポート提出で卒業した
Q3-4	本人実働無利、配偶者頼り
Q3-4	就労できなくなり契約更新して頂けなかった
Q3-4	現場より事務へ
Q3-4	自営業なので妻と二人で店を再開させた。
Q3-4	通学できず退学した
Q3-4	運転手から事務職
Q3-4	※最初はムチウチ症だったので痛くても、復職した。(営業職)
Q3-4	法人農業経営者です
Q3-4	学校側がスロープなどを造ってくれた
Q3-4	労災扱いで大変助かって居ります。
Q3-4	時間帯を変更してもらった。
Q3-4	卒業まじかだったのであまりない
Q3-4	試験が簡単になった
Q3-4	Q3-3-1, 5番同じ(無職でのてない。)
Q3-4	経営者なので出来る仕事をするように変わった

## 2-4. 経済状況



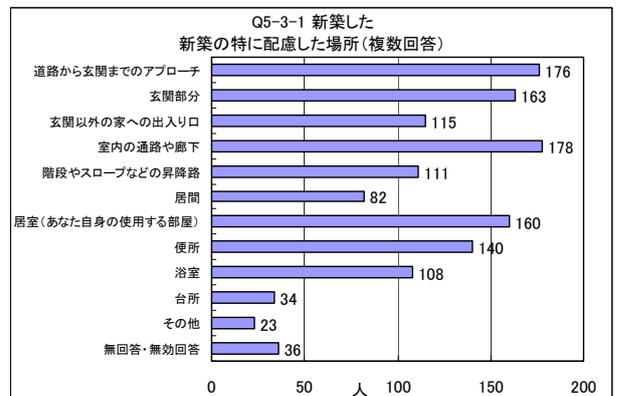
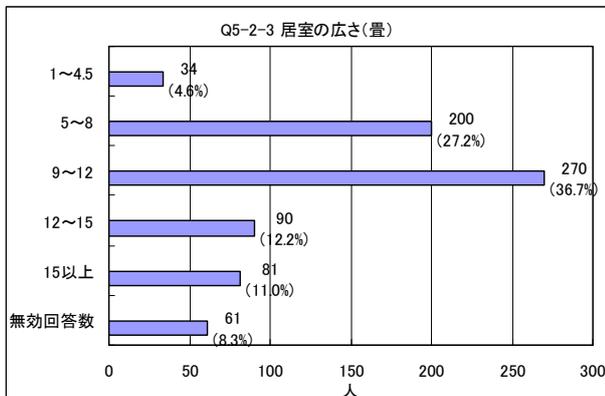
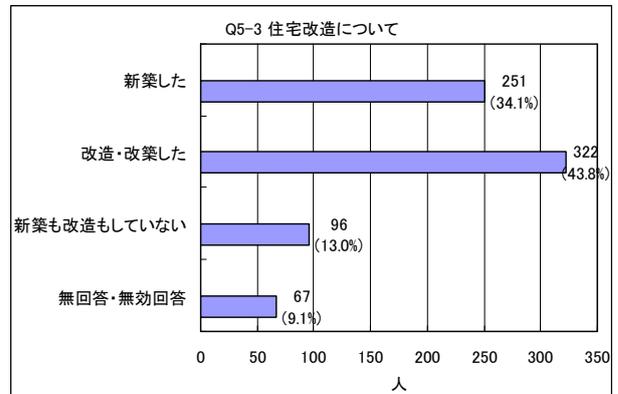
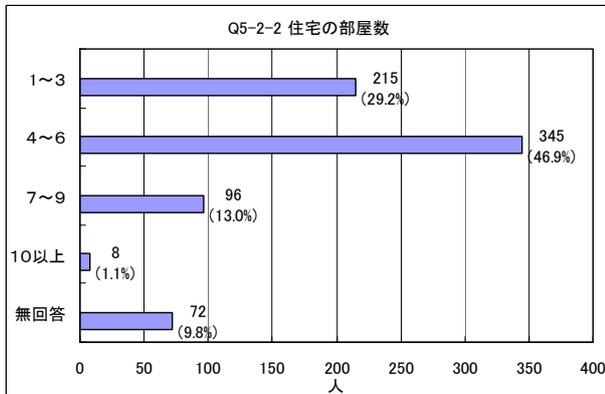
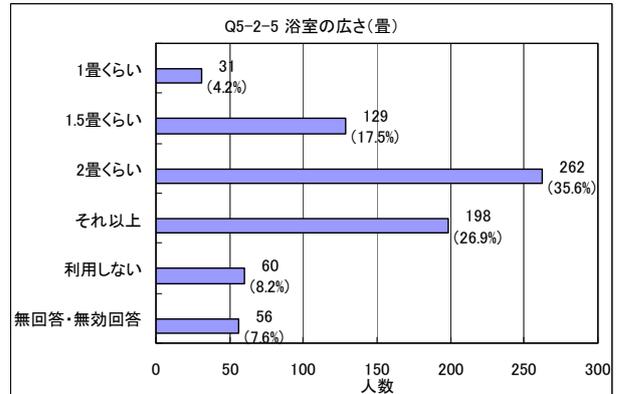
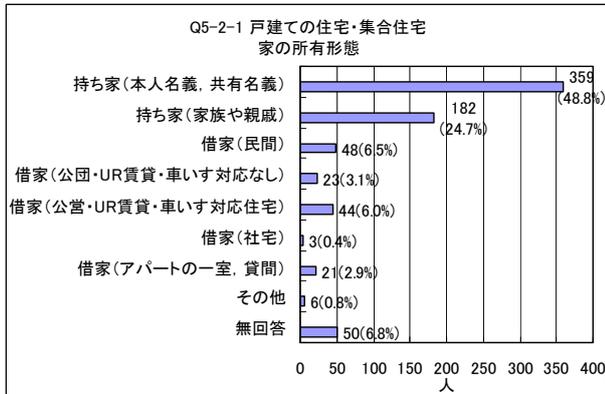
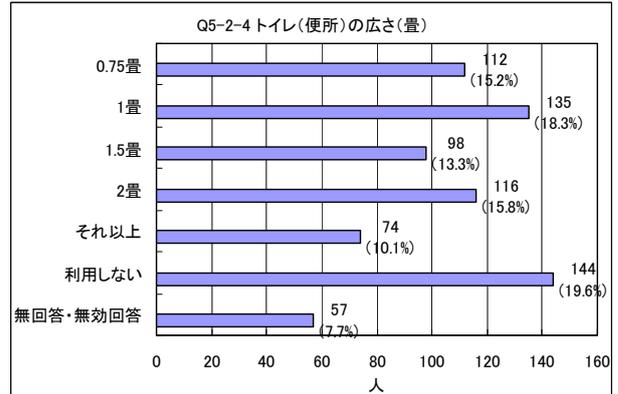
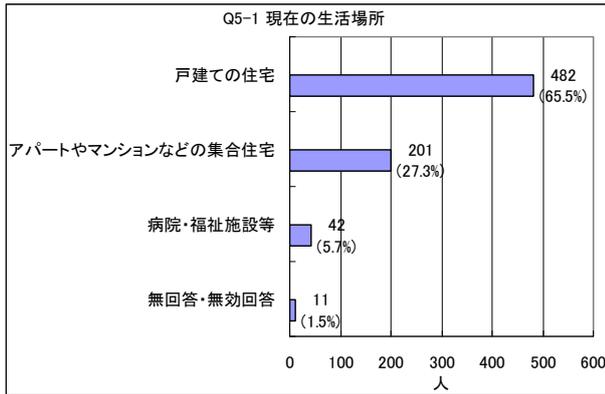


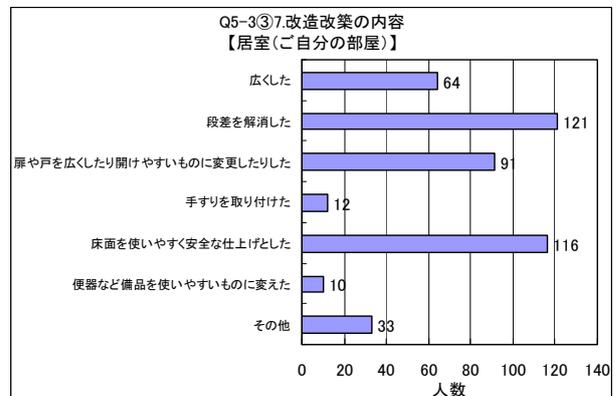
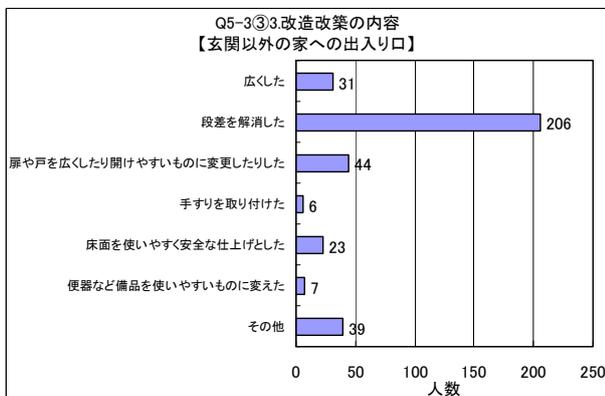
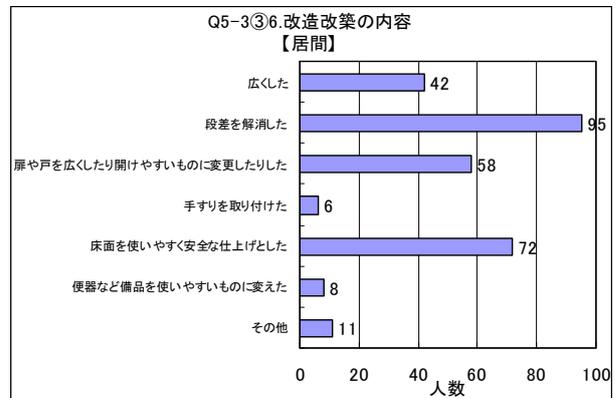
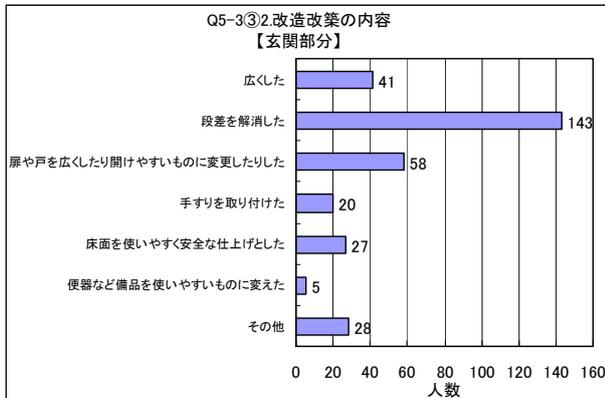
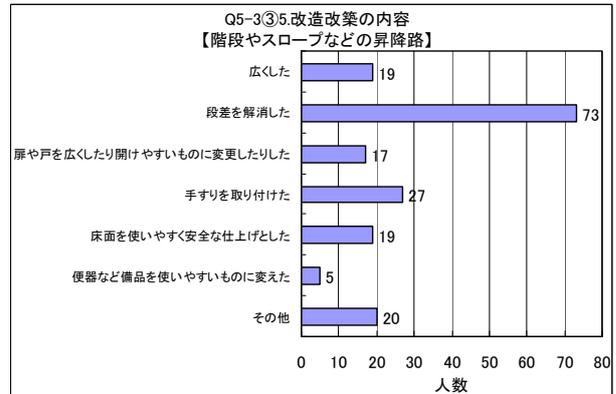
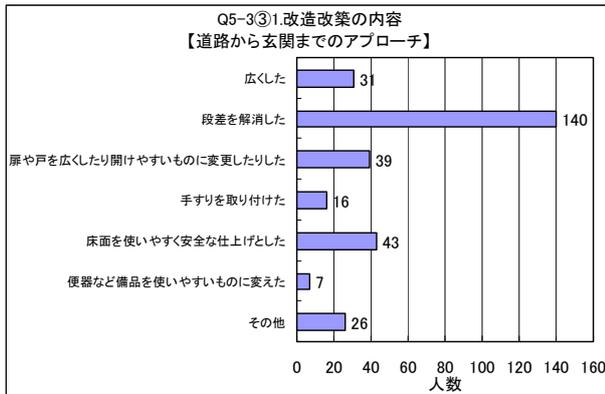
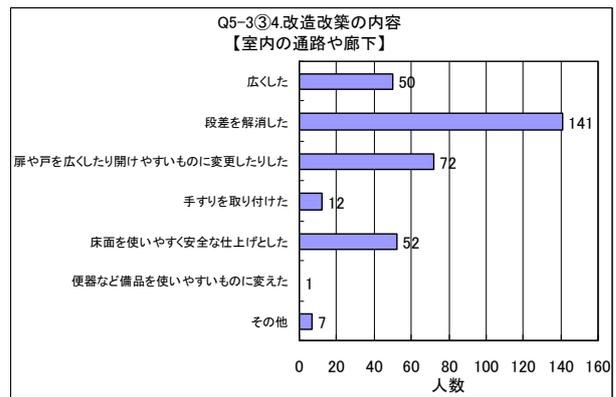
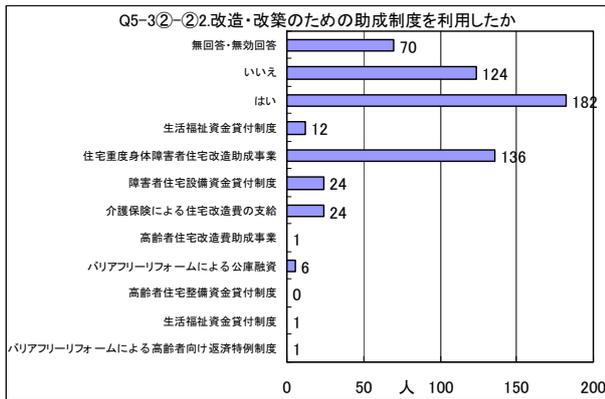
設問番号	記述内容
Q4-2	賃貸
Q4-2	個人年金
Q4-2	難病手当
Q4-2	厚生年金、企業年金
Q4-2	障害年金申請したが却下された
Q4-2	失業保険
Q4-2	特別障害給付金
Q4-2	ふよう年金(東京都)
Q4-2	労災障害年金
Q4-2	失業手当?
Q4-2	障害基礎年金・自動車事故対策機構の介護料(申請(12月4日以降))
Q4-2	厚生年金基金年金
Q4-2	特別障害者手当(宇治市、京都府)?
Q4-2	個人年金
Q4-2	企業年金
Q4-2	厚生年金
Q4-2	企業年金、厚生年金
Q4-2	企業年金
Q4-2	父の遺族年金
Q4-2	老齢厚生年金
Q4-2	東京都重度障害者手当
Q4-2	国民年金(障害年金)

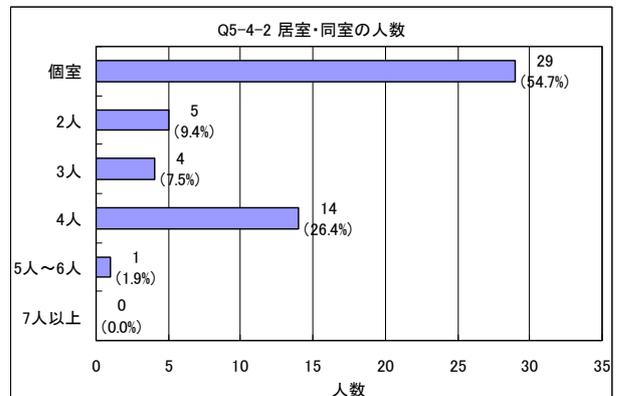
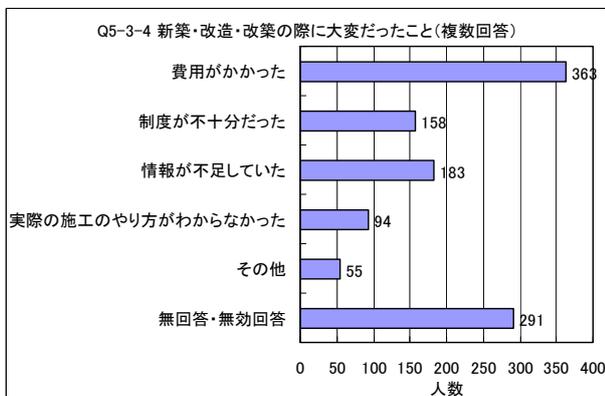
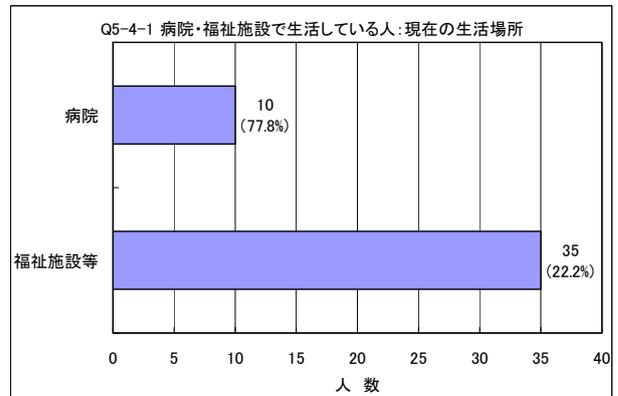
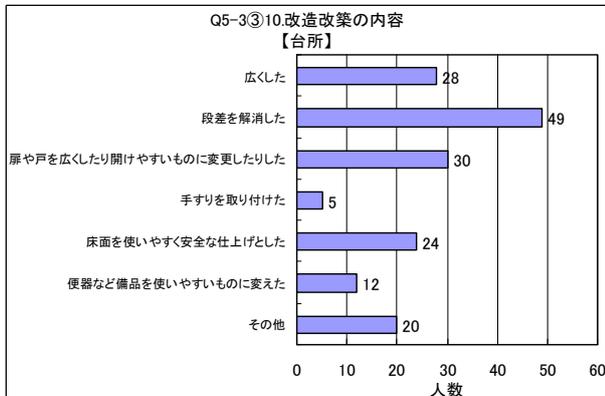
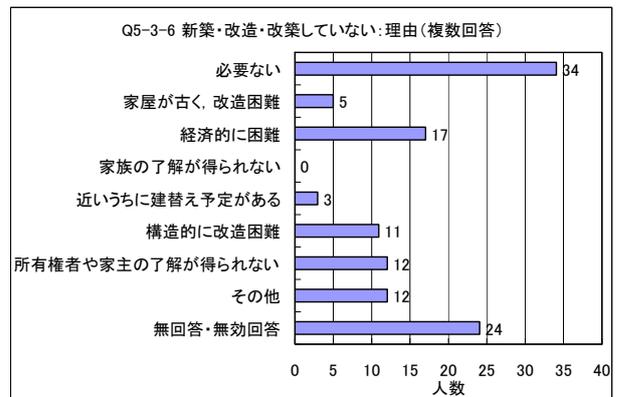
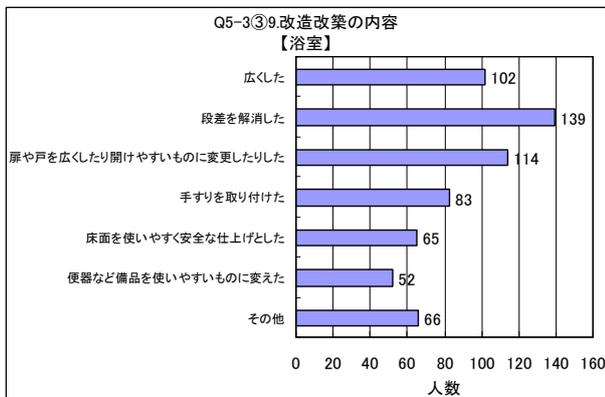
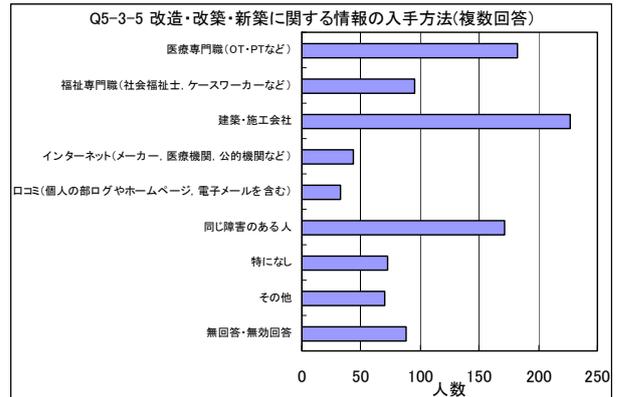
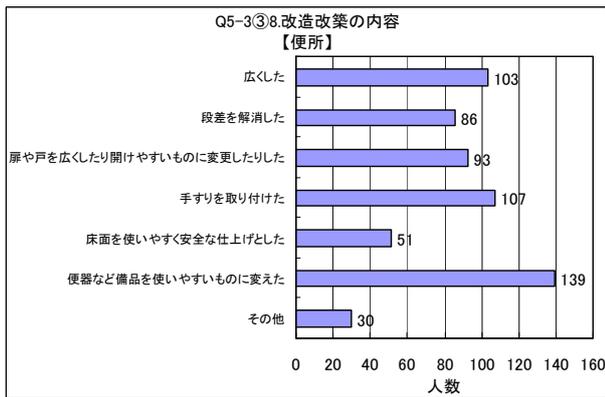
Q4-3	給料
Q4-3	賃貸
Q4-3	役員報酬
Q4-3	活動費と謝礼
Q4-3	夫の収入
Q4-3	自営
Q4-3	夫の収入
Q4-3	給与
Q4-3	講師謝礼
Q4-3	家族収入
Q4-3	利息
Q4-3	父親
Q4-3	給料
Q4-3	自営業による収益
Q4-3	報酬、等
Q4-3	夫の年金
Q4-3	事故保険金
Q4-3	就労
Q4-3	主人の収入
Q4-3	講師など謝礼
Q4-3	会社役員
Q4-3	失業手当
Q4-3	賃貸料
Q4-3	夫
Q4-3	仕事努めている
Q4-3	預金
Q4-3	年金の手続きはまだしていない
Q4-3	事業所得
Q4-3	利子
Q4-3	妻のパート代
Q4-3	謝金
Q4-3	個人の年金
Q4-3	配偶者の収入
Q4-3	NPOで働いている
Q4-3	英会話教師
Q4-3	仕事
Q4-3	給料
Q4-3	たくわえをくずす。
Q4-3	主人の給料
Q4-3	保険
Q4-3	給料
Q4-3	配当
Q4-3	少しの農業
Q4-3	作業所
Q4-3	報酬
Q4-3	農協に勤務していたが自己後自立。行政書士、不動産取引業、損保と生保の代理店
Q4-3	配当金
Q4-3	自営収入
Q4-3	配当
Q4-3	保険金
Q4-3	夫の収入
Q4-3	賠償金
Q4-3	労働
Q4-3	配偶者のパート
Q4-3	家族の収入
Q4-3	給料(役員)
Q4-3	家族の収入
Q4-3	内職
Q4-3	給与
Q4-3	原稿料
Q4-3	役員報酬、家賃、配当、利子
Q4-3	自営業報酬
Q4-3	役員報酬
Q4-3	創作活動の利用料
Q4-3	預金
Q4-3	雑収入
Q4-3	妻の年金
Q4-3	配偶者の収入
Q4-3	自営業
Q4-3	主人の給与
Q4-3	就労
Q4-3	会社社長報酬
Q4-3	夫の年金
Q4-3	無
Q4-3	株式配当、外貨利息
Q4-3	就労・給料
Q4-3	仕事
Q4-3	給料
Q4-3	施設工賃
Q4-3	雇用保険
Q4-3	自営
Q4-3	夫の退職金
Q4-3	妻の給与
Q4-3	生活保護

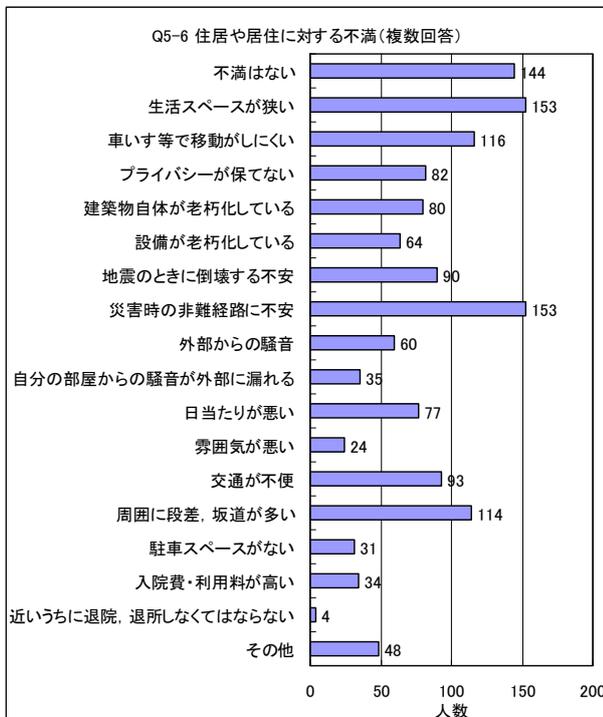
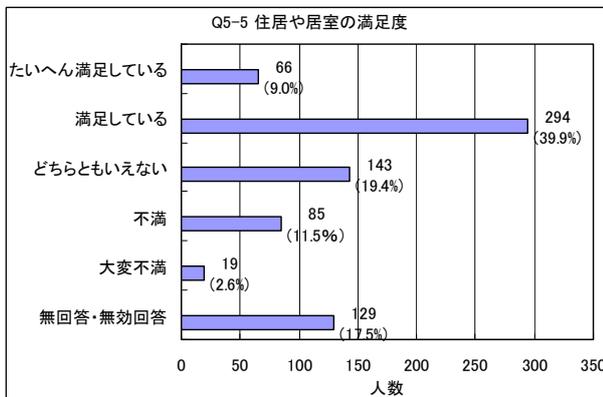
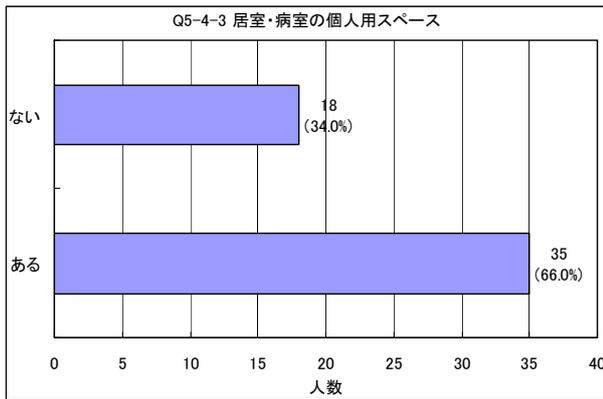
Q4-3	軽事場
Q4-3	妻の賃金
Q4-3	株の配当金
Q4-3	同居の家族(父母)の収入
Q4-3	ネット収入
Q4-3	賃貸
Q4-3	年に2~3回、県の仕事
Q4-3	投資
Q4-3	夫の収入
Q4-5	医用物品費
Q4-5	自家用車に係る費用
Q4-5	一般生活費
Q4-5	インク、コピー用紙
Q4-5	ガソリン代
Q4-5	年1~2回の旅行
Q4-5	施設入居費
Q4-5	ヘルパー
Q4-5	入院費
Q4-5	施設利用費
Q4-5	不明
Q4-5	雑費
Q4-5	日常雑貨
Q4-5	リハビリ費
Q4-5	ショートステイ
Q4-5	入所費約6万
Q4-5	住宅ローンなど支払い
Q4-5	施設利用料
Q4-5	未成年であり、現在は扶養されている身であり自己生計は営んでいない
Q4-5	パソコン
Q4-5	施設入居中20万ぐらい
Q4-5	東洋医学治療費
Q4-5	趣味
Q4-5	独居の準備
Q4-5	車椅子修理などの一割負担
Q4-5	施設利用料
Q4-5	施設費
Q4-5	ベビーシッター代
Q4-5	日用品
Q4-5	施設生活介助費
Q4-5	借入返済
Q4-5	ショートステイ費(代金)長期療養施設(代金)
Q4-5	テイサービス利用費
Q4-5	車
Q4-5	日用品雑費

## 2-5. 住居環境









設問番号	記述内容
Q5-2-1	府営住宅
Q5-2-1	施設
Q5-2-1	配偶者(夫)の名義
Q5-2-1	持ち家だが息子名義にした
Q5-2-1	施設
Q5-2-1	寮(勤務先の寮)
Q5-3-1	ベランダ
Q5-3-1	台所
Q5-3-1	リビングに続く部屋の境をアコーデオンカーテンにした。
Q5-3-1	駐車場の確保
Q5-3-1	天上走行リフトを付けた
Q5-3-1	全部くるまイス目線で棚の高さや、どひら、ようふくダンスのかける所も全部
Q5-3-1	冬はとても寒い所なのでOMソーラーを取り付けた。夜間も20°程度は保てる。
Q5-3-1	ソーラー施設(冷暖房)
Q5-3-1	リフト設置
Q5-3-1	車庫からのスロープ
Q5-3-1	2階へのエレベーター
Q5-3-1	寝室のとなりにトイレを造った。
Q5-3-1	エレベーターの設置、巾戸
Q5-3-1	ホームエレベーター、床はフローリングでフラットです。
Q5-3-1	バリアフリーになっていると思う
Q5-3-1	エレベーターの設置
Q5-3-1	全部車イスでの生活が出来る様になりました。
Q5-3-1	バリアフリー、冷暖房
Q5-3-1	居室内の温度差をなくす為に冷暖房を採用した
Q5-3-1	洗面所
Q5-3-1	エレベーター設置
Q5-3-1	できるだけ収納を多くした。
Q5-3-1	緊急時の搬出
Q5-3-1	洗面台・シャワーの位置
Q5-3-1	昇降機をつけた。
Q5-3-1	駐車場
Q5-3-1	洗濯スペース(物干し台)、家具テーブルの高さ、コンセント・スイッチの高さ……
Q5-3-1	寝室
Q5-3-1	約37年前ですから、知識もなく昔どりの家です。
Q5-3-1	天上リフト
Q5-3-1	床暖、床の強度を増加、空調、壁紙、緊急用ベルを何か所か
Q5-3-1	駐車場
Q5-3-1	全面バリアフリー、天上走行リフト(電動)
Q5-3-1	いろいろ
Q5-3-3	室内からベランダへの段差を0cmに
Q5-3-3	従来の戸建て住宅の八畳間を取り払い増改築した為新築同然で、洗濯キも私仕様、バルコニーへの出入りも可、物干し台も使い勝手が良い。従来の1階部分をリフォームし二世帯住宅とすべく只今工事中。そちらもバリアフリー設計。
Q5-3-3	出来ればもう少し改造したいが費用がかかるし役所の手続きがめんどうだ
Q5-3-3	新築した
Q5-3-3	居間からベランダへの出入口にスロープを設置した。
Q5-3-3	バリアフリーの知識や考えがなかったので、むだな出費をし
Q5-3-3	居室にリフトを取りつける
Q5-3-3	洗面所を広くした。じゃぐちを使いやすいようにした。じゃぐちを高くした。鏡を見やすい斜めにした。
Q5-3-3	ソフトアプローチを庭につくった。
Q5-3-3	エレベーターの取り付け
Q5-3-3	1F全面改造
Q5-3-3	居室内に、洗濯器を取りつけた。
Q5-3-3	EV取付
Q5-3-3	・部屋を仕切る壁を取払ってワンルームにした。・洗面所:昇降式洗面台に変えた。
Q5-3-3	3Fまでエレベーター新築、入浴、車椅子移動にリフターつけた
Q5-3-3	洗面台の下を平らにし、車イスが入れるようにした。洗面の水栓レバーの交換
Q5-3-3	玄関～駐車場、すべてに屋根をつけた。雨、雪でも外出可能にするため
Q5-3-3	洗面所、車イスにて使えるよう、向きをかえ、低くした。ベランダとリビング、溝に板を置き、ベランダもすのこをひいた。
Q5-3-3	リフトの設置
Q5-3-3	道路の消雪のため工事
Q5-3-3	どひらを外している。簡易スロープを使用している。
Q5-3-3	家全体の空調を工夫した
Q5-3-3	室内のインタホンを受話器型からボタン型に付け替えた
Q5-3-3	ベッドからトイレ、風呂につながるリフト
Q5-3-3	車イスで利用できる洗面台と水栓を設置した。
Q5-3-3	天井走行リフトの為、天井に補強ハリを通す
Q5-3-3	ウッドデッキを設置し、そこまで、コンクリートでスロープをつけ
Q5-3-3	車庫から家に入れるように改築
Q5-3-3	改築工事中に事件があり調停で話し合いました。
Q5-3-3	洗面の他、汚物洗い用洗面を設置、押入を広くし、介護用品を収納する為床間を無した。
Q5-3-3	一部の改造なので不便さはまだあります
Q5-3-3	庭をインターロッキングにしました
Q5-3-3	台所から段差なく物干しまで出られるようにした。玄関から雨にぬれず車庫行けるようにした。

Q5-3-3	洗面所の改造(C.F)、居間に収納庫を新設(介護用具用)
Q5-3-3	居室と浴室にリフトをつけた
Q5-3-3-1	コンクリートのなだらかなスロープとし、雨よけ屋根・光センサーを付けた。
Q5-3-3-1	グレーティングをこまかい目に変えた。
Q5-3-3-1	コンクリート
Q5-3-3-1	障害者住宅で不要
Q5-3-3-1	リフト設置
Q5-3-3-1	坂をゆるやかにした
Q5-3-3-1	玄関は階段がある為裏の駐車場からスロープにて居間に入れるようにした
Q5-3-3-1	エレベーターの設置
Q5-3-3-1	マンションPよりエントランスへの段差は、管理組合がスロープを設置してくれた
Q5-3-3-1	店舗(自営)の2階部分へ車イスごと上げる為の昇降機設置とそれに伴うスロープ
Q5-3-3-1	スロープをつけた
Q5-3-3-1	(雨でも乗り降りできるように)送迎車が入れるように屋根をつけ、下はコンクリートにした
Q5-3-3-1	勾配を緩やかにした
Q5-3-3-1	コンクリート
Q5-3-3-1	コンクリート
Q5-3-3-1	アスファルト
Q5-3-3-1	スロープ
Q5-3-3-1	コンクリートにした
Q5-3-3-1	雨に濡れないように屋根を付けた。
Q5-3-3-1	手動式段差解消機を設置
Q5-3-3-1	リフター設置
Q5-3-3-1	段差解消を検討中で、現在はバックで上がっている
Q5-3-3-1	スロープをつけた
Q5-3-3-1	ガレージ門扉を軽い物にし、屋根を付け、自動電灯にし、通路確保の為、庭を小さくした。
Q5-3-3-1	アスファルトにした
Q5-3-3-1	スロープを屋根に付けた。
Q5-3-3-1	居室の高さにウッドデッキを庭に作成し段差昇降機で道路に
Q5-3-3-2	ドアに自動ドアになるよう機械をとりつけた。
Q5-3-3-2	スロープ
Q5-3-3-2	リフターをつけた
Q5-3-3-2	カギをかけやすい物にした
Q5-3-3-2	リフトで
Q5-3-3-2	昇降器取り付け
Q5-3-3-2	ちょっとしたかいだんと、車イスのしょうこうきをおけるようにし
Q5-3-3-2	昇降機設置
Q5-3-3-2	リフトを取り付けた。
Q5-3-3-2	天井リフト
Q5-3-3-2	取りはずしのスロープ購入
Q5-3-3-2	玄関は使わず、自分の部屋から出入している
Q5-3-3-2	玄関の出入りは不可能
Q5-3-3-2	玄関からではなく、自分の部屋にすぐ車椅子で入れるようにか
Q5-3-3-2	オートロックにした
Q5-3-3-2	玄関部分は現在使用せず
Q5-3-3-2	スロープ
Q5-3-3-2	妻がリフト使用の為手造りの台を作製
Q5-3-3-2	玄関部分を別の位置に変えた。
Q5-3-3-2	段差解消の為昇降機を設置
Q5-3-3-2	段差解消器の設置
Q5-3-3-2	ドアチェックを取り外して、電子錠を取り付けた
Q5-3-3-2	リモートキーを取付けた。電気スイッチを車イスで押せる様に床部分を広くした。
Q5-3-3-2	上りかまの段差、アプローチの階段部の解消が不可能のため改修できず
Q5-3-3-2	差込式の鍵は使えないので、鍵をリモコンキーに、自動的に閉じる扉を手動にした。
Q5-3-3-2	段差昇降機を取り付けた
Q5-3-3-3	床からの出入りの為花だんをつぶしてスロープ(コンクリートに
Q5-3-3-3	昇降機を取り付け、車イス出入りの部屋を増築
Q5-3-3-3	庭からバルコニーを通り居室へ通じるが車イスでは使わず石段としている。玄関前より庭へ移動可。
Q5-3-3-3	扉を取りはずした。
Q5-3-3-3	部屋への道、出はいりしやすいようにエレベーターを付けた
Q5-3-3-3	増築した。リフト
Q5-3-3-3	段差昇降機
Q5-3-3-3	昇降機設置
Q5-3-3-3	車庫からエレベーターを作り直接部屋にはいれるようにした。
Q5-3-3-3	リフト設置
Q5-3-3-3	昇降機設置
Q5-3-3-3	居間へスロープ(コンクリート)8m程度
Q5-3-3-3	しょうこうき
Q5-3-3-3	母屋のスロープ
Q5-3-3-3	スロープ及びウッドデッキの取付け
Q5-3-3-3	ウラ勝手口
Q5-3-3-3	裏からの出入口から出入り
Q5-3-3-3	2階住居の為
Q5-3-3-3	昇降機を取り付けた
Q5-3-3-3	スロープを作り、リフトを設置
Q5-3-3-3	車庫からリフター昇降機を使い家に入れるようにした。
Q5-3-3-3	ひきど

Q5-3-3-3	スロープにした
Q5-3-3-3	段差解消リフトを設置
Q5-3-3-3	スロープ
Q5-3-3-3	スロープ
Q5-3-3-3	リフトを付けた。
Q5-3-3-3	スロープ
Q5-3-3-3	マイクロ・エレベーター製の段差昇降機を設置した
Q5-3-3-3	リビング側を専用入口とした
Q5-3-3-3	エレベーターをつけた
Q5-3-3-3	スロープをつけた
Q5-3-3-3	スロープ
Q5-3-3-3	昇降機を付けた
Q5-3-3-3	ガレージの部分を通路(車椅子)居室のガラス戸から段差昇降機での出入
Q5-3-3-3	うら口からスロープ付けた
Q5-3-3-3	段差昇降機をつけました
Q5-3-3-3	家に入るためのリフトを作った
Q5-3-3-3	居室の高さにウッドデッキを庭に作成し段差昇降機で道路に
Q5-3-3-4	特にしていない
Q5-3-3-4	エレベーター設置
Q5-3-3-4	バリアフリー、キッチン居間をワンフロアとした。
Q5-3-3-4	床の材料を硬いものにした
Q5-3-3-4	電動車椅子+体重約150Kの為床全面はりかえ
Q5-3-3-4	すべてフラットに
Q5-3-3-4	扉を外した。
Q5-3-3-5	手すりを付けたが2階には上がれず
Q5-3-3-5	特にしていない
Q5-3-3-5	ホームエレベーター
Q5-3-3-5	増築した
Q5-3-3-5	エンガワのハキダシからの出入口にスロープをつけた
Q5-3-3-5	外から自室へスロープを作った
Q5-3-3-5	昇降機設置
Q5-3-3-5	2階までのリフト
Q5-3-3-5	昇降機設置
Q5-3-3-5	車椅子昇降機の取り付け
Q5-3-3-5	2階住居の為
Q5-3-3-5	階段昇降機の設置、土間コン打
Q5-3-3-5	リフト
Q5-3-3-5	2階への昇降機をとり付けた。
Q5-3-3-5	エレベーター
Q5-3-3-5	エレベーターの設置
Q5-3-3-5	昇降機
Q5-3-3-5	昇降機
Q5-3-3-5	ガレージの部分を通路(車椅子)居室のガラス戸から段差昇降機での出入
Q5-3-3-5	ありません
Q5-3-3-5	家の中で2Fから1Fにおりる(あがる)リフトを作った。
Q5-3-3-6	特にしていない
Q5-3-3-6	増築した
Q5-3-3-6	居室にポータブル便器を取り付けた
Q5-3-3-6	天井リフト
Q5-3-3-6	洗面所を設置
Q5-3-3-6	フローリングに変えた
Q5-3-3-6	2部屋を合わせ1部屋(個室)とした。
Q5-3-3-6	畳を床に
Q5-3-3-6	窓
Q5-3-3-6	通路確保の為、フローリングにし、家具も変えた。部屋の戸も、スライド式扉に変更。
Q5-3-3-6	リハビリ室を確保
Q5-3-3-6	重たすぎて開閉の困難な戸を軽いものにし、取っ手を付けた。
Q5-3-3-6	ありません
Q5-3-3-7	和室を改造、洋室フローリング仕様
Q5-3-3-7	フローリングに交換(畳の間)
Q5-3-3-7	特にしていない
Q5-3-3-7	増築した
Q5-3-3-7	リフターを取り付ける。
Q5-3-3-7	天井走行リフト
Q5-3-3-7	隣の部屋との境をとりはらう
Q5-3-3-7	床暖
Q5-3-3-7	ドア、床上げ
Q5-3-3-7	和室を洋間にし床を強化した
Q5-3-3-7	洗面台設置
Q5-3-3-7	事務所を寝室に床をフローリング
Q5-3-3-7	玄関から居室へ天井走行リフト
Q5-3-3-7	2階だったので、1階の一室のたたみを床へ改修しバリアフリーにした
Q5-3-3-7	ベット
Q5-3-3-7	電動リフトの設置(ベッド→車いす)
Q5-3-3-7	2階だったので1Fの入口付近の応接間を居室にした
Q5-3-3-7	冷暖房の経費を軽減するために部屋をくぎった
Q5-3-3-7	床暖房とした、エアコンを取り付けた
Q5-3-3-7	洗面所を設置
Q5-3-3-7	介護リフト設置
Q5-3-3-7	収納棚を造った
Q5-3-3-7	コンセント増設、アンテナケーブル増設
Q5-3-3-7	畳をクッションフロアに変更
Q5-3-3-7	天上走行リフトの設置

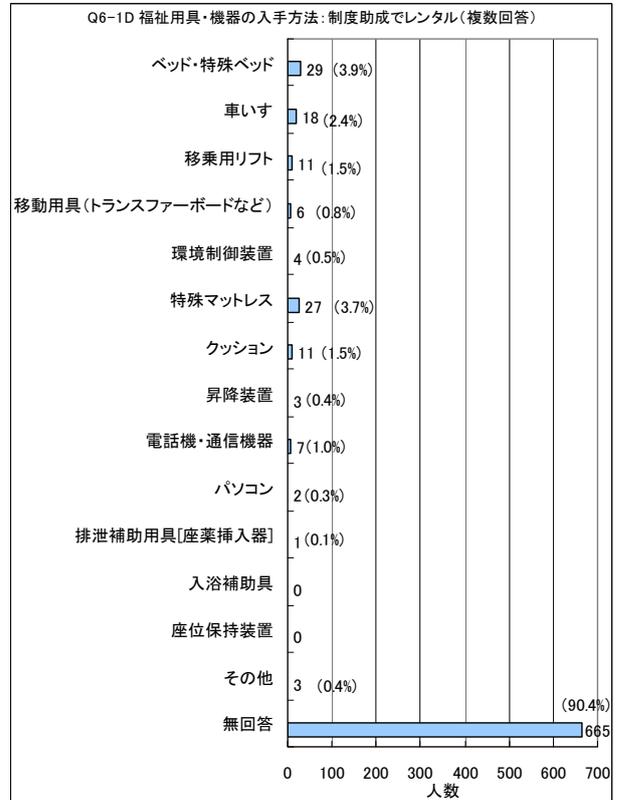
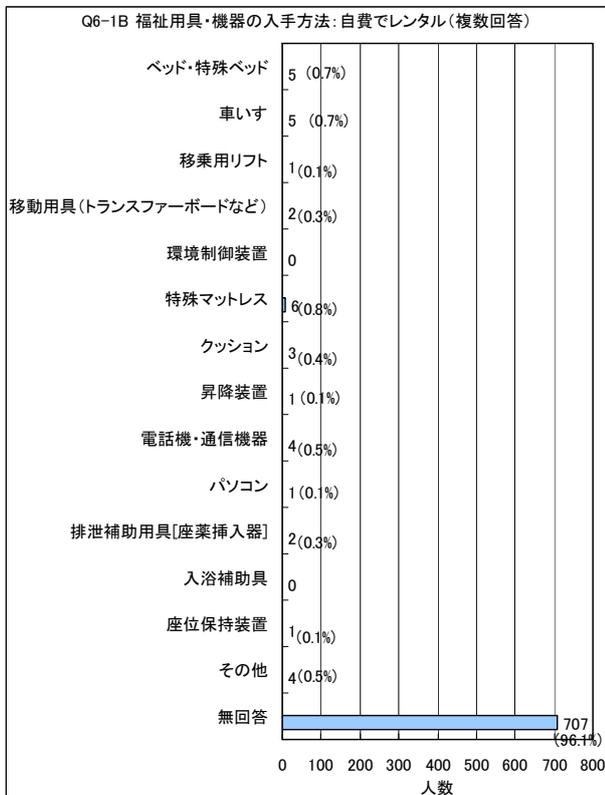
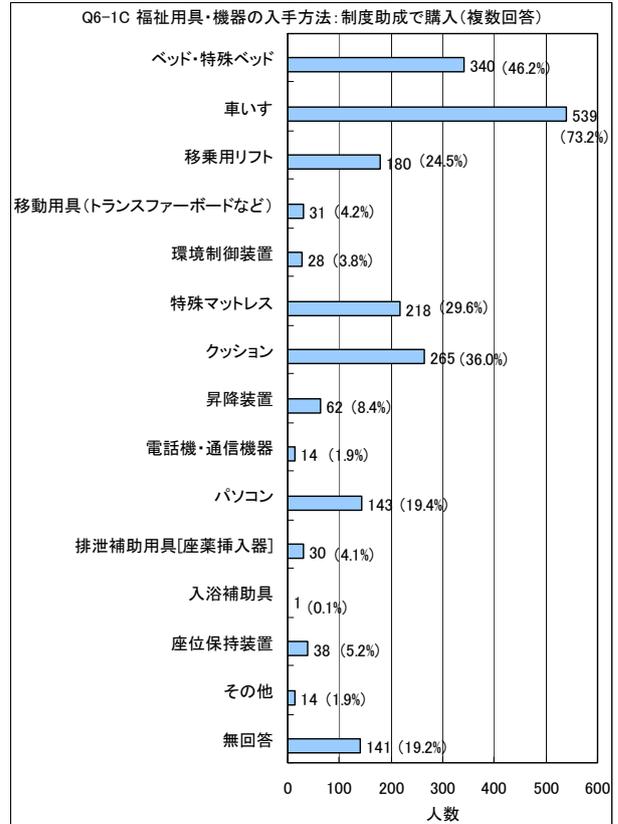
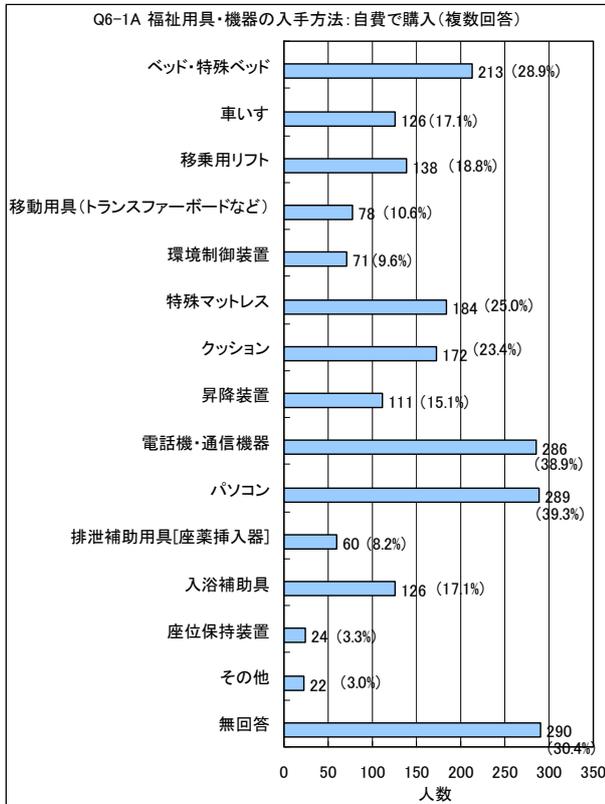
Q5-3-3-7	戸を新たに設置した
Q5-3-3-7	棚を取り付けた
Q5-3-3-7	タタミを除去し、フローリング床にした。
Q5-3-3-7	2部屋を合わせ1部屋(個室)とした。
Q5-3-3-7	畳を床に
Q5-3-3-7	和室→洋室
Q5-3-3-7	和室から洋室(フローリング)に改造した。
Q5-3-3-7	天井昇降機で、上げたり、降ろしたりする。天井も重量に耐えられる様強化。
Q5-3-3-7	重たすぎて開閉の困難な戸を軽いものにし、取っ手を付けた。
Q5-3-3-8	居室と浴室との間にパートナーで移動出来る位置
Q5-3-3-8	増築
Q5-3-3-8	増築した
Q5-3-3-8	暖房便座
Q5-3-3-8	頓損トイレ
Q5-3-3-8	背面によりかかれる様
Q5-3-3-8	追加
Q5-3-3-8	8畳の部屋を改造して私専用のトイレ・ユニットバスをつけた。家族が臭いを気にする為。
Q5-3-3-8	車庫を浴室と便所、洗面所、器具洗場
Q5-3-3-8	リフトで移動
Q5-3-3-8	使用しないので普通
Q5-3-3-8	便座に補高を入れ、本人の使いやすい高さにする
Q5-3-3-8	車椅子で入れるように。電気はセンサーにした
Q5-3-3-8	座敷トイレにした
Q5-3-3-8	別の場所に新しくして設置(自分専用)
Q5-3-3-8	とびらと壁をとってしまった。
Q5-3-3-8	昇降式の便座を使用
Q5-3-3-8	汚物流しを設置
Q5-3-3-8	ドアをなくしてカーテンを設置
Q5-3-3-8	手すりを取り外した。自動洗浄ハンドルを取り付けてボタンを肘で押して水洗できるようにした。
Q5-3-3-8	床面を450hに底上げした
Q5-3-3-8	衣服脱着用背もたれ
Q5-3-3-8	改造したが未使用でこわした
Q5-3-3-8	失禁で汚れた衣類を洗うため、補助水栓を設置した。
Q5-3-3-8	押入れ部をトイレに改修
Q5-3-3-8	畳を床に
Q5-3-3-8	自分用のトイレを作った
Q5-3-3-8	重たすぎて開閉の困難な戸を軽いものにし、取っ手を付けた。
Q5-3-3-8	手洗いシンクをとり付けた。
Q5-3-3-8	新設居室に隣接
Q5-3-3-8	座面をとり付けた
Q5-3-3-9	天上走行式リフター設置
Q5-3-3-9	天上レールに依るネット移動(ベトより浴室)
Q5-3-3-9	リフターを付けた
Q5-3-3-9	天井走行リフトを寝室→トイレ→浴室に施し入浴時のみトイレで装着し使用。
Q5-3-3-9	リフトを付けた
Q5-3-3-9	高いスノコ
Q5-3-3-9	天上リフター
Q5-3-3-9	増築
Q5-3-3-9	リフターを取り付ける、浴槽を洋風式に変更。
Q5-3-3-9	車いすから移動可能な段(座れるスペース)を設けた
Q5-3-3-9	シャワーのみで高床式
Q5-3-3-9	シャワー浴にしたので、使いやすい物を取り付けた
Q5-3-3-9	リフト
Q5-3-3-9	リフトを付けた
Q5-3-3-9	作った
Q5-3-3-9	入り口にスロープ、浴室にスノコ
Q5-3-3-9	リフター設置
Q5-3-3-9	浴槽を長いものにした
Q5-3-3-9	全く変えず入浴椅子を用意したのみです。
Q5-3-3-9	ソフト
Q5-3-3-9	8畳の部屋を改造して私専用のトイレ・ユニットバスをつけた。家族が臭いを気にする為。
Q5-3-3-9	天井リフト
Q5-3-3-9	五ヶ門風呂をステンレスに
Q5-3-3-9	部屋から直接行ける様にした
Q5-3-3-9	浴そうのとりにかえ
Q5-3-3-9	車庫を浴室と便所、洗面所、器具洗場
Q5-3-3-9	リフト(つるべ)をつけた
Q5-3-3-9	シャワチェア、すべり止めマットなど備品
Q5-3-3-9	リフトで移動
Q5-3-3-9	ユニットバスへ全てとりかえた。
Q5-3-3-9	洗い場を浴槽の縁と同じ高さにした。
Q5-3-3-9	ツルべをつけた
Q5-3-3-9	庭をつぶし、4畳ぐらいの浴室をつくった
Q5-3-3-9	リフターをつけた
Q5-3-3-9	暖房をつけた。
Q5-3-3-9	リフター
Q5-3-3-9	シャワーヘッド交換
Q5-3-3-9	シャワーチェアの購入
Q5-3-3-9	吊具をとり付けた(リフター)
Q5-3-3-9	多機能シャワーにした
Q5-3-3-9	リフター設置
Q5-3-3-9	すのこをしく

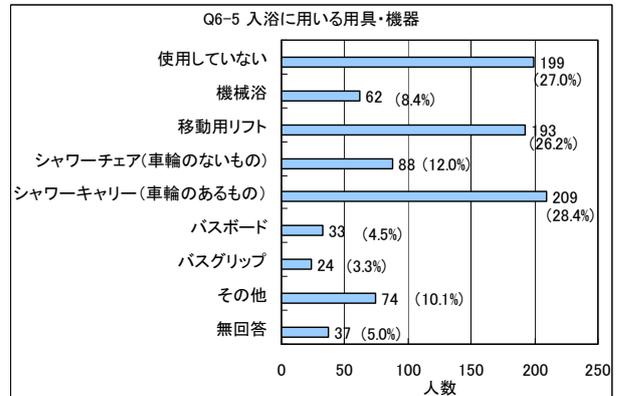
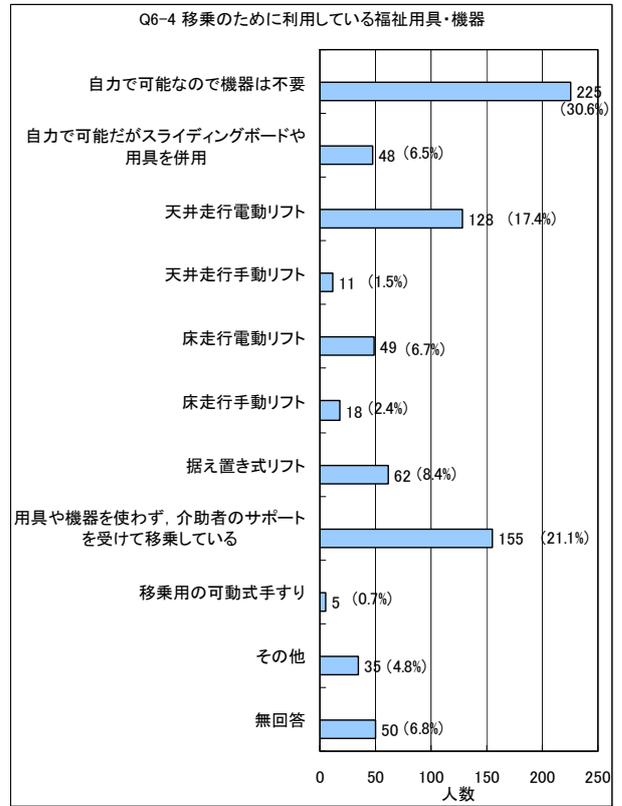
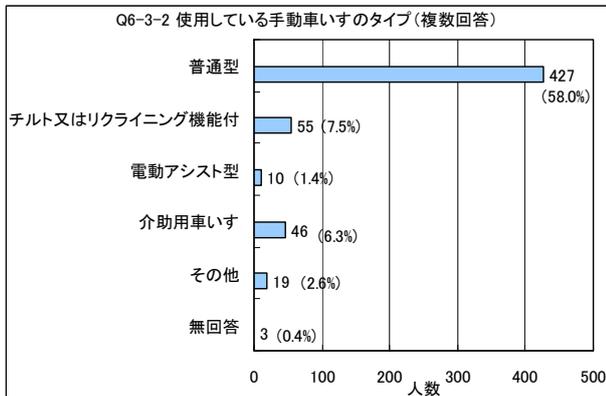
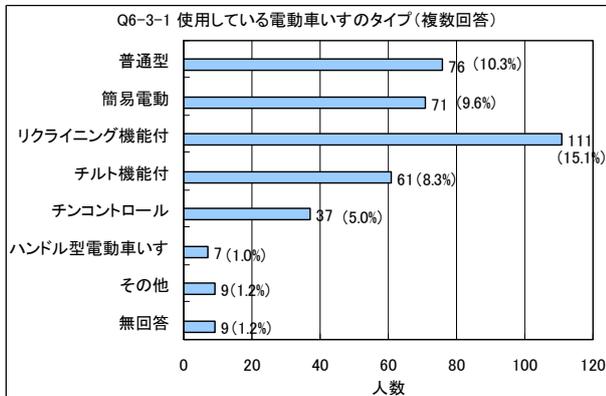
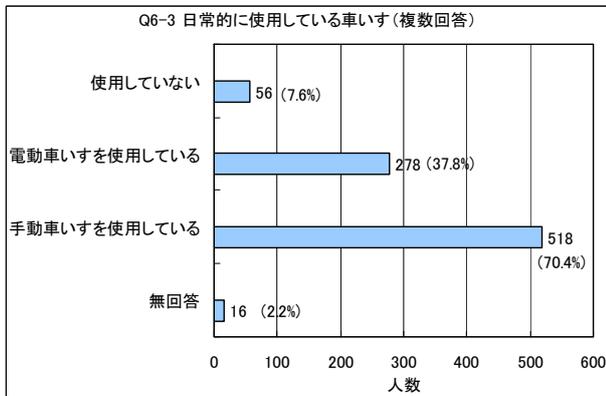
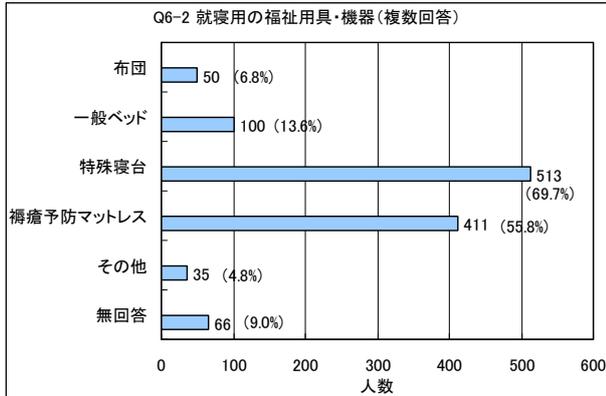
Q5-3-3-9	浴そうのへりと同じ高さの台を作って隣におき、腰かけて浴そうに移れるようにした
Q5-3-3-9	介護リフト設置
Q5-3-3-9	ホイスト(リフト)
Q5-3-3-9	リフターを設置した
Q5-3-3-9	台所を浴室に改造
Q5-3-3-9	リフター設置
Q5-3-3-9	浴室へのシャワーキャリーの導線確保の為、洗面台を撤去し
Q5-3-3-9	床面を450hに底上げした
Q5-3-3-9	衣服脱着用背もたれ。車椅子の高さの縁台の上にマットを敷
Q5-3-3-9	改造したが移動式に替えた
Q5-3-3-9	リフト
Q5-3-3-9	シャワーキャリーの出入りを容易にするためのスノコの設置と天井に暖房機を取付けた。
Q5-3-3-9	室内で転回できるスペースをとり、シャワー浴が自立できるようにした。
Q5-3-3-9	浴槽を取りはずした。
Q5-3-3-9	ユニットバス(車イスと同じ高さシャワーのみ)
Q5-3-3-9	シャワーカーテン
Q5-3-3-9	本部新品に取替
Q5-3-3-9	リフターを取付けた
Q5-3-3-9	深に浴そう入れないので洋風のものに
Q5-3-3-9	天井昇降機
Q5-3-3-9	重たすぎて開閉の困難な戸を軽いものにし、取っ手を付けた。
Q5-3-3-9	つり上げ式の入浴機をつけた
Q5-3-3-9	リフト
Q5-3-3-10	流しの下をひざが入るようにした。
Q5-3-3-10	居間、居室)兼用。車イス仕様IHクッキング、カウンターなど設
Q5-3-3-10	特にしていない
Q5-3-3-10	シンクの下に車イスが入れるようにした。
Q5-3-3-10	火を使用せず、IHを使用。
Q5-3-3-10	障害者用設備になっているので、ヘルパーには使い勝手が悪
Q5-3-3-10	高さを低く、棚も低くした。
Q5-3-3-10	車椅子が入る様な高さのテーブルに変更しました。
Q5-3-3-10	棚の取りはずし
Q5-3-3-10	使用していない
Q5-3-3-10	狭くなった
Q5-3-3-10	シンクの下に膝が入る(車いすで)高さにした。
Q5-3-3-10	車いすで自分で食べれるようにテーブルの高さを上げた。
Q5-3-3-10	本人使用しないので行ってない、元々IHだった
Q5-3-3-10	流し台は車椅子が入れるものにした
Q5-3-3-10	流しと調理台、レンジ台を車イスの入るものにした。
Q5-3-3-10	通路確保の為家具を変え、浴室を広くするため狭くした。
Q5-3-3-10	ながしの下を空けた
Q5-3-3-10	高すぎて手の届きにくいカランを手の届く低い所にも付けた。
Q5-3-3-10	車いすのままつかいやすいように細かい部分まで工夫した
Q5-3-4	改造時と現在では状態が変わり(当時は数メートルは歩けたが今は全て車イス)不便な場所が増えた。
Q5-3-4	集合住宅につきインターホンが使えずその改造業者にたどりつくまで困難をきわめた。
Q5-3-4	床暖房を施したが不要だった。電キ代がかかり過ぎる為、エコといえず。
Q5-3-4	自分で勉強した
Q5-3-4	新築したばかりだったが、一度こわすことになってしまった→本人の障害の状況に合っていないかったため。
Q5-3-4	重度なので、自分で出来る事が少なく、介助者の動きやすさに、配りよが必要だと思う
Q5-3-4	37年前なので情報が不足していた
Q5-3-4	借家の時トイレ風呂入れなかった。
Q5-3-4	車イスの人が生活する上での家なのに、まわりにわからなすぎの人が多すぎて家が出来るのにこまかいことまで説明するのが大変。つかれる
Q5-3-4	特になし、地元のリハセンターにアドバイスを受けた
Q5-3-4	介護する側、される側ともにはじめての経験で、不安だったし、日々の生活がおちつかないうちに進んで行くのは大変だった
Q5-3-4	天井走行電動リフトは新築では申請できず入居してしばらくは移乗時には人を頼んで2人がかりで行った。入居して1ヶ月くらいたってから申請を行い取り付けた。
Q5-3-4	昇降機の設置に苦労した。
Q5-3-4	相談者がいた
Q5-3-4	△公的制度的場合、見積り新正判定給付という手順の為作った後では給付が受けられない。手すりのパイプの経がほぼ決まられており太い物の使えない。
Q5-3-4	すべて利用できた
Q5-3-4	電動車イス(あごを使用)が100kg以上ありホームエレベーターでは予算オーバーし、2階へ上げる手段がわからなかった。
Q5-3-4	大屋さんや市役所との連絡調整
Q5-3-4	※住宅メーカーのセキスイハイムなので、助かりました。
Q5-3-4	こまめに見に来れなかった
Q5-3-4	まだ住んでいない家の改造のイメージをするのが難しかった。
Q5-3-4	準備期間不足だった
Q5-3-4	障害がおもくなったので風呂・便所が使えない
Q5-3-4	障害者となった自分がどの程度のADLなのかそれに合わせた改築と、初めてなので(あたりまえですネ)実際使ってみて修正したところもあった。
Q5-3-4	道路に対して土地が高かったためスロープが長く必要になるため大変でした。
Q5-3-4	建築会社が不勉強→情報をもっていない

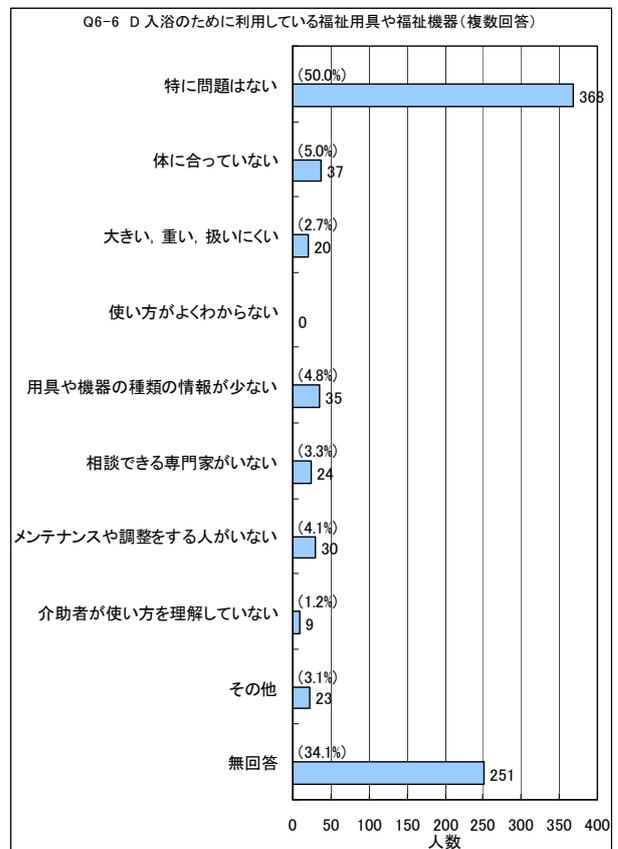
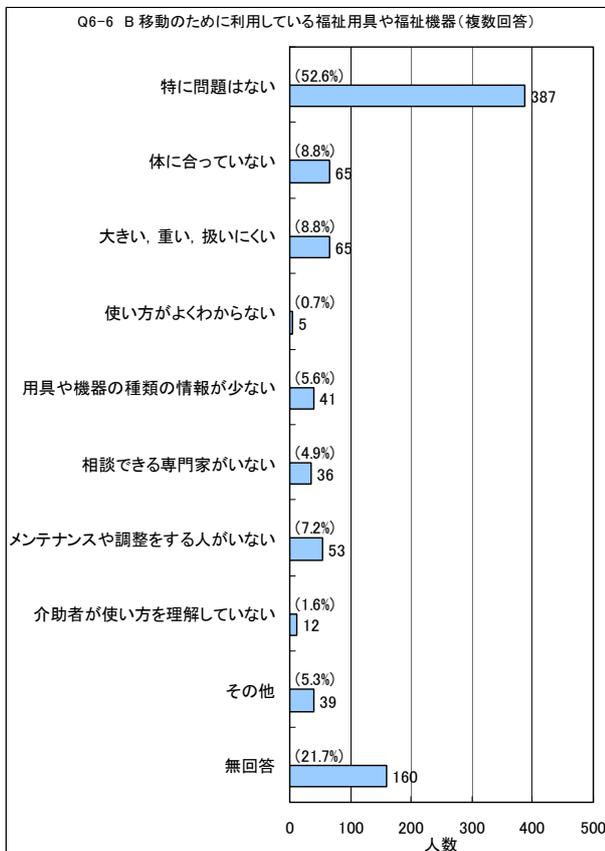
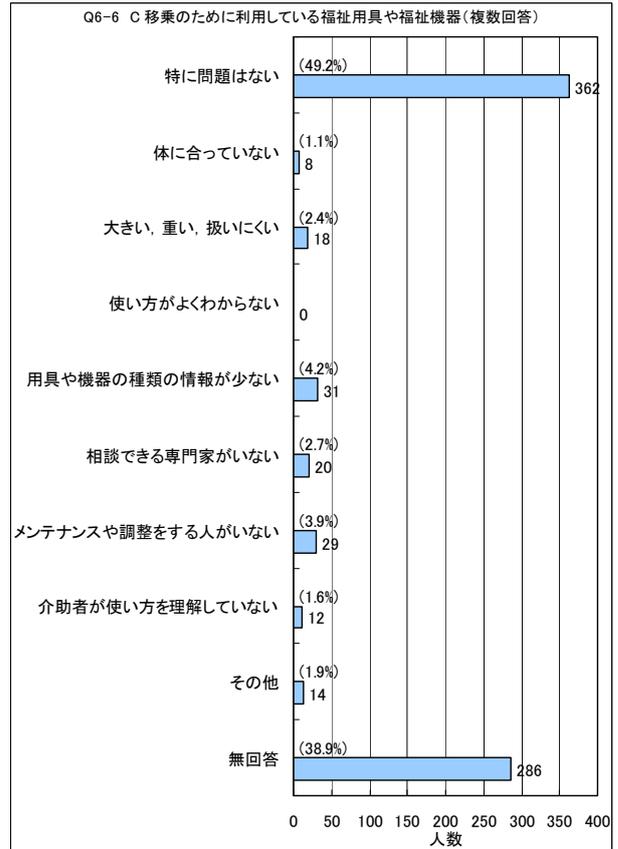
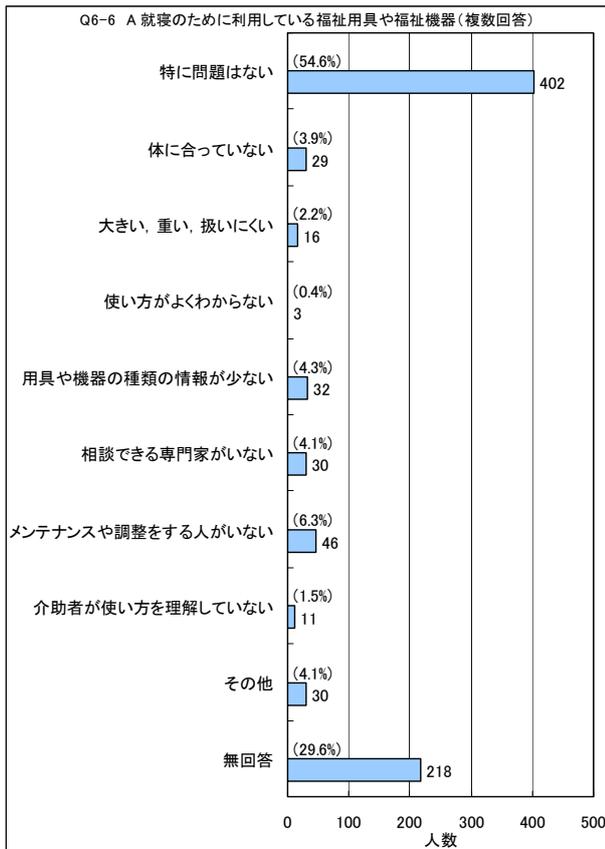
Q5-3-4	あまりに大きな段差など構造的に改築不可能な箇所があった
Q5-3-4	大工さんのバリアフリーに対する知識不足
Q5-3-4	設計費が増えた
Q5-3-4	限られた敷地内での部屋の配置決め
Q5-3-4	農地転用等の手続きも大変
Q5-3-4	建ぺい率の関係で部屋が狭くなった
Q5-3-4	35年くらい前の事であらゆることがそうでした。特に情報、やり
Q5-3-4	家族に労力等で迷惑をかけた。
Q5-3-4	工事中の家族の住居が不便だった。
Q5-3-4	業者をじっくり選びたかった。
Q5-3-4	情報をうまく活用出来なかった
Q5-3-4	業者の無理解
Q5-3-4	どのように(どこまで)改造すべきか判断に迷った。
Q5-3-4	施工してもらった業者をさがすのが大変だった。
Q5-3-4	工事に取らる前に申請しなかった為助成金がもらえな
Q5-3-4	同じ障害者宅や、展示場に何度も行ったり、ドクター、リハビリ
Q5-3-4	センターの方と相談する
Q5-3-4	問題なし
Q5-3-4	建築屋さんが未熟
Q5-3-4	担当者がいいかげんだった
Q5-3-4	考えすぎて費用がかかりすぎた
Q5-3-4	制度の手つづきがふくざつだった
Q5-3-4	浴室工事中、自宅風呂に入れず、工事のほこり。
Q5-3-4	業者の無理解
Q5-3-5	何も分らず工務店まかせ。
Q5-3-5	本人も建築士
Q5-3-5	自分で調べた
Q5-3-5	福祉用具とりあつかい業者
Q5-3-5	自分でみつけた→アビリティ
Q5-3-5	バリアフリー関連情報誌
Q5-3-5	業者
Q5-3-5	本
Q5-3-5	工務店なので
Q5-3-5	市役所
Q5-3-5	住環境の整備活動をするNPO団体
Q5-3-5	医療業者
Q5-3-5	福祉機器の販売店
Q5-3-5	本
Q5-3-5	病院、自分で考えた
Q5-3-5	自分の思いえが生活を想像して。
Q5-3-5	親が工務店を経営していた
Q5-3-5	参考してど〜
Q5-3-5	自宅を改造している方を訪問し見せてもらって、アドバイスを
Q5-3-5	妻が介護福祉士でありいろいろな方面から情報を得た。
Q5-3-5	自己設計
Q5-3-5	知人の建築士に設計してもらい医療専門職に確認してもらい
Q5-3-5	ました。
Q5-3-5	福祉機器展を見に行った
Q5-3-5	大工さんに相談。
Q5-3-5	自分で考えた訓練を勧めながらあちこちの施設の使えそうな
Q5-3-5	物を改造に取り入れた。
Q5-3-5	自分で考えた
Q5-3-5	地元の公明党の市会議員
Q5-3-5	区画整理事業に関連したので施工会社と相談
Q5-3-5	前に住んでいた車イス住宅を参考(市営)
Q5-3-5	障害者のトイレ、洗面所等参考にした
Q5-3-5	本
Q5-3-5	介ゴショップ
Q5-3-5	違う障害を持った人
Q5-3-5	自分で設計士と相談
Q5-3-5	自分で設計した
Q5-3-5	展示場見学
Q5-3-5	市役所の福祉課
Q5-3-5	リハビリセンターの展示場
Q5-3-5	自分の仕事とその分野だから
Q5-3-5	新聞等の情報誌、H1年H4年2回建てました。
Q5-3-5	福祉機器展見学
Q5-3-5	自分で選ぶ
Q5-3-5	自分で勉強した
Q5-3-5	個人で調べた
Q5-3-5	福祉用具販売の方
Q5-3-5	大工だったから
Q5-3-5	私が大工で設計した。
Q5-3-5	自分で
Q5-3-5	設計士
Q5-3-5	福祉ブラザ
Q5-3-5	それまでの暮らし経験
Q5-3-5	建築士なので自分で検討、友人の補助有り
Q5-3-5	ピア・カウンセラー
Q5-3-5	福祉機器メーカー・販売業者
Q5-3-5	福祉住環境コーディネーターで建築家の方と共に
Q5-3-5	友人、建築関係者
Q5-3-5	10年前の改造の時は情報が沢山あり助かりましたが、35年前
Q5-3-5	の新築は困ることばかりだった。
Q5-3-5	家族の考え
Q5-3-5	バリアフリー設計に詳しい設計士
Q5-3-5	福祉施設設計の経験のある設計士さんの紹介を受けた。

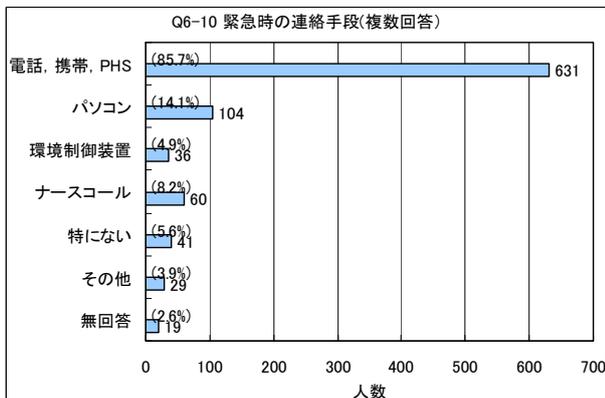
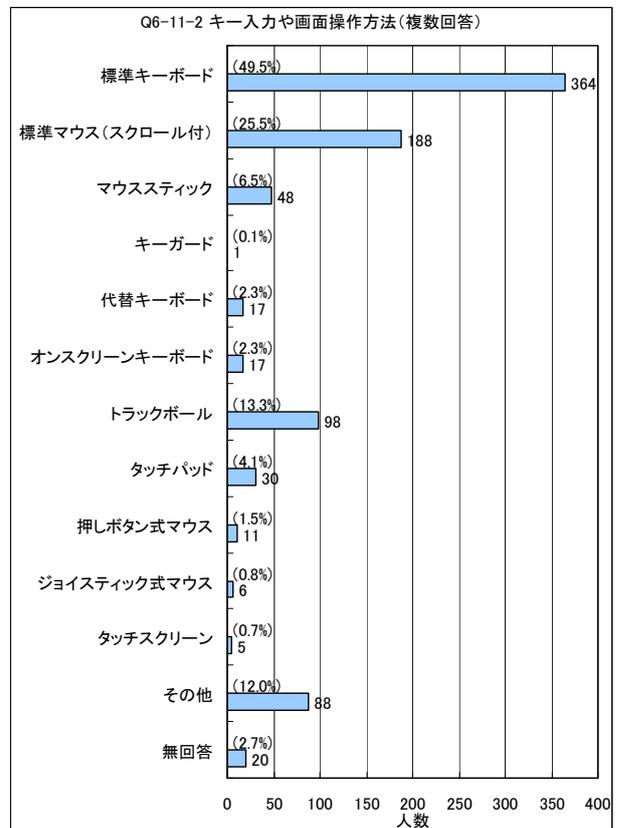
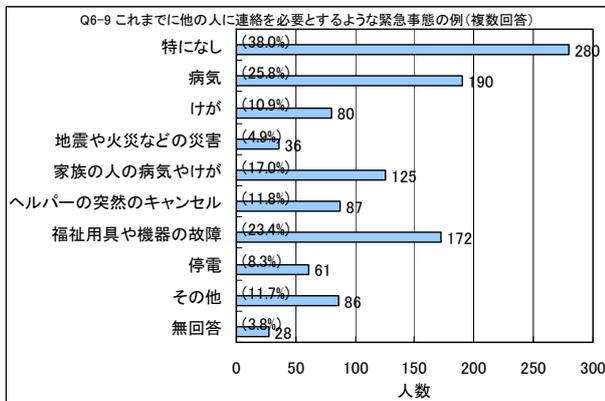
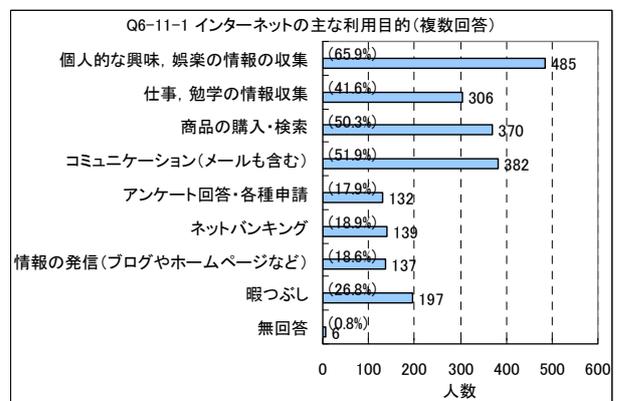
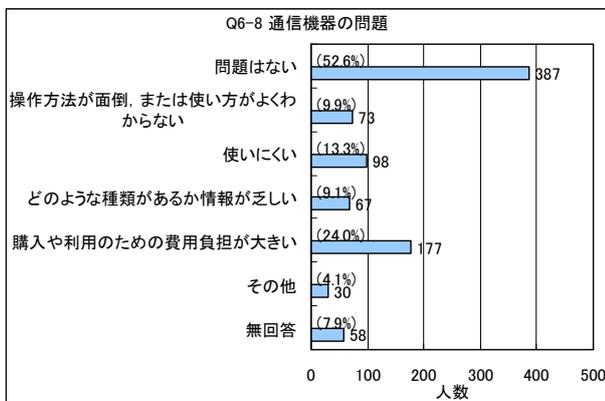
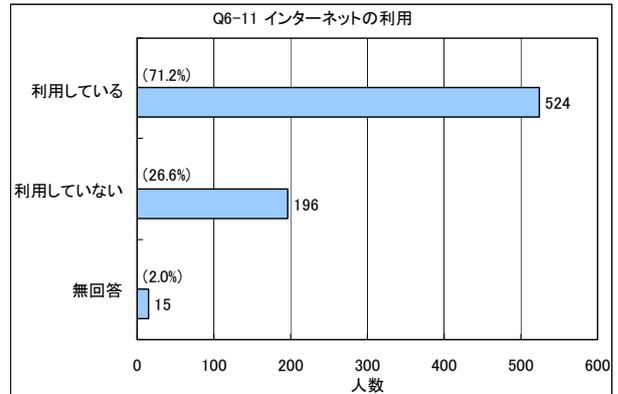
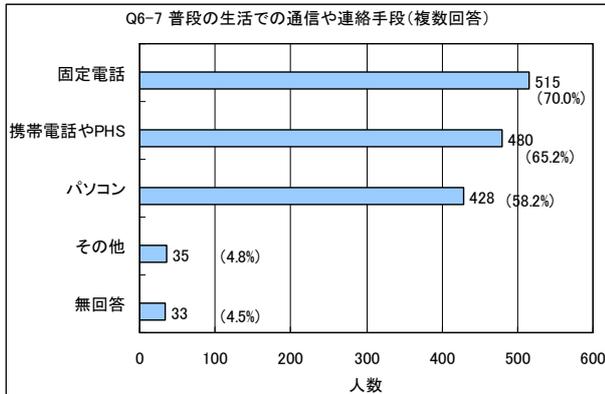
Q5-3-5	市の福祉制度の案内
Q5-3-5	知人の紹介
Q5-3-5	専門書
Q5-3-5	友人が最初から最後まで、監とくしてくれた。
Q5-3-5	伊東重度センター
Q5-3-5	知人
Q5-3-5	市の福祉課(階段)
Q5-3-5	特別情報もなく、大変苦労した。施工会社が決ってからは業者
Q5-3-5	の人に相談し情報をもらった。
Q5-3-5	改造した家に10年くらいし、その後の新築なので本人の使い勝
Q5-3-5	手を熟慮して、施工会社に注文した。
Q5-3-5	自分が大工だから
Q5-3-5	知人に依頼
Q5-3-5	関連書籍・資料
Q5-3-5	区役所福祉課
Q5-3-5	来住意志
Q5-3-5	バリアフリー展
Q5-3-6	障害者住宅(県営)
Q5-3-6	日常生活用具の給付を受けた。
Q5-3-6	車イス対応住宅だから
Q5-3-6	なんとかなっている
Q5-3-6	アパートを借りています
Q5-3-6	上肢のしびれ(左右)下肢の冷感ほひどく、握力も低下してい
Q5-3-6	るが、何とか適応して生活している
Q5-3-6	県営
Q5-3-6	スロープだけつけた
Q5-3-6	車イス対応住宅
Q5-3-6	割とバリアフリーな家に引っ越した
Q5-3-6	現時点では必要ない
Q5-3-6	自宅迄に坂道と舗装していない道がある為
Q5-3-6	元から改造済み
Q5-3-6	マンション自体初めから段差等がない造りであった為
Q5-3-6	35年前に建てたので、そのまま暮らしている
Q5-6	駐車スペースは有るが車イスでの出入りが不便
Q5-6	風呂が寒いので冬は入浴できないのと、リフトが必要である
Q5-6	職員に対しての不満
Q5-6	床がふしよしているがなおせていない。居住していると直せ
Q5-6	れないとの事
Q5-6	近い将来再改築しないと生活しにくい、生活費だけで一ぱ
Q5-6	い、改築出来ない
Q5-6	隣近所がやかましい、たちがわるい
Q5-6	新築したが退院に併せて急いで建ててしまったため、入居して
Q5-6	から障害レベルに合っていない等不具合が出てきてしまった
Q5-6	家賃がたかい
Q5-6	台所のスペースが狭く車椅子の回転が出来ない。又洗いを
Q5-6	するときに、洗いの下に車椅子が入らないこと
Q5-6	風呂の入口の段差が大きい(20cm)
Q5-6	他人様のアパートを借りておりますので、もう1部屋でもあれ
Q5-6	ばと思います。
Q5-6	手すりがない
Q5-6	高圧線下で電磁波強く色々な障害がある
Q5-6	玄関が思ったよりせまい
Q5-6	同室者と生活習慣が違う、バイオリズムの違いによるストレス
Q5-6	がある。
Q5-6	介ゴ職員が少ない
Q5-6	階段昇降が大変である。
Q5-6	①ペランダへの段差②ろうか幅
Q5-6	一人では出入口がせまいスロープがきゅうでのぼれない
Q5-6	家賃が高い
Q5-6	施設設備が障害者向でない
Q5-6	マンションのエントランス部のスロープが急すぎる。滑りやすい
Q5-6	近所に60才以上の女性の1級ヘルパーが、ご主人さんがいる
Q5-6	にもかかわらず事業所の命令という一言で1年以上入浴介助
Q5-6	に来ていた。迷惑な話、その方の子供30才以上独身困ると
Q5-6	10年後を想像すると部屋が狭い足りない。
Q5-6	台所が使いにくい。
Q5-6	1日中日がまったくあたらない北側に居室あり
Q5-6	3階で昇降が不便
Q5-6	近隣の落ち葉が敷地へ入って来て困まる。
Q5-6	自宅から外へ出るのに段差がある
Q5-6	寒い
Q5-6	浴室、トイレが欲しい
Q5-6	・風向き悪・西陽が強い・室温が高過ぎる
Q5-6	家の断熱構造。実際には、しゃ熱構造も大切だった(夏場は暑
Q5-6	くて体調に影響大)
Q5-6	空調の制御
Q5-6	居室が狭い・高級感がない
Q5-6	部屋の空間を有効に使えず機能的ではない
Q5-6	寒い
Q5-6	エレベータがなく将来的に困る
Q5-6	グレーチングの網目が大きい
Q5-6	近く、個室を出なければならぬ
Q5-6	雨の時、車の乗降で濡れる
Q5-6	1年ごとに2人部屋を交替すること
Q5-6	生活環境制御装置が無い。リモコン等によるオートメーショ
Q5-6	ン化が必要
Q5-6	近いうち、家を借りて一人暮らしの予定
Q5-6	完全バリアフリー化は家族の了解が得られない
Q5-6	収納スペースが無い。
Q5-6	浴室で湯舟→(天井走行リフト)につかる事ができない

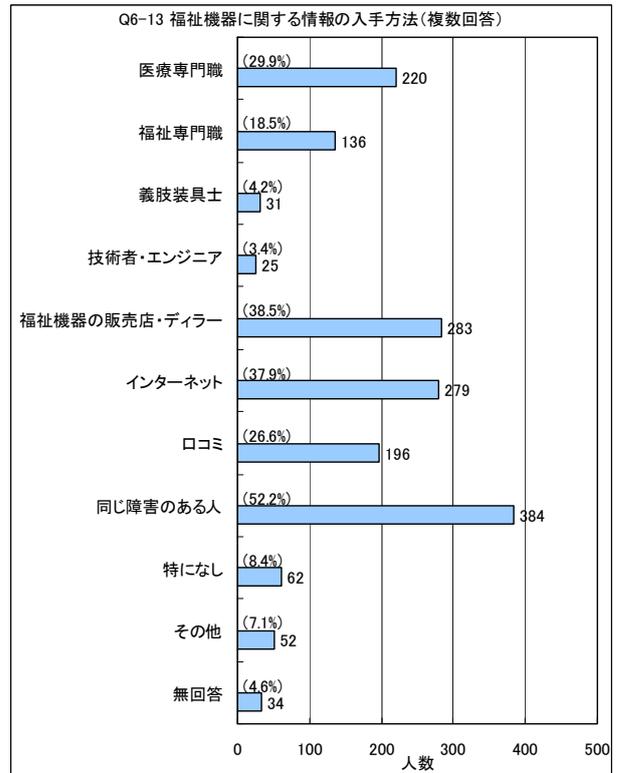
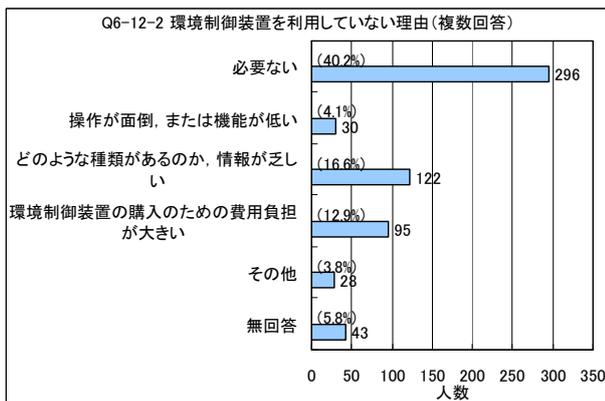
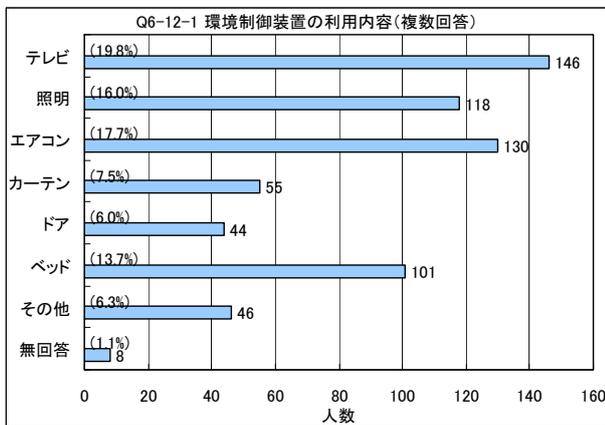
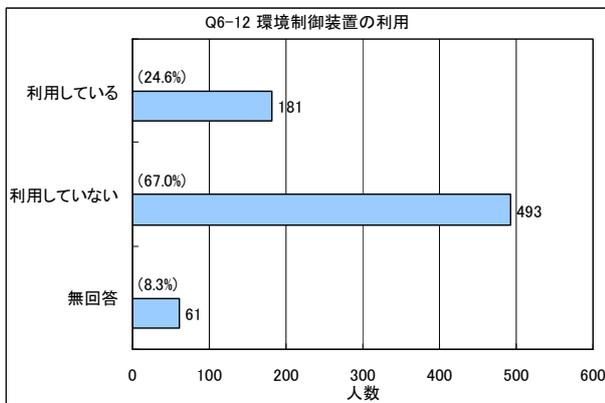
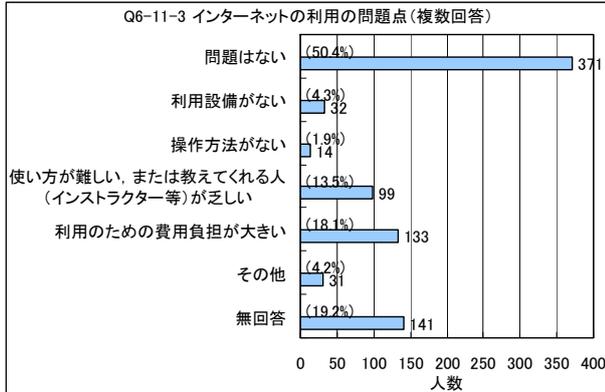
## 2-6. 福祉機器











設問番号	記述内容
Q6-1-A	自動車
Q6-1-A	IHクッキング、ドラム式洗たく機、冷ゾウ庫
Q6-1-A	電動車椅子
Q6-1-A	入浴ストレッチャー
Q6-1-A	1万円マッサージ機、1万円低周波
Q6-1-A	ハンドルノブ
Q6-1-A	シャワーチェア、すべり止めバスマット
Q6-1-A	フリーアーム、サチュレーションモニター指用
Q6-1-A	保険会社(1、2、3、6、7、8、9、5)
Q6-1-A	つえ
Q6-1-A	オーバークラウド及びパソコン用テーブル
Q6-1-A	車(特殊車輛)
Q6-1-A	生活保護
Q6-1-A	リリーチャー
Q6-1-A	ゆずり受た
Q6-1-B	エアマット
Q6-1-B	生活保護
Q6-1-B	四点杖
Q6-1-C	2+自費
Q6-1-C	制度助成で不足分は自費
Q6-1-C	吸引器
Q6-1-C	自費も多い
Q6-1-C	収尿袋(ウロバッグ)
Q6-1-C	電動車イス、シャワーキャリ
Q6-1-C	把持器具
Q6-1-C	生活保護
Q6-1-C	収尿袋
Q6-1-C	改造自動車
Q6-1-D	生活保護
Q6-1-D	呼吸器
Q6-2	かかとをうかす為のクッション
Q6-2	体交枕やクッション
Q6-2	アクションパッド
Q6-2	リフター
Q6-2	クッション類
Q6-2	円座
Q6-2	防水シート
Q6-2	ムートン防水マット
Q6-2	体交枕
Q6-2	吊り具
Q6-2	ベッドの手摺
Q6-2	防水シート
Q6-2	Bed上にやぐらを組み紐をたらしている

Q6-2	ムアツマット
Q6-2	ベッドからおきあがる時の補助具(手すり)
Q6-2	アーチ状鉄製フトン支え
Q6-2	そくがえ用クッション
Q6-2	体向マット・バット
Q6-2	クッション
Q6-2	褥瘡予防のかかと用バット
Q6-2	クッション
Q6-2	体位保持用クッション
Q6-2	ナーゼンバット
Q6-2	呼気圧コール
Q6-2	痙性抑制ベルト
Q6-2	利用してない
Q6-2	クッション等
Q6-2	固定枕
Q6-2	横臥用スポンジクッション
Q6-2	ライトケアという体位こう換機能を持ったもの、これは制度に取入れるべき。
Q6-2	ワイヤレスコール
Q6-2	特殊スポンジ
Q6-2	布団、抱きまくら
Q6-3使用電動車いす	OX製2台
Q6-3使用電動車いす	アクリテック
Q6-3使用電動車いす	インバーケア社エクステラ
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	ヤマハJW-1
Q6-3使用電動車いす	松永製作所
Q6-3使用電動車いす	ヤマハJW2
Q6-3使用電動車いす	アクションレンジャーX
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	ヤマハJW-1
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	ヤマハJW1
Q6-3使用電動車いす	ヤマハJW1
Q6-3使用電動車いす	インバーケア
Q6-3使用電動車いす	ニッシン
Q6-3使用電動車いす	646SE
Q6-3使用電動車いす	イマセン特注
Q6-3使用電動車いす	ヤマハ
Q6-3使用電動車いす	併用イー・フィックス
Q6-3使用電動車いす	タッキーP210
Q6-3使用電動車いす	今仙
Q6-3使用電動車いす	イマセンリクライニング車イス
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	今仙
Q6-3使用電動車いす	ヤマハJWX-1外用
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	クイッキー
Q6-3使用電動車いす	イマセンのオーダーメイド
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	レンジャーX
Q6-3使用電動車いす	クイッキーP100
Q6-3使用電動車いす	NISSINリクライニング
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	スズキ
Q6-3使用電動車いす	今仙EMC130チルトに改造
Q6-3使用電動車いす	ヤマハJW1
Q6-3使用電動車いす	スズキ
Q6-3使用電動車いす	ルクサス
Q6-3使用電動車いす	クイッキー
Q6-3使用電動車いす	スズキ
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	ヤマハ
Q6-3使用電動車いす	カワムラ
Q6-3使用電動車いす	スズキ
Q6-3使用電動車いす	ニッシン
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	イーフィックス
Q6-3使用電動車いす	ヤマハ
Q6-3使用電動車いす	JW1
Q6-3使用電動車いす	ベルモビール
Q6-3使用電動車いす	ヤマハJW-II
Q6-3使用電動車いす	OX
Q6-3使用電動車いす	イマセン今仙
Q6-3使用電動車いす	パメラフォー
Q6-3使用電動車いす	?
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	スズキ
Q6-3使用電動車いす	スズキMC-B
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	スズキ
Q6-3使用電動車いす	今仙の6kmhタイプ
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	MC 3000
Q6-3使用電動車いす	マツナガ

Q6-3使用電動車いす	JWX1
Q6-3使用電動車いす	外国式
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	クイッキー
Q6-3使用電動車いす	TAOライトII
Q6-3使用電動車いす	電動六輪車FB-M6
Q6-3使用電動車いす	ヤマハ
Q6-3使用電動車いす	JW-II
Q6-3使用電動車いす	?
Q6-3使用電動車いす	今仙(外出時)
Q6-3使用電動車いす	アシスト付
Q6-3使用電動車いす	クイッキー
Q6-3使用電動車いす	ヤマハ
Q6-3使用電動車いす	スズキ
Q6-3使用電動車いす	スズキ
Q6-3使用電動車いす	ARROW
Q6-3使用電動車いす	Rangerx
Q6-3使用電動車いす	OX
Q6-3使用電動車いす	クイッキーリズム
Q6-3使用電動車いす	ドイツ製
Q6-3使用電動車いす	クイッキー
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	タオライト2
Q6-3使用電動車いす	JW-1
Q6-3使用電動車いす	クイッキー
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	イマセン製
Q6-3使用電動車いす	OX
Q6-3使用電動車いす	EMC710
Q6-3使用電動車いす	イマセン(レカロシート)
Q6-3使用電動車いす	スズキMC2000
Q6-3使用電動車いす	IMASEN
Q6-3使用電動車いす	クイッキー
Q6-3使用電動車いす	OX
Q6-3使用電動車いす	JW1
Q6-3使用電動車いす	顎イマセンコントロール
Q6-3使用電動車いす	ヤマハJW1
Q6-3使用電動車いす	ニッシンNAP-5
Q6-3使用電動車いす	(イマセン)EMC71B? ScaldStar
Q6-3使用電動車いす	今仙電機(愛知)
Q6-3使用電動車いす	ニッシンNEOP-2
Q6-3使用電動車いす	クイッキーF55
Q6-3使用電動車いす	日進NEOP-1
Q6-3使用電動車いす	ヤマハJW2
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	すずきMC14R
Q6-3使用電動車いす	インバケア・ストーム3
Q6-3使用電動車いす	リクライニング付き電動車いす
Q6-3使用電動車いす	クイッキー
Q6-3使用電動車いす	スズキ
Q6-3使用電動車いす	ECM-71
Q6-3使用電動車いす	JW2
Q6-3使用電動車いす	トヨタ脱着式電動、ヤマハ運動
Q6-3使用電動車いす	OX JW1
Q6-3使用電動車いす	INVACRE ACTION STORM
Q6-3使用電動車いす	QuickieF55
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	インバケア・RANGERX
Q6-3使用電動車いす	ヤマハJW1
Q6-3使用電動車いす	オーエックス
Q6-3使用電動車いす	JW-1
Q6-3使用電動車いす	OX&ヤマハJW-1
Q6-3使用電動車いす	イマセンとツイスター
Q6-3使用電動車いす	イマセンEMC700
Q6-3使用電動車いす	クイッキーP-222
Q6-3使用電動車いす	イマセンEMC-230
Q6-3使用電動車いす	クイッキー626
Q6-3使用電動車いす	アクセスインターナショナルリクライニング方式
Q6-3使用電動車いす	EMC-230
Q6-3使用電動車いす	インバケア
Q6-3使用電動車いす	今仙リクライニング
Q6-3使用電動車いす	OX+TDR
Q6-3使用電動車いす	Nutron R51
Q6-3使用電動車いす	Quickie S-646
Q6-3使用電動車いす	フレーム=OX、駆動部=ヤマハ
Q6-3使用電動車いす	OX+YAMAHA
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	ヤマハJW2
Q6-3使用電動車いす	スズキ
Q6-3使用電動車いす	インバケア
Q6-3使用電動車いす	マツナガ、アルミMW、モーターはヤマハ製オーダーメイド
Q6-3使用電動車いす	アイシンAWI
Q6-3使用電動車いす	ヤマハJWX-1

Q6-3使用電動車いす	クイッキー
Q6-3使用電動車いす	クイッキー
Q6-3使用電動車いす	プラスト
Q6-3使用電動車いす	Blast850
Q6-3使用電動車いす	クイッキー
Q6-3使用電動車いす	ヤマハ製JW-1
Q6-3使用電動車いす	OX社インテグラルME
Q6-3使用電動車いす	アローワン昇行式
Q6-3使用電動車いす	イマセン?
Q6-3使用電動車いす	イマセンEMC-710
Q6-3使用電動車いす	IMASEN
Q6-3使用電動車いす	アクション
Q6-3使用電動車いす	ニック
Q6-3使用電動車いす	クイッキー
Q6-3使用電動車いす	OX
Q6-3使用電動車いす	タオライト
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	今仙
Q6-3使用電動車いす	ベルモビル
Q6-3使用電動車いす	ベルモビル社C500
Q6-3使用電動車いす	jw-1
Q6-3使用電動車いす	ヤマハJWX-1
Q6-3使用電動車いす	パトラフォー
Q6-3使用電動車いす	イマセンMC・EMC230
Q6-3使用電動車いす	JW1
Q6-3使用電動車いす	スズキ
Q6-3使用電動車いす	今仙電動
Q6-3使用電動車いす	OX
Q6-3使用電動車いす	ニッシン
Q6-3使用電動車いす	スズキMC2000S
Q6-3使用電動車いす	OX
Q6-3使用電動車いす	今仙ECM-31T
Q6-3使用電動車いす	IMASENEMC700型
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	ニック
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	スズキMC3000
Q6-3使用電動車いす	簡易OX
Q6-3使用電動車いす	タオライト
Q6-3使用電動車いす	IMASEN
Q6-3使用電動車いす	ニュートロン
Q6-3使用電動車いす	スズキ
Q6-3使用電動車いす	今仙技術研究所(メーカー)LS-EMC-700(名前)
Q6-3使用電動車いす	ヤマハ...
Q6-3使用電動車いす	イマセン。OX。
Q6-3使用電動車いす	Invacare2G?
Q6-3使用電動車いす	クッキー、ヤマハ
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	ターシス
Q6-3使用電動車いす	OX社GWXE
Q6-3使用電動車いす	OX
Q6-3使用電動車いす	ニッシン
Q6-3使用電動車いす	イマセン
Q6-3使用電動車いす	クイッキー-S646SE
Q6-3使用電動車いす	スズキ
Q6-3使用電動車いす	OX
Q6-3使用電動車いす	日本ウィールチェアー
Q6-3使用電動車いす	オーエックス、RC
Q6-3使用電動車いす	ネットィ
Q6-3使用電動車いす	OX
Q6-3使用電動車いす	OX
Q6-3使用電動車いす	自走式ニック
Q6-3使用電動車いす	ニッシン
Q6-3使用電動車いす	・OX、MR・オーダーメイドのもの
Q6-3使用電動車いす	1. オーダーメイドキタジマにてヤマハJWⅡアシストタイプあと付け2. 介助用3. 自操用...室内用
Q6-3使用電動車いす	ウィルチェアー
Q6-3使用電動車いす	マツナガ
Q6-3使用電動車いす	おりたたみ式カスタムメイド
Q6-3使用電動車いす	マツナガ
Q6-3使用電動車いす	オーダーの車いす
Q6-3使用電動車いす	OX、GW・X
Q6-3使用電動車いす	Nick
Q6-3使用電動車いす	OX
Q6-3使用電動車いす	ウィルチェアー
Q6-3使用電動車いす	OX
Q6-3使用電動車いす	OX
Q6-3使用電動車いす	クイッキー2
Q6-3使用電動車いす	JRE
Q6-3使用電動車いす	ウィルチェア
Q6-3使用電動車いす	OX、SS
Q6-3使用電動車いす	ティグ
Q6-3使用電動車いす	ニック

Q6-3使用手動車いす	日本ウィールチェアー
Q6-3使用手動車いす	オーダーメイド
Q6-3使用手動車いす	?
Q6-3使用手動車いす	Quickie2up
Q6-3使用手動車いす	バンテラ
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	併用OX・インテグラ
Q6-3使用手動車いす	オーエックス
Q6-3使用手動車いす	OX-MR
Q6-3使用手動車いす	OX-SX
Q6-3使用手動車いす	2台
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	2HP
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	Nick
Q6-3使用手動車いす	MUGENCOBO
Q6-3使用手動車いす	OX、SX
Q6-3使用手動車いす	クイッキー、OX
Q6-3使用手動車いす	日進、室内用
Q6-3使用手動車いす	チタン作成注文ウィルチェアー
Q6-3使用手動車いす	ウィルチェア
Q6-3使用手動車いす	日進のアルミ製
Q6-3使用手動車いす	クイッキー
Q6-3使用手動車いす	?
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	OX、クイッキー
Q6-3使用手動車いす	ニック
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	ニッシン
Q6-3使用手動車いす	クシャール
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	クイッキー
Q6-3使用手動車いす	クイッキー
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	介ご利用ライニング
Q6-3使用手動車いす	コンフォート
Q6-3使用手動車いす	TIG自走式
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	日進医療器製
Q6-3使用手動車いす	OX(VX)
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	ウィルチェア
Q6-3使用手動車いす	?
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	ヤマハ
Q6-3使用手動車いす	ニック
Q6-3使用手動車いす	クイッキー、OX
Q6-3使用手動車いす	MAXPLEASURE
Q6-3使用手動車いす	日進
Q6-3使用手動車いす	KI
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	ニッシン
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	OXの
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	ティグ
Q6-3使用手動車いす	OXSXシリーズ
Q6-3使用手動車いす	OX、インテグラル
Q6-3使用手動車いす	KAWAMURA
Q6-3使用手動車いす	リクライニング式手押型
Q6-3使用手動車いす	オーダーメイド
Q6-3使用手動車いす	ミネ
Q6-3使用手動車いす	マックスプレジャー
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	ニック
Q6-3使用手動車いす	ニッシンAS
Q6-3使用手動車いす	自走式車イス
Q6-3使用手動車いす	NICK チタンモジュラー
Q6-3使用手動車いす	クイッキー
Q6-3使用手動車いす	NISSIN
Q6-3使用手動車いす	日本ウィールチェアーのオーダーメイド
Q6-3使用手動車いす	Nick
Q6-3使用手動車いす	?
Q6-3使用手動車いす	OX
Q6-3使用手動車いす	ウィルチー
Q6-3使用手動車いす	アルミ自走MW-10F
Q6-3使用手動車いす	オリジナル
Q6-3使用手動車いす	ヤマハJW2
Q6-3使用手動車いす	OX-VR
Q6-3使用手動車いす	OX



Q6-3-1	電動足あげ機能
Q6-3-1	?
Q6-3-1	介助用車いす
Q6-3-1	トヨタ車脱着式、ヤマハ電動
Q6-3-1	昇降機能付
Q6-3-1	前輪パワステ方式
Q6-3-1	4WD
Q6-3-1	運転操作、肘掛け、改造
Q6-3-2	家の中用と仕事用
Q6-3-2	部内用、外用
Q6-3-2	スポーツタイプ自走用
Q6-3-2	室内型
Q6-3-2	バスケット用車椅子
Q6-3-2	スタンディング・バスケットタイプ
Q6-3-2	特注車イス
Q6-3-2	スポーツ型
Q6-3-2	スポーツ型
Q6-3-2	よくわかりません
Q6-3-2	左手不随意的なので足ケリ走か介助必要
Q6-3-2	ベットへのタテ乗り型
Q6-3-2	オーダーメイド車いす
Q6-3-2	背もたれが肩甲骨まであり、自分の使いやすい様にオーダーメイド
Q6-3-2	アームがないタイプ
Q6-3-2	病院のリハビリ師(理学療養師)さんが全て手配してくださったのでわからない。
Q6-3-2	普通型のオーダーメイド
Q6-3-2	電動アシスト
Q6-3-2	リクライニング機能付
Q6-3-2	折りたたみ可能型
Q6-4	・室内は直角移動・自分用にセッティングしてあるトイレは横すべりで自力移動
Q6-4	介助者を使ってスライディングボードで
Q6-4	スリングシート
Q6-4	ベットを利用
Q6-4	移乗用手すり(車)
Q6-4	天井走行とは少しちがうがつり上げるタイプ
Q6-4	介助者サポート&用具
Q6-4	室内では手動車いすで移動
Q6-4	天井からひも
Q6-4	名がわからない
Q6-4	バック防止のためのブレーキを考案、使用している
Q6-4	自力と少し介助
Q6-4	両下肢装具
Q6-4	車の助手席が外にむかい、介助者の助けをかりて、乗り移る。
Q6-4	上からぶら下げた紐
Q6-4	車イスから落ちたときは、どうしてよいか困っている。今は、家族にかかえてもらっている
Q6-4	用具を使って介助者のサポートを受け移乗している
Q6-4	リクライニングで水平にしてすべらせる引っぱるを介助者1人でやってもらっている
Q6-4	トイレチェアへは家族のサポート
Q6-4	スライディングボード
Q6-4	ペランダ出入用スロープ
Q6-4	8だがトランスファーボードを使用している
Q6-4	補助ネット
Q6-4	介助者のサポートを受けてトランスファーボードでスライディングボード、介助用ベルト、杖
Q6-4	ベッドと車いすが離れないように固定する為のS字フック
Q6-4	つえ、近いうちに手すりをつけてもらう
Q6-4	なにかよいものはありませんか
Q6-4	トランスファーボード
Q6-4	特に使っていない
Q6-4	介助者のサポートであるが特殊(ひざを合わせる)方法を取得してもらっている。
Q6-4	介乗
Q6-5	入浴ネット
Q6-5	車椅子の高さのすのこ
Q6-5	手すり
Q6-5	スリングシート(入浴用)
Q6-5	イス(浴槽の横に置いて車イスから移動する。)
Q6-5	入浴サービス利用
Q6-5	バスタブに入っています。シャワーのみです
Q6-5	移●台
Q6-5	入浴台
Q6-5	自作ローラー台、プッシュ台
Q6-5	ストレッチャー、シャワー浴
Q6-5	古い車イス
Q6-5	椅子、手すり
Q6-5	マット
Q6-5	手すり
Q6-5	手すり
Q6-5	シャワー台(体を洗う時の台)
Q6-5	台

Q6-5	大工さんに木製の洗身台を作ってもらった
Q6-5	介助者
Q6-5	天井走行電動リフト
Q6-5	入浴用リフター
Q6-5	改造済み
Q6-5	ストレッチャー
Q6-5	入浴サービス
Q6-5	ネット
Q6-5	てすり
Q6-5	スポンジマット、エアークッション
Q6-5	浴そうにすの子で高さ調整
Q6-5	入浴用ベルト
Q6-5	すべり止めマット
Q6-5	バス内の椅子
Q6-5	浴室にしくクッションマット(ウレタン製)
Q6-5	手すり
Q6-5	シャワー用に耐水の車イスを使用
Q6-5	手すり
Q6-5	入浴ヘルパー
Q6-5	移乗用タンカ(風呂専用)
Q6-5	手作りの入浴寝台
Q6-5	福祉サービス
Q6-5	普通の車いすを使用
Q6-5	車イスと同じ高さの台に乗りうつる、その場でシャワーを使う
Q6-5	天井走行式リフター
Q6-5	ストレッチャー
Q6-5	入浴サービス
Q6-5	上から下げた紐
Q6-5	入浴台
Q6-5	椅子をドッキングさせる浴槽すべらせる、引張込
Q6-5	洗い場の高さを上げる架台の上で体を洗っている
Q6-5	天井走行リフター
Q6-5	ストレッチャー
Q6-5	ミストサウナ
Q6-5	手すり
Q6-5	天井走行リフト
Q6-5	ザシャワー
Q6-5	浴槽への移動は介助者
Q6-5	水圧式リフト
Q6-5	浴槽内のすべり止めマット
Q6-5	安寿のてすり
Q6-5	用具のいい物をほしいです
Q6-5	浴室をかいぞうした
Q6-5	すのこ
Q6-5	手動リフトのストレッチャー
Q6-5	自宅とデイスサービスでは入浴方法が違ってくる
Q6-5	ストレッチャー
Q6-5	手すり
Q6-5	デイスサービス機械浴
Q6-5	マット
Q6-5	家で入浴はしていない
Q6-5	ストレッチャー
Q6-5	天上走行リフトが浴室内まで設置
Q6-5	入浴車にて入浴する
Q6-5	今はデイスサービスのみ
Q6-5	入浴用ストレッチャー
Q6-5	ビニールシートとシャワー
Q6-5	バスリフト
Q6-5	マット
Q6-5	訪問入浴
Q6-5	シャワーチェア(車輪のあるもの)
Q6-5	すのこ
Q6-6-A	自動車
Q6-6-A	IHクッキング、ドラム式洗たく機、冷ゾウ庫
Q6-6-A	電動車椅子
Q6-6-A	入浴ストレッチャー
Q6-6-A	1万円マッサージ機、1万円低周波
Q6-6-A	ハンドルノブ
Q6-6-A	シャワーチェア、すべり止めバスマット
Q6-6-A	フリーアーム、サチュレーションモニター指用
Q6-6-A	保険会社(1、2、3、6、7、8、9、5)
Q6-6-A	つえ
Q6-6-A	オーパーベッド及びパソコン用テーブル
Q6-6-A	車(特殊車輛)
Q6-6-A	生活保護
Q6-6-A	リーチャー
Q6-6-A	ゆずり受た
Q6-6-B	修理など有料な為負たん増
Q6-6-B	相談する時はメーカーの営業の人にします。
Q6-6-B	車いす
Q6-6-B	停電の時に止まるので
Q6-6-B	電動車イスのジョイスティックが変形し誤作動を起こした。
Q6-6-B	使用に不なれな人が多い
Q6-6-B	入院中にて

Q6-6-B	天井走行リフトの修理や部品は高額
Q6-6-B	走行可能距離がもっと長くなるとよい(バッテリー)
Q6-6-B	電動車イスのバッテリーが弱くなったので、買い換えが必要
Q6-6-B	電動車いすなので運転できる位置に座ることがむずかしい(チンコントロールなので)
Q6-6-B	始動時が重い
Q6-6-B	A、B、C共に介護施設の職員が用具や機器を利用する際理解度がとぼしい※※障害に対する配慮、技術が不足している。
Q6-6-B	車イスにリクライニング機能(電動)を付けたい
Q6-6-B	本人にあわせて購入したため今のところ問題なし
Q6-6-B	車椅子クッションが体の状態がかわると合わなくなり痛みを軽減でき、本人に合うものをさがすの試作ができないので問題があっても解決できないことがある
Q6-6-B	ワットランド枕
Q6-6-B	両下肢装具
Q6-6-B	スピードが遅い
Q6-6-B	車に乗る時に不満
Q6-6-B	車イス(リム)のところがビニールがキズついて、手が、いたくて困っている
Q6-6-B	車いすを体に合わせると車に詰めなかったり、要協しなけれはならない。
Q6-6-B	フレームが折れる、シャフトキャスタがはづれる
Q6-6-B	今作製しています、まだ手にしてません、今は車イスをかりてます
Q6-6-B	電動車いすのモジュラー設定が少ない
Q6-6-B	特に重量
Q6-6-B	体のために使用したい物があるが高くて買えない
Q6-6-B	電動車いすを新しくしたが、同じ機種でもモデルチェンジをしていて扱いきなくなりました。コントロールボックスの形状が変わり、(ボックスの)スイッチが手元から、先の方へと替わってしまい操作しにくい上に、混雑した電車等で周りの人が触
Q6-6-B	衝撃に弱い
Q6-6-B	殆ど移動しない。移動できない。自分に合った車いすを選ぶ・入手すること自体が困難
Q6-6-B	車いす…背もたれのパイプがすぐに割れるが構造的にどうしようもない。車…アクセル、ブレーキの手動装置とクラクションを同時にできない(急ブレーキをかける時など)
Q6-6-B	T字つえ使用
Q6-6-B	リクライニングがほしい
Q6-6-B	アクション座席が浅い/夜間電気●タイヤに反射板。前、コントローラー、前面、後転倒防止機
Q6-6-B	ブレーキ、キャスターが交換必要、タイヤもミゾが無くなってきた
Q6-6-B	グリップがすべる
Q6-6-B	車イスのバッテリーの持ちが短い。
Q6-6-B	手動車椅子は1人でこぐのがたいへん。電動は自動車につむのが大変
Q6-6-B	せまい部屋なのでぶつかってこまる
Q6-6-B	クッション・形を相談できない。市立病院が外来者拒否となった。
Q6-6-B	痙性により背もたれ(リクライニング)部や、足置き台の破壊発生の危険性。いずれもメーカー問題ではなく痙性が強い為
Q6-6-B	業者が、もうけようとしてきちんと作らない。(車い
Q6-6-B	値段が高額
Q6-6-C	停電の時に止まるので
Q6-6-C	壁に据え付けのため、移乗を行う位置が決まってしまう
Q6-6-C	使用していません
Q6-6-C	良い台がない。
Q6-6-C	利用していない
Q6-6-C	入院中にて
Q6-6-C	使う人によってとても怖い時がある。
Q6-6-C	天井走行リフトの修理や部品は高額
Q6-6-C	リフトが上下するたびに体が回転する
Q6-6-C	A、B、C共に介護施設の職員が用具や機器を利用する際理解度がとぼしい※※障害に対する配慮、技術が不足している。
Q6-6-C	せまい為
Q6-6-C	利用してない
Q6-6-C	入口上乘機
Q6-6-C	介助者が病気の進行のため使えなくなっていくものがでてきた。
Q6-6-C	機器は使用していないが介助者の賃金が安すぎるため、質が確保されず危険
Q6-6-C	電動式のため停電時の対応に困る。業者に相談したところ、特別な工事が必要とのこと。自費で少々高額なため現在はまだ保留のまま。
Q6-6-C	移乗作業が複雑なので、新規ヘルパーさんに作業工程を覚えてもらうのに日数を相当要する

Q6-6-C	今は問題ないが、将来どうなるかわからない
Q6-6-C	リフト
Q6-6-C	高値すぎる。
Q6-6-C	使用しない
Q6-6-C	値段が高額
Q6-6-D	ネット類機械に対して本人1回限り補助の為、消耗品自費購入
Q6-6-D	シャワーのみしている
Q6-6-D	リフターの取り扱いに介助者が慣れるまで時間がかかる
Q6-6-D	バッテリーが高い
Q6-6-D	使用していません
Q6-6-D	利用していない
Q6-6-D	入院中にて
Q6-6-D	入浴すると身体が浮いてしまったり、腕がおちてはさみそうになる。
Q6-6-D	使用なし
Q6-6-D	ストレッチャーの構造に危険を感じる事がある。
Q6-6-D	リフトが上下するたびに体が回転する
Q6-6-D	古い型で、後継機種がなさそうで不安
Q6-6-D	サービス入浴
Q6-6-D	古いので故障した時が心配
Q6-6-D	中位の所に段を作って居る
Q6-6-D	体のために使用したい物があるが高くて買えない
Q6-6-D	居室・入浴と同じ電動リフターを使用のため、リモコンが湿気で反応が悪い時がある。こちらも業者には相談済み。
Q6-6-D	先ずは介助スタッフが足りない。慣れて覚えるまでが大変である。
Q6-6-D	シャワーキャリーのクッションが不安定
Q6-6-D	シャワーチェア使用
Q6-6-D	シャワーチェア
Q6-6-D	自宅では入浴していない
Q6-6-D	使用していない
Q6-6-D	訪問入浴の為、床ずれが心配
Q6-6-D	値段が高額
Q6-7	家族にしてみよう
Q6-7	手紙、葉書自筆
Q6-7	無線コール器
Q6-7	妻
Q6-7	小キ、ワイヤレス
Q6-7	公しゅう電話
Q6-7	FAX
Q6-7	公衆電話
Q6-7	介助による電話、メール
Q6-7	Fax
Q6-7	本人は出来ないので家族が…
Q6-7	指が動かないので使用して無い
Q6-7	手紙
Q6-7	郵便
Q6-7	手紙(郵便)ハガキ
Q6-7	不要
Q6-7	郵便、Fax
Q6-7	ナースコール
Q6-7	趣味のアマチュア無線
Q6-7	郵便
Q6-7	FAX
Q6-7	家族
Q6-7	Alsokの首に付ける非常ボタン
Q6-7	自分では、しない
Q6-7	娘に伝言し、相手に用件を伝える。
Q6-7	制御装置によるプザー
Q6-7	サスケ
Q6-7	全て介助者にたのむ
Q6-7	はがき
Q6-8	指先が不自由なので携帯電話の2つ折れタイプは開けにくい
Q6-8	費用
Q6-8	長野市は今年から福祉電話の制度廃止・ブロードバンドが高く使えない
Q6-8	片手使用でスピードが遅い
Q6-8	身体的に操作不可能
Q6-8	外部に連絡できる物がない、あっても自分が使用できるように作ってくれる人(頼める人)がいない
Q6-8	携帯が開きにくい
Q6-8	使用出来ない。
Q6-8	今使用している固定電話(音声で反応)が故障すると、買い換え機種が無い。すでに製造中止のた使いにくかったので返品した
Q6-8	使用していない
Q6-8	障害者に使いやすい機種の開発を望む
Q6-8	介助がなければ操作できない
Q6-8	電話のヘッドセットが故障するともう同じ物が無い
Q6-8	できればどのような機器があるか情報があれば幸いです

Q6-8	携帯のイヤホン使用しているがすぐ壊れるし耳が痛くなる(フック)
Q6-8	ケイタイ電話を使いたいけど仲間みづからなかつ
Q6-8	固定、携帯電話ともに自分で操作できない
Q6-8	携帯電話のユニバーサル化に進歩がない
Q6-8	携帯電話はスライド式が使いやすいが機種数が少なく、中でも使いにくい物が多く、選ぶのに苦労する。
Q6-8	使用可能な機種が限られているために、選択肢が少なすぎる
Q6-8	入手その他、環境設定等の介助、人がいない。
Q6-8	機種が古く、17ヶタの電話が通じなかった
Q6-8	慣れてくると別に問題はなくなるが、購入までにいろいろな情報欲しい
Q6-8	パソコンの通信の速度が遅い
Q6-8	音声制御装置を購入したが、反応が悪く(一声の質なのか、音量が小さいのか不明)、全く使っていない
Q6-8	外出時にケイタイを使用したいが、痺れの為操作不能で困っている。
Q6-8	全身麻痺の為、介助者のサポートがないと利用できない。
Q6-9	車いす転落
Q6-9	体調不良
Q6-9	電動車椅子で一人で通行中に気分がわるくなった時、田舎なのであまり人が通らない。
Q6-9	独りで在宅時、失便。
Q6-9	けりの時トイレ
Q6-9	電気毛布コントローラーの発火
Q6-9	転倒事故
Q6-9	車イスから落ちると自分で戻れない
Q6-9	だれもいないところで車イスからおちる
Q6-9	市役所のミスでケガ
Q6-9	排便の失敗での後処理
Q6-9	呼吸器がはずれ家族が気づかず意識を失ったことがある。まもなく家族が気づき、救急車で運ば
Q6-9	乗用車移乗とトイレ移乗の失敗(外出先)
Q6-9	移乗の際、落下した時
Q6-9	車の故障、外出時の車イスで転倒
Q6-9	急なケリの時に困った
Q6-9	けいたいを床におとした。低血糖
Q6-9	ぼうこうろうのカテーテルがつまった。
Q6-9	車いすからの落下
Q6-9	落下(本人)
Q6-9	転倒
Q6-9	車イスから転んだ
Q6-9	今はないが、誰もいない時にたんがつまったらと思うと不安
Q6-9	ベッドからおちた
Q6-9	車イスからの転倒
Q6-9	転倒
Q6-9	移乗に失敗し、床に落ちた自力では動けない。ケイタイなど連絡手段が近くになかった。(誰かが来るまで待っていた。)
Q6-9	東海のきん急ベル?ベッドの所に押しボタンがありおす、他にもペンダントがある
Q6-9	ベッドからの落下
Q6-9	電球が切れた時
Q6-9	ガスもれ
Q6-9	落し物
Q6-9	セルフカテーテルが入らず尿が出せなくなった。
Q6-9	転倒
Q6-9	トイレの失敗、転落
Q6-9	車いすへのトランスファーの失敗
Q6-9	知人の不幸
Q6-9	自分一人のときに転倒
Q6-9	座位状態からの転倒
Q6-9	落下
Q6-9	車椅子から落ちた
Q6-9	車イスからの転落
Q6-9	車イスから落ちたとき。
Q6-9	呼吸困難
Q6-9	失禁尿もれ
Q6-9	外出時の車いすのタイヤパンク
Q6-9	導尿のため尿がたまりすぎて苦しなくなった為
Q6-9	体調不良
Q6-9	車イスに乗っているときにムカデがおしりに入り込
Q6-9	携帯の充電がなくなり電話出来なくなった
Q6-9	トイレ
Q6-9	ヘルパーさんの入ってくれている時間帯外に座位が崩れ連絡が取れない状態になった
Q6-9	勤務先での失禁、宅内エレベーターの故障
Q6-9	外出時に精神が不安になり過呼吸症候を引き起こしたため、救急搬送された。
Q6-9	自分一人ではどうしようも出来ない事態、失禁時
Q6-9	落車

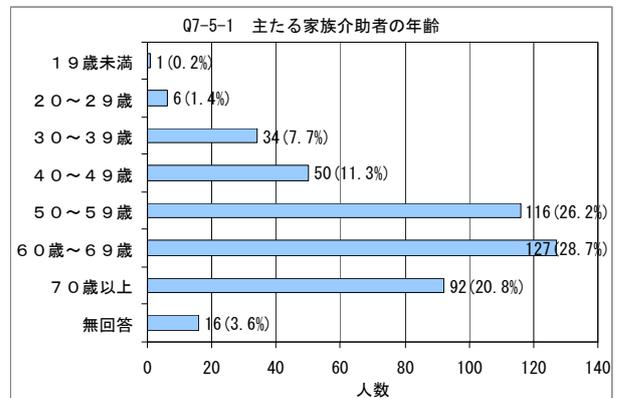
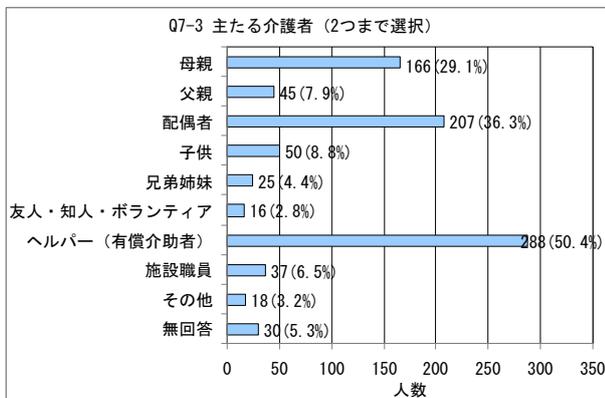
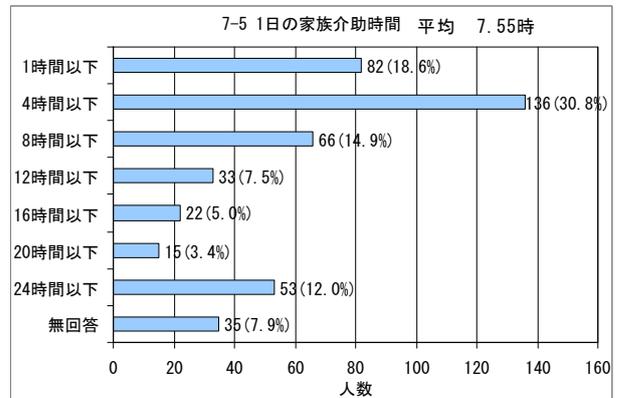
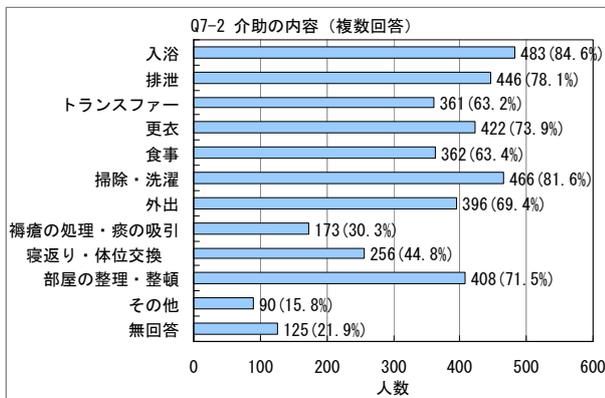
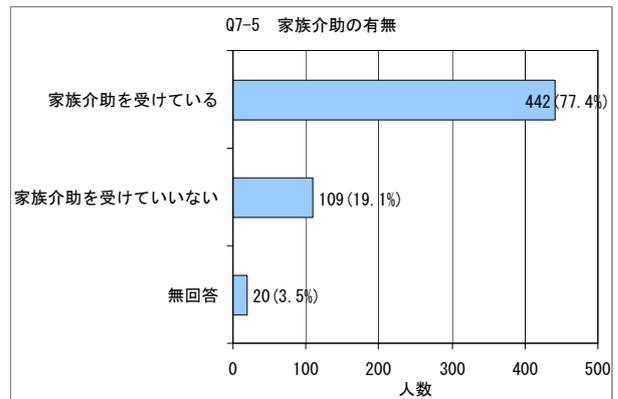
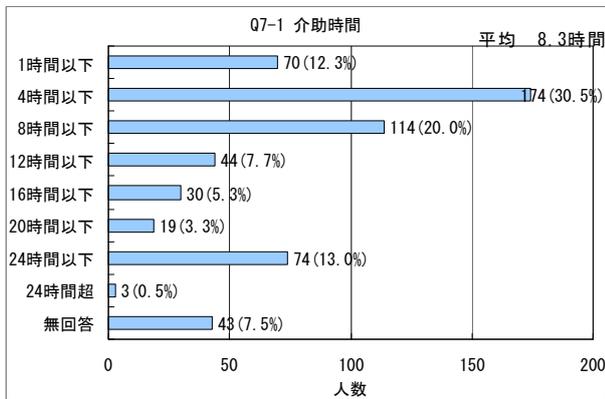
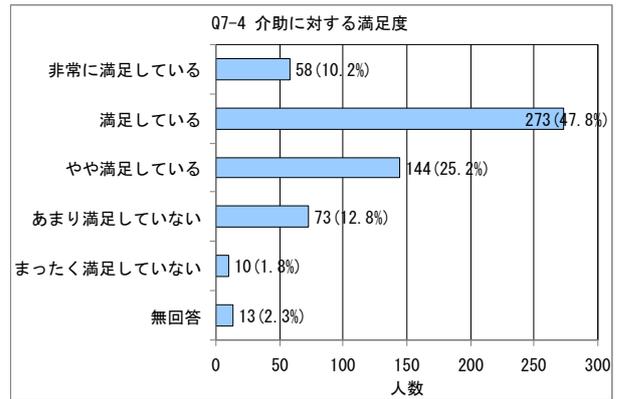
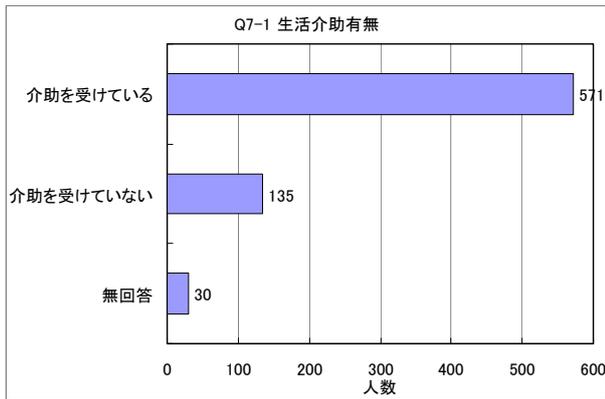
Q6-9	車椅子から落ちた時、その場所が圏外で電話が出来なかった
Q6-9	体調不良
Q6-9	冬に車が轍にはまってしまい動け無くなったとき
Q6-9	緊急時(突発的な排泄や具合の悪い時)2階にいる母ヘナースコール(プザー使用)で知らせる方法をとっている。
Q6-9	体調の変化
Q6-9	車いすから床に落ちる
Q6-9	失禁。排泄のトラブルによる自律神経過反射など、体調不良時。
Q6-9	車イスから落ちた
Q6-9	ヘルパーが来なかった。
Q6-9	トイレ
Q6-9	排便の失敗
Q6-9	おしっこがつまる。(カテーテル)
Q6-9	入院時のいろいろな連絡
Q6-9	車イスからの落下
Q6-9	落車したとき。
Q6-9	落車、失禁
Q6-9	車いすから落ちたとき
Q6-9	カテーテルのつまった時便が急に出た時
Q6-9	急救隊(海防119)
Q6-9	吸引
Q6-9	車イス、ベットからの転倒
Q6-9	留置カテーテルが抜けた。便失禁。
Q6-9	体温調整の不備、熱がこもる
Q6-9	移乗時に転落し、人手を必要としたとき。
Q6-9	自分のケガ
Q6-9	痰がからんで吸引してもらう時
Q6-9	水もれ、自動車の不具合
Q6-9	便失禁、車椅子から転落
Q6-9	車椅子より転落
Q6-10	家族による
Q6-10	自分では連絡するすべはない。家族による連絡
Q6-10	寝たきり状態なので手段なし。理解力、判断力等はあるので口だけでする方法があればと思う。介助者不在の時連絡方法がないので不安
Q6-10	非常用点滅機と、警ほう器をげんかんに装着してあるが、自分ではそうできない。
Q6-10	声
Q6-10	大声を出す
Q6-10	警備会社非常コールサービス
Q6-10	救急車利用
Q6-10	自分では出来ない
Q6-10	安全センターのペンダント
Q6-10	福祉電話
Q6-10	以心伝心
Q6-10	非常用通報装置緊急通報装置、消防より
Q6-10	下剤を飲用過中毒時
Q6-10	ヘルパーさんが来てくれる時間帯であれば携帯、固定電話でかけてもらう
Q6-10	4は在宅用の緊急用呼び出し機器
Q6-10	緊急時連絡用ベル
Q6-10	自宅内線コールボタン
Q6-10	あんしん電話
Q6-10	セコム
Q6-10	警備会社の非常ベル
Q6-10	きゆうきゆう車
Q6-10	緊急通報システム(京都市保健福祉局・消防局)
Q6-10	きん急通報システム
Q6-10	サスケ
Q6-10	緊急通報装置
Q6-10	パソコン音声
Q6-10	自分からは出来ない
Q6-11-2	自助具
Q6-11-2	キーボード入力に、スティックを使用。
Q6-11-2	自作の装具
Q6-11-2	レーザーで反応させる
Q6-11-2	少しの改造
Q6-11-2	センサー
Q6-11-2	ボールマウス
Q6-11-2	1番を少し改造して使用
Q6-11-2	タイピング型装具
Q6-11-2	ヘッドマスタープラス
Q6-11-2	ソフトキーボード
Q6-11-2	ユーザ補助、鉛筆のスティック
Q6-11-2	介助者にしてもらう
Q6-11-2	ヘッドポインター
Q6-11-2	手首固定の装具に割り箸使用
Q6-11-2	口にくわえるスティック
Q6-11-2	音声入力
Q6-11-2	ヘッドスティック装着
Q6-11-2	固定アーム
Q6-11-2	ポーダブルスプリングパラソルを使用

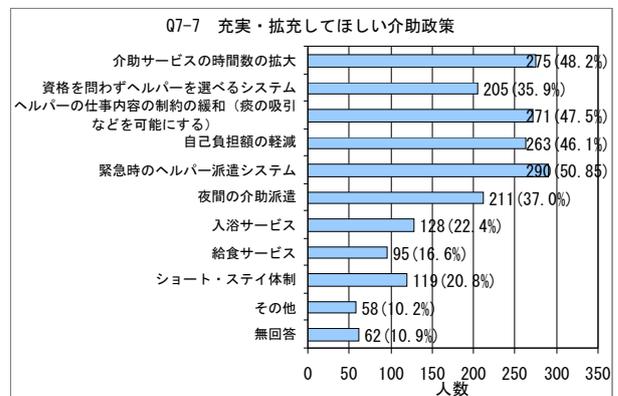
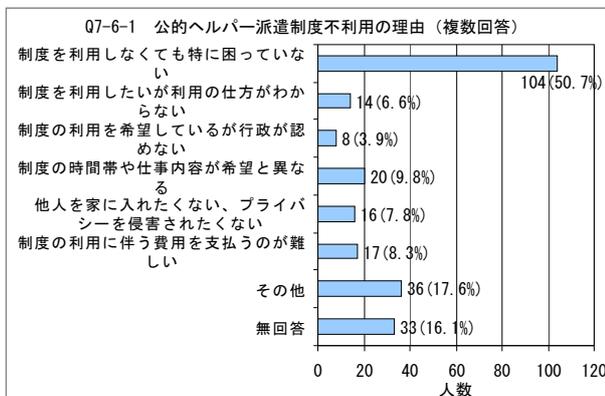
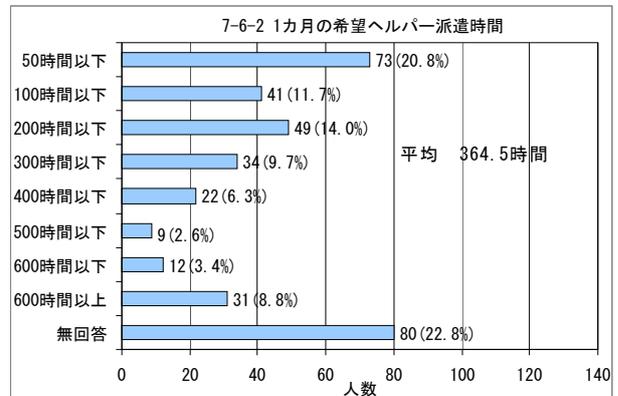
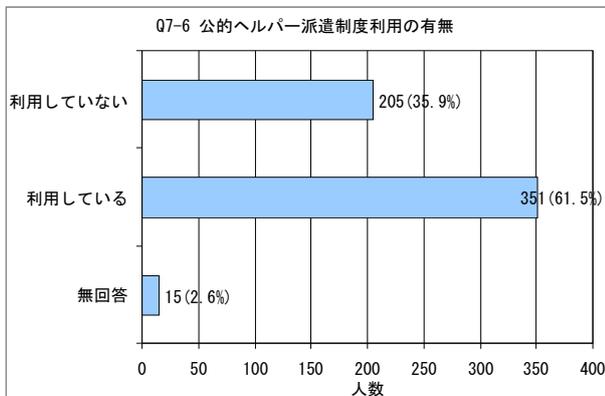
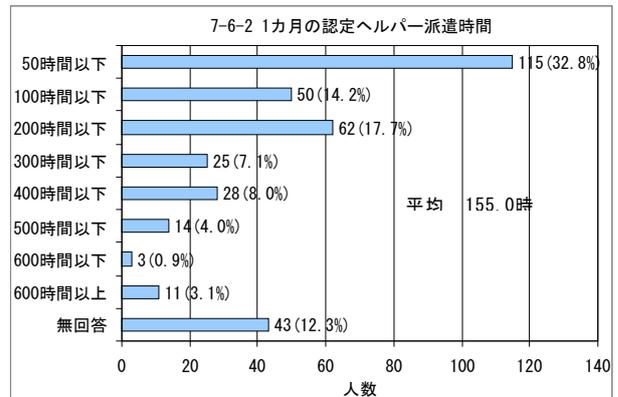
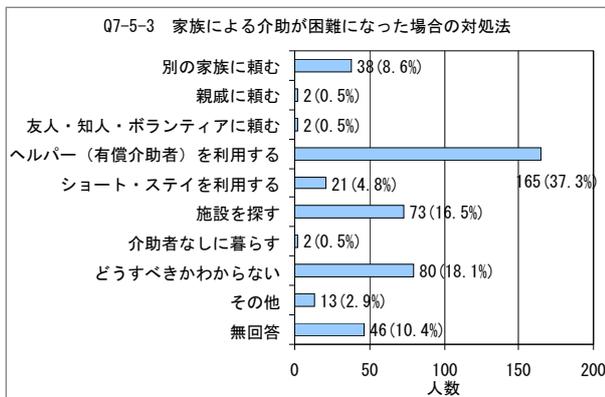
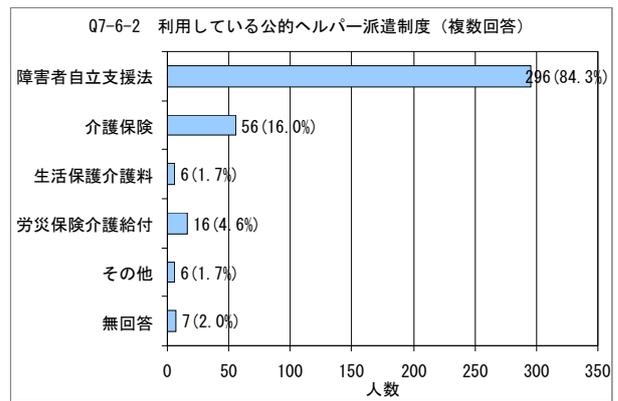
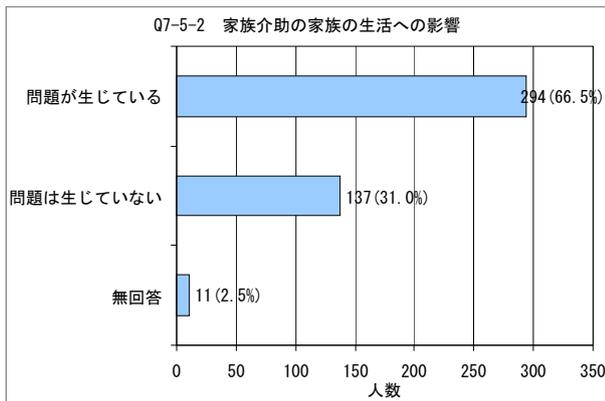
Q6-11-2	ヘルパーなどの介助
Q6-11-2	介助者にしてもらう
Q6-11-2	スマートナビ
Q6-11-2	HA-USBユリ電子製
Q6-11-2	入力デバイス
Q6-11-2	シャープペン式のけしゴム「トンボのMONOKnock3.8J」¥100円位
Q6-11-2	小型キーボード
Q6-11-2	自助具
Q6-11-2	右手に専用自助具を付けてキーボードの設定を特殊に。
Q6-11-2	音声入力
Q6-11-2	タッチペンデバイス
Q6-11-2	マウスを改造
Q6-11-2	リハの先生に作ってもらった品
Q6-11-2	代理操作
Q6-11-2	わりばし
Q6-11-2	キーボードを打つステック
Q6-11-2	補助具
Q6-11-2	ミニキーボード
Q6-11-2	ワイヤレスマウス
Q6-11-2	とらっカーとシール
Q6-11-2	SMK社製タブレットポインター(自助具でふれても動作する。外付けタッチパッド)とても便利なのですが、製造中止になりました。製造再開を希望し外付けポイントパッド(ハギワラシステム社)
Q6-11-2	キーボード、トラックボール操作用自助具
Q6-11-2	ノート型パソコンのキーボード・タッチパネルなら操作が可能
Q6-11-2	テンキーでマウス操作
Q6-11-2	補装具
Q6-11-2	けしごむ付エンピツ使用(左指うごきません)
Q6-11-2	レノボ製ThinkPadのトラックポインタ
Q6-11-2	音声入力
Q6-11-2	ノートPC
Q6-11-2	小さいキーボード
Q6-11-2	タブレット
Q6-11-2	プレイステーションのコントローラーを改造して、あごと息と口で操作しています。
Q6-11-2	えんぴつでおす。
Q6-11-2	音色入力
Q6-11-2	補助具
Q6-11-2	ヘッドマスター
Q6-11-2	オペレートナビ
Q6-11-2	左手の装具に手造りのスティックを固定させてキーを押下する
Q6-11-2	洗濯バサミではさんだ消しゴムつきエンピツのキーボード用自助具
Q6-11-2	代替マウス
Q6-11-2	指に引っ掛けて使う十字状のキーを押す棒
Q6-11-2	ヘッドマスター
Q6-11-2	制御ソフト(オペレートナビ)とポイントタッチスイツ
Q6-11-3	それ程必要性がない。必要な時は、もつてる人に頼む。
Q6-11-3	ノート型を予定しているがパソコンを持つての移動が不安
Q6-11-3	もっと楽な入力方法を
Q6-11-3	使用の際のシセイ保持がしんどい
Q6-11-3	操作できない
Q6-11-3	パソコンを使用する際の指先の不快感の為、以前は利用していたがやめた。
Q6-11-3	環境(電磁波)問題で通信がとだえる事が多い。
Q6-11-3	カーソルを同時に押す行為ができない。
Q6-11-3	介助者がいないと操作できない
Q6-11-3	必要としない
Q6-11-3	使用出来ない
Q6-11-3	家族の同意が得られない。
Q6-11-3	まずセッティングしないと使えない
Q6-11-3	せまい
Q6-11-3	必要がない面倒だ
Q6-11-3	設置、改造を手伝ってくれる人が欲しい。
Q6-11-3	無線接続の為、通信が不安定
Q6-11-3	パソコンを持ってない
Q6-11-3	面倒のような気がする。
Q6-11-3	通信速度が遅い
Q6-11-3	教室へ通えない
Q6-11-3	ワンフィンガー操作のため時間がかかる
Q6-11-3	操作できない。
Q6-11-3	迷惑メールが減らない
Q6-11-3	音声でないとむり
Q6-11-3	やりたい、気持ちがない。
Q6-11-3	基本は覚えたが、左目難病のため手術(20.2月)利用せず
Q6-11-3	検索はできて入力できない
Q6-12-1	電話
Q6-12-1	ドアホン

Q6-12-1	ナースコール
Q6-12-1	エレベーター家庭用
Q6-12-1	扇風機
Q6-12-1	自動開閉シャッター
Q6-12-1	介こ人呼び出し
Q6-12-1	ラジオ、CDラジカセ、インターホン、電話機
Q6-12-1	せんぶうき、オーディオ
Q6-12-1	マッサージ機
Q6-12-1	オーディオ
Q6-12-1	オーディオ
Q6-12-1	ラジオ、ナースコール
Q6-12-1	パソコン、ビデオ、ラジカセ、ファンヒーター、プレスTE II
Q6-12-1	赤外線リモコンを使用する機器
Q6-12-1	コンボ、ビデオ、電話
Q6-12-1	DVD、コンボ
Q6-12-1	エアーマット
Q6-12-1	テレビ、インターホン
Q6-12-1	ステレオ
Q6-12-1	ビデオ
Q6-12-1	加湿キ
Q6-12-1	インターホン
Q6-12-1	電話、ビデオ、CD
Q6-12-1	電話
Q6-12-1	せんぶうき、電話
Q6-12-1	DVDPlayer
Q6-12-1	59チャンネル
Q6-12-1	ビデオ・ラジカセ・扇風機
Q6-12-1	電話、呼び出しコール、ビデオDVDプレーヤー、ミニコンボ、CATVデジタルチューナー
Q6-12-1	トイレの水洗
Q6-12-1	電話ドアホンなど
Q6-12-1	扇風機
Q6-12-1	デスク
Q6-12-1	電話
Q6-12-1	ラジオ
Q6-12-1	コンボ、DVD、ハログンヒーター
Q6-12-1	ステレオ
Q6-12-1	加湿機
Q6-12-1	コンボ
Q6-12-1	電話、扇風機
Q6-12-1	オーディオ
Q6-12-1	せん風機、オーディオ
Q6-12-1	シャッター
Q6-12-1	ステレオ、緊急呼出ベル(ナースコールならぬ家族コール)
Q6-12-2	照明とエアコンが作動せず
Q6-12-2	安く使いやすいものがあれば使いたい
Q6-12-2	不明
Q6-12-2	AV機器
Q6-12-2	故障中
Q6-12-2	知らない
Q6-12-2	自分ではなにもできない
Q6-12-2	何か知らない
Q6-12-2	助成対象外のため自費ひは高額
Q6-12-2	何のことかわからない
Q6-12-2	デザインが悪い
Q6-12-2	どんなものか不明
Q6-12-2	装置をつけるための環境がととのっていない
Q6-12-2	生活パターンが違って来たから
Q6-12-2	持っていません
Q6-12-2	それ何ですか？
Q6-12-2	借家で改造などが難しいと考えている。
Q6-12-2	赤外線で作動できる機器全般
Q6-12-2	よく理解してない
Q6-12-2	今は必要ない
Q6-12-2	装置を全く知らない
Q6-12-2	適当な装置が無い
Q6-12-2	施設だから
Q6-12-2	利用する意欲がない。
Q6-12-2	機械が大きく、置く場所がない
Q6-12-2	全て市販のリモコンで間に合っている。
Q6-12-2	機器に付属のリモコンで事足りる。リモコン付きの機器を購入する。
Q6-12-2	なんですか？使ったことがありません。
Q6-12-2	音声入力が出来ないため
Q6-13	情報がほとんどない。
Q6-13	福祉機器店へ行く、福祉情報誌など
Q6-13	カタログ、バリアフリー展
Q6-13	冊子、カタログ
Q6-13	役場福祉課
Q6-13	障害者の新聞
Q6-13	パンフレット
Q6-13	情報提供を先にしたい。
Q6-13	アーム、ファイン
Q6-13	村山同友会
Q6-13	自作

Q6-13	障害の会報、全国会
Q6-13	グループで福祉機器の販売修理をしている
Q6-13	国際福祉機器展
Q6-13	国際福祉機器展のカタログ
Q6-13	市役所
Q6-13	福祉機器展
Q6-13	色々な情報誌
Q6-13	障害者施設の職員の方
Q6-13	養護学校の先生
Q6-13	カタログ
Q6-13	福祉機器展
Q6-13	雑誌・TV・障害者団体からの通信(たより)
Q6-13	パンフレット等
Q6-13	ケアマネジャー、看護師
Q6-13	自分で勉強
Q6-13	展示会HCRなど
Q6-13	カタログ
Q6-13	常に心がけている
Q6-13	展示会etc
Q6-13	福祉機器展
Q6-13	情報がほしいと思いますが…
Q6-13	会報誌、福祉プラザ
Q6-13	看護師
Q6-13	障害者団体
Q6-13	今はあまり必要ではないが…
Q6-13	夫から
Q6-13	介助者
Q6-13	福祉機器展等
Q6-13	・車イスやベットエアマットなど大きな買物はレンタルでためせるシステムがほしい。販売店もそのようにすすめてほしい。
Q6-13	独自に探す
Q6-13	脊損ニュース、せきずい基金ニュース
Q6-13	書箱など
Q6-13	大会等
Q6-13	家族が調べる
Q6-13	福祉機器展など展示会での情報収集。
Q6-13	国際福祉機器展
Q6-13	ケアマネ
Q6-13	自分で探す
Q6-13	Fa、母Ns介護職
Q6-13	国際福祉機器展
Q6-13	新聞、雑誌
Q6-13	バリアフリー展

## 2-7. 介 助





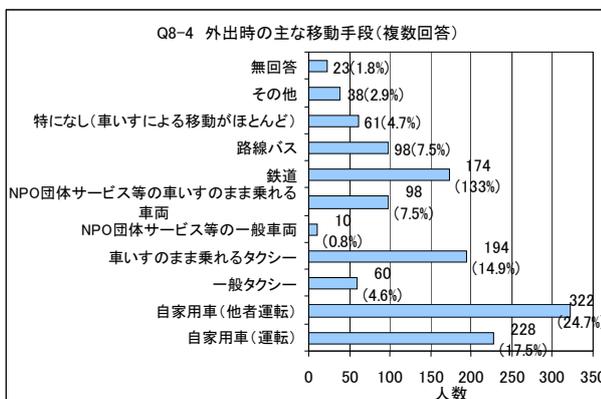
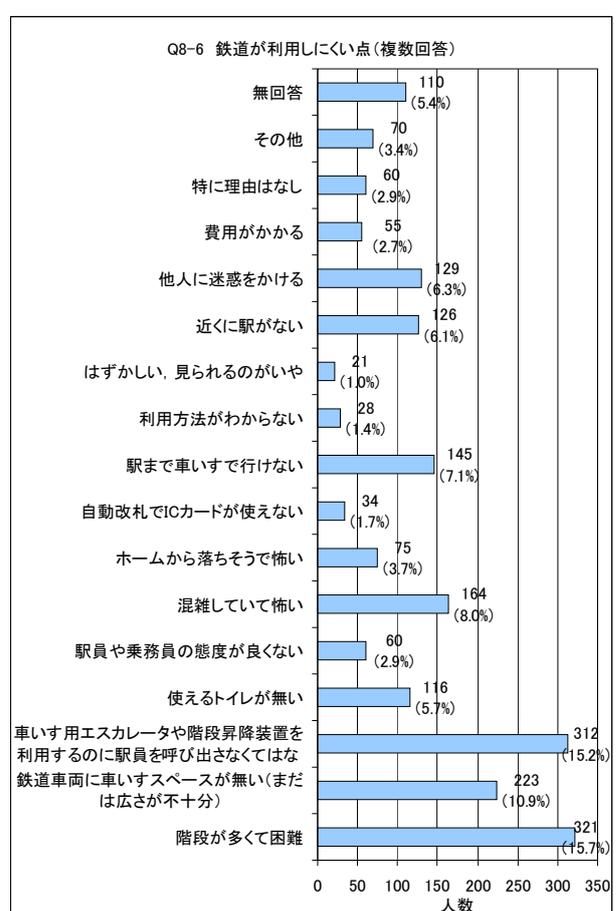
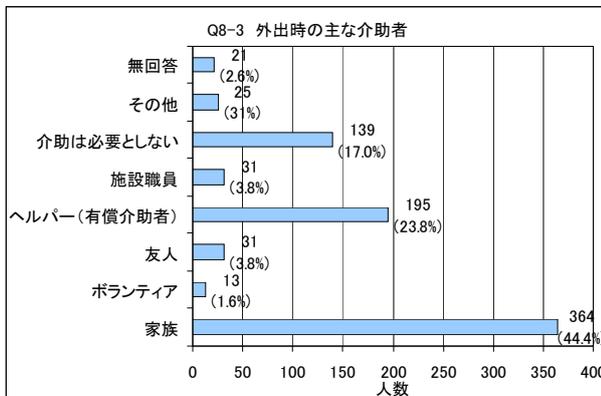
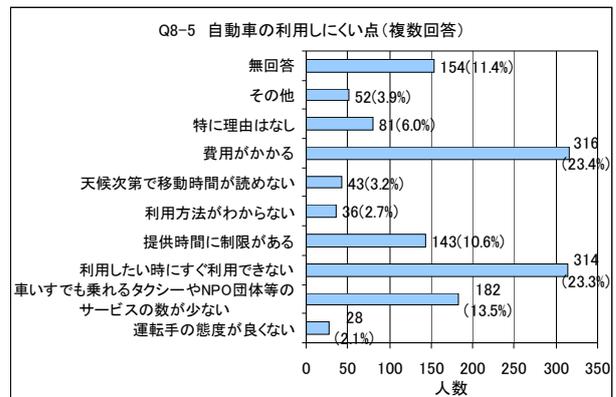
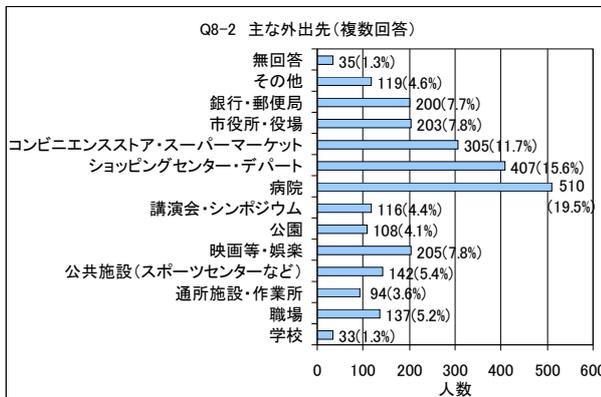
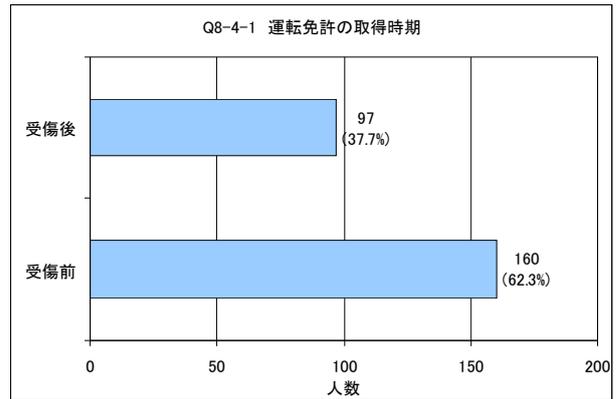
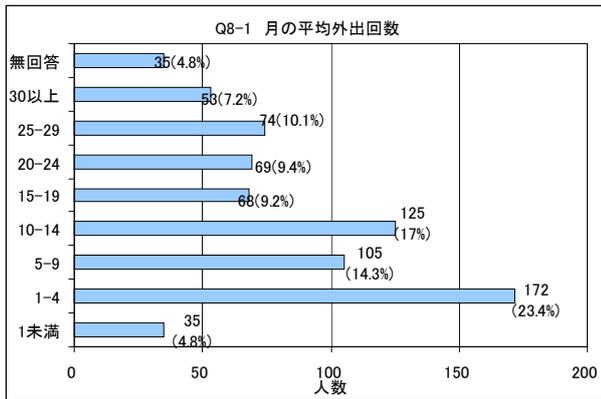
設問番号	記述内容
Q7-2	生活全部
Q7-2	記録
Q7-2	パソコン
Q7-2	ゴミ捨て
Q7-2	趣味をする時の手助け一園芸
Q7-2	買物など
Q7-2	クラブ活動の手伝い
Q7-2	食事作り、子供の育児(オムツこかんなど)
Q7-2	電話、パソコンの用意、書類の開封、処理など全て
Q7-2	仕事の介助
Q7-2	孔のテープサポート
Q7-2	観葉植物の水やり、手紙書き、活動のサポート
Q7-2	買物
Q7-2	マッサージ、ストレッチ
Q7-2	場所によってはトイレ、風呂等
Q7-2	除圧
Q7-2	ぼうこうろうの管理
Q7-2	電話、パソコンの使用
Q7-2	パソコン操作、けいたい操作
Q7-2	呼吸器脱着、タン出し介助、水分補給など
Q7-2	全部
Q7-2	調理下ごしらえ
Q7-2	ほとんど寝たきりで介助がすべてで必要です。
Q7-2	ト二角全介助
Q7-2	日常生活に必要な事柄すべてに介助必要
Q7-2	ゴミ出し
Q7-2	移動、生活全般
Q7-2	湿布貼り、塗布、耳そうじ、爪切り
Q7-2	全面介助が必要
Q7-2	生活上必要なこと
Q7-2	パソコンのセッティング、携帯電話の発着信
Q7-2	すべて介助が必要
Q7-2	書類の代筆。買物
Q7-2	服薬
Q7-2	洗面はみがき洗髪
Q7-2	調理
Q7-2	気管切開のそうじ
Q7-2	外出買い物重い物がもてない遠い所への外出が不安
Q7-2	爪切り、買物してきてもらう、足浴、ストレッチ、調理
Q7-2	テレビ・ラジオ・電灯など
Q7-2	ADL全介助。痒いところをかく、目に入ったごみをとる、爪切 etc 全てです。
Q7-2	サンパツ
Q7-2	1日中ほとんど
Q7-2	車いすそうじ
Q7-2	通院移動介護車イス
Q7-2	私は現状では介助が無くても生活できるがいつの日か足腰が駄目になるかもしれないと毎日が不安である
Q7-2	食事の準備
Q7-2	(買い物、郵便)生活全般
Q7-2	車いす～自動車
Q7-2	すべて
Q7-2	上記以外
Q7-2	リハビリに病院に行く為移送サービス
Q7-2	見守り
Q7-2	仕事
Q7-2	車イスのため手の届かない所を御願ひしています
Q7-2	テレビ、エアコン、カーペット、照明、通信等の制御、訪問者への対応、外部との連絡
Q7-2	歯みがき、ノートパソコンの準備、必要なもの出し入れ
Q7-2	具体的にパソコン関係でのスキャンやCDの出し入れクーラーの温度設定、入り、切り
Q7-2	就寝時の尿瓶セットと掛布団セット
Q7-2	日常生活全般
Q7-2	生活全般
Q7-2	ここは最重度で24時間ほとんど要介護部分的に出来る事もある、私の場合電動車椅子外出、食事、補助具での可能、あとは環境制御装置、パソコン
Q7-2	仕事(職場介助者:書類の整理、コピー、FAX、記録等)
Q7-2	申請書類等の書字
Q7-2	パソコンや書籍の設置、水分補給、洗面、手足の他動運動、就寝の準備、薬の服用
Q7-2	食事は、器具等の用意や後片付けをして貰えば、飲食自体は自力で可能
Q7-2	代筆等
Q7-2	日常生活全般
Q7-2	全てに必要
Q7-2	調理・洗面・買い物
Q7-2	パソコンなどを使い易い易い位置に移動、設置してもらう。手が届かない場所にある物を取ってもらう。買い物などの生活支援
Q7-2	書類整理
Q7-2	歯みがき、清拭、本や新聞や筆記具などを手の届く所へ運び、収納する。
Q7-2	買物、用事(郵便局へ行くなどクリーニング屋へ行くなど)
Q7-2	身だしなみ。買物。CDや本の交換など

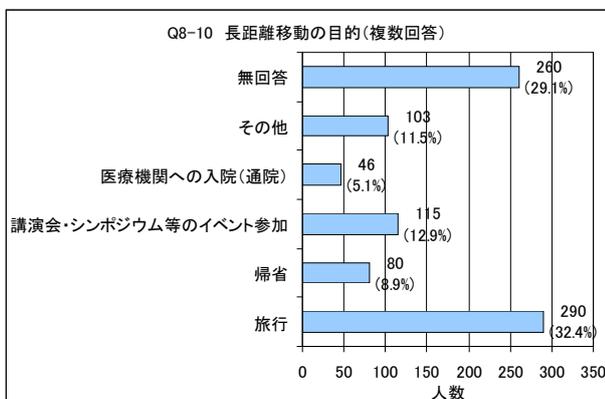
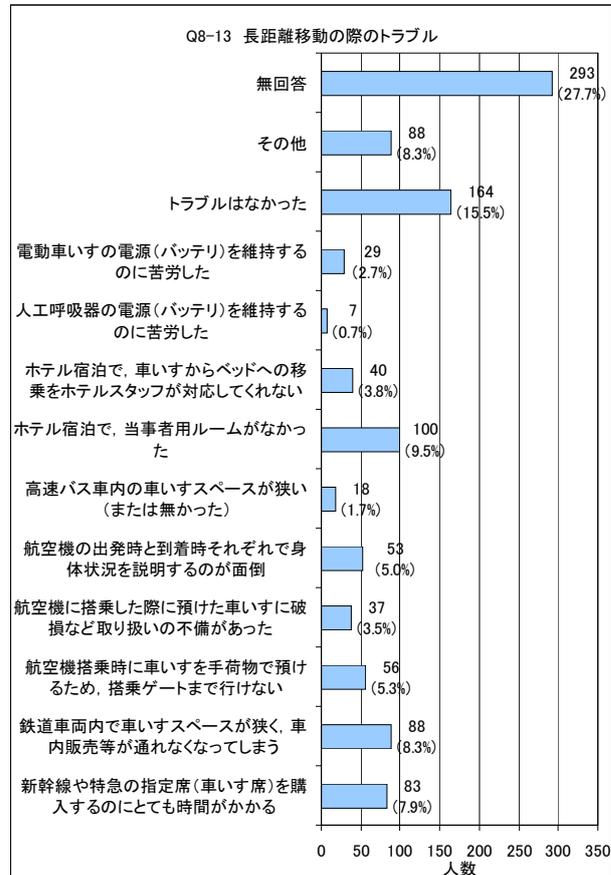
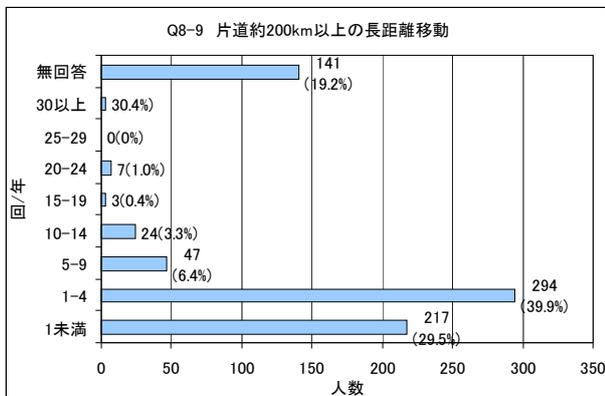
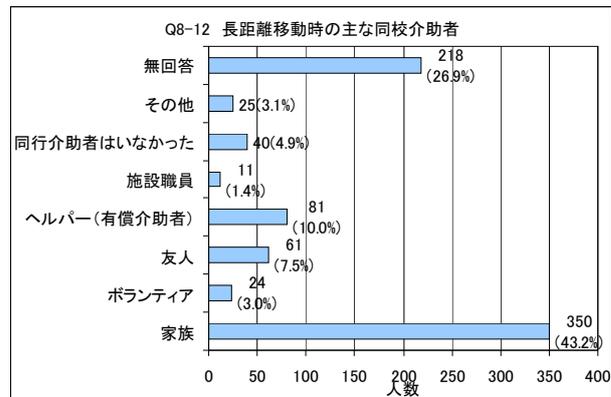
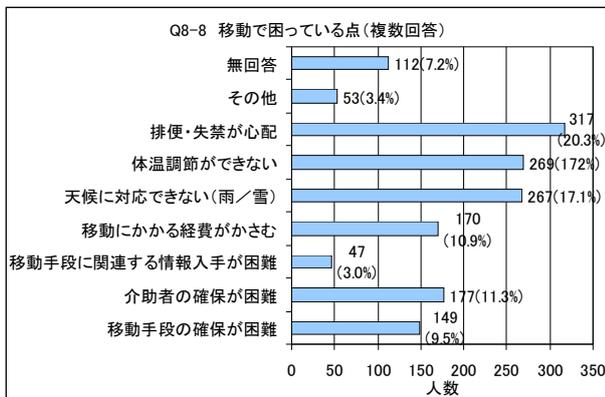
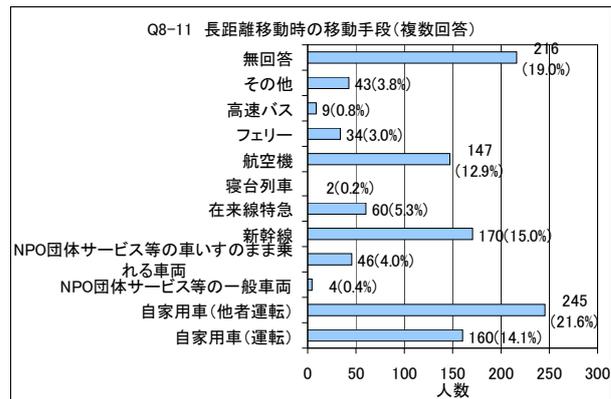
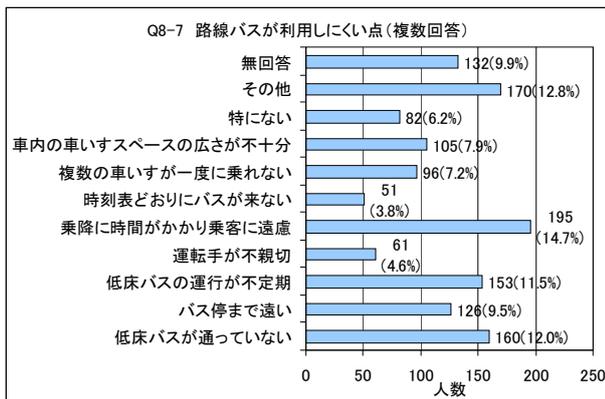
Q7-2	調理、車イスそうじ空気入れ、物がこわれた時ちよつとした修理、くつみがき、衣替、ふとん干、化粧、衣裳選び、合わせ、直し、繕い、納●でき便(訪看は夜こない、都度こない)体調の悪い時の急な身支度、病院付添
Q7-2	C5レベルで全部介助が必要だと感じている
Q7-2	通院
Q7-2	家事援助
Q7-2	情報・通信、温度・湿度の調整等に関する機器の操作
Q7-2	買い物、ごみ出し
Q7-2	四肢麻痺の為すべて介助が必要。
Q7-2	ベッドで座っているが身体が下がり、引き上げるのが大変
Q7-2	全介助
Q7-2	落した物を拾ってもらおう。代筆。訪問者への最初の対応。
Q7-2	趣味のお相手してほしい
Q7-2	・就寝時の下肢けいれんをさすってもらおう・痛みの箇所への湿布を貼ってもらおう・夜間時のトイレへ連れて行ってもらう
Q7-2	全介助状態…生きていく為に必要な事全て！！
Q7-2	リハビリ
Q7-3	ガイドヘルパー
Q7-3	恋人
Q7-3	看護師
Q7-3	夫
Q7-3	叔母
Q7-3	困まっている。
Q7-3	訪問看護
Q7-3	訪問看護師
Q7-3	会社の職員
Q7-3	訪問看護
Q7-3	専属介助者
Q7-3	祖父母
Q7-3	看護師
Q7-3	恋人
Q7-3	学校の養護教諭
Q7-3	妻
Q7-3	訪問看護
Q7-3	有償介助者
Q7-5-3	考えただけで病気になるそう
Q7-5-3	姉
Q7-5-3	子供達
Q7-5-3	自殺する
Q7-5-3	自宅でどうにか暮らしたいが具体的にはわからない
Q7-5-3	現在施設入所中
Q7-5-3	のまネットワークに相談する(障害者生活支援相談室)
Q7-5-3	施設にとうろくずみ
Q7-5-3	この世とおさらばよ、潔く
Q7-5-3	わかりません。
Q7-5-3	ヘルパー利用で生きている、一人暮らし
Q7-5-3	今のところ考えていない
Q7-5-3	まだあまり考えていない
Q7-5-3	兄、姉
Q7-5-3	わからない
Q7-5-3	将来が不安
Q7-5-3	まだ、考えていない
Q7-5-3	スタッフを雇用する
Q7-5-3	施設入居中
Q7-5-3	いつの日か介助が必要な時が来ると思う
Q7-5-3	この問題がいつも頭からはなれないが、どうするのがよいかと思い乍ら考えなければならぬのが固方にあるが、考えるのがつらく今に至っている。母が入院した時施設に入ったが、施設に入るのだったら「私を殺してくれ」といっていつも母を困ら
Q7-5-3	ショートステドとかのサービスをしてくれる所が無い
Q7-5-3	その時かんがえる
Q7-5-3	訪問看護
Q7-5-3	ヘルパー利用時間を増やす。と言っても、単発な介助(尿捨てのみ)なので悩む所です。
Q7-5-3	介護なしで動けるようになったので、あとは食事を作ることだけ、手がしびれているため。
Q7-5-3	施設入所中
Q7-5-3	施設入所した
Q7-5-3	悩んでいます。
Q7-6-1	ガイドヘルパー利用
Q7-6-1	家をあげる事ができない。
Q7-6-1	入院中
Q7-6-1	施設で全部してくれる
Q7-6-1	現在、家族(妻)の介護で何とかやれている
Q7-6-1	入院中
Q7-6-1	施設入所中
Q7-6-1	施設に入所しているから
Q7-6-1	家族が希望しない
Q7-6-1	妻
Q7-6-1	施設入所中のため
Q7-6-1	施設入所
Q7-6-1	母親がまだ出来るので
Q7-6-1	まだ本人が若いため
Q7-6-1	利用したいが書類診査がプライバシーをしんががいる
Q7-6-1	ヘルパーが居らず一時的に利用中止している。

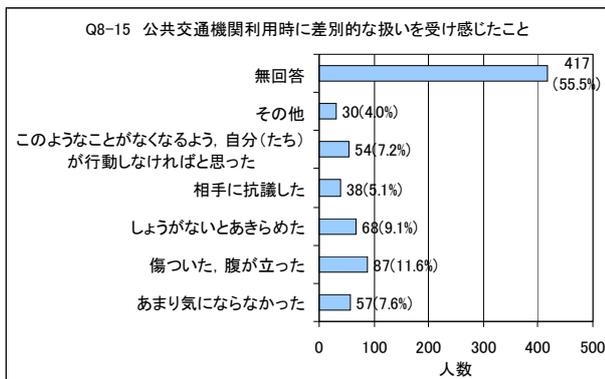
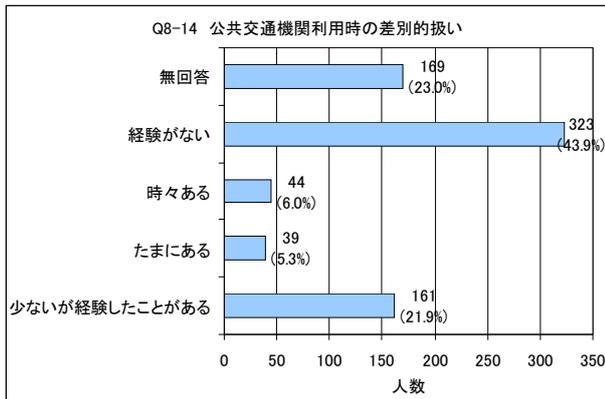
Q7-6-1	障害者の障害レベルでどれだけの利用ができるかわからな
Q7-6-1	本人がいやがる
Q7-6-1	施設入所中だから
Q7-6-1	将来的には必要と考えていますが……?!
Q7-6-1	サービスを提供してくれる事業所施設がない。人工呼吸器を使用していることもネックになっている。訪問介護144時間/月、短期入所日/月認定されている。
Q7-6-1	私共夫婦共に76才で24時間の介護は無理です。
Q7-6-1	入所中
Q7-6-1	今は困っていないが先は不安
Q7-6-1	施設入居中
Q7-6-1	家族の同意
Q7-6-1	重度なので、行政は認めてくれる場所がないです
Q7-6-1	以前は来てもらったが床ずれがひどくなってるのに処置が出来なくて、ひどいめにあった。
Q7-6-1	施設入所にて不要
Q7-6-1	「1」に加え、「2」「5」の要素も少しですが有ります。
Q7-6-1	施設生活だから
Q7-6-1	入院中
Q7-6-1	施設入所中
Q7-6-1	施設入所しているから
Q7-6-1	とりにあらず家族で対応できる。
Q7-6-1	施設生活なのでヘルパーを利用したいが、なかなか情報が入
Q7-6-1	業務に支障
Q7-6-1	要介護の認定に不満をもつ、この認定では週2回、1回1時間で、とても不便で利用できない。医師は認定度2以上というが、町(行政)の認定は3どまり、認定をする職員に大きく左右される感じがする。私的感情が入る。
Q7-6-1	施設に入所しているから。
Q7-6-1	両親がまだ認めない
Q7-6-1	妻がいる
Q7-6-1	以前利用した際、嫌な印象を受けたので。
Q7-6-1	「ヘルパー」という仕事をヘルパーが真剣にやっていない
Q7-6-2-1	地域生活支援制度
Q7-6-2-1	支援費
Q7-6-2-1	交通事故対策機構
Q7-6-2-1	有料介護
Q7-6-2-1	どれか判らない不明
Q7-6-2-1	自賠責保険による介護料給付
Q7-6-2-1	病院への送迎、役所、庁等への送迎
Q7-7	言語障害、ナースコール、上下肢マヒ、ショートステイ先なし
Q7-7	外出時に自動車(自家用)を運転してくれる人
Q7-7	ヘルパーさんの労働条件をよくする為に時間数の単価を上げ
Q7-7	職員数を増やす
Q7-7	摘便
Q7-7	話し相手、見守り
Q7-7	日曜、祭日の介助サービスをしてほしい
Q7-7	移動サポート(外出)
Q7-7	ヘルパーの確保
Q7-7	呼吸器使用のため受け入れてもらえない
Q7-7	障害者施設が少ない(ショートステイが希望しても出来ない)
Q7-7	訪問看護の自己負担金の軽減
Q7-7	障害者施設では頤損の知識が乏しく介護が不十分で不安が
Q7-7	訪問看護の拡大
Q7-7	どうしよう
Q7-7	ヘルパーさんや事業所に対する補助金等
Q7-7	今、移動の介護のヘルパーが制度として利用できないので利用できるようにしてほしい。
Q7-7	ヘルパー運転、外泊のヘルパー利用
Q7-7	外出サービス
Q7-7	急病になった時かんたんに利用できる車があるとうれしい。
Q7-7	自立生活の中で出来る事は自分で! なるべくは食事等は自分で作る様にして
Q7-7	ヘルパー報酬単価を上げてヘルパーを増やす。
Q7-7	通院時の介助
Q7-7	介護業者の賃金向上
Q7-7	・本人が行きたい所(ディ、ショート)の予約がとれない・介助者の仕事の不規則で、予約が仕事に合わせてとりにくい
Q7-7	軽い障害でも使えるように
Q7-7	旅行など遠方でのサービス。(今は地域内に限定されている)
Q7-7	入院時のヘルパー派遣
Q7-7	家族がいても利用出来る制度
Q7-7	移送サービスの負担額の軽減、施設の情報
Q7-7	?が理想→ヘルパーは死ぬが良い。→ヘルパー汚ない。
Q7-7	安心して暮らせる介護サービスの充実性を願う。
Q7-7	重度訪問介護、一時間当りの助成額の増額
Q7-7	介助サービスを利用していないのでわかりません
Q7-7	親族介護をもう少し考えて頂きたい。“別居親族”
Q7-7	移動
Q7-7	リハビリ運動の為の散歩に車椅子介助を頼みたい(現在では許可されない)
Q7-7	現在では自立出来ているが近い将来必要になると思うので上記の制度が完全になることを心から祈っている
Q7-7	職場での介助体制の導入(自立に向けて必要です)
Q7-7	知識
Q7-7	介護報酬の増額

Q7-7	介助時間に関する制約(一回あたりの時間制限など)の緩和
Q7-7	介助人員確保
Q7-7	介助料の賞金UP、介助が一生の仕事になるような施策
Q7-7	特に、ヘルパーでも摘便が可能にして欲しい。
Q7-7	ヘルパー数の増加
Q7-7	現時点では不明
Q7-7	入院時にも利用出来るようにしてほしい
Q7-7	セルフマネジメント、自薦ヘルパー制度の拡充
Q7-7	外出
Q7-7	身体と重度訪問が同じ事業所で契約できるようにしてほしい。
Q7-7	介護保険と同じ時給にし、事業者が障害者へのヘルパー派遣をしやすいとする。私の場合全て身体となる所をプリシユアでか30分に1日位なので◎30分にプリシユアアップ他をまとめて身体にし、調理時間等生活に多く時間をとっています。なので
Q7-7	ヘルパーの質
Q7-7	働くことに対してヘルパーをつかう。
Q7-7	住民票に関係なく、全国どこでも必要なサービスを受けられる自立支援法で利用できていたサービスを介護保険でも継続して利用できる様にしてほしい。
Q7-7	24時間見守り体制。
Q7-7	重度訪問の単価引上げ
Q7-7	ヘルパーの教育機関
Q7-7	ヘルパーの質の向上
Q7-7	3の仕事内容制約の緩和に夫(75才)分の食事や窓内の清掃も可としてほしい
Q7-7	障害者の子育て支援

## 2-8. 外出・移動







設問番号	記述内容
Q8-2	デイサービス
Q8-2	デイサービス、ショートステイ
Q8-2	祖父祖母葬儀出席
Q8-2	親の入所している老人ホーム
Q8-2	教会、ワークショップ、母の家
Q8-2	食事処
Q8-2	日帰り出来る所、かんぼの宿
Q8-2	ボランティア
Q8-2	ヘルパー事業所、デイサービス、釣り
Q8-2	介ゴ施設の面会・散歩
Q8-2	大型電気店
Q8-2	犬の散歩
Q8-2	デイサービス2/W
Q8-2	趣味の教室、友人との食事、障害者団体の行事
Q8-2	散歩、食事
Q8-2	病院は3ヶ月に1回です。
Q8-2	祖母の家、友人宅
Q8-2	食事
Q8-2	病院
Q8-2	教会、入浴サービス
Q8-2	オハカ
Q8-2	友人宅
Q8-2	美容院
Q8-2	花見や、紅葉狩りなど
Q8-2	買物
Q8-2	近くのコーナン、車イスを押して行ける場所
Q8-2	リハビリ
Q8-2	食事
Q8-2	入浴サービス
Q8-2	レストラン
Q8-2	図書館、飲食店
Q8-2	週2日デイサービスうけてその中で入浴も可
Q8-2	障害者でも受け入れてくれるコーラスが出来る事
Q8-2	トレーニングジム、リハビリ
Q8-2	友人宅
Q8-2	サークル、ボランティア
Q8-2	ショートステイ施設
Q8-2	デイケア
Q8-2	ショートステイ(病院、施設)
Q8-2	受診の為病院へ行く
Q8-2	温泉療養
Q8-2	実家
Q8-2	福祉ボランティア活動

Q8-2	旅行
Q8-2	デイサービス入浴のみ週2回利用
Q8-2	特になし(知人)
Q8-2	デイサービス
Q8-2	友人宅
Q8-2	友人宅
Q8-2	自宅
Q8-2	ドライブ観光地
Q8-2	デイサービス、ショートステイ
Q8-2	散歩約7km位
Q8-2	旅行、ショートステイ
Q8-2	孫の送迎
Q8-2	NPO
Q8-2	床屋
Q8-2	デイサービス
Q8-2	飲食店
Q8-2	車いすマラソン
Q8-2	宗教
Q8-2	く散歩(リハビリ運動の一部)
Q8-2	仕事先
Q8-2	教会
Q8-2	リハビリ、美容院
Q8-2	レストラン
Q8-2	障害当事者活動
Q8-2	美容室、姉妹の家
Q8-2	親類宅訪問
Q8-2	美容院
Q8-2	近所の散歩、美術館
Q8-2	営業
Q8-2	デイサービス
Q8-2	薬局
Q8-2	リハビリ
Q8-2	車いすダンススクール
Q8-2	福祉センターでの入浴
Q8-2	飲食店
Q8-2	親戚宅、墓参
Q8-2	友人宅
Q8-2	障害者団体の会合
Q8-2	ここ5年ほど救急搬送と数回の外来受診以外に外出は無し。
Q8-2	友人宅、自動車販売店etc...
Q8-2	サークル
Q8-2	散歩
Q8-2	治療院
Q8-2	通院のかえりにストアによって買い届けてもらうかタクシーに
Q8-2	床屋
Q8-2	図書館
Q8-2	散歩、友人のパーティー等
Q8-2	スポーツ、車イスバスケット
Q8-2	習い事
Q8-2	レストラン
Q8-2	講演会
Q8-2	親せきの家
Q8-2	日本橋、ウインドショッピング
Q8-2	外食
Q8-2	友人、知人宅
Q8-2	ドライブ
Q8-2	友人が入所している福祉施設
Q8-2	キッサ店
Q8-2	気ならしの為自宅の廻りを電動車椅子で散歩(月4回)
Q8-2	旅行、外食
Q8-2	自己リハビリのため小学校体育館へ毎日週1回リハビリへ、全て自費、家族負担
Q8-2	図書館
Q8-2	リハビリ
Q8-2	スイミングクラブ
Q8-2	スポーツ観戦、自宅
Q8-2	郊外にドライブ
Q8-3	車での移送してもらっています。(市)
Q8-3	病院のみ家族、時間が気になって外出できない
Q8-3	時と場合により
Q8-3	夫
Q8-3	外出不可
Q8-3	介ゴタクシーこれからはバス
Q8-3	彼女
Q8-3	介護タクシー
Q8-3	姉に自動車以外出付き添ってもらう
Q8-3	雇用している職員
Q8-3	介助者派遣制度がない
Q8-3	専属介助者
Q8-3	外出先の状況によりヘルパーへ介助が必要となることもある
Q8-3	家のTELを持たせて連絡を取れる様にして
Q8-3	親近者
Q8-3	介護タクシー、タクシー
Q8-3	家族がヘルパー、どちらか
Q8-3	恋人

Q8-3	誰か必要なので誰に頼みます
Q8-3	派遣社員ヘルパー資格なし。
Q8-3	福祉タクシー
Q8-3	病院へは一人でどうにか行ける。
Q8-4	地下鉄
Q8-4	施設の車イスで乗れる車両。
Q8-4	施設の車・バス
Q8-4	社会福祉法人、社会福祉協議会の車イスのまま乗れる車両
Q8-4	役所の車いすのまま乗れる車両
Q8-4	電動車椅
Q8-4	施設の車
Q8-4	車イスを押す
Q8-4	徒歩
Q8-4	電動車イス
Q8-4	施設車両
Q8-4	去年まで車いすタクシーを使っていたがもっと路線バスの時間が夜おそくまであればバスを使用したい
Q8-4	施設車
Q8-4	姉に自動車で外出買物につれていって付き添ってもらう
Q8-4	電動車いすによるリハビリ通い
Q8-4	民間救急車
Q8-4	共用の車で他者の運転にて外出
Q8-4	リフト車
Q8-4	施設のくるま
Q8-4	車イス介助付自分で歩行杖必要
Q8-4	社協又は教会のリフト車
Q8-4	自家用車(リフト付)
Q8-4	市社会福祉協議会のハンディキャブ
Q8-4	地下鉄
Q8-4	歩ける近距離(数百m)のみ歩行
Q8-4	妻と交
Q8-4	施設の福祉車両
Q8-4	市電
Q8-4	車いす
Q8-4	ディサービスの車イスで乗れる車
Q8-4	電動車いす
Q8-4	車椅子での移動も多い
Q8-4	介護タクシー会社のタクシー
Q8-5	車のサイズ(H)が不足
Q8-5	体がぐらつく
Q8-5	車のサイズが小さいものが多く使えない
Q8-5	車イスのまま乗れる車が少いため3週間から1ヶ月位前に予約しなければならぬ、急病の時は使えない。
Q8-5	現在自分の運転で特に困らない
Q8-5	坐位をきちんととれる事が無い
Q8-5	利用していないので解らない
Q8-5	料金の内容がさだかではない
Q8-5	乗り心地が悪い
Q8-5	利用したことがない
Q8-5	日曜日は送迎がダメ。
Q8-5	チンココントロールの大きな電動車イスを使用しているの、乗れる車両が空いているのかわからない。来ても乗れなかった
Q8-5	振動が強く痛い、お尻や腕に影響があり後々当分痛みが伴
Q8-5	電動車イスが重いのでリフトが上がらない。ヘルパーが自家用車に乗れない
Q8-5	利用の必要性がない
Q8-5	のりもの酔いがひどい為
Q8-5	予約が取りにくい。
Q8-5	福祉タクシー、NPO団体サービスを知りません
Q8-5	特に出張や旅行先での利用方法を知りたい
Q8-5	休日が営業なし
Q8-5	区役所で許可しないタクシーでも同じ料金と云って断られる
Q8-5	利用は無理
Q8-5	営業リフトカー料金が高い1回4000
Q8-5	近場の移動が主なのでバスで充分。
Q8-5	けいけんなし
Q8-5	時に使っていない。普通のタクシー利用、介護タクシーを行っている所のヘルパー2級をもったタクシーを使っている
Q8-5	乗り心地が悪く、体に負担がかかる。
Q8-5	どれだけの費用がかかるのかわからない
Q8-5	福祉タクシーを利用した時に、移乗の際に地面に落とされた
Q8-5	利用したことがないです
Q8-5	現時点では不要
Q8-5	近くはない
Q8-5	バランスをとるのに疲れる
Q8-5	台数や運転出来る人が少ない、のりごちが悪いので長距離は疲れる。
Q8-5	この種のサービスがない。
Q8-5	電話しにくい(なんとなく)
Q8-5	短距離なので運転手に申しわけなく思う
Q8-5	病院のとき院内は1人で行動せねばならない
Q8-5	しん動が体に不たん
Q8-5	福祉タクシーが小さく、リクライニングのできる車いすで利用で
Q8-5	身近にない
Q8-5	料金が高すぎる

Q8-5	現在は家族で対応できており、特に必要としていない(日常生活面では)
Q8-5	福祉タクシーは良い会社が多いが、NPOみたいなのところは人は、ごうまんて嫌い。
Q8-6	身体がきつい、車の方が楽
Q8-6	駅に駐車場がない
Q8-6	車が運転出来るから必要なし
Q8-6	現在まで利用なし
Q8-6	体力がない
Q8-6	駅によっては、エレベーターがホームのはずれにあり、移動距離がありすぎたり、エレベーターを乗り継ぐのに迷路の様でわ
Q8-6	1人では、段差が有るから
Q8-6	まだ利用した事がない
Q8-6	体力がない
Q8-6	新幹線の出入り口狭くて車イス通らない
Q8-6	自由に使えない
Q8-6	上記すべて利用する気分になれない!
Q8-6	利用した事がない
Q8-6	こけたり(たおれ)するとまずいので充分注意している
Q8-6	利用した事がなくよくわからない
Q8-6	電車のゆれが疲れる
Q8-6	以前に比べるとかなり利用しやすくなっている。(東京都在住)
Q8-6	今の状態になってのってないのでわかりません
Q8-6	混雑していると長時間自立が出来ない。
Q8-6	ケガして1度も鉄道は利用していない
Q8-6	1、3、10があるので使用しない
Q8-6	田舎なので鉄道がない
Q8-6	乗ったことがない
Q8-6	人の手をかりないと利用できない。
Q8-6	公共機関には一度も乗ったことはない
Q8-6	近くの駅は、階段であり利用出来ない
Q8-6	JRの改札は混雑して通るのに時間がかかる。→自動改札が通れないため
Q8-6	市電の低床車が少ない
Q8-6	到着駅から目的地までの経路が複雑でわかりづらい。
Q8-6	電車に乗るまで駅員さんが降車駅と連絡をとるため、多少時間がかかる。(あえて言えば…です)
Q8-6	外出しないので
Q8-6	ストレッチャーが使えない
Q8-6	体幹が保てない
Q8-6	利用の必要性がない
Q8-6	最短距離での移動ができない。(時間がかかる)
Q8-6	EVが遠い
Q8-6	鉄道を利用することがない
Q8-6	自動改札がせまくて通れない
Q8-6	沖縄には鉄道がありません
Q8-6	無理
Q8-6	1日の回数が少ない
Q8-6	駅利用時、家族に送迎してもらっている。
Q8-6	使ったことがない。
Q8-6	車椅子用のタイヤ回数が少ない。普通の電車に乗った場合連結の場所に居るので(特急券払っていながら)冬は寒くてつ使用できない
Q8-6	車両～ホーム間の段差・隙間があり、1人で乗降できない
Q8-6	駅からの移動が大変/困る
Q8-6	行く先の駅情報など綿密に調べて置く必要があり面倒
Q8-6	エレベーター設置していない駅も多い。エスカレーターを使用の際、一般客をシャットアウトするため、歩行が大変な人やお年寄りも使用できなくなるので申し訳なく思う。
Q8-6	昔の、数少ない経験からですが、選びました。
Q8-6	行った先以降の移動手段がない場合など、自家用車で行ってしまうことになる
Q8-6	車いす用渡し板の用意が降車駅に連絡されていないことがあ
Q8-6	車椅子乗車を嫌がる乗客がいて不快なことが多々ある
Q8-6	障害者トイレにベットのほしい(オムツ交換用に)
Q8-6	面倒臭い、バランスをとるのに疲れる
Q8-6	エレベーターが遠い。
Q8-6	予約するのが面倒、(事前連絡)
Q8-6	非常につかれる(車イスと電車の(ユレ)で)
Q8-6	JR車海へ迷惑が●い?悪い?新幹線自由席に車イストイレを、電動2~3台が話しながら旅行出来る車内スペースがほしい
Q8-6	走れない、手すりが必要なので人の流れに乗れない
Q8-6	利用し難くはない
Q8-6	エレベーターを探す手間が面倒
Q8-6	寝たきりです
Q8-6	電車とホームの段差がある所が多い
Q8-6	鉄道を利用するのは困難
Q8-6	まだ利用したことがないので分らない
Q8-6	利用なし
Q8-6	経験がないのでわからない
Q8-6	利用する時の連絡が面倒
Q8-6	利用したくないです。
Q8-7	車イスにて路線バスを利用した事がない。過去に旅行先で一度利用した時④、⑤でひどい目にあった事がトラウマ。

Q8-7	本数が限られる。
Q8-7	複数の車いすが一度に乗れない(2台はOKだが、3台はダメ)
Q8-7	車イスが利用出来るバス停が少ない
Q8-7	利用したことがないためわからない
Q8-7	現在まで利用なし
Q8-7	体力不足
Q8-7	低床バスに安全に乗れるのか信じられないので
Q8-7	バス停に段差が多い
Q8-7	利用方法がわからない。
Q8-7	乗った事が無い
Q8-7	使ったことがない
Q8-7	事前に運行時間を問い合わせが必要な為、降りゆう所の乗降のせまい所がある。
Q8-7	低床バス路線が少ない
Q8-7	利用していません
Q8-7	時刻表にききがない、いちいち営業所2~3日前にTEL連絡をしなければならぬのでめんどろ
Q8-7	現在路線バスを利用しようとしていないので良くわからない
Q8-7	いつ車イスの人が乗るバスがあるかわからないし、不安。時刻表にも記入されていないし、まず車イスの人がのっているのを見たこともない。
Q8-7	使用してない
Q8-7	回数が少ない、体力的に無理
Q8-7	利用したことがない
Q8-7	利用したことがありません。
Q8-7	今は必要としていない
Q8-7	1人で動けない、介助が必要
Q8-7	事前連絡が必要
Q8-7	利用した事が無い
Q8-7	段差がある
Q8-7	利用した事がなくよくわからない
Q8-7	乗れない(車イスが大きくて)
Q8-7	営業会社によっては、時刻表に低床ノンステップバスの表示がなくどのくらい待てば乗りやすいバスが来るかわからない。
Q8-7	目的地までバスだけで行けない
Q8-7	手すりの位置をしっかりと入口や出口につけてほしい
Q8-7	使用した事が無い
Q8-7	車いすがのれるバスがない
Q8-7	利用しない。
Q8-7	運転手によって使用方法が判からない人が多い。
Q8-7	大変
Q8-7	乗ったことがない
Q8-7	バスは利用しない
Q8-7	あんなバスに車いすで乗れるわけがない。
Q8-7	はずかしい、見られるのがいや、待ち時間が負担
Q8-7	時間(運行)が少ないので利便性がない
Q8-7	1人で乗れない
Q8-7	外出しないので
Q8-7	座っている人を立たせないとイケないことがよくある。混んでいると入れない、車内が狭く人にぶつかる
Q8-7	ストレッチャーが使えない
Q8-7	すべてがめんどろ
Q8-7	体幹が保てない
Q8-7	既して満員の場合乗れない。
Q8-7	利用の必要性がない
Q8-7	利用しようと思わない。
Q8-7	利用することがない
Q8-7	運転手が停留所によせるのが下手。
Q8-7	路線バスを利用するのは不可能
Q8-7	低床バスがない
Q8-7	一度乗る機会をもちたい。町に走っているが、車を使って使用してない。研修会等で体験させてもらいたい
Q8-7	バスの本数が少ない
Q8-7	医師よりバスは使うな(転倒の恐れがある)と云はれている、急停車発進でランボウ
Q8-7	無理
Q8-7	低床式バス回数が少い
Q8-7	利用したことがないのでわかりません
Q8-7	1日の回数が少ない
Q8-7	使用してないのわからない
Q8-7	便数が少ない
Q8-7	リフトバスでない限り乗車が不可能
Q8-7	バスの運転手が車いすにあわせてないのたおそそうでコワ
Q8-7	乗降のバスが無いから
Q8-7	予約が面倒。
Q8-7	乗り心地が悪く、体に負担がかかる。
Q8-7	バスの本数が少ない
Q8-7	車イスで乗れるバスがない
Q8-7	バスが1日に数本で行きたい場所まで直通がない
Q8-7	一人では出かけられない。
Q8-7	使用できない
Q8-7	使用してない
Q8-7	バスは利用した事が無い。
Q8-7	長時間、車やバスに乗れないため、公的な移動のものはさけている。(時間短縮のため自家用車をかった。)
Q8-7	利用の仕方が分からない。

Q8-7	必要がないので利用したことがない
Q8-7	乗員やスロープやボードの使い方が荒っぽく、車いすなどが
Q8-7	利用したことがないです
Q8-7	利用したことがないのでわからない
Q8-7	運転手が操作になれていない。車道と歩道間の段差にスロープが乗るように目くバスを着けないと、乗り込みにくい。実際に当事者を含めた形で、運転手に研修を行って欲しい
Q8-7	バスの本数が少ない
Q8-7	たぶん誰もが、車いすでバスに乗るという意識、感覚が無い。
Q8-7	車椅子を固定する時に慣れて無くて時間が掛かる。
Q8-7	バス停のスペースが不十分
Q8-7	(悪路でバス停まで行けない。)→以上の理由で路線バスを利用したことがありません。
Q8-7	利用したことがないのでよくわからない
Q8-7	利用した事が無い。
Q8-7	非常につかれる。
Q8-7	今まで利用したことはないが、雨や雪の時にバス停で待つことは不可能。また、バス停を降りてから目的地まで車椅子で行くのが困難なことが予想される。
Q8-7	地域によっては低床バスの数が少ない。
Q8-7	低床バスで乗降の方法を知らない運転手がいる。
Q8-7	利用したことはありません
Q8-7	便数が少ないため自分の好きな時間にのれない
Q8-7	段差はむずかしい
Q8-7	車いすの固定が不十分。(しっかり止めていても前後にゆれると車いすがたおれそうになる)
Q8-7	利用した事が無い
Q8-7	停留場に団地が多く歩道が狭く車イスの乗降がしにくい。シートベルトをしなかった為前の急停車時車イスが動きポールにはさまれ、友人は車イスから落ち軽いケガをした。(その会社にシートベルトをしてくれと言ってもベルトがなかったりしない
Q8-7	利用し難くはない
Q8-7	便数や低床バスの台数が少ない。
Q8-7	バスを利用したコトがありません。でもタクシーより料金が安いとお聞きしているの通っていたら是非利用してみたい。
Q8-7	事前の連絡が必要
Q8-7	運転手が基本的な操作ができておらず技術的不慣れである。
Q8-7	低床バスでも乗込みできない。
Q8-7	混んでいるので乗れない
Q8-7	自分で運転するので●●必要としていない
Q8-7	寝たきりです
Q8-7	あまり利用したことがないのでわからない
Q8-7	利用していない
Q8-7	困難
Q8-7	先に連絡を入れないと利用できない
Q8-7	田舎なので、車の方が利便性がある。
Q8-7	雨のとき
Q8-7	自分で運転できる。
Q8-7	利用なし
Q8-7	経験がないのでわからない
Q8-7	低床バスの運行本数が少ない。
Q8-7	混雑時に乗り難い。
Q8-7	出入りができない、乗る事ができない
Q8-7	バスが走っていない
Q8-7	路線バスがない
Q8-7	利用を考えた事もない！！
Q8-8	電動車いす不能、メンテナンスもできず。
Q8-8	1人で電動車イスで移動しようと思うとカッパや上着の着脱ができなくて困る。
Q8-8	出かける体力が無い、気力もなし
Q8-8	家族(配偶者)の都合で行きたい時に行けない。
Q8-8	駐車場
Q8-8	車いす用対応駐車場のある所が少ない
Q8-8	体調がいつも悪い
Q8-8	段差が多いから不安。
Q8-8	歩道の段差
Q8-8	外出して雨など雪がふっていると、車イスの駐車スペースが全部うまっているときがある。健常者がとめている。
Q8-8	歩行しにくい、特に階段
Q8-8	体調が悪くなる。血圧、etc
Q8-8	バリアフリーが完全でない、道路の整備がよくない所がある
Q8-8	駅員が来るまでに時間がかかる。プラスエレベーターのう回に遠回りをする等で乗り換え1回につき、時間がかかる事
Q8-8	家族がいるので特別困らない
Q8-8	駐車場の確保
Q8-8	ほとんど外出しない
Q8-8	体に負担が大きく、途中で休めない
Q8-8	時間に余裕をみて行動
Q8-8	介助者(姉)の都合に合わせた時間しかお願いできない為一人で外出時不安になる。現時点では車イス使用していませんがロフトランド枕使用で外出階段、バス昇降が不安ですぐにこ
Q8-8	ひどく疲れる。
Q8-8	人工呼吸器のバッテリー容量が4時間であること。
Q8-8	ヘルパーによって移動の得意、不得意がある。

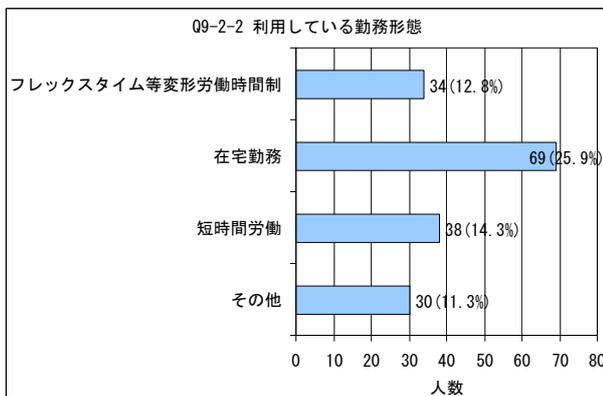
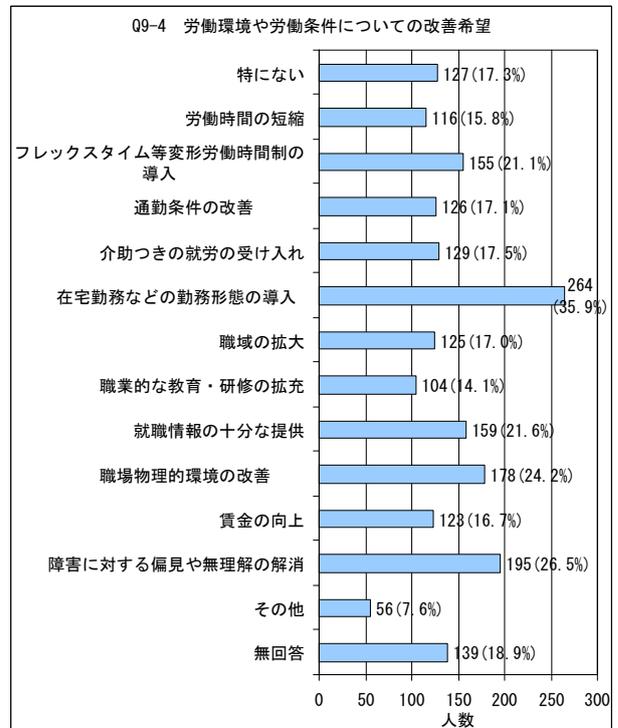
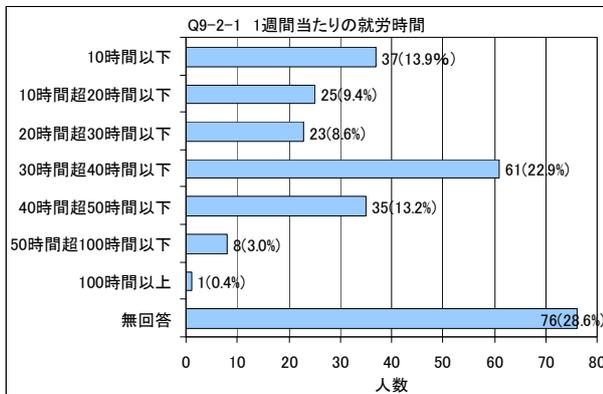
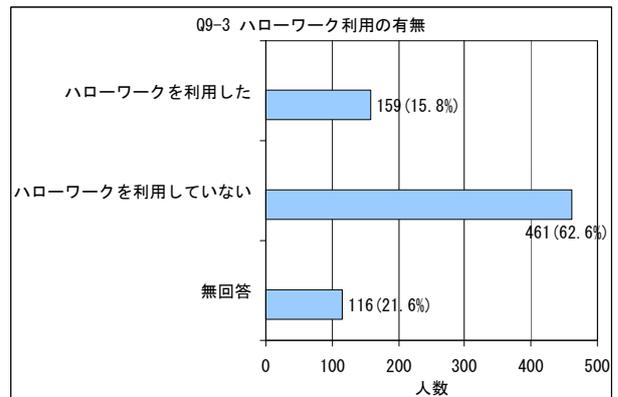
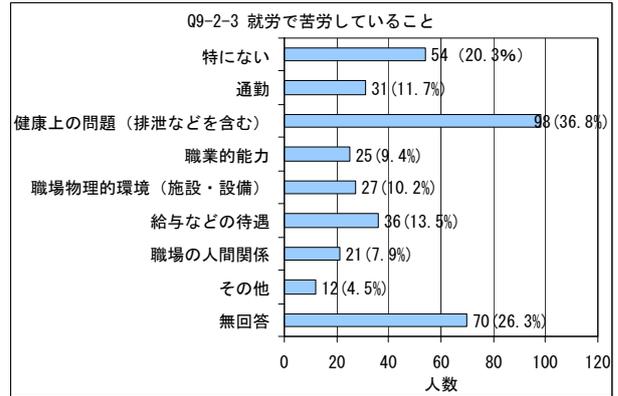
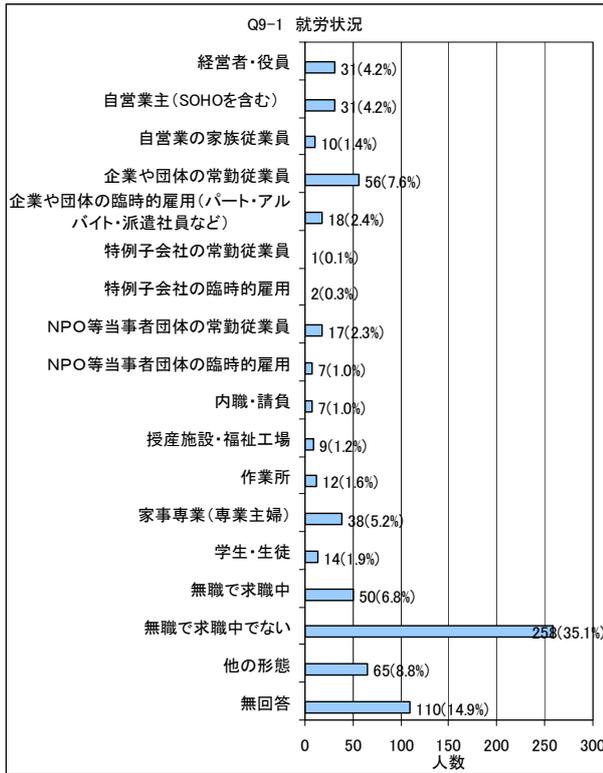
Q8-8	自宅からはスロープ車もリフト車もあり困ってないが、旅先でのタクシーの利用で、乗りうつりができず、かかえてもらっているのでもう何度も乗ったり降りたりは言えない。何か良い方法があれば教えてほしい
Q8-8	介助者の派遣制度がない
Q8-8	体調が不安
Q8-8	目的地が駅から遠い
Q8-8	段差で車イスが動かなくなる事
Q8-8	・エスカレーターは上りが多い。・携帯などの経路検索で「乗り替え時間」が健康な若い男性の歩く速度くらいに設定されていると、乗り替えに間に合わない
Q8-8	事故も心配、体幹不安定、身体の痛み
Q8-8	車イスで利用できる駐車場が少ない、自動発券が不便
Q8-8	移動に肉体的苦痛を伴う
Q8-8	予定に合わせた生活の中で、移動の時間、予定がつくれな
Q8-8	困ることなし
Q8-8	体力
Q8-8	電車だと雨の日駅までの移動が困難
Q8-8	移動の権利が補償されてない。シームレスの移動が確保され
Q8-8	車を修理などで出した時に福祉タクシーを頼むこと
Q8-8	褥瘡が心配で長時間外出出来ない。
Q8-8	駐車代が高い
Q8-8	バス路線がない
Q8-8	乗降が大変。乗車中倒れない様座位を保つのが大変(クッション等を利用)
Q8-8	家から出るのにひと苦労する。準備するだけで。
Q8-10	結婚式
Q8-10	出張
Q8-10	親族葬儀
Q8-10	仕事
Q8-10	伝道所訪問
Q8-10	大会参加
Q8-10	親戚等の冠婚葬祭
Q8-10	スポーツの試合や練習、買物
Q8-10	結婚式
Q8-10	子供の入試下見
Q8-10	ドライブ、買物
Q8-10	スポーツ大会
Q8-10	ごらく
Q8-10	お見舞い
Q8-10	任意団体活動
Q8-10	お墓参り
Q8-10	美術館へ
Q8-10	展示勸賞
Q8-10	慶事
Q8-10	スポーツ大会等
Q8-10	スポーツ大会等
Q8-10	親類の冠婚葬祭
Q8-10	依頼されての講演
Q8-10	会議
Q8-10	車イスバスケット、ラグビー大会への参加
Q8-10	仕事
Q8-10	別荘へいく
Q8-10	スポーツ、クルマイスラグビーの練習
Q8-10	コンサート
Q8-10	スポーツ
Q8-10	受験
Q8-10	親戚の結婚式
Q8-10	野球プロ
Q8-10	全脊連(全国会議・東北ブロック会議・東北車イスゲートボー
Q8-10	買い物や墓参り
Q8-10	目的はなし
Q8-10	スポーツ大会参加
Q8-10	スポーツ大会遠征他
Q8-10	試合
Q8-10	スポーツ
Q8-10	しません
Q8-10	仕事
Q8-10	仕事
Q8-10	冠婚葬祭
Q8-10	子供の陸上の応援
Q8-10	車いすマラソン大会
Q8-10	美術鑑賞
Q8-10	仕事
Q8-10	スポーツ試合
Q8-10	転地(夏期)
Q8-10	受傷後、長距離移動はしていない。
Q8-10	治療
Q8-10	全国総会
Q8-10	研修会、打ち合せetc.
Q8-10	当事者活動
Q8-10	出張
Q8-10	観光ショッピング
Q8-10	日帰りドライブ、友人宅訪問
Q8-10	勤務先業務上の出張
Q8-10	障害者スポーツの遠征

Q8-10	行楽
Q8-10	スポーツ大会に参加
Q8-10	仕事
Q8-10	試合(ツインバスケット・陸上)
Q8-10	独居の準備
Q8-10	障害者団体の集まり
Q8-10	スポーツ大会
Q8-10	受験
Q8-10	仕事
Q8-10	移動なし
Q8-10	全スポ出場のため
Q8-10	車イスバスケット大会
Q8-10	仕事
Q8-10	業務出張
Q8-10	仕事
Q8-10	仕事
Q8-10	講演・シンポジウムおよび研修の講師
Q8-10	仕事
Q8-10	子息訪問
Q8-10	大会等
Q8-10	転院及び引越し
Q8-10	病院(佐賀県)
Q8-10	福祉車展示会
Q8-10	子供のサッカーの試合
Q8-10	病気見舞
Q8-10	墓参り
Q8-10	孫誕生
Q8-10	娯楽
Q8-10	スポーツ観戦
Q8-10	ドライブ
Q8-11	車イスのまま乗れるタクシー
Q8-11	市営地下鉄
Q8-11	車イスのまま乗れる観光バス
Q8-11	友人の車
Q8-11	レンタカー(福祉車両)
Q8-11	福祉タクシーのストレッチャー式
Q8-11	レンタカー
Q8-11	私鉄+JR
Q8-11	リフトバス
Q8-11	レンタカー
Q8-11	施設車両
Q8-11	私バス
Q8-11	施設車両バス
Q8-11	リフト付バス
Q8-11	福祉車両のレンタカー
Q8-11	しません
Q8-11	レンタカー
Q8-11	民間救急車
Q8-11	介護タクシー(リフト付き)
Q8-11	リフト付バス
Q8-11	高速道路
Q8-11	民間福祉タクシー、私鉄
Q8-11	駅までと駅からタクシー
Q8-11	福祉タクシー
Q8-11	レンタカー(車いすのまま乗れる車両家族運転)
Q8-11	タクシー、電車
Q8-11	リフト付き介護タクシー
Q8-11	友人の車
Q8-11	妻と交
Q8-11	移動なし
Q8-11	タクシー、都市間バス
Q8-11	リフト付バス
Q8-11	タクシー
Q8-12	恋人
Q8-12	夫
Q8-12	航空会社職員
Q8-12	彼女
Q8-12	スポーツチームの仲間
Q8-12	しません
Q8-12	雇用している職員
Q8-12	専属介助者
Q8-12	姉妹
Q8-12	自選介助者
Q8-12	出張時は介助者なし
Q8-12	会社の同僚
Q8-12	家族と友人
Q8-12	彼女
Q8-12	恋人
Q8-12	移動なし
Q8-12	バスケットマネージャー
Q8-12	今回は一人
Q8-13	機内専用の車イスに早くから乗せられ長時間待たされた時おしりに激痛が。
Q8-13	失禁
Q8-13	車いす用駐車スペースない

Q8-13	海外だったので使用した車椅子のバッテリーが電圧のちがいで帰国してから使えなくなった。
Q8-13	到着駅に連絡がしてなくて駅員が来なかった
Q8-13	ホテル宿泊で、当事者用ルームではあったものの、ベッドのスプリングや高さが健常者仕様で使いづらかった。
Q8-13	障害者用トイレを健常者が使用してまたさせられた。
Q8-13	利用していない
Q8-13	洗面など使えない、レストランのテーブルの高さが不都合
Q8-13	新幹線の駅までが大変だ。一般乗客が電車の優先席をゆずってくれない。寝たふりしている、特に女子女性が多い
Q8-13	ホテル設備が、特にトイレ、風呂などが少くないため不満
Q8-13	ホテルに車イススペース1つの所に、(ホテルの人も車イススペースが広い意味がわかっていない。)2台とめてほしいと、無理に言われてありえないのでおこった。
Q8-13	全くしていないのでわからない
Q8-13	身体に負担かなりしんどい
Q8-13	長距離移動になると、トイレをさがすのに困難(ベットが必要の)
Q8-13	全て家族で解決する
Q8-13	夜間熟発。車イスをおすのに大変。車と車イスにのりかえが大
Q8-13	入浴ができない
Q8-13	出入り口のせまいのがある。
Q8-13	利用した事がない
Q8-13	使っている車椅子で機内まで入りました。
Q8-13	自家用車しか利用したことがない
Q8-13	新幹線の自由席には車いす席がないことが多いのでいつもレンタカー利用の際、営業員の介護車両の取扱いに関し、理解してなかった
Q8-13	梅田地下街で迷った。
Q8-13	すべて病院で処置した後なのでたいしたトラブルはなかったが今の病院へくる時は左手より出血がひどく少しいへんでした
Q8-13	疲労(痛み、しびれ、こわばり)
Q8-13	体温
Q8-13	自家用車なのでトラブル無し
Q8-13	厚生年金のホテルで車椅子OKと確認をとったが実際は風呂に入れなかった
Q8-13	乗換え時間を多く取るよう指示された。
Q8-13	車の中でウンチが出てしまった。
Q8-13	ホテルにリフトがなく移乗が困難だった
Q8-13	ホテル宿泊で障害者用の部屋を予約したのにトイレ、風呂に段差があり車イスではせまくて入れなかった。
Q8-13	その都度駅員の手配及び駅内ホームへの移動エレベーター変りして荷物乗降機
Q8-13	SAのパーキングやトイレを健常者が使うこと、雨の日や混雑時が特に。
Q8-13	杖使用で歩行に時間がかかる事電車が満席のときは立っているのが辛い障害者がいても皆見ても知らないふりである人が多い障害者にやさしくない事は残念です
Q8-13	しません
Q8-13	宿泊するホテル車イス対応と言いながら、段差がかなりある(高い者の車イス使用者の利用と考えている)少し歩ける
Q8-13	宿泊時、浴室、トイレに入れない事がありました。
Q8-13	新幹線個室に車いすで入りきれない(狭い)エレベーターの広さがぎりぎり(狭い)
Q8-13	身体の変調
Q8-13	トイレ、風呂
Q8-13	体調が悪くなったこと
Q8-13	洋式トイレが無い
Q8-13	トイレ
Q8-13	飛行機搭乗時電動車いすのバッテリーをとりはずすのが大変
Q8-13	身障者用の室が少ない(リフト、ベット等)
Q8-13	介助者が居るのにホテル(大阪阿倍野都ホテル)に宿泊を拒否された。10年前だったかと思う。
Q8-13	飛行機—自動チェックイン機では身障者割引チケットが出ないため、カウンターに並ばなければならない。混んでいたため、乗りおくれそうになった。「走ってください」と言われても走れな
Q8-13	身体の疲労
Q8-13	航空機利用の際、電動車いすのバッテリーの取扱い
Q8-13	ホテルの床のジュタンなど介助者が非力では介助できないところがあった。
Q8-13	ホテルに身障者用駐車スペースが無い
Q8-13	鉄道車両で車いすスペースが狭く、車内の座席まで行けな
Q8-13	中距離を車で
Q8-13	ドアも通路も狭く、二人で何度か私を運ぶ必要があった。車いすは壊れた。車いす車両は非常に少なく、車いすの利用者にも殆ど慣れていないのが現状。
Q8-13	一般客室の戸幅とベットサイドまでの空間があれば泊まりたいのに(安いから)車いすでと言うと泊めてくれなかった
Q8-13	空港内で車からの昇降に場所規制があり、空港ビルの出入り口まで遠かった
Q8-13	車の故障・体調不良・カテーテルが詰まった。
Q8-13	移動なし
Q8-13	禁煙であるのにトイレでタバコをすわれすいガラが散乱していた、新幹線
Q8-13	新幹線で車椅子から座席に移乗したが、車椅子の置き場所に

Q8-13	温泉に入るのに階段が多く、遠回り及び屋外を通過して入浴した。(寒かった！)
Q8-13	ホテルで車いす用ルームでありながら洗面所に段差があると部屋の中で車いすが通れない。車いすで入れるトイレがない
Q8-13	高速SAのトイレを、混雑時に利用できず困った。
Q8-13	息子の家を改造している
Q8-13	現地の鉄道に乗りかえた時(小田急)、ホームの巾が狭く降車時に介助者と一緒に反対側のホームに転落した。
Q8-13	トイレ
Q8-13	航空機の座席の乗りおり
Q8-13	利用なし
Q8-13	航空会社スタッフが、手をかしてくれなかったので車イスから座席への移動が大変困難だった。その上座席間がとても狭かったので移動しづらかった
Q8-13	バリアフリーの部屋といってもお風呂が使えなかった
Q8-13	経験がないのでわからない
Q8-13	少し体調を崩した
Q8-13	体調が不安だった。
Q8-13	妻とケンカ負けました
Q8-13	電動車いすが故障した。
Q8-15	交通局に電話した
Q8-15	だから利用しない
Q8-15	言語障害の人が差別あつかいされるケースを知っている
Q8-15	受けたことがない
Q8-15	利用したことがない
Q8-15	利用してない
Q8-15	自分の担当医が自立して遠くへ病院をたててしまうと新幹線を使用する時駅員さんに助けてもらわないとためてたいへんごめいわくをかけました。
Q8-15	乗ったことがない
Q8-15	無視した
Q8-15	経験なし
Q8-15	使用したことない
Q8-15	公共交通機関を利用した事がない
Q8-15	後日、会社へクレームの電話をかけた
Q8-15	悲しく辛いけど、しょうがないと諦めながら、ただ、精一杯、堂々としていた。何度か利用したら、対応も変わってきた、か
Q8-15	こんなもんだらという感じだった
Q8-15	最初から利用しない。
Q8-15	受けていないので判らない
Q8-15	公共交通機関を1度しか利用した事がないので、わからない。全てお金で解決する様にし、障害者である父には、メンタル面で負担をかけないようにしている。
Q8-15	利用した事がないのでわかりません

## 2-9. 就 労



設問番号	記述内容
Q9-1	100%介護の状態です就労不能
Q9-1	寝たきり
Q9-1	施設入居中
Q9-1	なにもして居ない
Q9-1	年金生活(企業側の受け入れは難しいと思う)
Q9-1	在宅で家庭教師
Q9-1	働けない
Q9-1	就労不可状態
Q9-1	労災年金で生活
Q9-1	ほとんど寝たきりなので何も出来ない
Q9-1	NPO法人の理事、ギャラリーの相談役など
Q9-1	グループで作業所を運営している
Q9-1	連合会理事
Q9-1	法律事務所勤務
Q9-1	NPO役員
Q9-1	定年退職後の生活
Q9-1	何も出来ない、寝てるだけ。
Q9-1	四肢不自由のため、就労不可
Q9-1	年金生活
Q9-1	デイサービス
Q9-1	施設に入所している。
Q9-1	生きるのがせい一杯です
Q9-1	病気で療養中
Q9-1	働くにしても年令的な事があるのでは
Q9-1	家に帰る時はまだ骨折がなおっていないのでどこまで家事ができるかわからない
Q9-1	任意団体に所属
Q9-1	無職
Q9-1	老齢
Q9-1	雇用契約では無い、無給の役員( NPO法人)
Q9-1	就労復帰は無理
Q9-1	収入は年金だけ
Q9-1	寝たきり通所サービス
Q9-1	自由業
Q9-1	特別就労していない
Q9-1	家では寝たきり
Q9-1	寝たきり
Q9-1	年金生活なので
Q9-1	学生
Q9-1	施設にも受け入れてもらえず、家で生活している。
Q9-1	寝たきりで、どうにも出来ない。
Q9-1	現段階では、就労困難
Q9-1	休職中
Q9-1	絵画の講師(福祉施設)
Q9-1	自営
Q9-1	老人障害者で、職不要づりハビリ
Q9-1	高令者
Q9-1	ラジオ(コミュニティー)のパーソナリティや情報誌の車いすで行きやすい場所を取材。どちらもボランティア
Q9-1	農業法人の代表
Q9-1	年金生活
Q9-1	四肢マヒのため、終日ベット上での生活をしています。
Q9-1	企業非常勤役員、親戚経営
Q9-1	働きたいが重度障害の為働けない。
Q9-1	無給のNPO役員
Q9-1	障害者支援パソコンボランティア
Q9-1	具体的に自営業を廃業途中
Q9-1	不定期の在宅ワーク、資格試験アルバイト
Q9-1	独居間もないので求職までの余裕がない
Q9-1	休職中
Q9-1	家事はたすけをかりて一応主婦ということか？
Q9-1	入院中
Q9-1	休職
Q9-1	体調が悪い
Q9-1	寝たきり状態
Q9-1	地方公務員
Q9-1	高齢の為、10年以上就労していない
Q9-1	事業といえるところではない
Q9-1	不定期な県の委員
Q9-1	株取引
Q9-1	会社に籍はまだあるが、休職状態で動く事も動らくこともできない為、そろそろ辞めねば会社に迷惑がかかる…
Q9-2-2	現場視察
Q9-2-2	利用していない
Q9-2-2	なし常勤
Q9-2-2	2ヵ月に1回の理事会出席
Q9-2-2	常勤
Q9-2-2	自営なので自宅から職場へは10m程度
Q9-2-2	デイサービス内の喫茶店で外人に日本語を教えている
Q9-2-2	8:45~17:30(月~金)
Q9-2-2	利用していない。
Q9-2-2	事務所を所有
Q9-2-2	通常キム
Q9-2-2	自営、店番

Q9-2-2	通常勤務
Q9-2-2	毎日職場へ
Q9-2-2	1~3は利用していない、通常勤務
Q9-2-2	
Q9-2-2	裁量労働制なので残業だらけ
Q9-2-2	一般従業員と同一就労条件
Q9-2-2	週3日在宅
Q9-2-2	トイレの日だけ定時よりも早くあがらせてもらっている
Q9-2-2	一般
Q9-2-2	フルタイム
Q9-2-2	普通に
Q9-2-3	温度(エアコンの効き方)
Q9-2-3	取引先や顧客とのコミュニケーションを取る事
Q9-2-3	カウザルギー
Q9-2-3	排泄
Q9-2-3	仕事の中身(どうしたら一番いい結果をさせるか)
Q9-2-3	年金生活者
Q9-2-3	体調の管理
Q9-2-3	出勤準備に時間がかかるため早起きしないといけない、不眠
Q9-2-3	避難訓練で0Fから駆けおりること
Q9-2-3	失禁時の対処
Q9-2-3	時間の融通性
Q9-2-3	受注時、連続して長時間の仕事
Q9-2-3	障がいの重さ
Q9-2-3	何事にも時間がかかるのに、長時間勤務のため、睡眠不足で
Q9-4	仕事ができるレベルでない。
Q9-4	情報が無い。
Q9-4	☆就労できる身体ではない。この記入も左上肢、親・人差指のみで書いています。
Q9-4	就労不能
Q9-4	就労は現時点ではむずかしいと思われる。
Q9-4	仕事をする為の移動や着替えなどの介助が必要
Q9-4	首が前に曲がらないので1時間以上の継続労働は無理
Q9-4	まだよく分からない。
Q9-4	無理な点が多い(就労に)
Q9-4	働けるレベルではない
Q9-4	就労は出来ない
Q9-4	年令的に就労希望なし
Q9-4	分からない
Q9-4	就労というのは無理かもしれないが、パソコンを使って何か収入を得ることができたらと思う。年金以外に収入がないという
Q9-4	現在その気はない
Q9-4	高齢につき就労は考慮していない。
Q9-4	就労できる体の状態ではない
Q9-4	就労できる状態ではない
Q9-4	色々な面でもっともっと、すごい社会をと思います。
Q9-4	仕事をしていないのでわからない
Q9-4	残存機能に対する施設以外の就労条件の拡大
Q9-4	就労はできない
Q9-4	年金で十分生活出来る様にして欲しいです。
Q9-4	高令
Q9-4	職種
Q9-4	就労については現在、考えられない
Q9-4	働けないので関係ありません。
Q9-4	障害者をやとう事で補助がでるが、本人(経営者)の場合は出
Q9-4	PCIによる在宅勤務が出来るようにして欲しいです
Q9-4	体力的に就労は無理
Q9-4	今の状態では働に行く事は無理だと思う
Q9-4	全まひにて、就労が出来ない
Q9-4	現時点での就労は難しいと思っている
Q9-4	就労出来る身体でない
Q9-4	長期間求職した事がないので不明
Q9-4	職場の面積を大きくしたい。
Q9-4	就労不可能
Q9-4	契約期間の延長
Q9-4	働くこと自体に無理(体力)がある
Q9-4	ADLの自立していない人も職訓練へ行けるように、介助者付職訓練、寮にヘルパーを入れられる
Q9-4	わからない
Q9-4	定年退職したので、もう働きません。
Q9-4	働けない。
Q9-4	高齢の為、なし
Q9-4	段差、車いすトイレがむづかしい。
Q9-4	送迎車希望
Q9-4	交通手段の確保
Q9-4	現在、就労出来る状態ではありませんのであえて該当なしで
Q9-4	現在の全介助状態で、就労は考えられない！！

## 2-10. 自由記述(個人情報保護のため一部修正)

●私は施設に入所しているのですが、施設に対し次の事を問題に思っています。まずは、職員の人数が少な過ぎる。そのためか、介助が荒くなったり、利用者に対しての対応が悪い。特に上から物を言う職員が多く、中には利用者を物のように扱う職員も。ここ数年、職員の質が落ちていると切に思います。行政にも問題があるのではないのでしょうか？私たちの現状を知ってもらいたいです。

●支援費制度を見直してほしい。外出・創交換などについてもヘルパーさんは制限されているのでしてもらえない。国は、ヘルパー1時間あたり時給は4000円等とたくさん支出しているのに事業所、事務費などにたくさん入ってしまっただけで障害者には月何時間とされているので、障害者1人に月50万とか支払ってもらって障害者が自由にヘルパーさんを雇い入れるともっと倍以上にヘルパーさんを利用できるのと思う。(個人の裁量にまかせてほしい。)まだまだバリアフリー化ができていない。障害者理解がされていない。

●ヘルパーが安定しない(足りていない)

●現在月2回程、短期入所を利用していますが障害者施設が少なく、いろいろ問題があっても、利用できる場所がないので仕方なくという部分があります。もっと利用する側が選べるようになればと思っています。

●医療ーリハビリができなくなったこと。福祉ー担当者の知識不足からくる間違いが最近特に多く、こちらの方でいろいろ必要な情報はあらかじめ入手し、心得ておかなければいけないこと。

●ホームヘルパーや、ガイドヘルパーの受給時間が足りなくて困っています。

●障害者自立支援法での家事支援を利用しているが、この制度が見直されたり介護保険と併合される様なことになると大変困る。来年3月で息子が結婚し、二世帯住宅で隣に住むが、普段の生活は全く別々なので現状維持でのヘルパー訪問利用が叶わなくなれば支障は大きい。息子夫婦に依存しない生活を送りたい。

●質問。今回私はETCを付けたのですが、ETC割引をうけられず障害者割引(通常半額)のみでした。国はETCを促進して割引といていたのに、なんか矛盾を感じます。今後高速一律千円と国は言っていますがどうなるのでしょうか？ETCはゲートでとまらない事だけが利便性なのでしょうか

●年齢の制限があり、施設、介護保険など利用する事ができない。

●ヘルパーが摘便出来るべく法改正を希望します。便意があっても次に訪問看護師が来るまで我慢しなければならない。この苦しみを理解してほしい。・家族と同居していると介助内容が制限される。「自立支援」の名のもとに制度は行われるべきです。

●現在 10 ヶ月になる子供がいるのですが、子育てでこれからもっと子供が大きくなって、活発に動くようになってくると、自分では対処できなくなってくるので不安に思っている。

●急に家族が介護出来なくなった場合受け入れてもらえる所やサービスが欲しい。

●手足のシビレがつらく医師に言っても損傷しているのでしかたがない、薬などで今少し改善できるようにしたい。この事故による症状はなおしびれ痛み、肩の張りが強くなるのか、事故後 7 年経過しましたが高度専医に見てもらい改善が図られるようにした方が良いか教えてください

●現在夜はユリドーム着用しているが排尿時汗が出たり、洩れたりする。何が良い器具があれば教えて欲しい。

●介護保険料をより良い活用を求める。医療関係補助金も増やしてもらいたいものだ。介護福祉師の人達の報収、医療関係者の報収、無駄な公共事業費をこちらへ廻せ！ 2 兆円のバラまきを医療、福祉に廻せ！

●経済的な問題

●小さい町なので夜間の訪問介護サービスがない。

●身体介護の認定時間が少ないので、希望の介助をしてもらえていない。

●他の人に比べて体力的に劣るので、仕事上のミスがでやすく、人に迷惑をかけてしまう。又、体が悪いと思われて、不利になるのが、いやでつい無理をしてしまう。私の場合、障害がわかりにくいので、なかなか理解してもらえない。このような障害者が集った職場がありお互いに励ましあう職場があればと思います。なかなか健常者にはわからないので。

●役所の福祉担当が福祉制度を十分に理解していないことによって不当な扱いを受けた。その後、役所に抗議をした結果、役所との関係が悪化し、安心して制度を利用して生活できなくなっている。現在、法務局が人権侵害について調査を始めた。

●子宮癌の検診を受けたいと思っていますが、果して受け入れてもらえるか心配で行きそびれています。障害者でも安心して受診できる病院を知りたいです。

●病態、日々の生活上の事を相談できる方が欲しい。進行していく症状に対応できる生活環境が整わない。また社会問題となっている様にヘルパーが足りない。7 時間 1 人の時がある。他にも夜間対応が難しい難病でない私には医療ショートステイが提供されない。見てあげているという意識のヘルパーさんから心を休める場がない。生きる自由も死ぬ自由もない現況です。かろうじてできる介助有のトイレ。座位をとらないとガス抜ができない。自分らしく生きられる障害者は幸いです。『障害者になったのだから、もっと諦めるべきだ』『動けないのにトイレに行きたいなど、長期目

標にするから、ヘルパーが来ない。』なにげに言うヘルパーの言葉です。重度障害者の私には、対症療法のみである。生きる資格がないとばかりの発言が多い。社会の邪魔者という認識は常にあります。

●医療—今後どのような病状の悪化が考えられるか、事前の説明とその対処法についての話しをして欲しい。・福祉—個人に合った利用サービスの全般的な情報を先に提供して欲しい。

●24 時間見守りが必要。現在母が介護にあたっているが高齢になりつつある為、対応を考えたいのが見通しがたっていない。ショートステイもままならず、夜間の見守りのヘルパーも見つからず綱渡り状態。母が病気になった時、どうなるのかとても不安。

●指は動くのですが、体の中は頸損のままでトイレに行っては息が苦しくなり耳なりがします。ごはんを食べた後も同じです。早くお薬を作ってください。食後はベッドに車イスのままひっくりかえって寝ないとなおりません。よろしく願いいたします。

●道路の段差、賃貸マンションのトイレの広さ、浴室の段差が問題。

●ヘルパーの介護報酬をもっとあげるべきだ。(1ヵ月) 25 万円～30 万円ぐらいの保障がないと仕事として続かない。国がもっと補助すべきだ。

●生活の内容が、ヘルパーさんの在宅時間に左右されるので、思いつきや、タイムリーな行動や活動が、できない。サークルや、団体の役割や責任者をつとめる事が、ヘルパーさんの仕事範囲をこえるので、できない。外出等で、ヘルパーさんにかかる費用や会費等の負担があるので、負担が大きい。依頼する事がらその人に出来るか出来ないかを、見きわめる必要がある。摘便等、ヘルパーさんに依頼しても、良いような事がらを、多くしてほしい。看ゴシが、常時来てもらえるわけではないので...ヘルパーさんの、してはいけない事がらが多すぎる気がする。

●頸損という障害を知らない医師、看護師が多い。もう少し、自分で選択できる介助システムが、できることを望む。

●不全麻痺の為、左肩、左腕、左腰、左首の痛みと毎日苦しみがらつきあっている。

●ヘルパーの数が減少

●国・県・市などが障害者福祉計画等を策定しているが、実施に対しての予算や実行がともなわなければ無駄な事で終わってしまうと思う。

●同じくらいの障害をもった、同じくらいの年齢の友だちが欲しい。

● 1. 施設入居者は Tel の許可が得られない県が殆ど。2. 自分が思った病院へは自分で行くしかない。(施設入居) 3. なかなか思う物を入手出来ない。4. 職員を全く信用出来ない(勝手に事務へ報告するから)。

●北海道に住んでいるため、冬期間の除雪

●ホテル、デパート...など車イススペースに健常者がとめているのでムカつく。...色々・子供がじろじろみる。・レストラン、食事する所で車イスの駐車スペースもあり、入口もスロープになっているのに中に入るとすごい段差と、トイレが狭くなっている。(中途半端にバリアフリーになっている所が多いのでめんどくさい。

●福祉用具が高い。世の中の理解度が低い。夜間ヘルプのヘルパーがいない。車椅子が利用できる施設(レストラン、映画館、公共施設、トイレ)が少ない。これらの情報が乏しい。バリアフリーに殆んどなっていない。

●手が不自由な障害者にはアンケート長すぎ、かなりつかれました～

●福祉用具購入時の自己負担が大きい。

●自宅では家族といっしょに暮らしていくのは介助的に難しそう。出来れば、家族といっしょに暮らせて、夜間や家族が外出した時に介助してくれたり、入浴サービスが出来る、有料老人ホームや集合住宅みたいな所が出来てほしい。

●地方にいる脊損者が安心して受診出来る病院が少ない。又脊損に関しての専門医師が少ない。

●医療一障害者が希望するリハビリを行なって欲しい。福祉一家族に対する休息やレジャーの為に障害者が安心して短期入所できる施設の内容充実をお願いしたい。(専門のナースやヘルパーの教育、施設内にパソコンを使える状況など)通院などの移動に伴う、タクシー又はガイドヘルパーの無料利用を希望したい。□自宅で生活する障害者の家族の負担を軽減して欲しい

●2回/週リハビリに通っていますが20分程度では少ない。

●頸損腹、お腹がでてウエスト 104 cm。車椅子サイズ、座クッション、ズボン} これ以上大きくするのはタイヘン、ウエストを細くする方法ないですか？

●訪問介護を受けていますが祝日、日曜、土曜日などは費用が高くなるので困る。介護手当の金額ももう少し頂きたい(紙オムツ代金にもなりません)。

●慢性の疼痛に対する医療を充実させて頂きたい。整形外科、脳神経外科、神経内科などそれぞれ数施設を受診したが軽減ならず。本人にしかわからない痛み、何とかならないものかと。調査対象

になるかどうか判断しかねます。アンケートは記入しましたが、下記の状況ですので、ご判断下さい。頰椎後縦靱帯骨化症でH××年に脊柱管拡大の手術をしております。現在左足の脱力（重症ではない）と、腰まわり、尻、足にかなり強い神経痛のような痛みがあり、鎮痛薬も効かず苦しんでいます。幸い日常生活は自力で出来る状態です。65才をすぎ年金生活ですが、小遣い稼ぎぐらいの仕事が出来ればとは思いますが、身体的に無理です。自分では脊髄の損傷と思い日本せきずい基金からニュースや情報をもたらしております。

●私は「バリアに出会うと楽しい」ということをモットーにしています。

●今の介護者に100%頼っている。家族の介護なしでどうして生きてゆけるのか大変不安です！！すべて限界の体せいですヨ！！

●ヘルパーさんに座薬を入れてもらえると助かりますが、入れてもらえません（医療行為になるので）。

●入院する時の対応が心配

●障害者自立支援法によるサービスの支給量が少なく困っている。

●ショートステイの受け入れ先があまり少なく、行くのも不便である。

●今年×月から主人と2人で福祉施設でお世話になり生活しております。少し自由な時間が足りない気もしますが、年齢も重ねて来ていますので納得しています。

●在宅生活になってまだ1ヶ月余りですが、身のまわりに工夫したいことがあっても（緊急通報装置など）それを相談する人がいないし、いてもすぐに返事があるわけでもない。大工さんや電器屋さんのような人がもっと相談にのってくれとありがたい。すべてにおいて、お金がかかる。情報がほしい（皆がどうしているのかなと思う）。テレビとかに出ている人を見ると、やはり、まわりにいる人のサポートが充実しているように思う。社交的でない者はむずかしい。☆ヘルパーさんの事業所は障害者のヘルパーに行くと赤字になると言われました。だから来てくれる人が不足しています。自立せよと言うだけで事業所に補助もなければ誰かに助けてもらわなければならない人間は自立することもできません。アンケートを取るだけでなく、いろいろな所に働きかけをお願いします。とても困っています。

●車椅子上で使用できる電動自転車があればよい。車椅子上で使用できる電動他機能補助具があればよい。

●手術後15年位は苦勞したが平成15年位からはいろいろの自分で出来る仕事をさがしてやっている。背部痛はありますが××大学病院で薬をもらって飲んでる。あまり苦痛はない。手術も良く出来ているとどこの先生もいっている

●全麻痺、人工呼吸器使用者は、ショートステイも利用施設がなく、特養ホームも受付先が全くありません。配偶者（妻）が、一日中外出することなく介助している生活ですが受傷後 15 年目になり、不安な日々です。

●介護者不足

●自立生活と言われても、生きるだけがせい一杯です。高位頸損は本当に大変です。体の調子が悪くて病院に行きたくてもタクシーにもものれず、他の車は何日か前に予約が必要ですし、簡単に具合の悪い時に利用できるシステムがあると助かります。

●調査表の選択肢が偏っていて恣意的な傾向がみられる。障害ゆえに常に不利益な立場にいる者として否定的な選択肢だけが並べられている設問が多い。

●頸損問題点 2008/12/7 医療福祉等について。人権尊重・平等・差別をなくす？建前ばかりで実施が伴ってない。人間を思いやる、その人の立場になって、物事を考えてみる。簡単な手法で、問題点を理解する。十分可能な事だと思う。症状により等級のランク付け。車椅子利用者、杖利用者という事で、公共施設の利用を制限してしまう。知識理解のない一部の管理者には、あきれてしまう。偶発事故で医療福祉制度の世話になり、障害者の仲間入り。周囲の偏見の目の中、生活していく。死の世界を免れた事を喜んでばかりはいられない。こんどは現世の弱肉強食の世界を生き延びて行かなければならない。ダメージある肉体で、頼みの精神力に体がついて来ない。厳正な状況把握に自己判断。過ちは許されない。この次は正に、死の世界。恐怖はない。失うものも守るものもない。いままで自由奔放に過ごしていたから。残っているのは、己のプライドのみ。こんなものではない。まだまだやれる。道具でカバーできる。時間をかけ少しずつやっつけていける。事故から恐怖の体験。苦痛と苦悩の体験。そして残された生活。金銭に換算して補う。己を反省する気持ちを持ってしても、悲惨である。失ったものは大きい。果たして、代償できるものだろうか。この程度で済んで良かったと、思うべきものだろうか。判断は自分次第。巨大な組織に真っ向から立ち向かうか。こうべを下げ、受入れるか。建前と本音の世界。役所の申請主義の世界。異次元世界からの生還者に残された道は見当つかない。暗い険しい道か、明るいバラ色の道か。時間は万人共通で、平等に過ぎていく。

●私事、施設生活をはじめて 2009 年 1 月×日で×年目になります。様々な事が成りましたが家族ともはなれて一人暮らしではありますが、施設生活の中での自立にむけてもリハビリを続けてまいりましたが、生活の中でお金さえあればなんとか介助を受けながらも生活は出来ますが、今の国の方針を考える時に一割負担は収入のない私共は今の寒さと共に体にひびいてくるものがあり、又 65 才に成ってない故に在宅者はケアマネジャーもいず支援費制度とは個人個人が市の窓口を使用せずにはおられず、せめて寒い冬期だけでも施設のショートステイを使えれば...と思ったりしています。この度のアンケート調査に基づいて良い方向づけとなる事を願っております。本当に御苦労様です。

●2×才で交通事故により頸髄損傷呼吸器使用で 24 時間介護が必要となった息子を病院生活 1 年そして、在宅に丸 6 年過ぎたところで、このアンケートが届き、記入しています。介護生活 8 年目を迎えた者です。日進月歩、医療福祉とも少しずつ前進して、いい方向に向っていると思いますが、もし私が、つぶれた時、(略) 首都圏に住んでいます、大病院・老人施設はたくさんありそうですが、うちの息子の様な若く呼吸器までつけている、身体障害者を引き受けて下さるところがないのが不思議。自立生活、社会参加、本人は少しずつ立ち直ってきているのに、乱筆乱文ですみません。

●頸損について、メディアでもっと、明るく、取り上げてほしい。

●介助者よりも立場が弱くなる事。

●脊損専門の病院があると、邪魔物あつかいされないですむ。血税をむだにしないで政府はこういう所に使ってほしい。自分たちだけの、優遇だめ、無駄を省いてやる気だったら出来るはず。明日は我が身という事考えてほしい。

●何と言っても障害者用トイレ公共の建物及、公園あるいは駐車場などに増設して頂きたい、たとえば公共建物の場合は建物の中に有るので外部から階段等（スロープ）も含みで中に入らないと使用出来ないので駐車場の中や公園あるいは駅等にも要望したい。鉄道なども障害者が利用出来る様をお願いしたい。

●将来の生活が不安である・収入源の確保が厳しい。

●自家用車での移動が多いので身障スペースの駐車場の利用が健常者でも駐車しているので、なにか制度があるといいと思います。

●安心して入所出来る施設がほしいです。月に¥150000 ぐらい。

●重障害ほど介護は大変ですが預かってくれる施設がない。自宅介護は大変、共たおれしてしまう。

●症状は痛み、こわばり、シビレ・マヒ等なので他人にはわかりにくい部分なので理解してもらいにくい。年々。症状は強くなってきている。現在、薬を処方してもらっているがあまり効果がない。

●金がない。車イスが高い。値段・自動車が安い。

●障害者になったことで後ろ向きになる人生は嫌だ。もっと多くの方に理解を得て楽しい生活を送りたい。その為にも私達本人がもっともっと努力しなければと思う。

●安心してかかれる病院が無い。障害特性を熟知している医療関係者が少ない。

- 医療保険の改正により、継続してリハビリを受ける事ができなくなった事が困っています。学校（公共）の小、中、高にエレベーターの設備がほしい（子供の通う学校への訪問が不可能）。外出する際に公共のトイレ（民間の場所も含む）の設置数が少ない。
- 訪問看護、ヘルパーさんが年末年始のお休みに入ると調子がくるってしまいます。何か良い方法はないでしょうか？
- 低床バスをもっと多く増してほしい。手続の緩和。JR 使用の還元分
- 頸損と右側の数ヶ所の粉碎骨折のため（交通事故にて）アンケートの回答がちぐはぐかもわかりません。入院中は主治医、リハ Dr、OT、PT には最善をつくしていただきました。アンケートが一人でも多くの障害をもたれている方に役に立てればと思います。私も、介護者であり、一病院で働く一人です。
- 平成 1×年×月、(略) 学校の×××××部のインターハイ出場をかけた試合で受傷しました。心身共に立ち直り、チンコントロール電動車イスで、一度は元の高校へ戻るつもりでしたが、半年程週 2～3 回 2 限程度聴講させてもらった後、その高校の制度では卒業資格がもらえないと言われました。その後話し合いを重ねましたが(略) 自分でもいろいろ悩んだ結果、隣市の養護学校へ編入することにし、現在に至ります。
- 排泄機能不全、麻痺箇所の激痛に 1 日中悩まされている現状では、何を言う気にもなれない。医者ならせめて痛みでもとってくれ、話はそれからだと言いたい。
- 階段のある映画館に行った時は人手で上げ下げしてもらっているが、人手不足(女性しかいない)等で断られる事がある。最近ドイツ製の小さな階段昇降機が出ているが、120 万円以上と高価である。前記の様な施設に買ってほしいが、高いので頼む事もできない。公的に補助があれば頼んだり、ディーラーに営業に行ってもらうこともできるのだが...(車いすのお客さんが増えれば考えてくれるかも知れないが...)
- 一人暮らしをしようと思っても、住める住宅がない。
- 今現在、特に困っていることはないのですが、将来に対する不安は常に持っています。母親と自宅で 2 人暮らしをしていますできれば最期まで自宅で生活をしたい希望はあります。
- 家族が年老いたとき自分の介護が不安
- 医療...傷害の年数に応じて、どのようなリハビリをすればよいのか教えてほしい。福祉...あらゆる福祉で受けられる制度を知らせてほしい。

●私共家族は介護に全力でとりこんでいます。24 時間私共は子供と一緒に生活をしています。頑張ります。今後ともよろしく御指導の程御願ひ致します。

●長期療養になった時の対応（3ヶ月で転院）

●①ヘルパーの仕事の範囲をもっと実体に合うように柔軟に考えてほしい。②リハビリは期間をくぎらないでほしい。

●社会復帰後特に身体的トラブルもなかったのに病院に通ったことがありませんでしたが、現在妊娠中で、相談したいことがあっても、主治医もいないので一から新しい医師に説明するのが、大変です。（医師も今までの経過や、今の状況を全て把握するのは難しい様）

●労災補償分でヘルパー時間が減らされる。お金を払って（高額）まともなヘルパーが来ない。又は断られる。ディやショートも受けてもらえない。労災ヘルパーも事実上、いない。福祉課は寝たきりのままだからヘルパー時間が多く要らないと思っている。入浴リフターがあれば一人介助できると、現場を見ずに決めつける。医師も全く知識がとぼしく、何をきいてもわからない、ミスをする。医療、福祉に地域差がありすぎて、地方では暮らしていけない。新築して××市に転居したが、在宅は1年、将来も希望が持てないので、愛知又は大阪で暮らす予定。

●私は全マヒと右片マヒの中間ですが、病気の進行が止まっています。母と入れる施設があると良いです。

●障害者の就労したりする情報が不十分で年齢が高齢者であっても就労企業があるのか？どこに相談すれば良いかわからない。現状複数の病院通院泌尿器科、内科、精神内科等通院しなければいけない現状で、就労意欲や何かしようと思う事は多いにありますが就労できるのか？毎日昼は家で1人で生活して暮らすしかない事の辛さは（交通事故後生活が一転）感じます。何か有意義に暮らしたいと障害者でも何か生きがいのある情報があればと思います。区役所の福祉課に相談すればよいのでしょうか？私はまだ車イスの生活ではありません。不自由ながらもロフトランド枕使用で歩行もできるので幸せだと思っています。医療も障害者免除や交通免除があり、ありがたく感謝しています。でも生きがいの出るような精神的ケアが必要だと思っています。障害者自身も自立を望んでいると思います。御全国頸損連絡会殿のご活躍を願っております。感謝

●中央と地方との間では、格差が広がっています。医師にしる、福祉関係担当者の能力などに問題あり。本当の意味での専門的知識の欠じよ。役所等、職域の人事異動があるため、安定しない。

●施設利用料が高い！！

●リハビリを受ける回数が少ない、施設やサークル自立訓練センターなど遠方にしかない

- 介助者が腰を痛めた時お互いに、死を考えた。介助者が、包丁を持って来た時怖いと思った。思いつき、お互いに泣いた。30年間は短い様で長かった。年を取る事に、不安感じた。
- 特になし。車椅子の生活でも、自宅で家族とすごせる今は、満足している。
- 思想は現実化する...?母7×才→私4×才} 結こん相手が欲しい (略)
- 個人向の福祉機器展のようなのをやってほしい←個人で見学に行ってもほとんど参考になるものはない
- 外出時のボランティア等のシステムがない (家族がいないと出かけられない)。近くに頸損に対応できる病院も医者もいない。車いすに対応できていないスポーツ場が多い (階段が上がりず観戦できない)。障害者と共存していく認識が健常者に少ない。
- 将来の生活が不安です。福祉環境に充実感が乏しい。福祉機器、物品等が高額。ヘルパー介護時間が少ないのと、ヘルパーさんが変わる度に不安が残る。福祉医療の先生との自己体の不安、介護人の体調悪化になった時、どうしたら良いのか不安。連絡会の皆さんご人力頂きありがとうございます。私共、いつも念願している事は、国が障害者福祉都市を、海を埋めたてたり、また、ゴルフ場など作らず、障害都市を作ってくれば、また、マンション等、健常者と共に安心して過ごせる大都市を出来ることを将来に託したいです。
- 今、親に介護を受けているが、いなくなった後が心配。・学校に通っているが、介護者が体調不良の時、代わりがいなく、必然的に休むことになる。サービスでつれていってくれる人が、いれば良いと思った。(介護者の急病時の対応の充実)・後とりがない・就職先がほとんどない (重度障害の場合)
- 病院に行く時、歯科はA病院、泌尿器科はB病院、内科はC病院といくつもの病院にいかねばならず移動や日程調整が大変。1ヶ所の病院で障害者がスムーズに (スペースの問題など) 受診できるようにして欲しい
- 1日のほとんどを80才近い母が私の介護をしています。自分自身が介護を受けても不思議ではない年齢だけに母の頑張りがフビンで悲しくもあります。その母が倒れてしまうと私の日々の介護者がいなくなるととても不安です。この不安がなくなるような福祉行政はあるのでしょうか。
- 医師が脊髄損傷に関して無知すぎる気がします。変に知識があるせいか、自分の障害の状態をよく理解してくれません。
- 障害者 (女子) と連絡しあえるとうれしいです。

●身体障害者医療費助成制度を利用しているので、医療費の負担は少ないが、衛生材料などにお金がかかってしまう。また、ヘルパー事業所がヘルパー集めに苦勞している様である。ヘルパーが是非人気職種になって欲しいと思う。

●今は介護者が元気だがいつ一人になるか不安。頸損の起立性低血圧症とか温度（体温）調節などの実態とか対策など知りたい。また集尿器の製品名とかそれを止める器具とか生活していくために必要な頸損のための情報が欲しい。

●排泄に関しては、20年間苦勞しましたが、H19年より自立しました。後は、移動に関してですがセキ損センターで車の運転は少しできていますが、完全ではありません。しかし移動のための職員を雇い入れていますので、問題はありません。旅先でリフト車等がなく、タクシーがうまく利用できたらと思います。セキ損センターで車ののりうつりは習いましたが、それを応用すれば、タクシーでもできるのでしょうか。自分の手動の車だと乗りうつりは、クッションをおいてしていました。家族の援助なしで自由に旅行したい。何か良い方法、教えて下さい。

●妻の体が心配です。介護者の健康管理や介護環境にも配慮して欲しいと思う。質の高い医療が受けられる病院がありません。代筆、妻

●住宅改修等の助成金の額が少ない。頸損をくわしく知っている医師が少ない。

●家内が専従家事を行っているが老齢（81）で虚弱体だが病気で寝ていない状態なのでヘルパー助勢を受けられない。万一病気で倒れたら如何にすべきかと不安である。私自身は歩行難で家事は不可能何とか自分の事は出来る程度。このアンケートは調査方法等大体良く出来ている。但 02 損傷レベル頸髓○番とあるはどうも判らない、専門用語では？

●要介護3の資格で世話になっている。総わくできめられているので午前1時間、午後30分のヘルプ時間に不足がでている。家族1人で補っているが家族の将来が不安である。安心して定職につける心のゆとりがほしい。会議とか知識を広めるため外出時ヘルパーの支援が受けられない。ヘルパーに浣腸を認めてもらいたい。排便に浣腸が必要であるので。

●かなり心身共にバリアフリーになってきていますが地域差があったり身近に障害者が居ない人はまったく無理解だったり差が大きすぎる。恥かしい思いや迷惑をかけるのでは...と言う思いは私にも少しあるがやはりどんどん出かける事がそれぞれにとって良い事だと思う。

●私は7×才になります。H.××年に愛妻を亡くしてH.××年に転落事故で大ケガをしました。3ヶ月余の入院でした。幸いにも歩くことが出来ました。（中略）

事故来排泄が不能だけでなく胸間が24時間焼けるようにズリズリ痛いのです。便も尿も自然に出ないとっても苦しいです。一ヶ月に1回神奈川リハビリに行きます。病院に行くと私よりもっともっと大きな障害がある人達を見ると、歩ける車の運転も出来ると思い勇気が出て来ます。頑張らなくちゃと己に誓ふのです。最後のお願いです障害者手帳の取得（交付）をお願いします

●頸損についての医療専門機関が無い。・頸損でおきる諸症状など救急医療の対応がない。(筋肉等けいれんによる呼吸困難・体温調節でおこる合併病の対応)・救急車(医療)処置、頸損の諸症状等認識が無い。□このアンケートは障害の程度がどの位の線引きなのか。分からない。重度の頸損者を対象にしているのか。

●ヘルパーを利用できる時間数が足りない

●外出した時などで、車イスのトラブルが起きたとき、緊急的な修理をしてもらえるような仕組みが欲しい

●ただ生きているだけ人の役にも立てず、楽しみもなくおいしいものも食べられない、何のために生きているのか

●リハビリテーションが180日で切られたが、たとえ一週間に一回でも専門家に見てもらいたい。自主リハビリは続かないし、正しいかどうか分からない。軽度な障害の為、要介護、要支援にも認定されず、医療からも、介護からも見放されている。

●ヘルパーでは対応できない状態なので看護師の派けんを低価格でしてくれる所があれば良い。医療保険看護師訪問は時間が限られ、医療行為がなければ来てくれない

●一級重度の障害なので医療費は500円でずい分助かりますが、受診の折、前払いすることが困難です。(三ヶ月後にはかんぷされるけれど)同じ受傷者、又心のなやみ等の相談相手(電話でもパソコンでも)になれるボランティア活動がしたい。

●リハビリが受けられるようにしてほしい!

●リハビリをもっと受けたい。障害者の年金が別に出ると生活が助かる。妻に何かがあった時私はどうなるのか心配。今はいいのですが短期入所、ヘルパーとか重度障害でも見てくれる施設がほしい

●カフェなどフタのない飲み物を持って別フロアに移動するのが不便です。

●ヘルパー不足

●出産の時病院を探したり情報収集でかなり困った。・子供の学校行事への参加のしにくさ(階段など)・子育て支援の不足(子供が乳幼児の頃)

●将来の事が一番心配です。自立してほしいのですが、1人で生活できないですし、仕事も出来ない体です。今リハビリを続けながら1歩ずつ、外に出る事を目標にしています。・1日でも早くIps細胞による再生医療の実現に期待しています。・いろいろ情報をいただきましてありがとうございます

ます。今後共、よろしくお願い致します。(母代筆)

●医療費の自己負担・福祉制度の不安定・医療制度の充実・向上・訪問ヘルパーの不足からによる介助の質の低下。

●会社経営者であると言う事で所得があると見られて自動車事故対策機構の方から援助のお金も止められました。車イスも援助があると思ってチルト式の床ずれが出きない様にと購入したのに途中でストップされて困りました。経営者であっても会社へお金を貸しているのにそう言う所は見てもらえないのが残念です。医療に関しても訪問ヘルパーさんに来てもらっていましたが、床ずれが出来て毎度も治療してもらっていたけど訪問の病院先生も来て腐った所をハサミで切って下さっていたけど悪化して体から出る体液は臭くて“おかしいじゃないですか？”って言ったので病院へ行って下さいって云われた。もう一日遅かったら死んでいる所でした。今は元気に回復していますが医療的にもっと勉強してほしいと思います。今は訪問看護の人には来てもらっていません。

●病院の先生たちはあんまり分からない、くすりだけ渡すだけ。入院時はいい先生、通院の先生はイヤです。予約して1時間半でも呼ばれない、いつも2時間かかります。今は××な事がありうれしいです。車イスダンスの先生は姿をみて今日体調いいのとか今はあんまりできないから今日おとなしくないと云われます。病院の先生よりもダンス先生がいいです

●現在、自立支援法による重度訪問介護を利用している。都合により事業所廃業が決まっており新たに介護事業所を捜しているが、契約出来る事業が極度に少ない。問題は、重度訪問介護の単価の低さと事業所の人手不足によるところが大きい。この状態が続けば在宅生活が続けられなくなるかもしれないという大きな危機感をもっている。入所施設が近くにない以上、それは生命維持が困難になることと同じ意味をもつ。国及び政府は社会保障の充実に第一に取り組み、重度障害者が安心、安全に暮らせる社会を創ってほしい。

●要常時介護者が地域で生活できる様な制度が整ってない(グループホーム、福祉ホーム等、原則として身辺自立を要求され、常時介護を要する場合、結果的に家庭での対応となり、老々介護、息子介護等犠牲と孤立の世界である)

●頸損専門の病院や、ドクターなどがもっと増えてほしい、場所が遠くて、かかりづらい。

●①医療制度におけるリハビリ等の停止、リハビリのゴールは各人違う。②年金だけでは生活できない。生活の不安。③介助者(家族)の気げんをうかがいながらの生活。④リハビリ・整形外科の先生(ドクター)の知識不足。⑤リハビリ担当者の勉強不足。⑥看護師の力量・技能・勉強不足。⑦入院中、退院後のカウンセラーが居ないこと。カウンセリング相談場所がない。

●突如一人暮らしをしていかなければならなくなった今、自立するにあたって24時間体制のヘルパー事業所の少なさで生活が厳しい。

●配偶者病気・不在時の不定期・短期の介助を気軽に受けられるネットワークが欲しい。当方の場合、起床～出勤、帰宅～就寝までの早朝・深夜時間帯での介助が必要となるため、公的介助が受けられない状況にある。現状、就労優先の生活となっており、自らボランティアネットワークを構築する労力・気力・時間が取り辛く、民間団体で有償でもいいから必要時に簡単に申し込める介助システムを望む。

●福祉機器や用具の助成が全額出ないこと。私は、身体が大きいため福祉機器など特注扱いになり、必ず、自腹をきらなくてはならない。助成の金額が少ない。ヘルパーの利用時間を増やして欲しい。移動支援で宿泊もできるようにして欲しい。

●介助者の手配に時間がとられなかなか思うような生活が実現できないでいる。

●生活費を得るのに、今は主に家内の給料を当てていますが、この不景気な時代、いつ職を失うとも限りません。そんな時に、私が働ける場所や条件が揃わない事が心配です。車椅子などの日常生活用具、耐用年数の5年を待たずに壊れました。修理をして使うレベルではありませんので、仕方なく自費で製作することになりました。助成金の申請など、役所や他所に出向かなければならないことが多く、その都度家内の休日やヘルパーを使わなければならず、大変だし面倒。地域の民生委員などの訪問で対応してもらいたい。就職後の事故による障害のため、厚生年金を請求したけど、法律の不備で国民年金の障害基礎年金しか受給できません。金額の差はご存知の通りです。厚生年金を掛けたにもかかわらず、もらえないという理不尽な法律に困っています。移動（車への移乗）が困難なため、在宅での就労を考えていますが、なかなか理想的なものがない。

●介護者が、突然病気になったらどうしたらいいかわからない。

●医療福祉に係わる人員確保。私たちも彼らにやめられることのないよう、介助を受ける心得を身につけるべき。

●当園には医者や看護師が別枠でおり医療的見地から考えて、周辺は病院が点在して障害をもって生活するのに立地条件が他の施設に比べよいと思う。園内はあらゆる所に機械を導入しているたとえば居室内のホイス、環境制御装置と当事者の意向を汲んでとても民主的なスタイルで運営されています。しかし外部との接触を持たず地域との垣根をこれからどう取り払うか課題である。

●一人暮らし支援制度。家探し、介護、医療までをサポート（助言）してくれるところが欲しい。

●リフターの吊り具が劣化し新規で申請をしたが、どの給付制度にも当てはまらなかった。事故対策機構で対応を希望したが、こちらも（機構で指定しているリフター本体と機種が違うという理由）受け入れて貰えずに自己負担（12万円）となってしまった。必要な物である上に消耗品であるのに、なぜ制度に入れてくれないのか不満。ヘルパー派遣の事業所を運営しているが、なかなかヘルパーが集まらない。ご苦労様です。

●現在ヘルパー派遣を頼んでいる事業所では、ヘルパー数が十分とは到底言えない状況なので他の事業所にも派遣要請したいが、近隣には小規模事業所しかなく十分な数のヘルパーを確保している事業所は無い。理想を言えば、私自身の障害状況、体調などを十分に把握してもらうためにも、一つの事業所で全ての介助をお願いしたい。

●情報収集の手段や相談できる機関などの知識があまりないので、広げていただきたい。

●障害者自立支援法の施行により、自立訓練の期間が3年から1年半に短縮され、自分で納得できるリハビリができなかった。外来によるリハビリで体力が維持できるか不安がある。夜間の緊急連絡先が決まっていない。

●アンケートにも有りましたが、家族のいない一人暮らしの、なおかつ重度障害者がやむおえず入院生活をしなければならぬ場合に陥った時に、現在はヘルパーさんも訪問看護師さんも利用できないが、障害者本人が一番困っている状況の時にこそ、常日頃慣れたヘルパーさんや排泄看護にお世話になっている看護師さんを是非とも利用させてもらいたい。いや、利用出来るように、一人暮らしの重度障害者の切なる願いです。体力がある内に旅行などしてみたいが、公的な制度を作ってもらいたい。

●①県外で治療を受けた時に三割負担しないといけない事。二割を還付して貰う為には書類が必要な事。②通勤、通学時に介助して貰えない事。

●施設から地域移行を望んでいるが、支援体制が不十分。医療と福祉の連携も薄く、医療的ケア（褥瘡、排泄など）が必要な障害者は行き場が無いに等しい。

●現在入院中（体の状態と家の事情で在宅出来ない状況です）ですが、医療制度で療養病床に於ても最大180日を越えると診療報酬が15%カットされると云う事なので、転院を求められ入院先を探すのに困って居ります。この様な制度にしてしまった政治に怒りを感じます。

●福祉用具が高額すぎて、自己負担が大きすぎる

●世の中にはいろいろな偏見や差別などがありますが、障害を持ってから働いていた時、一般の健常者との間に見えない壁を感じました。私が壁を作っていたのかもしれませんが、何となく孤立してしまいました。体力的にも健常者と同じようにはいきません。自分に合った就業形態を見つけることが課題ですが、職場内の障害に対する理解や教育を大切にする企業があればいいな、と思います。社内のいい人間関係がいい仕事につながり、社会に発信していくのではないかと考えているからです。

●障害をもつ親の子どもへの支援が全くない。「子育て支援+自立支援+ひとり親支援」の対応を行政に交渉している。同じような方の情報を知りたい。

●ユニバーサルデザイン実現のためには、様々な現場、職種での身障者の参加が必要です。社会生活の中では、まだまだ健常者中心の施設、考え方、文化が常識となっていることが残念です。障害者が明るく、元気で、行き来できるような生活環境、社会環境が整えられるように期待したいです。

●特にないと思いますけれど家が広いと、物を取りに行くのに這って行くことになる。通院はタクシーでお金がかかるが仕方がない。

●サービスではなく当たり前の権利になってほしい。

●重度障害者（四肢マヒ者）に対するサービス拡充と諸負担のさらなる軽減策を図って頂きたい。脊髄の部位でも最も重度な頸損者は他とサービスが同等である事が問題だと思う。生活していく上で、人の手を多く必要とし、多額の金を支出し、精神的・体力的な負担も大きい事等を考えると制度上、誤りがあると思う。就労の問題も脳力はあるても体の機能面でのハンディーが大きい為は無職の方が多い。在宅就労が増える事を願っている。又、医療や福祉や行政等の職場に重度障害者が雇用されることによって法律もサービスも人的資源も社会も変わってくるでしょう。いたみの解る人や企業や社会が増えてくるでしょう。自己中心的な人が減り、少しずつ住み易い社会が現れてくる事でしょう。医療費負担ゼロ、ヘルパーのスキルアップ、福祉人材の増員並びに賃金アップ、地域間の格差等を考えて欲しい。

●「介護保険適用年齢の頸椎損傷者の福祉の現実」 1. 被災時 65 歳以上であったため、介護保険が優先し、障害者福祉の助成が受けられなかった。介護保険のレンタルのベッド、車椅子が、私の身体的特徴のため使えないのは、わがままと認定され、すべて自費で購入するしか方法が無かった。 2. リハビリ施設の通所も、介護保険施設に限られ、頸椎損傷に適切なリハビリが受けられない。現在の介護保険施設の多くは、痴ほう、脳内疾患、老齢による筋肉の衰えなどのため、家に引きこもりがちな老人に、他人と交わる楽しみを味わって生きがいを持たせ、弱った

●通院やリハビリの為の金額が負担になっている。数年前までは、無料だったのに、年間にするとかなりの負担増だと思います。

●介護タクシーの料金が高く、外出が限られてしまっている。

●公共機関（バス）などの便数をふやしてほしい。・ノンステップバスはあるが予約しないといけない。

●収尿器などの日常に必要な物が高い。

●色々な制度や助成金等、知らないものもよくあり自力でなんとか調べて聞きに行かないと教えてくれない。・外出先の情報（例えば障害者トイレ有か？障害者用駐車場は有か？等）インターネットなどで簡単に調べられればよいが、わからないと行きたい場所にもなかなか行けない・車いす対応の宿泊場所がなかなかない（車いす対応であっても、トイレは使えない、車いすが通れない、洗

面所に入れないなどあまり意味のないホテルが多い)・駅など障害者用トイレ、エレベーターなどどこにあるのかなかなか探せない。

●同じ障害程度であっても特定疾患(難病)だと1割で訪問看護を受けられたりする。頸損の場合、3割負担に重度加算や管理料等加算が付く。排尿障害の為膀胱瘻から現在回腸導管で(ストマ)生活をしている。田舎なのでストマの張り替えや浣腸(医療用)等、ヘルパーさんでは認めてもらえない。どうしても家族のみの介助になり、負担が大きい。地域の行事に出かけたいが、階段等施設の不備の為、参加できないのが現状である。又、地域の障害者団体に加入しているが「〇〇さんは、重度の為参加できない」と頭から、きめつけられ、会費は払っても全ての行事に参加できない。又、行事を知らせてもらえない。楽しく地域でくらしゆきたい。

●移動の車が足りない。1割負担の車を公的に希望する。外に出たいから！！

●アレルギー鼻炎からくる呼吸障害を理解してアドバイスしてくれる医師が中々いない。自立生活に必要な介助者不足、介助時間最低の保障が確実になされない福祉にいつこの一人暮らしが出来なくなるか不安。

●効果がある鎮痛剤が無い。

●ヘルパーのできる業務内容に理不尽な制約がある。

●病院に通院する際に、どうしても病院によって障がいへの理解というのが浅いような気がします。人それぞれ状態等も違うとは思いますが、頸椎損傷へのケアの仕方を医療側の方に知ってもらいたいかなと自分は最近感じました。

●自立援支援法の施行により、施設から地域移行という理念は良いが、居住や就労環境が進んでいない状況に歯がゆさを感じる。特に、重度の身体障害者や知的や精神の方の現状はほとんど変わっていない。4月の介護職員の待遇改善策も不十分だと思う。介護職離れを食い止める方策を真剣に考えるべき。公共交通に関しては地域間の格差が大きいので、駅や電車、バス、空港等、アクセスの連動性も考慮したバリアフリー整備を望む。法律があっても移動の制限が解消されない。道路特定財源の一般財源化や消費税率のアップという話したが、国庫負担の社会保障費を削るのであれば、根本的な問題解決には何らならないと思う。国は国としての責任を放棄するのであれば何のための国家か！

●施設生活から抜け出したいが医療的介護が必要なため不安である。グループホーム的な生活できる場があれば安心できると思う。

●現在5×歳、受傷して36年が経とうとしています。当時から考えると、とても暮らしやすくなったと思いますが、しかしながら、移動という面ではまだまだ十分ではありません。もうひとつ、私が生活していく上で尿管理に苦勞していて、それがうまくいけば一人暮らしは実現可能な気がい

たします。

●働いて税金や健康保険料を払うのになぜ就学や就労にヘルパーを使えないのでしょうか。×××市は就労中の昼食や夕食時も認めてもらえません。

●近くに総合病院がない。入院していた病院や現在係つけの病院などの病院間での連絡、情報こうかいが全く進んでいない。体のじょうたいを維持するための最低限のリハビリが受けられない。休日、夜間に対応する介護事業所が少ない

●1. 病院の医療体制を整えて欲しい。今迄は、××日赤の中で、3科にかかることができたが、医師不在となり、別な病院にも行かなければならない。経済的にも、身体的にも、大変な負担となる。2. 色々な物が、値上がりする中で、介護保険、医療費の負担も増えていく中で、どんどん収入は目減りしていく。これから年金生活の物は不安が大きい。3. 介護者が一人なので、もし何かあったらという不安は大きく、福祉の充実をし、安心して、ショートステイや、病院でも、一時あずかり入院等整備して欲しい。

●障害者住宅改造助成金に時間がかかりすぎる。書類が多くてこまる。リハビリをしてほしい（特に足）

●アンケートに参加させて頂き誠にありがとうございます。私は田舎に住み且余命いくばくもありません身上ですから、致仕方なきことゝあきらめています。先生方も老人には難病だから快復しぬくいの一点ばりです。熱心に研究する先生は田舎には極めて少ないです。若い者の為にお骨をおって上げて下さい。先生方の御健康を心からお祈り申し上げます。

●損傷レベルごとのもっと詳しいアンケートがあると良いです。

●定期的に精密検査を受けたい。

●脊損の時会社勤務、自分で車の運転をし、介助は不要でしたが、頸損になってから車の運転ができなくなり、通院移動に兄の介助を受けている。脊損時→胸損（第10）以下完全マヒ）頸損時→空洞症により左半身不完全マヒ）このアンケートは頸損後について記入している

●1. 介護人派遣制度等、従前の制度の運用方法も併用しないと、自立支援法の規定に依るだけでは、それぞれの地域の生活条件の中で、一人々々の障害の実態に即した適切なサービスを受けることがむずかしくなっている。2. 厚生労働省が、法律の誤った解釈に基づいた通知を都道府県知事に送ったり、関係者に指示・指導をしているため、大きな組織の介護事業所ほど、その指示・指導を守ろうとする状態となっていて、介助を必要とする者が、絶対必要とするサービスを受けることを妨害されている。(略) 父親が、当時の医政局長に宛てた手紙をご覧いただきたく存じます。手紙は、厚生省の係長までも届いているかどうかわかりません。

●治療法と行政の手続き労働局など進まない事があります。ひとり暮らしの不安と経済的な不安などがあります。身近に相談出来る窓口があると良いですが...？(身体を理解して頂きたいと想います)乱筆、乱文にて失礼致します。

●緊急時に対応するサービスの向上。

●自立支援法で利用していたサービスが、65 才になり、介護保険では、重度障害をあつかってくれる施設が少なく、現在、デイサービスは週に二度、行っておりますが、ショートステイを利用出来なくなっております。介護する私も老令になり、体がもたなくなって来て、困っております。越境での利用も認め、特に重度障害者施設が増える迄利用者居住地域範囲制限を撤廃してほしい。

●20 才 10 ヶ月で事故になったのですが、年金を 3 ヶ月しか払ってなかった為無年金となりました。いろいろと厚生労働省等に申請しましたがだめでした。現在 2×才になりましたが今後親も年老いていくので不安です。年金という形ではなく障害者としてなんらかの形で受給できる制度にしてほしいです。

●1. 公的介助時間のアップ、2. 福祉制度は市町村任せではなく、全国統一にしてほしい。

●膀胱ろう (管が 13 cm) 挿入するが、大きい息をしたり、チョットのことで、出る (8~10 cm) 医療行為のためヘルパーさんが出来ない(挿入出来ず)親が死んだらどうなるか心配・すべて困る。褥瘡診察が病院で出来ないこと・外出する時、自宅に車もあるし、ヘルパーさんは、運転免許を持っておられてもタクシーを使用しなければいけない。ヘルパーさんの費用とタクシー代の費用と倍かかる。車にも保険はかけてあるのに。色々書きましたが、福祉制度の御陰で本当に助かっていません。皆様の大切なお金を使わせて頂いて、感謝感謝です。

●福祉制度にまだまだ問題あり

●監視されている様だ。

●障害者自立支援法に於ける福祉サービス利用時の自己負担をなくして欲しい。無年金障害者でありかなり生活が苦しい。車イスでの公共交通移動手段が少ない。医療費の負担が大きい。

●一番は介護の問題。親の高齢化。今受けている事業所が 24 時間対応してくれず。不安がある。次に自分の体調。よく腸閉塞をおこす。リハビリの時間制限。もっとリハビリに行ければ。次にコミュニケーション。孤立感を感じる時がたまにある。

●受け入れてくれる病院や施設がなくて困っている。

●現在通院中の病院では定期的に医師の交替があり「良い先生」「悪い先生」の差が大きい。先日、褥瘡が悪くなり、入院した時にも看護師の対応に質的な個人差があり、処置が不十分なことが多かった。(結局、悪化するばかりで、早々に自宅退院することにした)加齢にともない、体幹の支え

が不安定となり、今までできていたことが、できなくなってきた。また、主な介護者である配偶者にも加齢によるさらなる負担が増えてきており今後の生活に不安を感じている。

●家以外に段差が多い・障害者トイレが少ない

●車いすのまま移動→NPO 団体等のサービスが少ない、タクシー等の費用がまだ高い。高速道路代も高いので長距離旅行は見合わせる

●毎日、激しい痛みを苦しんでいます。適切な治療法が見つかりません。また痛みを理解してくれない人が多く精神的にもつらい思いをしています。

●医療、福祉関係者の皆様には大変恵まれており感謝しております。しかし、受傷して9年になり頑張る気力も加齢と共に疲くなって来ております。更に夫も高齢化して最近とみに体調不良を訴える事が多く、万一の事を考えると不安です。

●健康、生活（経済的）、将来に希望がもてない。

●全身麻痺で本人は一切記入不可なので父親が代って返答しました！！（性の質問は？本人の意思は未確認！！）

●受傷してまもなく10年。生活の全てが困ることばかりです。脊損のことを理解していない人がプロとして働いていることにあきれます。習ったことにこだわり、目の前の事実をみていないことが多い。責任感がない人もたくさんいます。困っている人相手だと自分のやりたいことだけやれると思っている人が来ると、大変です。こちらは排せつの介助を頼みたいのにヘルパーさんなどは身障の人と遊ぼうと思って来ている人がいっぱいいます。

●東京と神戸市などでは24時間介護が認められているように全国的な格差がはげしい。どの地域に住んでいる人も24時間介護が認められるような社会作りをめざしてほしい。・訪問看ごを一週間うけるとなると自己負担が多くなる。障害者医療の中で自己負担金ができるだけ少なくなるような制度を作してほしい。・福祉機器の音声認識で動くものがあまり作られていない。はやく音声で動く福祉機器や電気製品などの開発をすすめてほしい。・入院中に行政制度の介護者をつけることは認められていないので（医療福祉のすきまをうめる）それが認められるような仕組みを作してほしい。

### 第3章 まとめと今後の課題

現在の頸髄損傷者の自立生活と社会参加の実情とその障壁を明らかにし、頸髄損傷者の自立生活と社会参加を促進する上での必要な社会的支援のあり方を検討すること、また頸髄損傷者及び頸髄損傷者を対象とした福祉機器開発者、医療・福祉関係者などに必要且つ有益な情報を提供することを目的として、「頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査」を企画、実施中である。なお、本調査は日本リハビリテーション工学協会の協力を得て行っている。

平成20年度は全国頸髄損傷者連絡会の内部に頸髄損傷当事者とリハビリテーション工学研究者、福祉機器会社社員、看護師などの専門家からなる「頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査」実行委員会を組織し、計3回の会議を開催、本調査実施の在り方について議論を行った。また、実行委員会内部に事務局を設置し、計7回の会議を開催、事業実務についての議論を行った。そして、実行委員会及び事務局の承認を受け、調査票作成WGと調査報告書作成WGを設置し、調査票の作成、調査結果の整理及び分析、本報告書の作成業務を行った。

調査票は、現在の頸髄損傷者の自立生活と社会参加の実情とその障壁を明らかにすることができるように企画設計し、全国の脊髄及び頸髄損傷者団体、NPO、病院、専門施設に所属、在所している頸髄損傷者を対象として3,790通発送した。また、調査票を全国頸髄損傷者連絡会のホームページ上に公開し、自筆記入が困難な対象者にも回答できるようにした。その結果、736名から回答があり、予想以上の回答者数であった。

回答者の属性を割合で見ると、年齢別では20代以下(6.4%)、30代(16.3%)、40代(22.6%)、50代(25.5%)、60代(20.8%)、70代以上(7.5%)、性別では男性(80.7%)、女性(19.0%)となっており、30から60代の男性からの回答が多かった。居住地域別では、北海道(7.7%)、東北地方(6.4%)、関東地方(36.8%)、中部地方(14.0%)、近畿地方(16.7%)、中国・四国地方(8.8%)、九州・沖縄地方(7.2%)となっており、東京、名古屋、大阪などの大都市がある地域からの回答が多かった。損傷レベル別では、C1からC3(10.6%)、C4(17.3%)、C5(25.0%)、C6(18.5%)、C7,8(7.6%)となっており、C4からC6の回答が多かったが、無回答・無効回答が21.1%あり、損傷レベルを把握していない回答者が多かった。麻痺別では、完全麻痺(51.8%)、不完全麻痺(39.8%)となっており、完全麻痺者が回答者の半数を占めていたが、「わからない」と「無回答・無効回答」合わせて約10%あったことから、損傷レベルほどではないが麻痺の状態を把握していない回答者が多かった。

本中間報告書は、調査票及び電子メールにより得られた結果を単純集計し、それらをまとめた資料集であるが、現在の頸髄損傷者の身体状況、健康状態、経済状況、住居環境、福祉機器、介助、外出・移動、就労などの実態とその障壁をある程度推察できる貴重なデータ集となっている。

平成21年度は、平成20年度に行った単純集計分析に加え、クロス集計、統計解析、多変量解析等により詳細なデータ解析を行い、その結果も踏まえて最終報告書として「頸損解体新書(2008年版)」(仮題)を作成、発行する予定である。

付録 1

実行委員会名簿

氏 名	所 属	担当分野等
三戸呂 克美	全国頸髄損傷者連絡会	プロジェクト代表責任者
石井 純夫	セコム株式会社 開発センター	調査の設計と分析
井上 剛伸	国立障害者リハビリテーションセンター研究所	調査の設計と分析
今西 正義	全国頸髄損傷者連絡会	調査の設計と分析
大西 謙吾	岡山県立大学 情報工学部	調査の設計と分析
斉藤 文子	国立障害者リハビリテーションセンター病院	調査の設計と分析
塚田 敦史	東京大学大学院工学系研究科	調査の設計と分析
二瓶 美里	東京大学大学院工学系研究科	調査の設計と分析
初雁 卓郎	パラマウントベッド株式会社	調査の設計と分析
藤井 直人	神奈川県総合リハビリテーション病院	調査の設計と分析
麩澤 孝	全国頸髄損傷者連絡会	調査の設計と分析
八藤後 猛	日本大学理工学部	調査の設計と分析
矢野 公代	神奈川頸髄損傷者連絡会	調査の設計と分析
横田 美恵子	国立障害者リハビリテーションセンター病院	調査の設計と分析
八幡 孝雄	全国頸髄損傷者連絡会	プロジェクト実務責任者
菊地 敏明	全国頸髄損傷者連絡会	経 理
鴨冶 慎吾	東京頸髄損傷者連絡会	プロジェクト実務
田村 玉美	国立障害者リハビリテーションセンター病院	プロジェクト実務
丸岡 稔典	国立障害者リハビリテーションセンター研究所	プロジェクト実務
三上 功生	東京理科大学理工学部	プロジェクト実務

付録 2

調査票作成 WG 名簿

氏 名	所 属
大西 謙吾	岡山県立大学 情報工学部
塚田 敦史	東京大学大学院工学系研究科
二瓶 美里	東京大学大学院工学系研究科
初雁 卓郎	パラマウントベッド株式会社
丸岡 稔典	国立障害者リハビリテーションセンター研究所

付録 3

調査報告書作成 WG 名簿

氏 名	所 属
大西 謙吾	岡山県立大学 情報工学部
塚田 敦史	東京大学大学院工学系研究科
二瓶 美里	東京大学大学院工学系研究科
初雁 卓郎	パラマウントベッド株式会社
丸岡 稔典	国立障害者リハビリテーションセンター研究所
三上 功生	東京理科大学理工学部